

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第393集

いいおかさいかわ  
**飯岡才川遺跡第3次発掘調査報告書**

盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査

盛 岡 市

(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

# **飯岡才川遺跡第3次発掘調査報告書**

**盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査**

# 序

本県には旧石器時代や縄文時代をはじめとする9,000カ所に及ぶ数多くの埋蔵文化財包蔵地が確認されています。これら先人の残した遺跡・文化財を保護し、後世に伝えていくことは、県民に課せられた重大な責務であります。

一方、広大な面積を有する本県の大部分は山地であり、盛岡南新都市開発整備事業を例にあげるまでもなく、地域開発に伴う社会資本の充実もまた重要な一施策であります。特に道路網の整備、工業立地環境整備、生活空間に係る環境整備など、多岐にわたる整備開発事業の推進は、多方面から大きな期待を寄せられているところであります。

このような各種の開発と調和した埋蔵文化財の保護・保存は今日的課題であり、当岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターを創設以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発に伴い止むを得ず消滅する遺跡の発掘調査を行い、記録保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、盛岡市が進めている盛岡南新都市開発整備事業の施行に関連して平成12年度に発掘調査された飯岡才川遺跡に対する第3次調査の結果を収録したものであります。

当開発事業は盛岡市現市街地の南西部に隣接する313ヘクタールに及ぶ広大な面積を対象とした都市開発整備事業であり、当事業に係る埋蔵文化財に対する発掘調査は平成5年度から実施され今日に継続されております。

当報告書に掲載しました飯岡才川遺跡は、面積的には狭い範囲ですが、平安時代9世紀前半代の須恵器を大量に出土した大型竪穴住居跡の存在や倉庫と推測される複数の掘立柱建物跡など多くの貴重な発見がありました。さらに、遺跡の範囲は周辺に拡大する様相を示しており、今回の範囲は大規模な遺跡の一部であることを推測することができました。

この報告書が広く活用され、考古学の研究に寄与するとともに、埋蔵文化財に対する理解と关心を一層深める一助となることを切に希望いたします。

最後になりましたが、これまでの発掘調査及び報告書作成にご協力・ご援助を賜りました盛岡市都市整備部、地域振興整備公団岩手総合開発事務所、盛岡市教育委員会をはじめとする関係各位に対し衷心より感謝申し上げます。

平成13年12月

財団法人 岩手県文化振興事業団  
理事長 村上勝治

## 例　言

- 1 本報告書は、岩手県盛岡市飯岡新田2地割110-1ほかに所在する飯岡才川遺跡に対する第3次調査の結果を収録したものである。
- 2 本遺跡の調査は、岩手県教育委員会と盛岡市との協議を経て、財団法人岩手県文化振興事業団が担当した。
- 3 岩手県遺跡台帳に登録される遺跡番号はLE16-2291、発掘調査時の略号はISW-00-03である。
- 4 発掘調査面積は1,582m<sup>2</sup>であり、発掘調査期間と調査担当者は次のとおりである。

発掘調査期間 平成12年7月17日～11月29日

調査担当者 文化財専門調査員 中田　迪、千葉正彦

期限付専門職員 鈴木　聰、島原弘征、吉田里和

- 5 室内整理期間と整理担当者は次のとおりである。

室内整理期間 平成12年11月1日～平成13年3月31日

整理担当者 中田　迪、千葉正彦、高橋與右衛門、鈴木聰、島原弘征

- 6 本報告書の執筆は、整理担当者が協議の上分担して執筆した。

- 7 委託機関は次のとおりである。

基準点測量 東日本測量設計株式会社

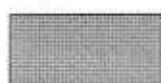
空中写真撮影 東邦航空株式会社

- 8 発掘調査や室内整理・報告書の執筆にあたり、次の方や機関からご指導・ご協力をいただいた。

工藤清泰（浪岡町教育委員会）、伊藤博幸（水沢市理蔵文化財調査センター）、八木光則（盛岡市教育委員会）、地域振興整備公團岩手総合開発事務所、盛岡市教育委員会

- 9 本遺跡の調査で得られた一切の資料は岩手県立理蔵文化財センターに保管している。

## 凡　例



須恵器



黒色處理



スリ面



砂底



鉄滓溶着

# 目 次

序  
例言

## <本 文>

|                       |    |                    |     |
|-----------------------|----|--------------------|-----|
| I 調査に至る経過 .....       | 2  | 5. 陥し穴状遺構 .....    | 56  |
| II 遺跡の立地と環境 .....     | 2  | 6. 池状遺構 .....      | 57  |
| 1. 位置と地形 .....        | 2  | 7. 溝跡 .....        | 58  |
| 2. 地質と基本層序 .....      | 4  | 8. 円形周溝遺構 .....    | 63  |
| 3. 周辺の遺跡 .....        | 6  | 9. 上墳墓 .....       | 66  |
| III 野外調査と整理の方法 .....  | 11 | 10. 柱穴状土坑 .....    | 68  |
| 1. 野外調査 .....         | 11 | 11. 遺構外の出土遺物 ..... | 68  |
| 2. 室内整理 .....         | 13 | V まとめ .....        | 108 |
| IV 検出された遺構と出土遺物 ..... | 15 | 1. 遺構 .....        | 108 |
| 1. 穫穴住居跡 .....        | 15 | 2. 遺物 .....        | 108 |
| 2. 住居跡状遺構 .....       | 36 | 3. 遺跡 .....        | 109 |
| 3. 掘立柱建物跡 .....       | 39 | 報告書抄録 .....        | 161 |
| 4. 土坑 .....           | 44 | 職員名簿 .....         | 162 |

## < 表 >

|                    |    |                 |     |
|--------------------|----|-----------------|-----|
| 第1表 周辺の遺跡一覧 .....  | 8  | 第3表 遺物観察表 ..... | 101 |
| 第2表 柱穴状土坑計測表 ..... | 98 |                 |     |

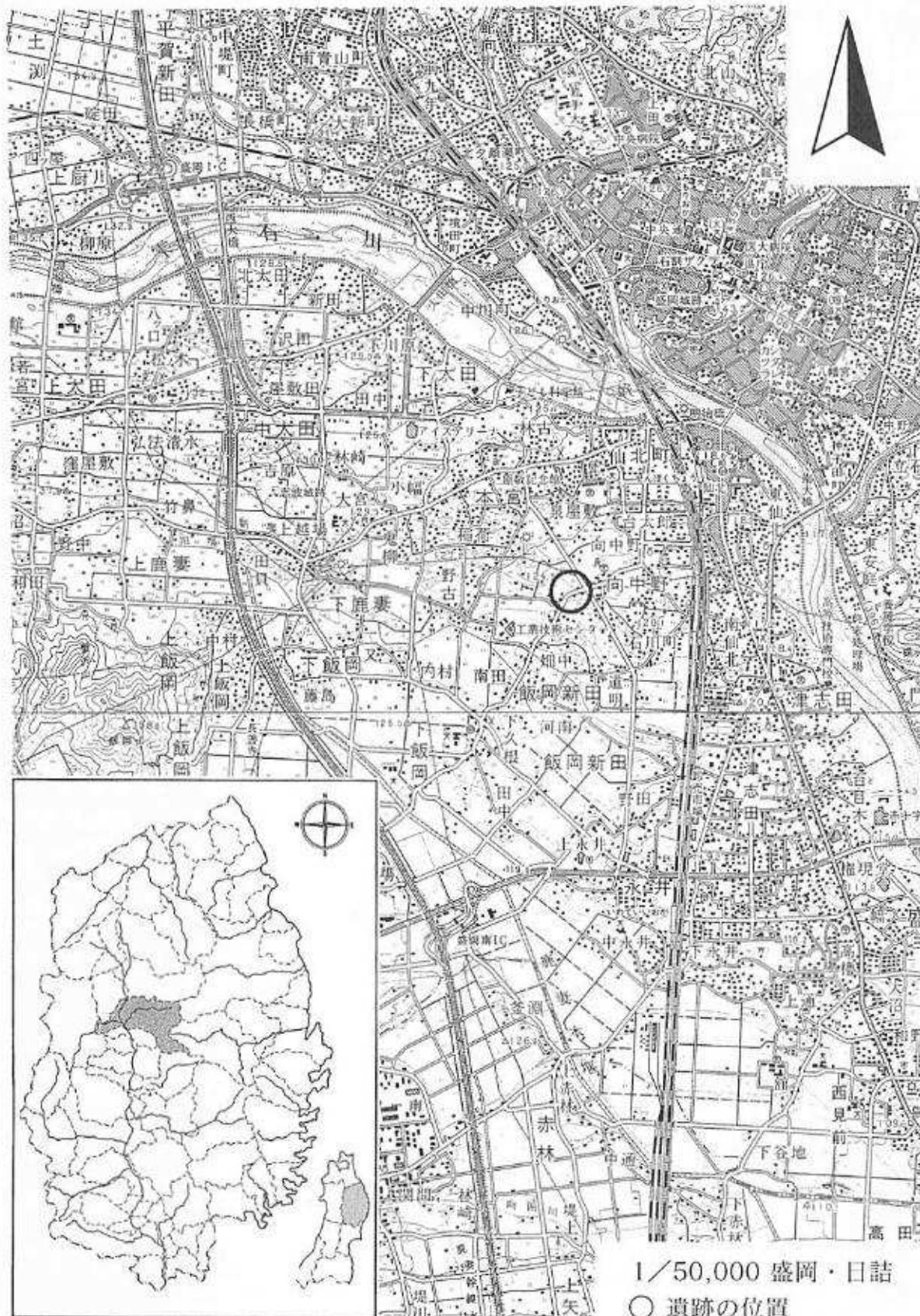
## <図 版>

|                             |    |                          |    |
|-----------------------------|----|--------------------------|----|
| 第1図 遺跡の位置 .....             | 1  | 第22図 R B04掘立柱建物跡 .....   | 42 |
| 第2図 調査範囲と周辺の地形 .....        | 3  | 第23図 R B05掘立柱建物跡 .....   | 43 |
| 第3図 地形分類図 .....             | 4  | 第24図 R D05~22土坑 .....    | 50 |
| 第4図 基本土層 .....              | 5  | 第25図 R D23~40土坑 .....    | 55 |
| 第5図 周辺の遺跡位置 .....           | 7  | 第26図 R Z03池跡 .....       | 58 |
| 第6図 グリッド配置図 .....           | 12 | 第27図 R G09・11~13溝跡 ..... | 59 |
| 第7図 遺構配置図 .....             | 14 | 第28図 R G14~17溝跡 .....    | 62 |
| 第8図 R A01竪穴住居跡（1） .....     | 16 | 第29図 R Z01・02円形周溝 .....  | 64 |
| 第9図 R A01竪穴住居跡（2） .....     | 17 | 第30図 R Z04~06上墳墓 .....   | 67 |
| 第10図 R A02竪穴住居跡 .....       | 19 | 第31図 遺構内出土遺物（1） .....    | 69 |
| 第11図 R A03竪穴住居跡 .....       | 21 | 第32図 遺構内出土遺物（2） .....    | 70 |
| 第12図 R A04竪穴住居跡 .....       | 23 | 第33図 遺構内出土遺物（3） .....    | 71 |
| 第13図 R A05竪穴住居跡（1） .....    | 25 | 第34図 遺構内出土遺物（4） .....    | 72 |
| 第14図 R A05竪穴住居跡（2） .....    | 26 | 第35図 遺構内出土遺物（5） .....    | 73 |
| 第15図 R A05竪穴住居跡（3） .....    | 27 | 第36図 遺構内出土遺物（6） .....    | 74 |
| 第16図 R A06・07竪穴住居跡（1） ..... | 30 | 第37図 遺構内出土遺物（7） .....    | 75 |
| 第17図 R A06・07竪穴住居跡（2） ..... | 31 | 第38図 遺構内出土遺物（8） .....    | 76 |
| 第18図 R A08竪穴住居跡 .....       | 34 | 第39図 遺構内出土遺物（9） .....    | 77 |
| 第19図 R E01~04住居跡状遺構 .....   | 37 | 第40図 遺構内出土遺物（10） .....   | 78 |
| 第20図 R B02掘立柱建物跡 .....      | 40 | 第41図 遺構内出土遺物（11） .....   | 79 |
| 第21図 R B03掘立柱建物跡 .....      | 41 | 第42図 遺構内出土遺物（12） .....   | 80 |

|      |              |    |
|------|--------------|----|
| 第43図 | 遺構内出土遺物 (13) | 81 |
| 第44図 | 遺構内出土遺物 (14) | 82 |
| 第45図 | 遺構内出土遺物 (15) | 83 |
| 第46図 | 遺構内出土遺物 (16) | 84 |
| 第47図 | 遺構内出土遺物 (17) | 85 |
| 第48図 | 遺構内出土遺物 (18) | 86 |
| 第49図 | 遺構内出土遺物 (19) | 87 |
| 第50図 | 遺構内出土遺物 (20) | 88 |
| 第51図 | 遺構内出土遺物 (21) | 89 |
| 第52図 | 遺構内出土遺物 (22) | 90 |
| 第53図 | 遺構内出土遺物 (23) | 91 |
| 第54図 | 遺構内出土遺物 (24) | 92 |
| 第55図 | 遺構内出土遺物 (25) | 93 |
| 第56図 | 遺構内出土遺物 (26) | 94 |
| 第57図 | 遺構内出土遺物 (27) | 95 |
| 第58図 | 遺構内出土遺物 (28) | 96 |
| 第59図 | 遺構外出土遺物      | 97 |
| 付図   | 柱穴状土坑配置図     |    |

## <写 真 図 版>

|        |                |     |
|--------|----------------|-----|
| 写真図版1  | 遺跡遠景・近景、基本層序   | 113 |
| 写真図版2  | RA01           | 114 |
| 写真図版3  | RA02           | 115 |
| 写真図版4  | RA03           | 116 |
| 写真図版5  | RA04           | 117 |
| 写真図版6  | RA05 (1)       | 118 |
| 写真図版7  | RA05 (2)       | 119 |
| 写真図版8  | RA06           | 120 |
| 写真図版9  | RA06・07        | 121 |
| 写真図版10 | RA08           | 122 |
| 写真図版11 | RE01~04        | 123 |
| 写真図版12 | RB02~04        | 124 |
| 写真図版13 | RB05           | 125 |
| 写真図版14 | RD05~07        | 126 |
| 写真図版15 | RD08~11        | 127 |
| 写真図版16 | RD12~18        | 128 |
| 写真図版17 | RD20~24        | 129 |
| 写真図版18 | RD25~27、29     | 130 |
| 写真図版19 | RD30~33        | 131 |
| 写真図版20 | RZ06、RD37、RZ01 | 132 |
| 写真図版21 | RZ01・02        | 133 |
| 写真図版22 | RZ03・04        | 134 |
| 写真図版23 | RZ05、RG09~11   | 135 |
| 写真図版24 | RG11~15        | 136 |
| 写真図版25 | RG16・17、柱穴状土坑  | 137 |
| 写真図版26 | 出土遺物 (1)       | 138 |
| 写真図版27 | 出土遺物 (2)       | 139 |
| 写真図版28 | 出土遺物 (3)       | 140 |
| 写真図版29 | 出土遺物 (4)       | 141 |
| 写真図版30 | 出土遺物 (5)       | 142 |
| 写真図版31 | 出土遺物 (6)       | 143 |
| 写真図版32 | 出土遺物 (7)       | 144 |
| 写真図版33 | 出土遺物 (8)       | 145 |
| 写真図版34 | 出土遺物 (9)       | 146 |
| 写真図版35 | 出土遺物 (10)      | 147 |
| 写真図版36 | 出土遺物 (11)      | 148 |
| 写真図版37 | 出土遺物 (12)      | 149 |
| 写真図版38 | 出土遺物 (13)      | 150 |
| 写真図版39 | 出土遺物 (14)      | 151 |
| 写真図版40 | 出土遺物 (15)      | 152 |
| 写真図版41 | 出土遺物 (16)      | 153 |
| 写真図版42 | 出土遺物 (17)      | 154 |
| 写真図版43 | 出土遺物 (18)      | 155 |
| 写真図版44 | 出土遺物 (19)      | 156 |
| 写真図版45 | 出土遺物 (20)      | 157 |
| 写真図版46 | 出土遺物 (21)      | 158 |
| 写真図版47 | 出土遺物 (22)      | 159 |
| 写真図版48 | 出土遺物 (23)      | 160 |



第1図 遺跡の位置

## I 調査に至る経過

盛岡南新都市開発整備事業は、盛岡市が来るべき21世紀に向けて、経済・文化などに対する核機能を兼ね備えた東北の拠点都市を目指して、現在の既成市街地の他に南部地区を新市街地として開発し、両者が機能的に結びついた軸状都心を形成するために策定された土地区画整理事業である。

この事業は、平成2年9月に岩手県、盛岡市、都南村（現盛岡市）の三者が、地域振興整備公団に対して事業要請を行い、これを受けた公団は実施計画を作成した。平成3年12月に建設大臣と国土庁長官から事業の実施認可が下り、平成3年度から平成17年度までの15年間を事業予定期間とし、面積313haを対象とした土地区画整理事業が実施されることになった。

この間、事業の対象地域に関する埋蔵文化財の取り扱いについても協議が重ねられた。その結果、盛岡市教育委員会が試掘調査を行い、本調査を必要とする範囲を確定し、本調査は（財）岩手県文化振興事業団の受託事業とすることになった。

当遺跡についても、岩手県教育委員会が盛岡市と協議の結果、平成12年度の事業とすることが確定したことを受け、平成12年4月3日に（財）岩手県文化振興事業団理事長と盛岡市長の間で委託契約を締結し、発掘調査を実施することとなり、当遺跡は平成12年7月17日に調査を開始し同年11月29日に終了した。

報告書作成に係る室内整理は平成12年度の冬期間に実施し、報告書は平成13年度に刊行することとした。

## II 遺跡の立地と環境

### 1. 位置と地形（第1・2・3図、写真図版1）

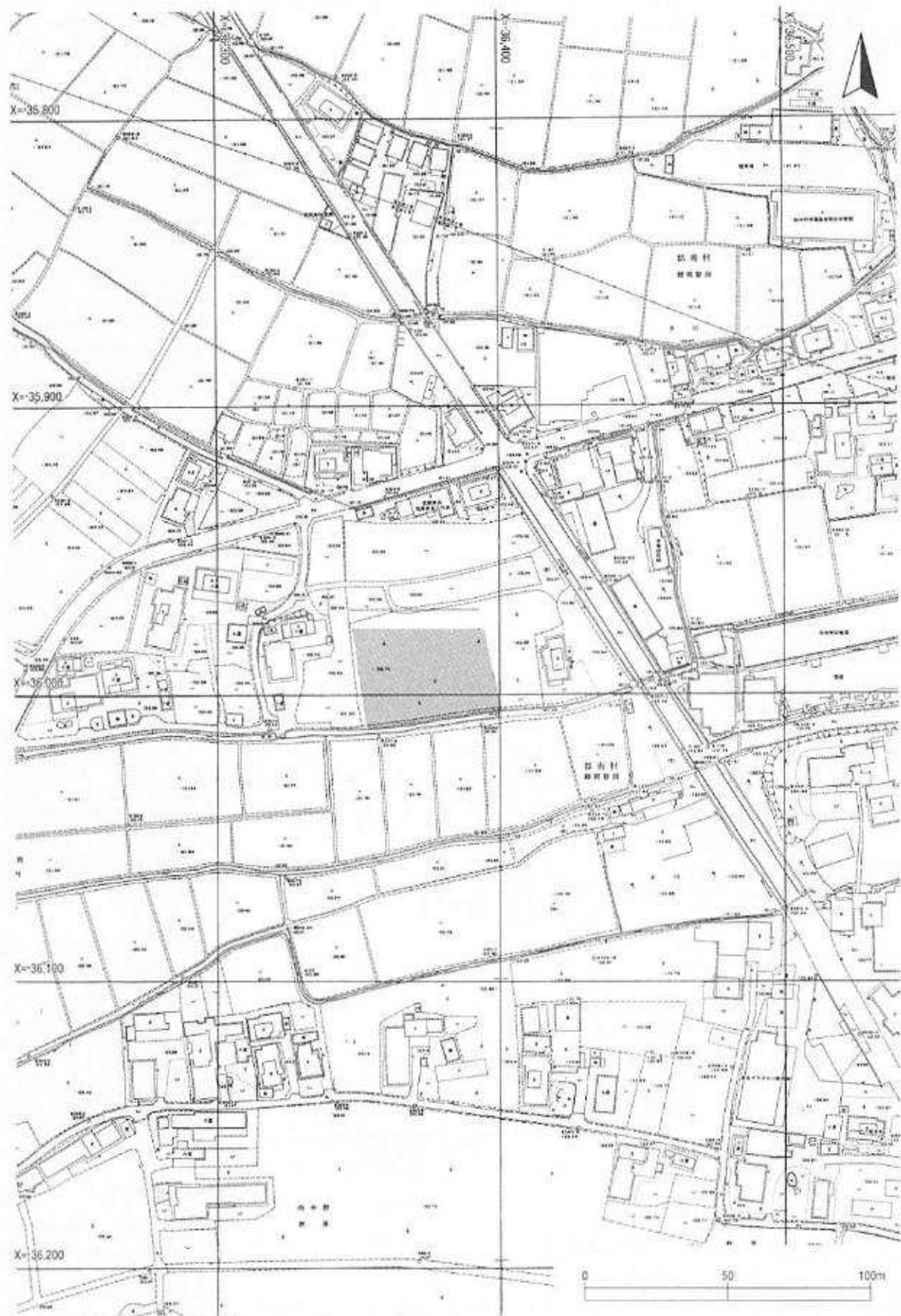
#### 〈地理的な環境〉

当遺跡の所在する盛岡市は、総面積489.15km<sup>2</sup>、人口283,000人、人口密度14.10人/km<sup>2</sup>の岩手県庁所在地であり、奥羽山脈からの半石川、北上山地からの中津川が合流し岩手県を南北に貫流する北上川中流域北端付近に位置する。北上川は市域の中央部を支流の半石川・中津川・築川等と合流しつつ南流し宮城県石巻市で太平洋に注ぐ。市域を形成する盛岡盆地は、北西の岩手山（2,038m）・北東の姫神山（1,124m）・南東の早池峰山（1,913m）といった山稜に囲まれている。

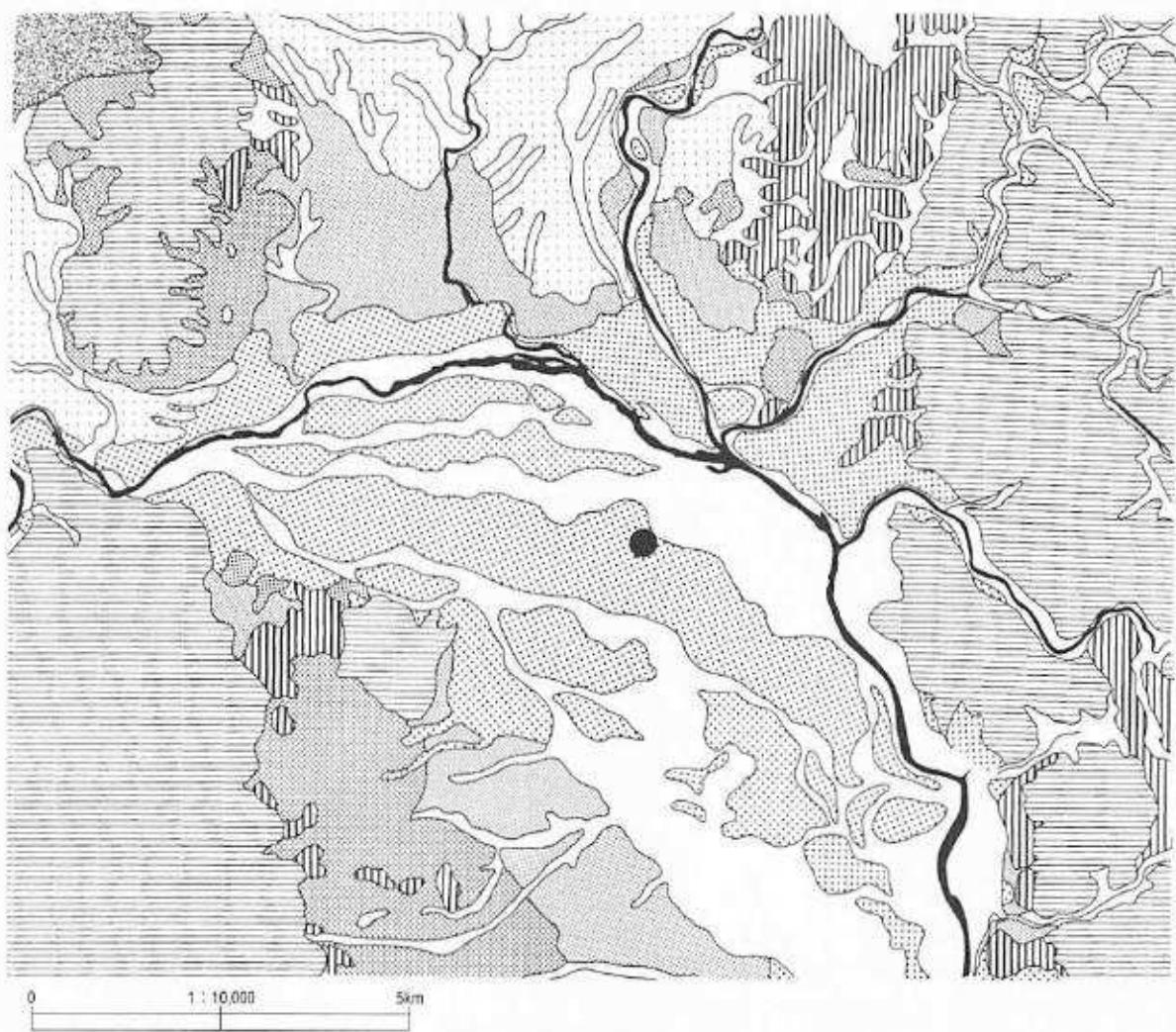
本遺跡は盛岡市飯岡新田2地割110-1ほかに所在し、国土地理院発行の1:50,000地形図「盛岡」NJ-54-13-14-2（盛岡14号-2）の図幅に含まれる北緯39°40'52"、東経141°08'00"付近、東日本旅客鉄道東北線仙北町駅の西南西約1.5kmの半石川右岸の微高地上に立地する。調査区は東西44~47m・南北30~34mの略台形状範囲で、調査面積は1,582m<sup>2</sup>である。標高は約122~123m、現況は畠地である。

#### 〈地形的な環境〉

半石川以南・北上川以西には、半石川の下刻・堆積作用により上位から順に「砂礫段丘Ⅰ」・「同Ⅱ」・「同Ⅲ」の沖積段丘面が形成されている。低位の「砂礫段丘Ⅲ面」には半石川の河道変遷に伴い大きく4期にわたる河道変遷が確認されており、古代においてもかかる河道の変化は頻繁であった。文献資料に依れば、志波城は半石川の水害が原因で徳丹城に移転したとされ、志波城の北辺部が半石川の旧河道によって削られ消失していることが発掘調査によって確認されている。さらに、小河川の河道痕跡が網目状に入り組み、小規模な自然堤防状の微高地を形成しており、当遺跡を含む古代遺跡の多くはこうした自然堤防状の微高地に立地する。一方、北上川以東では様相を異にし、古墳～平安時代の遺跡は少なく縄文時代の遺跡が卓越する。



第2図 調査範囲と周辺の地形



第3図 地形分類図

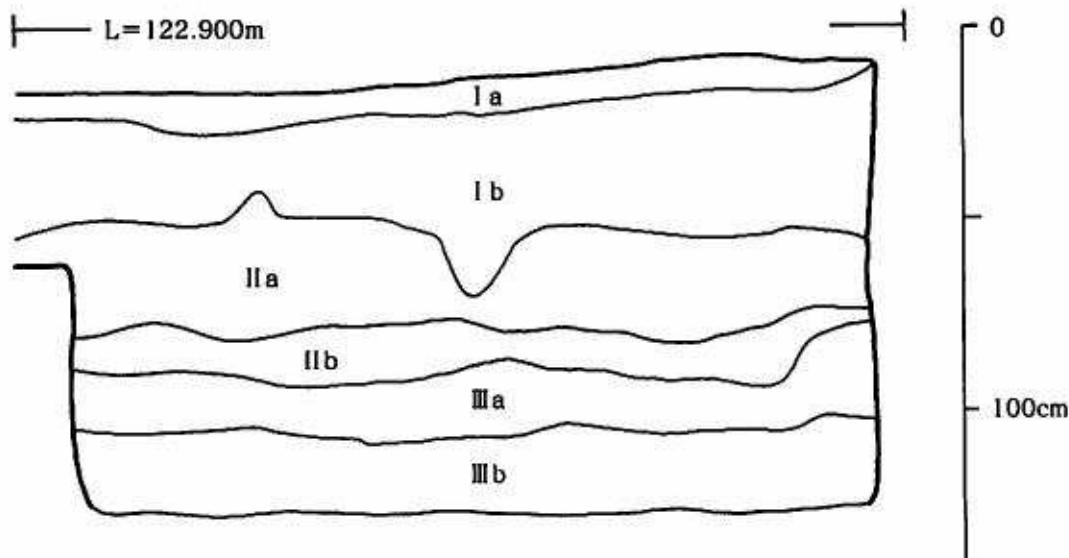
## 2. 地質と基本層序 (第4図、写真図版1)

本遺跡の立地する低位段丘（砂礫段丘Ⅲ）の堆積物は、零石川の堆積作用により構成されており、水成堆積の砂礫層を基盤としてその上位を同様に水成堆積によるシルト層が覆うことを基本とするが、今時調査区でも概ね同様の堆積状況を示すことが判明した。

調査開始当初に設定した試掘トレンチの土層観察をもとにして設定した当遺跡の基本層を以下のようであ

るが、調査に際しては、下記の層序区分によって遺構精査・遺物の取り上げを行った。

- |        |                      |  |
|--------|----------------------|--|
| I a層   | 10YR3/2 黒褐色シルト       | 粘性・締まりとも若干あり。現表土で畑耕作土。   |
| I b層   | 10YR2/2 黒褐色シルト       | 粘性弱く締まりあり。細礫混在、本層まで草根到達する。   |
| II a層  | 10YR2/1 黒色シルト        | 粘性・締まりとも若干あり。黒褐色土塊が約3%混入。  |
| II b層  | 10YR2/3 黒褐色シルト       | 若干粘性あり、締まりは弱い。   |
| III a層 | 10YR4/3 鈍い黄褐色砂質色シルト。 | 粘性・締まりとも弱い。ほとんどの遺構はこの上面で検出。  |
| III b層 | 10YR4/6褐色シルト。        | 粘性・締まりとも強い。IV層の段丘疊層の面が一様で無いため層厚が地点により大きく異なる。縄文時代と推測される遺構が剣士湯津される場合がある。 |
| IV 層   | 10YR4/6鈍い褐色の砂層～砂疊層。  | 段丘疊層であり、基盤層を構成する。この層で検出される遺構はまったく無い。                                   |



第4図 基本土層

前述のとおり調査区が東西南北ともほぼ同じ方形に近い範囲であることから、各地点とも堆積状況に大差が無く全体として大同小異ということが出来る。

調査区の南は1mほど低い水田面であることから元来沢もしくは小川跡と推測され、当遺跡の土層堆積には平石川のみではなくこの小川の影響によることも推測される。また、集落の近郊であり削平・擾乱の痕跡も多く観察されることは、現表土が浅いことの要因であろうことも留意する必要がある。

当遺跡で検出された遺構のほとんどはIII層であるが、縄文時代の陥し穴状遺構はIV層で検出されたことから、古代までの遺構はIII層、それより古い遺構はIV層での検出となろうか。

### 3. 周辺の遺跡 (第5図)

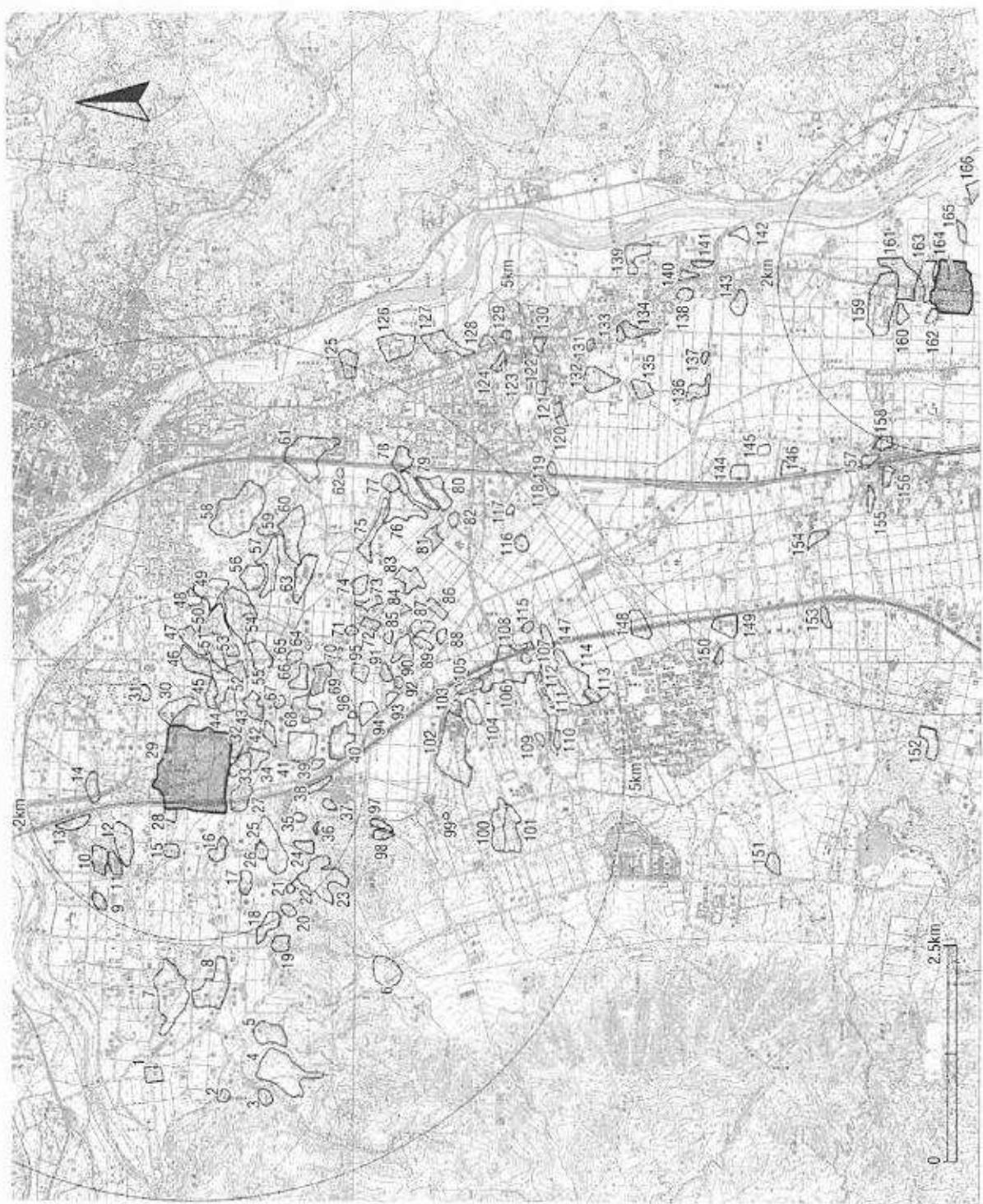
平成12年度の遺跡登録台帳によると、盛岡市内に約500箇所、南隣の矢巾町には約150箇所の遺跡が登載されているが、本項ではそれの中から北上川以西、半石以南に所在し、当遺跡の主体的な時期である古代に属し、かつ発掘調査された遺跡に限定して概観することとする。図示したのは、盛岡市南西部の太田・飯岡（北半部）・羽場地区及び飯岡（南半部）地区～矢巾町徳田付近までの166遺跡である。前者は志波城、後者は徳丹城という城柵官衙遺跡が所在する地域である。

既述のとおり、半石以南、北上川以西の氾濫平野には自然堤防上や微高地上に古墳時代～古代の遺跡が数多く立地するものの、弥生時代や縄文時代の遺跡は疎らである。図示した二つの同心円はそれぞれ志波城と徳丹城からの直線距離を示す。志波城（22）は延暦22年（803年）頃、志波城から替わった徳丹城（164）は弘仁4年（813年）頃に創建された平安時代初～前期の官衙跡であるが、両城と取り巻く同時代の遺跡群との間には強い有機的な関連を推測させるが、現在の遺跡分布状況からはそれを完全に読み取ることは出来ない。

まず志波城を中心とする盛岡市南西部～太田・飯岡（北半部）・羽場地区について見る。当該範囲で、志波城に先行する古墳～奈良時代の遺跡は、集落跡として台太郎（58）、八卦（14）、西鹿渡（126）、本宮熊堂B（49）、野古A（54）、飯岡才川（57）、飯岡沢田（56）、等、墳墓としては太田蝦夷森古墳群（7）、高館古墳（36）、飯岡才川（57）、飯岡沢田（56）などが上げられるが、全体としては疎らな分布を示す。平安時代では遺跡数が急増し、志波城2km圏内では志波城造営前後の遺跡群～集落跡の松ノ木（10）、太田館（11）、竹花前（27）、林崎（30）、小幡（46）、鬼柳A（51）等が分布している。一方5km圏内では台太郎、本宮熊堂B、飯岡才川（57）、飯岡沢田（56）、向中野館（59）、細谷地（60）、南仙北（61）、飯岡林崎（94）などの集落が分布している。ここでは紙幅の関係で個々の詳細を羅列しないが、松の木、太田館、台太郎、細谷地遺跡等で住居跡が高密度で検出される一方、飯岡林崎II遺跡では円面鏡が出土しており、官衙との関連が窺われる。また、該期の葬制に関わると推測される周溝状遺構（円形・方形）は、台太郎、小幡、飯岡才川、飯岡沢田、湯沢B【現在は下湯沢（108）に統合】で検出されている。

一方、盛岡市の飯岡地区（南半部）から矢巾町徳田地区の範囲では、低位段丘である「都南段丘」上に、徳丹城をはじめとする古代の遺跡群が占地している。奈良時代では、集落跡である百目木（127）、60基以上の終末期古墳を検出した墳墓群の藤沢狄森古墳群（159）等が上げられる。平安時代の遺跡は多数存在しており、図幅では百目木、館畠（163）、宮田（149）、一本松（147）、下赤林（144）等、平安時代中～後半期～徳丹城造営以降の遺跡群がある。館畠は徳丹城東方に隣接する遺跡であり、平成10年度の調査では竪穴住居跡から「別将」と墨書きされた須恵器壙が出土しているし、徳丹城の平成12年度の調査では、範囲外ながら徳丹城と北上川とを連結する運河「津」と推測される溝が発見されている。

本遺跡は志波城の東約2kmに位置しており、周辺には、東：向中野館、西：矢盛（63）、南：細谷地、北：飯岡沢田等、四方を奈良～平安時代の墳墓群や集落跡に取り囲まれた中に所在し、特に現時点では未調査であるが、当遺跡の北端部には大規模な墳墓群と集落跡の存在が試掘調査で明らかにされており、今後当地区の遺跡が発掘調査されることにより、当地域のみならず紫波郡～岩手郡における古代の様相が明確になっていくものと推測される。



第5図 周辺の遺跡位置

第1表 周辺の遺跡一覧

| NO. | 遺跡名      | 所在地 | 時代    | 遺構・城主など                                     | 備考・文献番号 |
|-----|----------|-----|-------|---|---------|
| 1   | 三枚橋      | 盛岡市 | 古代    | 土師器、瓦片                                      |         |
| 2   | 田面野木     | 盛岡市 | 縄文・古代 | 縄文土器、土師器                                    |         |
| 3   | 上猪去      | 盛岡市 | 縄文～中世 | 竪穴住居跡、土坑、掘立柱建物、縄文土器、陶片、瓦片(浮遊)、上部包、骨の堆积物(中世) |         |
| 4   | 上平       | 盛岡市 | 縄文・古代 | 竪穴住居跡、土坑、縄文土器、縄文土器、瓦片、骨の堆积物(中世)             |         |
| 5   | 猪去館      | 盛岡市 | 縄文～中世 | 竪穴住居跡、土坑、縄文土器、縄文土器、瓦片、骨の堆积物(中世)             |         |
| 6   | 大ヶ森      | 盛岡市 | 縄文・古代 | 縄文土器、土師器                                    |         |
| 7   | 太田鎌夷森古墳群 | 盛岡市 | 奈良    | 縄文土器、土師器、玉、刀、和同開珎                           |         |
| 8   | 一本木      | 盛岡市 | 平安    | 竪穴住居跡、土師器                                   |         |
| 9   | 細田       | 盛岡市 | 平安    | 土師器   |         |
| 10  | 松ノ木      | 盛岡市 | 平安    | 竪穴住居跡、土坑、土師器                                |         |
| 11  | 館(太田館)   | 盛岡市 | 平安    | 竪穴住居跡、土坑、土師器、横、壠、土塁                         |         |
| 12  | 上野屋敷     | 盛岡市 | 古代    | 土師器   |         |
| 13  | 八ツ口      | 盛岡市 | 古代    | 土師器   |         |
| 14  | 八卦       | 盛岡市 | 奈良・平安 | 竪穴住居跡、土坑、土師器                                |         |
| 15  | 烟中       | 盛岡市 | 古代    | 土師器   |         |
| 16  | 五兵衛新田    | 盛岡市 | 古代    | 土師器   |         |
| 17  | 天沼       | 盛岡市 | 古代    | 土師器   |         |
| 18  | 蟹沢下      | 盛岡市 | 古代    | 土師器   |         |
| 19  | 二ツ沢      | 盛岡市 | 縄文・古代 | 縄文土器、土師器                                    |         |
| 20  | 蟹沢       | 盛岡市 | 縄文・古代 | 縄文土器、土師器                                    |         |
| 21  | ヘビ堂      | 盛岡市 | 縄文・古代 | 縄文土器、土師器                                    |         |
| 22  | 山中       | 盛岡市 | 縄文・古代 | 縄文土器、土師器                                    |         |
| 23  | オミ坂      | 盛岡市 | 縄文・古代 | 縄文土器、土師器                                    |         |
| 24  | 月見山      | 盛岡市 | 縄文・古代 | 縄文土器、土師器                                    |         |
| 25  | 中村       | 盛岡市 | 平安    | 土師器・須恵器                                     |         |
| 26  | 竹鼻       | 盛岡市 | 古代    | 土師器   |         |
| 27  | 竹花前      | 盛岡市 | 平安    | 竪穴住居跡、焼土、土師器、縄釉陶器、掘立柱建物                     |         |
| 28  | 小沼       | 盛岡市 | 平安    | 竪穴住居跡、土師器、縄釉陶器                              |         |
| 29  | 志波城(志和城) | 盛岡市 | 平安    | 自然石・岩立柱建物、円筒、砾地、堀跡、大溝、竪穴住居跡、土封土、瓦器、瓦器、瓦器    | 国指定史跡   |
| 30  | 林崎       | 盛岡市 | 平安    | 竪穴住居跡、掘立柱建物、土師器、須恵器                         |         |
| 31  | 田中       | 盛岡市 | 平安    | 土師器   |         |
| 32  | 新堀端      | 盛岡市 | 縄文・平安 | 縄文土器、土師器、竪穴住居跡、土坑、大溝                        | 志波城指定地外 |
| 33  | 田貝       | 盛岡市 | 古代    | 竪穴住居跡、土師器                                   |         |
| 34  | 石仏       | 盛岡市 | 古代    | 土師器   |         |
| 35  | 堤        | 盛岡市 | 縄文・古代 | 縄文土器、土師器                                    |         |
| 36  | 高館古墳     | 盛岡市 | 奈良～平安 | 土師器、碳手刀、切子玉                                 | 盛岡市指定史跡 |
| 37  | 大柳II     | 盛岡市 | 古代？   | 土師器？  |         |
| 38  | 大柳I      | 盛岡市 | 古代    | 土師器・須恵器                                     |         |
| 39  | 藤島II     | 盛岡市 | 平安    | 土師器   |         |
| 40  | 藤島I      | 盛岡市 | 縄文・古代 | 縄文土器、土師器、須恵器                                |         |
| 41  | 辻屋敷      | 盛岡市 | 古代    | 土師器   |         |
| 42  | 上越場      | 盛岡市 | 古代    | 土師器   |         |
| 43  | 水門       | 盛岡市 | 古代    | 土師器   |         |
| 44  | 大宮       | 盛岡市 | 古代・中世 | 竪穴住居跡、土師器                                   |         |
| 45  | 大宮北      | 盛岡市 | 古代    | 溝跡、土師器                                      |         |
| 46  | 小堀       | 盛岡市 | 平安    | 竪穴住居跡、掘立柱建物、土坑、土師器、須恵器                      |         |
| 47  | 宮沢       | 盛岡市 | 古代    | 溝跡、土師器                                      |         |
| 48  | 本宮熊堂A    | 盛岡市 | 縄文・古代 | 縄文土器、竪穴住居跡、踏し穴、土師器、溝                        |         |
| 49  | 本宮熊堂B    | 盛岡市 | 縄文・古代 | 縄文土器、踏し穴、竪穴住居跡、掘立柱建物、土坑、溝跡、土師器              |         |
| 50  | 福荷       | 盛岡市 | 古代    | 溝跡、土師器                                      |         |
| 51  | 鬼柳A      | 盛岡市 | 平安    | 竪穴住居跡、溝跡、土師器                                |         |
| 52  | 鬼柳B      | 盛岡市 | 古代    | 土師器   |         |
| 53  | 鬼柳C      | 盛岡市 | 古代    | 土師器   |         |
| 54  | 野古A      | 盛岡市 | 平安    | 竪穴住居跡、土師器                                   |         |
| 55  | 野古B      | 盛岡市 | 古代    | 土師器   |         |
| 56  | 飯岡沢田     | 盛岡市 | 古代    | 竪穴住居跡、古墳、周溝、土師器                             |         |
| 57  | 飯岡才川     | 盛岡市 | 平安    | 竪穴住居跡、掘立柱建物、土坑、溝跡、土師器、須恵器                   |         |
| 58  | 台太郎      | 盛岡市 | 奈良～近世 | 竪穴住居跡、掘立柱建物、土坑、溝跡、土師器、須恵器、上坡墓、町道            |         |
| 59  | 向中野館     | 盛岡市 | 平安・中世 | 竪穴住居跡、土師器、埴跡、土塁                             |         |
| 60  | 細谷地      | 盛岡市 | 平安    | 竪穴住居跡、掘立柱建物、土坑、溝跡、土師器、須恵器                   |         |
| 61  | 南仙北      | 盛岡市 | 縄文・平安 | 竪穴住居跡、土坑、土師器、縄文土器                           |         |

|           |           |     |         |                                 |                 |
|-----------|-----------|-----|---------|---------------------------------|-----------------|
| 62        | 向中野瀬      | 所在地 | 古代      | 土師器                             |                 |
| 63        | 矢盛        | 盛岡市 | 古代      | 土師器                             |                 |
| 64        | 前田        | 盛岡市 | 古代      | 土師器                             |                 |
| 65        | 西田B       | 盛岡市 | 古代      | 土師器、須恵器                         |                 |
| 66        | 西田A       | 盛岡市 | 古代      | 土師器                             |                 |
| 67        | 上越場B      | 盛岡市 | 古代      | 土師器                             |                 |
| 68        | 二又        | 盛岡市 | 平安      | 土師器、須恵器                         | (二又I・IIを統合)     |
| 69        | 内村        | 盛岡市 | 平安      | 土師器                             |                 |
| 70        | 中屋敷       | 盛岡市 | 縄文・古代   | 土師器                             | 「三竹」を改称         |
| 71        | 高屋敷I      | 盛岡市 | 古代      | 須恵器                             |                 |
| 72        | 高屋敷II     | 盛岡市 | 古代      | 土師器、須恵器                         |                 |
| 73        | 下久根       | 盛岡市 | 古代      | 縄文土器、土師器、須恵器                    |                 |
| 74        | 石持        | 盛岡市 | 古代      | 土師器、須恵器                         |                 |
| 75        | 夕見        | 盛岡市 | 古代      | 土師器                             | 「烟中」改称          |
| 76        | 横屋        | 盛岡市 | 古代      | 土師器、須恵器                         |                 |
| 77        | 生畔        | 盛岡市 | 古代      | 土師器                             |                 |
| 78        | 津志田       | 盛岡市 | 古代      | 滑跡、土師器                          |                 |
| 79        | 陣当        | 盛岡市 | 古代      |                                 | 「津志田横屋」改称       |
| 80        | 長沼        | 盛岡市 | 古代      |                                 |                 |
| 81        | 葛本        | 盛岡市 | 古代      | 土師器、磨製石斧                        |                 |
| 82        | 境田        | 盛岡市 | 古代      | 土師器                             |                 |
| 83        | 松島        | 盛岡市 | 古代      | 土師器、須恵器                         |                 |
| 84        | 下久根II     | 盛岡市 | 古代      | 縄文土器                            |                 |
| 85        | 西         | 盛岡市 | 平安      | 竪穴住居跡、土師器                       |                 |
| 86        | 田中        | 盛岡市 | 平安      | 土師器、須恵器、打製石器、石斧                 |                 |
| 87        | 熊堂II      | 盛岡市 | 平安      | 竪穴住居跡、土師器、須恵器                   | 「南谷地I」改称        |
| 88        | 南谷地       | 盛岡市 | 平安      | 竪穴住居跡、土師器、須恵器                   | 「南谷地II」改称       |
| 89        | 熊堂III     | 盛岡市 | 平安      | 竪穴住居跡、土師器、須恵器                   |                 |
| 90        | 熊堂I       | 盛岡市 | 縄文・古代   | 縄文土器、石器、土師器、竪穴住居跡               | 「西田」・「熊堂」を統合    |
| 91        | 深淵II      | 盛岡市 | 平安      | 竪穴住居跡                           | 地点変更            |
| 92        | 上新田       | 盛岡市 | 平安      | 竪穴住居跡、土師器                       | 「上新田II」改称       |
| 93        | 飯岡林崎I     | 盛岡市 | 平安      | 土師器                             |                 |
| 94        | 飯岡林崎II    | 盛岡市 | 古代      | 竪穴住居跡、土師器、須恵器、硯                 | 「林崎」改称          |
| 95        | 深淵I       | 盛岡市 | 平安      | 竪穴住居跡                           |                 |
| LE26-0102 |           | 盛岡市 | 古代      | 土師器                             | 詳細位置不明          |
| 96        | LE26-0073 | 盛岡市 | 平安      | 土師器、須恵器                         |                 |
| 97        | 赤坂II      | 盛岡市 | 平安?     | 土師器                             | 「赤坂」に改称         |
| 98        | 飯岡赤坂      | 盛岡市 | 古代      |                                 | 「赤坂II」と同一?      |
| 99        | 砂子塚       | 盛岡市 | 古代      | 小塚                              |                 |
| 100       | 木節        | 盛岡市 | 平安      |                                 |                 |
| 101       | 福千代       | 盛岡市 | 奈良      |                                 |                 |
| 102       | 因幡        | 盛岡市 | 縄文・古代   | 縄文土器、土師器、須恵器                    | 「因幡I・II・III」を統合 |
| 103       | 新井田I      | 盛岡市 | 古代      | 土師器、須恵器                         |                 |
| 104       | 新井田II     | 盛岡市 | 古代      | 土師器、須恵器                         |                 |
| 105       | 新田        | 盛岡市 | 平安      | 土師器、須恵器                         |                 |
| 106       | 下羽場       | 盛岡市 | 平安      | 竪穴住居跡、土坑、溝、壇上(窓跡?)、土師器、須恵器、綠釉陶器 | 文献、「福荷」を統合      |
| 107       | 間渡        | 盛岡市 | 代       | 土師器                             |                 |
| 108       | 下湯沢       | 盛岡市 | 平安(・縄文) | 竪穴住居跡、土坑、円形周溝、方形周溝、土師器、須恵器      | 「湯沢ABC」統合       |
| 109       | 小田I       | 盛岡市 | 古代      | 土師器                             | 「小田III」改称       |
| 110       | 小田II      | 盛岡市 | 平安      | 土師器                             | 「小田I・II」統合      |
| 111       | 森子        | 盛岡市 | 古代      | 土師器                             |                 |
| 112       | 間渡II      | 盛岡市 | 古代      | 土師器、須恵器                         |                 |
|           | 間渡III     | 盛岡市 | 古代      | 土師器、須恵器                         | 位置不明            |
| 113       | 猪沢        | 盛岡市 | 古代      | 土師器                             |                 |
| 114       | 湯沢大館      | 盛岡市 | 古代・中世   | 土師器、須恵器、空堀                      | 「大館」・「館」改称統合    |
| 115       | 大鳥        | 盛岡市 | 古代      | 竪穴住居跡、土坑、土師器、須恵器                |                 |
| 116       | 間木        | 盛岡市 | 古代      | 土師器                             |                 |
| 117       | 永井前田      | 盛岡市 | 古代      | 土師器、須恵器                         |                 |
| 118       | 神田        | 盛岡市 | 古代      | 土師器、須恵器                         |                 |
| 119       | 下永井       | 盛岡市 | 古代      | 陥し穴、土坑、土師器、須恵器                  |                 |
| 120       | 菖蒲田       | 盛岡市 | 古代      | 土師器、須恵器                         |                 |
| 121       | 荒屋        | 盛岡市 | 古代      | 土師器、須恵器                         |                 |
| 122       | 高橋A       |     | 古代      | 土師器、須恵器                         |                 |
| 123       | 大道西       |     | 奈良      | 古墳、薙手刀                          | 消滅?             |

|     |        |     |        |  |       |
|-----|--------|-----|--------|--|-------|
| 124 | 下水井    | 盛岡市 | 縄文・古代  | 縄文土器、                                  |       |
| 125 | 碇烟     | 盛岡市 | 奈良     | 土師器、                                   |       |
| 126 | 西鹿渡    | 盛岡市 | 古代     | 竪穴住居跡(奈良・平安)、溝跡、土師器、須恵器                |       |
| 127 | 百目木    | 盛岡市 | 縄文・古代  | 縄文土器、竪穴住居跡(奈良・平安)、溝跡、土坑、土師器、須恵器、上質品、鉄器 |       |
| 128 | 中島     | 盛岡市 | 古代     | 須恵器                                    |       |
| 129 | 三本柳韁   | 盛岡市 | 縄文・古代  | 縄文土器、土師器                               | 「韁」改称 |
| 130 | 高槻B    | 盛岡市 | 古代     | 土師器                                    |       |
| 131 | 和野     | 盛岡市 | 古代     |  |       |
| 132 | 三百刈田   | 盛岡市 | 古代・中世  | 土師器                                    |       |
| 133 | 見前中島   | 盛岡市 | 古代     | 土師器                                    |       |
| 134 | 見前久保屋敷 | 盛岡市 | 縄文・中世  | 縄文、打製石斧、建物跡(中世後半)、溝跡、土坑、柱穴群、陶器器、古瓦     |       |
| 135 | 見前館    | 盛岡市 | 古代     | 土師器、仏像                                 |       |
| 136 | 下谷地    | 盛岡市 | 古代     | 土師器                                    |       |
| 137 | 下谷地前   | 盛岡市 | 縄文・古代  | 縄文土器、土師器、須恵器                           |       |
| 138 | 上畠     | 盛岡市 | 古代     | 土師器、須恵器                                |       |
| 139 | 大桜前    | 盛岡市 | 古代     | 土師器                                    |       |
| 140 | 石名坂    | 盛岡市 | 古代     | 土師器、須恵器                                |       |
| 141 | 見前     | 盛岡市 | 古代     | 土師器                                    |       |
| 142 | 高田韁    | 矢巾町 | 古代     | 土師器、須恵器                                |       |
| 143 | 高田     | 矢巾町 | 古代     | 土師器、須恵器                                |       |
| 144 | 下赤林II  | 矢巾町 | 平安     | 土坑、土師器、須恵器(10世紀代?)                     |       |
| 145 | 下赤林I   | 矢巾町 | 平安     | 竪穴住居跡(10c中~後半)、土師器、須恵器                 | 位置不明  |
| 146 | 茨垣     | 矢巾町 | 縄文・古代  | 土師器、須恵器、縄文土器、弥生土器                      |       |
| 147 | 高畠     | 矢巾町 | 縄文・平安  | 土師器、須恵器、縄文土器                           |       |
| 148 | 一本松    | 矢巾町 | 平安     | 竪穴住居(平安中~)、掘立柱建物、焼土、土師器                |       |
| 149 | 大渡野    | 矢巾町 | 縄文・平安? | 縄文土器(早)、石斧、須恵器(周辺に窓跡?)                 |       |
| 150 | 宮田     | 矢巾町 | 縄文・平安  | 竪穴住居跡(10c~11c初)、土師器、縄文土器、石器            |       |
| 151 | 天戸     | 矢巾町 | 平安     | 土師器型、須恵器                               |       |
| 152 | 石切茶屋西方 | 矢巾町 | 古代     | 須恵器、石棒                                 |       |
| 153 | 煙山I    | 矢巾町 | 古代     | 土師器                                    |       |
| 154 | 上矢次I   | 矢巾町 | 古代     | 土師器、須恵器                                |       |
| 155 | 下海老沼   | 矢巾町 | 縄文・古代  | 縄文土器、石器、土師器、須恵器                        |       |
| 156 | 明堂     | 矢巾町 | 縄文・古代  | 縄文土器、土師器                               |       |
| 157 | 又兵衛新田  | 矢巾町 | 平安     | 土師器、須恵器                                |       |
| 158 | 南矢巾    | 矢巾町 | 古代     | 土師器                                    |       |
| 159 | 狄森古墳   | 矢巾町 | 古代     | 古墳、土師器、須恵器、鐵鑿、切子玉、刀                    |       |
| 160 | 田郷     | 矢巾町 | 古代     | 土師器、須恵器、磁石、焼石                          |       |
| 161 | 白山堂    | 矢巾町 | 古代     | 土師器、須恵器                                |       |
| 162 | 西前     | 矢巾町 | 古代     | 土師器、須恵器                                |       |
| 163 | 館畠     | 矢巾町 | 古代     | 土師器、須恵器                                |       |
| 164 | 鶴丹城    | 矢巾町 | 平安     | 官衙跡／掘立柱建物、土師器、須恵器                      |       |
| 165 | 川村     | 矢巾町 | 古代     |  |       |
| 166 | 下通     | 矢巾町 | 縄文・古代  | 縄文土器、土師器                               |       |

## 参考文献

※ 以下では次のとおり略記する。

(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、(財) 岩手県埋蔵文化財センター → 「岩手埋文」

(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 → 岩文振埋文調報、教育委員会 → 教委

1. 岩手埋文 1994 「矢盛遺跡第1次発掘調査報告書」岩文振埋文調報第205集
2. 岩手埋文 1995 「本宮熊堂B遺跡第1次発掘調査報告書」岩文振埋文調報第226集
3. 岩手埋文 1996 「小畠遺跡第2次発掘調査報告書」岩文振埋文調報第244集
4. 岩手埋文 1997 「小畠遺跡第4次発掘調査報告書」岩文振埋文調報第265集
5. 岩手埋文 1998 「小畠遺跡第5次・第7次発掘調査報告書」岩文振埋文調報第267集
6. 岩手埋文 1998 「大宮北遺跡・本宮熊堂A遺跡発掘調査報告書」岩文振埋文調報第291集
7. 岩手埋文 1998 「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成9年度)」岩文振埋文調報第282集
8. 岩手埋文 1999 「本宮熊堂B遺跡第4次・鬼柳A遺跡第4次発掘調査報告書」岩文振埋文調報第308集
9. 岩手埋文 1999 「熊堂B遺跡第5次・台太郎遺跡第16次発掘調査報告書」岩文振埋文調報第293集
10. 岩手埋文 1999 「台太郎遺跡第15次発掘調査報告書」岩文振埋文調報第309集
11. 岩手埋文 1999 「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成10年度)」岩文振埋文調報第311集
12. 岩手埋文 2000 「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(平成11年度)」岩文振埋文調報第340集
13. 岩手埋文 2000 「向中野館跡第3次・小畠遺跡第10次発掘調査報告書」岩文振埋文調報第338集
14. 岩手埋文 2000 「向中野館跡第4次・小畠遺跡第11次・台太郎遺跡第19次発掘調査報告書」岩文振埋文調報第321集
15. 岩手県教委 1970 「上太田城夷森古墳二報」
16. 岩手県教委 1979a 「東北縱貫自動車道関係文化財調査報告書一」岩手県文化財調査報告書第31集
17. 岩手県教委 1979b 「東北縱貫自動車道関係文化財調査報告書二」岩手県文化財調査報告書第32集
18. 岩手県教委 1979c 「東北新幹線関係文化財調査報告書三」岩手県文化財調査報告書第35集
19. 岩手県教委 1982 「東北縱貫自動車道関係文化財調査報告書一X」太田方八丁遺跡(志波城跡) 岩手県文化財調査報告書第68集
20. 都南村教委 1979 「岩手県紫波郡都南村 百目日本遺跡-発掘調査報告書一」(岩手県)
21. 都南村教委 1981 「西鹿渡遺跡発掘調査報告書」(岩手県)
22. 矢巾町教委 1986 「鶴川遺跡群詳細分布調査報告書-藤沢秋沢古墳群の発掘調査-」矢巾町文化財調査報告書第8集(岩手県)
23. 矢巾町教委 1999 「藤沢秋沢古墳群-アパート建設に伴う緊急発掘調査」矢巾町文化財調査報告書第23集(岩手県)
24. 盛岡市教委 1969 「盛岡市上太田城夷森古墳」(岩手県)
25. 盛岡市教委 1981 「志波城跡I 太田方八丁遺跡範囲確認調査報告」(岩手県)
26. 盛岡市教委 1995 「志波城跡 平成元年度発掘調査概報」(岩手県)
27. 盛岡市教委 1992 「館・松ノ木遺跡-古代の遺構編-」(岩手県)
28. 盛岡市教委 1995 「上平遺跡群(猪去館・上平日遺跡) 平成4・5年度発掘調査概報」(岩手県)

## III 野外調査と整理の方法

### 1. 野外調査

#### (1) 調査区の設定と遺構の呼称

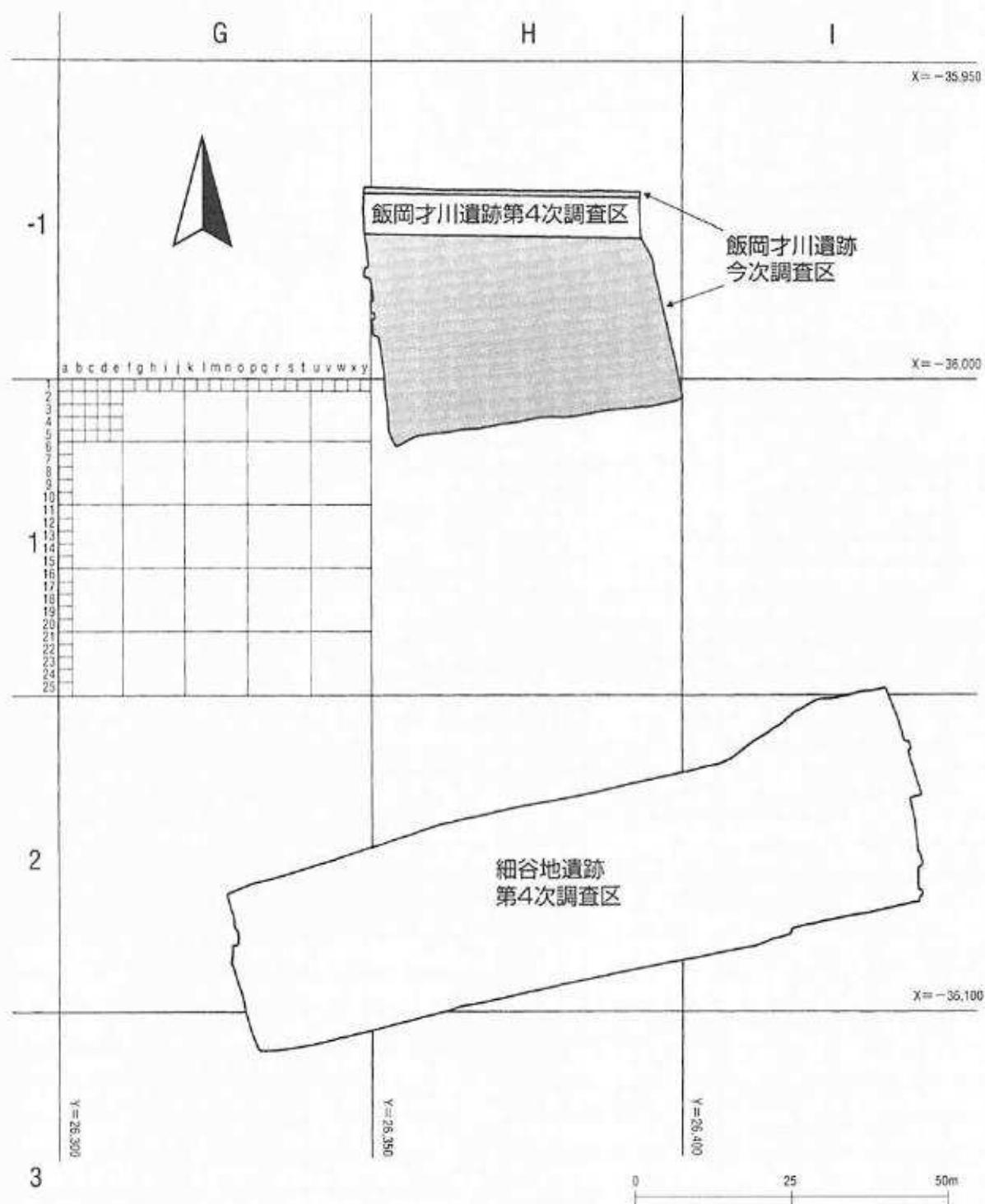
##### 【調査区の設定】

調査区の設定は以下のとおりである(第6図)。

当遺跡の地形は、平坦な畑地で少面積で見通し可能のため、平面直角座標系第X系に基づいて調査座標を設定した。前述のとおり、今次調査区の南側には低位田面を挟んで細谷地遺跡が所在しており、便宜上、隣接する細谷地遺跡第3次調査と共通のグリッド(方眼)を設定することとした。具体には、平面直角座標系第X系のX=-36,000.000、Y=26,000.000を調査座標原点として50m×50mの大グリッドを設定し、北西隅を基点として東西方向にはアルファベットを東から順に、南北方向では南方向へ増加するように数字を付した。大グリッドの表示は両者を組合せて1A、5E、20H、25Y等と呼称する。今次調査区は概ね「-1H」および「1H」の大グリッド範囲内に収まっている。さらに大グリッドを東西・南北ともに25分割して2m×2mの小グリッド(625区画)に区割りした。小グリッドについても北西隅を基点に、東方向

にはa～yのアルファベット、南方向には1～25の数字を付した。小グリッドの呼称は、大グリッド名を付して1 H 25 y、-1 H 1 a等と表示した。なお、調査区内に設置した基準点の座標値及び水準値は下記のとおりである。

|       |                |                |              |
|-------|----------------|----------------|--------------|
| 基準点 1 | X = 36,000.000 | Y = 26,350.000 | H = 122.773m |
| 基準点 2 | X = 36,000.000 | Y = 26,390.000 | H = 122.516m |



第6図 グリッド配置図

## (2) 粗掘りと遺構検出

調査開始時の地目が畠地のため雑物も無かったことから、地表面を簡単に清掃した後、試掘溝を設定し土の堆積状況、遺構の検出層位を確認する作業を進めた。その結果、地山面まで約30cm～50cmの深さがあり、表土の薄い場所では耕作による擾乱が地山まで到達するが、さほど深い擾乱はないことが判明した。

試掘の結果に基づいて表土除去には重機を使用した。表土除去後は人手で清掃し遺構検出を行ったが、竪穴住居跡等の遺構を比較的容易に検出することが出来た。

## (3) 精査と実測

精査は、竪穴建物跡は4分法、他の土坑・陥没穴状遺構・柱穴状ピット・焼土は2分法で埋土の除去をし、規模によって4分法と2分法を適宜使い分けた。

平面図は、グリッド軸に一致させた水糸を1mメッシュで地面に直接張る簡易遺り方によって作成した。

断面図は上面に水平水糸を張って基線を設定して作成した。なお、レベルの数値は原則として整数cmで統一し、必要に応じて計測箇所を設けた。

縮尺は平面図・断面図とも20分の1としたが、必要に応じて10分の1も使用し適宜使い分けた。

基本層序の名称はローマ数字で上位からⅠ・Ⅱ層、遺構埋土は算用数字で上位から1・2層とし、さらに細分される場合はアルファベットの小文字を付した。

## (4) 写真撮影

野外調査での写真撮影は、35mm版カメラ2台と6×7版1台、ポラロイド1台の4台をセットとして使用し、35mm版はモノクロとカラーリバーサに使い分け、6×7cm版の1台はモノクロ専用とし、ポラロイドは必要に応じ適宜撮影し、メモを写真に直接書き込むなどで使用した。

また、調査終了後の遺構配置や遺跡の地理的環境を把握するため、専門業者に委託して空中撮影を行った。

室内整理では、報告書掲載遺物の写真撮影は当センターの専任職員が撮影し、現像・焼き付けは外部に委託した。また、遺構写真の引き延ばしは外部に委託した。

## 2. 室内整理

### (1) 遺物の整理

水洗記名の後、土師器と須恵器は接合・復元作業を行い、終了後は実測図を作成した。また、接合不能の破片は、報告書に掲載を要する個体を選択し、実測個体と合わせて台帳登録をし拓本図を作成した。鉄製品など他の遺物も報告書に掲載する個体を選択して台帳登録して実測図を作成した。

また、報告書に掲載した遺物はすべて写真撮影をした。

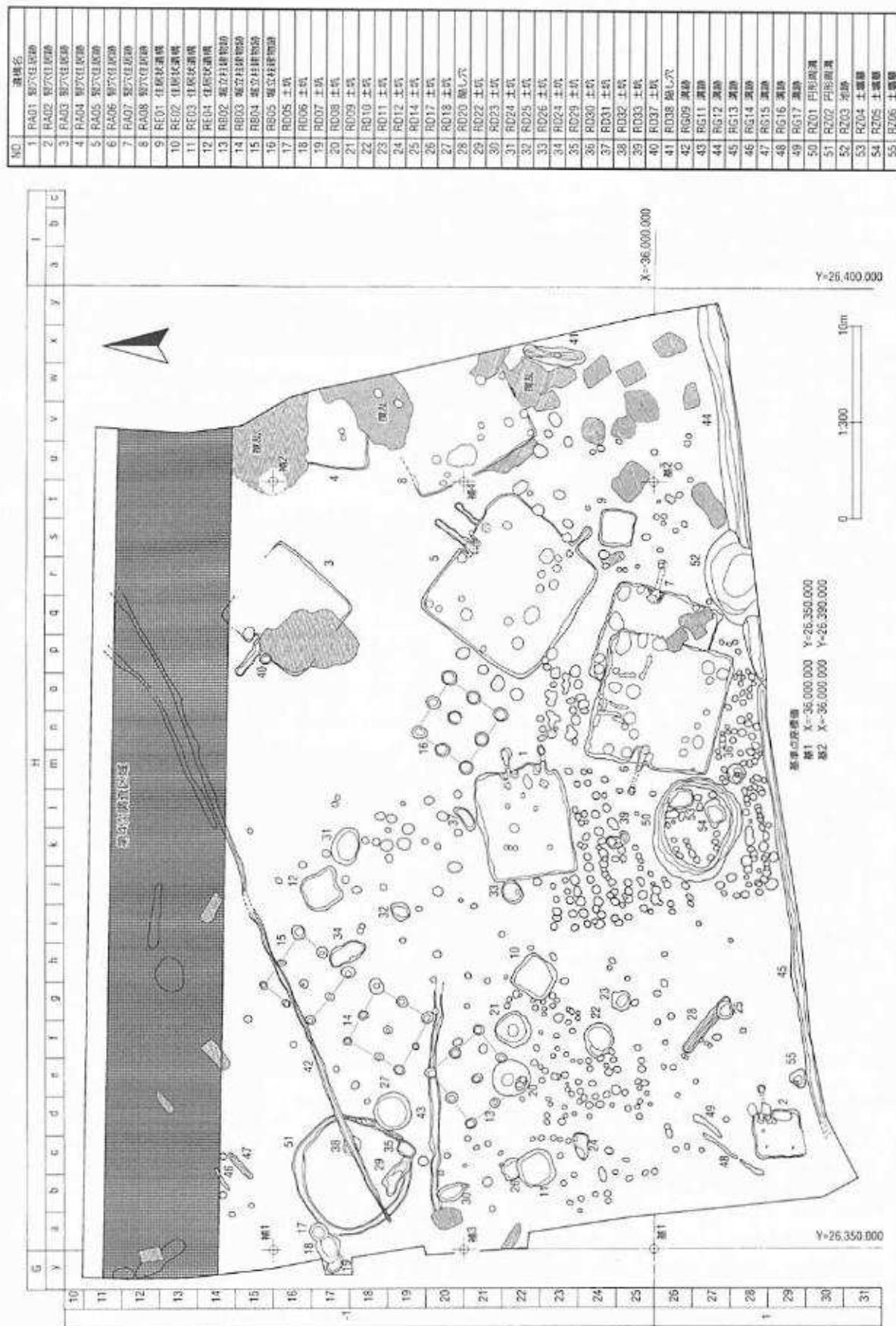
### (2) 遺物図版の作成

実測図個体はすべてトレースをし、トレース図を台紙に貼り付けて図版を作成した。報告書掲載遺物の印刷仕上がり縮尺は、土師器と須恵器は3分の1、須恵器大甕のように大型品は適宜縮尺を変更し、ページごとにスケールを付して明記した。鉄製品など他の個体は2分の1で統一し、貨幣は実大とした。

### (3) 遺構図版の作成

野外調査で作成の図面は点検・修正の後、必要に応じて合成し、報告書掲載の第2原図を作成し、その後トレース・遺構図版作成の順に作業を行った。

遺構図版の縮尺は40分の1と50分の1の統一を努めたが、図版にスケールを付して明記した。



第7図 遺構配置図

## IV 検出された遺構と出土遺物

本遺跡から遺構として竪穴住居跡8棟、住居跡状遺構4棟、掘立柱建物跡4棟、土坑23基、陥し穴状遺構2基、溝跡8条、円形周溝2基、土墳墓3基、柱穴状小土坑544基等が検出され、遺物として竪穴住居跡を主とする遺構内から土師器・須恵器のほか各種の遺物が共伴する形で出土した。さらに、表土除去中や遺構検出の段階に遺構と直接関係しない形でいわゆる表土中からも各種の遺物が若干量出土している。

本項では、遺構に共伴して出土した遺物は遺構の記述の中で、遺構外出土の遺物は別項として一括し種類毎に記述することとする。(第7図)

### 1. 竪穴住居跡

竪穴住居跡は8棟であるが、他遺構と重複する例は少なく、ほとんどは重複しないで単独で検出された。

#### (1) RAO 1 竪穴住居跡

遺構 (第8・9図、写真図版2)

〈位置〉 グリッド I H21 j 区と同23m区付近、RAO2竪穴住居跡の北東約20mに位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層の上面で黒褐色をなす埋土の上面が確認されたことにより住居跡と認定した。

〈重複状況〉 重複する遺構は無く、単独で検出された。

〈平面形・規模〉 圓丸長方形をなし、東西最大6.0m×南北最大4.8mの規模を持ち、床面積は約28.8m<sup>2</sup>ほどである。中軸方向はN-80°-Eを示す。

〈埋土〉 黒褐色シルトが主体であるが、混入物等によって6層に細分される。埋土上部には炭化物や焼土ブロック、下部の埋土には地山起源と思われる黄褐色土ブロックが混在し、壁際には壁の崩落によると推測される土の堆積も確認され、さらに断続的であるが壁際を中心に床面上12~13cmの範囲に焼土が分布し、残存状態のいい炭化材の検出は無いが消失住居の可能性が高い。自然堆積による堆積状況と推測される。

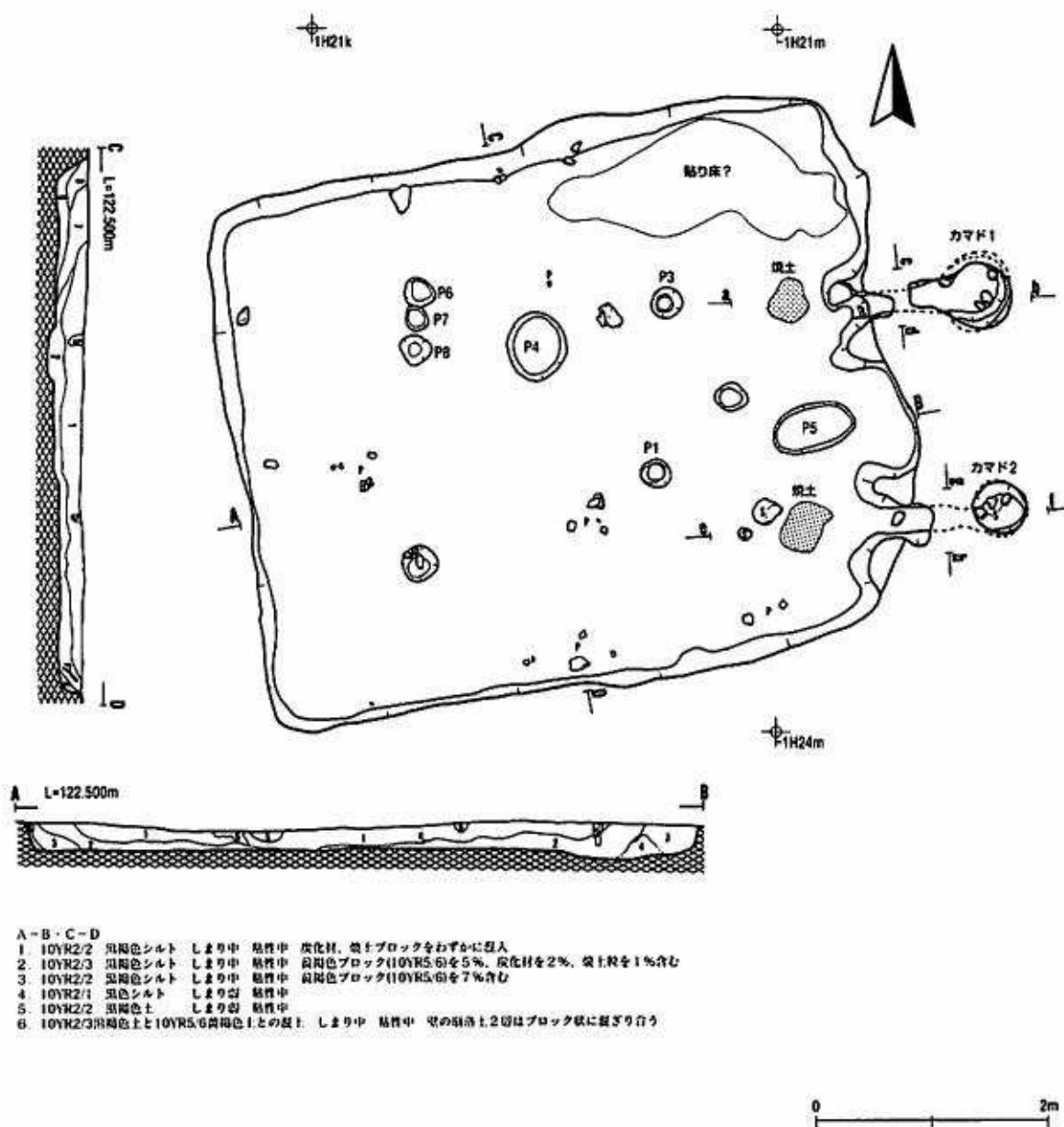
〈壁・床面〉 壁は床面から軽く外傾して立ち上がり、東壁24cm、西壁25cm、南壁18cm、北壁30cmの壁高がある。床面のほとんどはⅢ層の黄褐色土で構築するが、北東隅部周辺には黒色土と黄褐色土の混合土による貼床がある。また、柱穴より内部の床面は壁際より堅くしまる。

〈床面の施設〉 壁溝・貯蔵穴ともに検出されていない。

〈柱穴〉 柱穴状の小土坑が6基検出されているが、埋土は褐色土~黒褐色土が堆積し一部には柱痕跡も観察される。規模が径20cm~35cm、深さ17~15cmと小さいほか、位置が不規則など主柱穴としての数や配置は不明である。

〈カマド〉 中央やや北寄り(1号)と東壁南東隅部付近(2号)に各1基の2基構築されている。

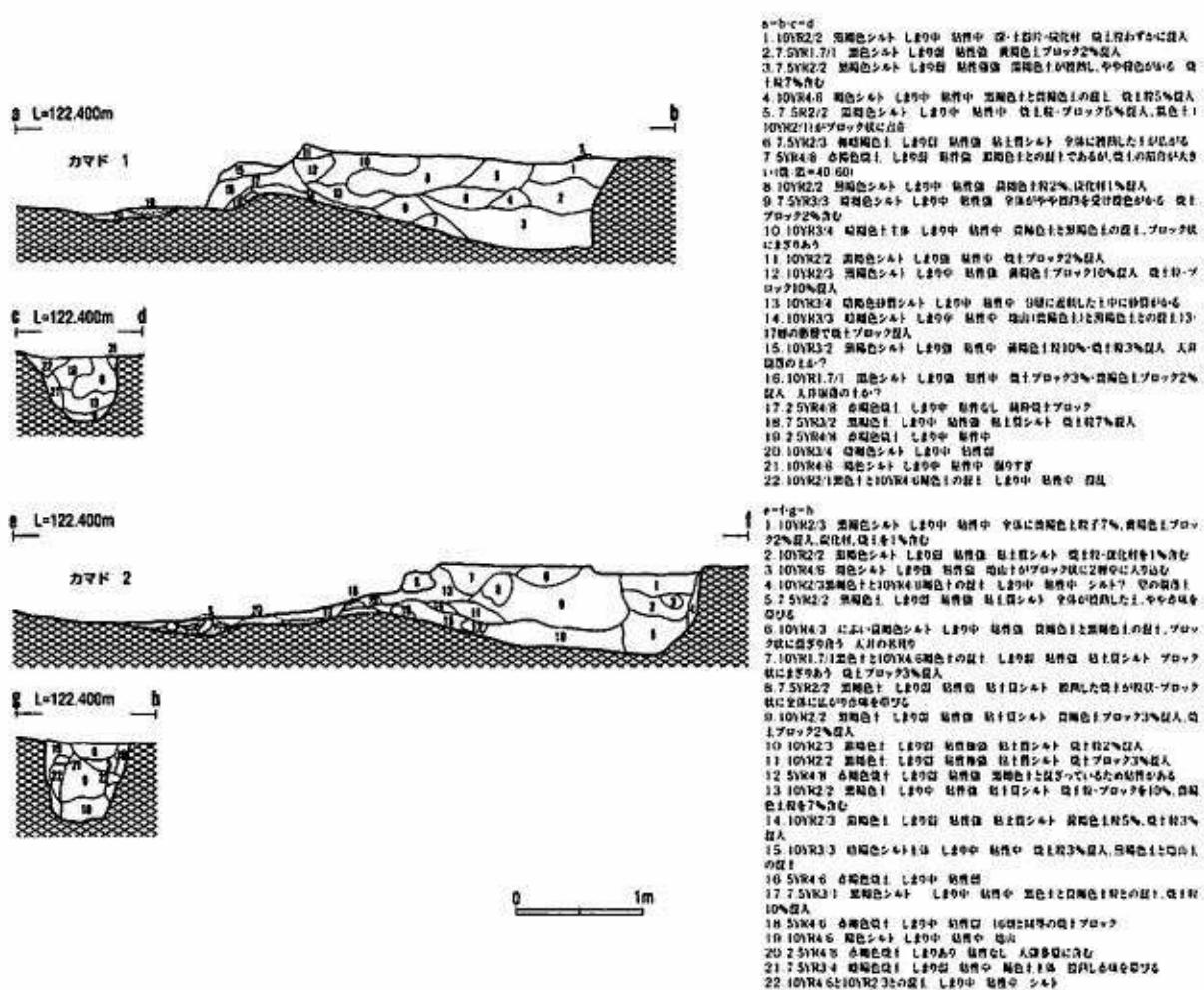
1号カマド 天井部が崩落した土に覆われた状態の袖部・燃焼部と煙道部・煙出し部を検出したが、袖部の残存状態が不良であり、詳細は定かでない。袖部は暗褐色土が若干混在する地山的な褐色基調のシルトで構築され、礫などによる補強は見られない。燃焼部は37cm×35cmの広さがあり、焚き口部から中央にかけて最大層厚3cmの焼土が観察された。煙道部は削り貫き式と推測されたが、検出時には削平を受け判然



第8図 RAO 1 竪穴住居跡（1）

としなかつた。煙道部の底面はカマド奥壁部分が若干高くなつた後、煙り出し部に向かつて次第に低くなり、煙り出し部は検出面から約37cmの深さではほぼ垂直に立ち上がる。埋土は22層に細分され、複雑な堆積状況を示す。

**2号カマド** 天井部が崩落し、その土が全体に被さる状態の袖部と燃焼部、それに煙道部と煙り出し部を検出したが、煙道部以外の残存状態は不良である。袖部は地山シルトのみで構築され、礫等の補強は無い。燃焼部は44cm×32cmの広さがあり、焚き口部～中央部付近に最大5cmの焼土が観察された。煙道部は割り貫き式で天井部も一部残存が確認された。煙道部の底面は奥壁付近から煙り出し部に次第に低くなり、煙り出し部で約30cmの深さがある。煙り出し部の形は径約50cmの円形である。埋土は1号カマドと同様、22層に細分され複雑な堆積状況を示す。



第9図 RAO 1 穴住居跡（2）

### 遺物（第31～34図1～40、写真図版27～29）

埋土内や床面から土師器25点や須恵器9点、礫石器1点・鉄製品3点等が出土したが、床面直上からの出土は少なく、埋土中～下位からの出土が主体を占める。

土師器一坏15点（1～15）、高台付き坏2点（16・17）、甕6点（18～23）、鉢（24・25）の25点あり、21の甕以外はロクロ使用成形されている。

坏の15点は内面がミガキ後黒色処理される8点（1・2・4・6・7・9・11・14）と、無処理の7点（3・5・8・10・13～15）に分けられ、特に1と14は内外面黒色処理され、2は痕跡を残す程度である。底部の切り離し技法は基本的に回転糸切り離しと推測されるが3・4・6・7・15はヘラナテによる再調整され糸切り痕が判然としない。器形は底部から丸味を持って外傾する大同小異の形であるが、2・9・15は体部が直立気味となり、それ以外は比較的底径が大きく器高が浅い共通した特徴を看取できる。

高台付き坏の2点は、16は完形であるが17は高台部分のみを残す。16は基本的に内面黒色処理の一般的な坏に高台を付した器形であり、体部外面に「八」字状の線刻が上下に二段付される。高台は17と同様に貼り付け高台であり、底部の切り離し技法はヘラナテ調整のため不明である。

壺はすべて破損し破片での出土あり、18・19・21・23は口縁部～体部を残し、20・22は体部下位～底部と底部のみの破片である。ロクロ使用成形の個体は体部中位～口縁部は内外面ともロクロナデ調整のみで仕上げられ、20と23は体部下位外面はヘラケズリされる。全体的な器形は定かでないが、口縁端部は上方に引き出されて受口となる個体が多い。ロクロ不使用成形の21は、体部外面がヘラケズリ・口縁部ヨコナデ、内面はヘラナデ調整である。器形は口縁部が外反するほか定かでない。

鉢とした2点(24・25)は場合によっては鍋と分類されている器形である。2点とも口縁部～体部中位を残す破片のため、全体的なことは不明であるが、ロクロ使用成形され、体部下半は内外ともヘラケズリ調整され、体部が大きく外傾し口縁部が受口状の器形を示す。

須恵器－9点には壺2点、壺4点、甕3点を含むが、完形の個体は無くすべて破片での出土である。

壺の2点は体部下位～底部を残す26と口縁部～体部中位を残す27であるが、ロクロ使用成形、底部回転糸切り離し無調整で、全体として再調整はまったく観察されない個体である。

壺は口縁部～肩部上位を残す28以外は頸部付近を残す破片であり、ロクロ使用成形され再調整はまったく無い。破片のため全体的な器形は定かでないが、大きく張る肩部から頸部が大きく窄み、口縁部が強く外反する器形と推測され、口縁端部は角張る形であるらしい。

甕は2点とも外面に並行叩き具痕を付し、内面に32は放射状當て具痕、33は並行當て具痕、34は凸面無文の當て具痕を持つ大甕の体部破片であり器形等不明である。

その他－碟1点と鉄製品4点、土製品1点が出土している。

碟(35)は性格不明だが、平面形状が略三角形状で断面扁平な自然碟であり、使用痕は判然としない。鉄製品の4点(36～39)には器種として不明2点(36・37)、鐵2点(38・39)があり、いずれも銷化により原形は明確で無いものの、鐵の2点は鐵身が二股に分かれる雁又鐵と推測される。

土製品(40)は瓶羽口の小破片である。

#### 遺構の時期

出土した遺物の様相から平安時代前期の9世紀代に位置づけられると推測される。

## (2) RAO2竪穴住居跡

### 遺構 (第10図、写真図版3)

〈位置〉 グリッド1H3c区～同4d区付近でRAO1竪穴住居跡の南西約20mに位置する。

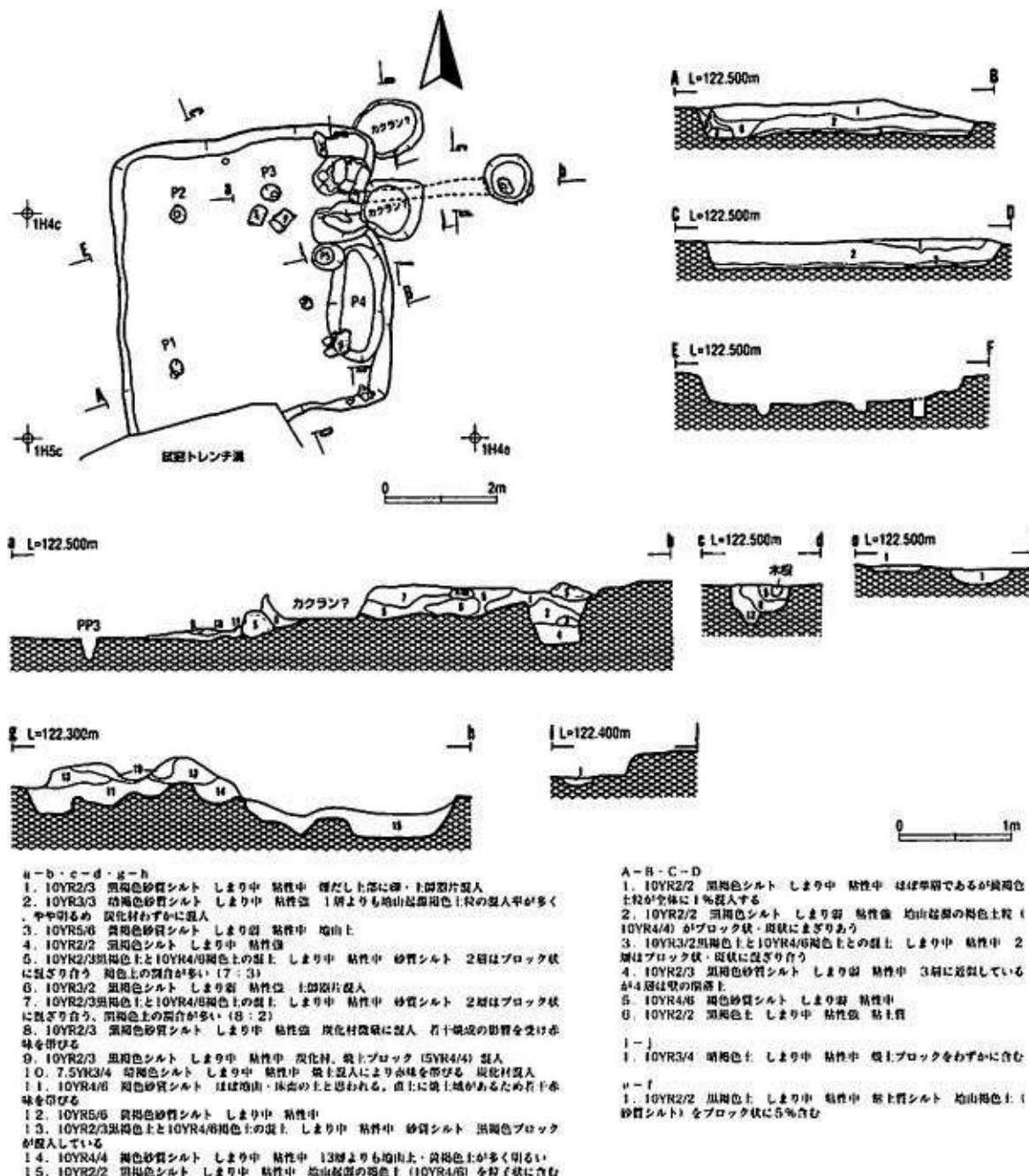
〈検出状況〉 Ⅲ層の上面で黒褐色の埋土が確認され住居跡と認定した。

〈重複状況〉 一部搅乱部分は存在するが、特に重複遺構は無く単独で検出された。

〈平面形・規模〉 圓丸長方形をなし、東西約2.50m×南北約2.70mの規模を持ち、床面積は約6.7m<sup>2</sup>である。中軸方向はN-80°-Eを示す。

〈埋土上〉 黒褐色を主体に褐色のシルトと砂質シルトが占めるものの6層に細分される。埋土上部は黄褐色土粒の混在する黒褐色シルトであり、他の層もほぼ同質で混入量の違いによる分層である。全体にややしまりがあり、粘性の強い部分も混在する。

〈壁・床面〉 壁は床面から外傾して立ち上がり、東壁28cm、西壁13cm、南壁24cm、北壁25cmの壁高がある。床面のほとんどはⅢ層の黄褐色土と黒褐色土の混合したシルトで構築されており、意識的に貼床したものと推測したが、明確な掘方は確認されなかった。床面は部分的に良くしまる部分も観察されるが、総じて踏みしめがあまり強く無い。



第10図 RA02竪穴住居跡

**〈床面の施設〉** 壁溝は検出されていないが、東壁のカマド右袖脇の壁沿いに貯蔵穴状の土坑が検出されている。規模は長径1.00m、短径0.50m、深さ20cmほどあり、平面形は梢円形、断面形は船底形である。

**〈柱穴〉** 柱穴状の小土坑が3基検出されている。埋土は3基とも黒褐色と褐色のシルトが主体で、径約15cm前後、深さ12~7cmと規模的には小型であるが、配置状況から主柱穴である可能性が強い。

（カマド） 東壁北東隅部よりに構築されている。天井部が崩落し全体に天井部の土が被さる状態で検出された。袖部は礫等の補強材が確認されないことから、地山起源のシルトのみで構築したものと推測され、左袖部の上で確認された土師器の甕はカマドとは無関係と考えられる。燃焼部は60cm×30cmほどの広さと推測されるが、床面に明確な焼土は検出されない。煙道部は床面とほぼ同じ平坦面として東に約1.45m続き、煙出し部は径45cm、深さ25cm位の土坑状に掘られている。埋土は14層に細分されているが、いずれも黒褐色と黄褐色のシルトが混在し大同小異である。

#### 遺物（第34～35図41～43、写真図版29・30）

埋土内や床面から出土しているが量的には少量であり、さらに東半部に偏って出土している。種類としては土師器・須恵器と石製品がある。

土師器—床面からロクロ不使用成形の甕が1点（41）出土のほか、壺と甕の小破片が数点出土した。

甕は、底部～口縁部まで残存し、径11.9cmと比較的広い底部から緩やかな丸味を持ち軽く外反し肩部に最大径を持つ体部は頸部で窄まり、口縁部は短く強く外反する器形を示す。器面調整は、底面と体部の外面は全面ヘラケズリ、体部内面はカキメ調整され、頸部と口縁部は内外面ともヨコナデ調整される。須恵器—ほぼ完形に近い壺（42）と体部下半～底部を残存する甕（43）の2点出土している。

壺・甕ともロクロ使用成形され、壺は底部回転糸切り離し無調整であるが、甕は全面ヘラケズリ調整され不明である。ともに体部下端に軽いヘラナデがあるほか、内外面ともロクロナデ調整のみである。

その他—出土していない。

#### 遺構の時期

出土遺物中の土師器の様相から平安時代9世紀頃に位置づけられると推測される。

### （3）RAO3竪穴住居跡

#### 遺構（第11図、写真図版4）

（位置） グリッドー1H17p区～同17r区付近でRAO1竪穴住居跡の北東約15m付近に位置する。

（検出状況） Ⅲ層上面で黒褐色の広がりとして確認されたが、南西壁付近の広い範囲が擾乱を受けていることと、壁の掘り込みが浅いこと等により詳細は不明である。

（重複状況） 特に重複する遺構も無く単独で検出された。

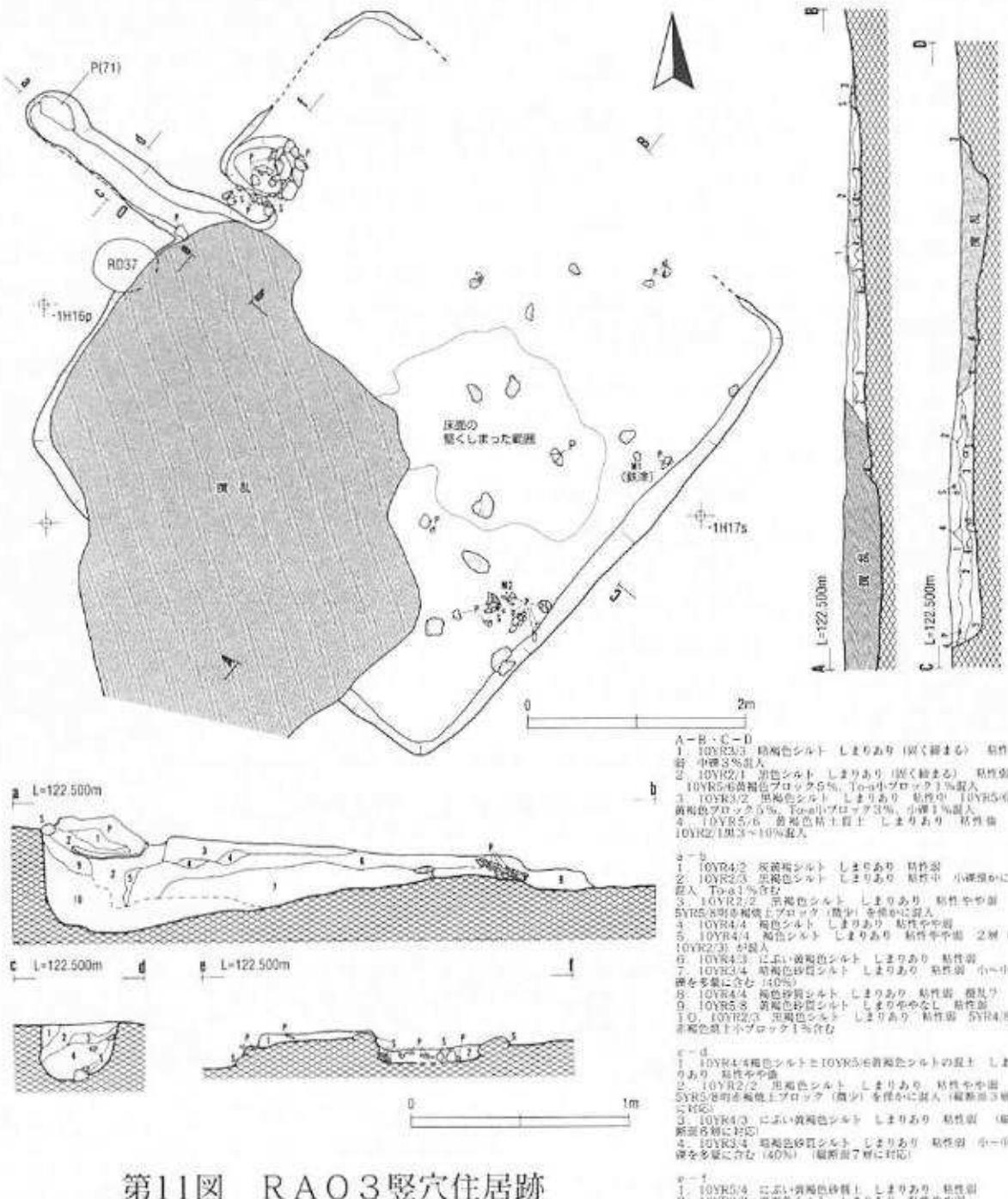
（平面形・規模） 略正方形をなし、東北-南西約5.30m×南東-北西約5.20mの規模を持ち、床面積は約27.5m<sup>2</sup>ほどである。中軸方向はN-55°-Wを示す。

（埋土） 大半はシルトで占められるが黒褐色～黄褐色までの色調により4層に細分され。全体として締まるほか一部粘性があり、1層には一部に礫が混在する。1層は暗褐色シルト、2層は黄褐色シルト塊が混入し、3～4層は黒色土の混じった黒褐色と黄褐色のシルトである。堆積状況の観察で自然埋没による堆積と推測された。

（壁・床面） 残存している南東壁はやや外傾して立ち上がり約28cmの深さがあり、その他は後世の擾乱により残存しないため不明である。擾乱を受けていない床面のほとんどはⅢ層の黄褐色土で構築されるが、一部に段丘礫層の上面が露出する。また、南東壁寄り中央の床の一部に堅く締まる部分が観察され、家内部の使われ方に影響されたと考えられる。

（床面の施設） 壁溝は検出されていないが、北東壁のカマド右袖沿いに長径75cm、短径55cm、深さ20cmほどの規模を持ち、平面形が梢円形、断面形が浅皿状をなす貯蔵穴状の土坑が1基検出されている。

（柱穴） 柱穴状の小土坑は検出されていない。



第11図 RA03竪穴住居跡

（カマド）北西壁中央やや北隅部寄りに構築されているが、後世の攪乱により燃焼部と左側袖部は残存しない。天井部は崩落しており、右側袖部のみの検出であるが、礫等の補強材が確認されないことから、地山起源の黄褐色や褐色のシルトのみで構築したものと推測される。燃焼部は60cm×45cmほどの広さと推測されるが、火床面の焼土は攪乱を受け検出されない。煙道部は掘り込み式として検出されたが、奥壁部分から次第に深くなって北東に約1.7m続き、煙出し部は深さ45cm位の深さに掘られほぼ垂直に立ち上ることがから、本来は矧貫式の可能性が大きい。埋土は色調によって10層に細分されているが、いずれもシルトや砂質シルトであり、全体としてやや締まりがある。

## 遺物 (第35~38図44~75、写真図版30~32)

埋土内や床面から土師器24点と須恵器4点、鉄製品2点が出土している。

土師器 - 土師器の24点 (45~69) には壺11点 (45~55・58)、高台付き壺2点 (56・57)、甕11点 (59~69) が含まれる。

壺11点はすべてロクロ使用成形されるが、内面がミガキ後黒色処理される7点 (44・46~48・52~54) と、無処理の5点 (45・49~51・55・58) があるものの、成形や器形等基本的にはほぼ同様である。底部の残存する54以外は回転糸切り離し一部ヘラナテ再調整があり、54は全面のヘラナテ再調整により切り離しが定かでない。器形は底部から僅かな丸味を持つ体部が大きく外傾する基本的にはすべて同じ様相を示す。

高台付き壺の2点は壺よりやや大振りであるが、ロクロ使用成形内面無調整の底部が回転糸切り離しの壺に「ハ」字状に広がる高台を付す器形で、口縁端部が小さく外反する以外は壺と同様である。

甕の11点はロクロ使用成形の5点 (64~68) と不使用の6点 (59~63・69) ある。口縁部~底部を残す個体が2点 (59・68) のみであり、詳細は不明である。ロクロ使用成形の外面は、体部中位~口縁部がロクロ成形痕のみを残し下半にヘラケズリ調整を付し、内面は体部上位からヘラナテ調整される例がある。

器形は個体差があるが、体部が若干膨らむ2点 (66・67) と一般的な筒形のものに分けられ、口縁部は上方に引き出され受口状となる。なお、67は鉢の可能性も考えられる。ロクロ不使用成形の個体は59のみが完形で他は口縁部破片である。体部の器面調整は外面がヘラケズリ調整の3点 (60・63・69) とヘラナテ調整の3点 (59・61・62) がある。器形には体部が膨らむ2点 (62・69) の他は所謂長胴形であり、ともに口縁部は短く内外面ともヨコナテ調整され外反もしくは外傾する。

須恵器 - 外面に並行叩き具痕、内面に無文當て具痕を付す大甕の肩部付近 (70) や体部 (71~73) の破片が4点の出土である。

その他 - 鉄製品として紡錘車1点 (74) と断面方形の棒状をなす器種不明1点 (75) がある。

## 遺構の時期

出土した遺物の様相から平安時代前期の9世紀前半~中葉頃に位置づけられると推測される。

## (4) RA04 竪穴住居跡

### 遺構 (第12図、写真図版5)

〈位置〉 RA03竪穴住居跡の東約10mで、グリッド-1H18u区~同18v区付近に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層の上面で黒褐色に広がる黒褐色シルトによって確認されたが、南西隅部と西壁部分を残す広い範囲が搅乱を受けており、壁の掘り込みが浅いこともあり全体的なことは不明である。

〈重複状況〉 特に重複する遺構も無く単独で検出された。

〈平面形・規模〉 検出された壁の方向から見て平面形は正方形か長方形をなすと推測されるが、南壁で約1.60m・西壁3.10m部分が検出されたのみであり、全体的なことは不明である。

〈埋土〉 4層に細分されているが、1~3層は暗褐色や黄褐色のシルト粒が混在した黒褐色のシルトであり、4層は黄褐色の砂質シルトである。全体としてやや締まりがあり、堆積状況の観察では自然埋没による堆積と推測された。

〈壁・床面〉 残存する西壁は床面から内湾気味に大きく外傾するが、明瞭に残存する壁で15cmの深さがあり、その他は後世の擾乱により残存しないため不明である。擾乱の無い床面は一部が段丘疊層の上面を露出させるものの、ほとんどはⅢ層の黄褐色シルトで構築され、南西隅部付近は広く貼床が観察され、中央部分の一部に堅くしまる部分があり、家内部の使われ方に影響されたと考えられる。

〈床面の施設〉 検出された床面の範囲では壁溝・貯蔵穴とも検出されていない。

〈柱穴〉 柱穴状の小土坑は検出されていない。

〈カマド〉 残存し検出された範囲内では検出されていないことから、後世の擾乱により削平されたものと推測される。

遺物 (第38図76~79、写真図版32)

埋土内や床面から出土している量的には少量であり、土師器1点と須恵器3点を掲載した。

土師器 - 埋土上部から体部下位～口縁部を残す壺(76)

が1点の出土である。ロクロ使用成形され内外面ともロクロナデ調整痕のみを残す所謂赤焼き土器の範疇に入るものの、下端の状況から本來は高台を付す器形の可能性が強い。底部の状況は不明であるが、体部は僅かな丸味を持ち大きく外傾する器形である。

須恵器 - 3点の出土であるが、いずれも埋土中・下位からの出土である。器種は77が壺の体部上端～頸部下端、78は瓶の口縁部、79は大壺の肩部破片である。77・78はロクロ使用成形され、ロクロナデ痕以外の調整痕は無い。79は外面に並行叩き具痕、内面に無文凸面の当て具痕を付し、ロクロ使用有無は判然としない。3点とも破片での出土のため器形等全体的なことは不明である。

#### 遺構の時期

出土した遺物の様相から平安時代前期の9世紀後半代頃に位置づけられると推測される。

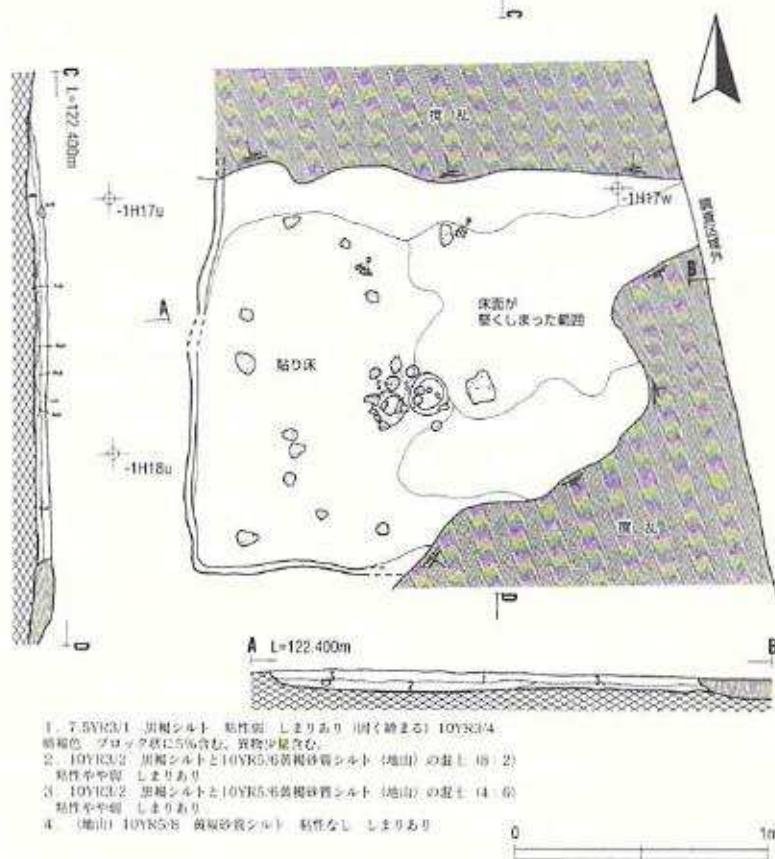
### (5) RAO 5 竪穴住居跡

遺構 (第13~15図、写真図版6・7)

〈位置〉 -1H230区～同231区付近でRAO4竪穴住居跡の南西約11mに位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色の広がりとして確認された。

〈重複状況〉 耕作による後世の擾乱や柱穴状小土坑との重複はあるが、竪穴住居跡との重複はない。



第12図 RAO 4 竪穴住居跡

〈重複状況〉 耕作による後世の擾乱や柱穴状小土坑との重複はあるが、豊穴住居跡との重複はない。

〈平面形・規模〉 北東—南西約7m、南東—北西約7.5m、床面積約52.5m<sup>2</sup>の広さを持つ大型の住居跡であり、平面形は南東—北西にやや長くなる略方形をなし、中軸方向はN-38°-Eを示す。

〈埋 土〉 大半はシルトまたはシルト質土の堆積であるが、色調や混入物等により17層に細分されている。全体的に見ると上位層は黒褐色や暗褐色・黄褐色をなし若干しまりのあるシルトで、7層まではほぼ平面的な堆積状況を示し、自然埋没による堆積の可能性が大きい。下位層はややしまりと粘性のある黒褐色や暗褐色シルトが堆積し、全体として焼土粒や炭化物粒の混入・混在が見られ、特に西壁よりの最下層は焼土と炭化物の層が観察され、この住居跡が火災で焼失した可能性の強いことを示している。下位層の堆積状況が複雑な様相を示すこともその傍証となろう。また、出土した炭化材の樹種同定では建築部材と推測される物はほとんどがクリ材、屋根材と推測される材にカヤなどが使用されている。

〈壁・床面〉 壁はやや外傾して立ち上がり、深さは30cm~20cm前後で、西に寄るほど深くなる傾向がある。床面はほぼ3層の黄褐色土で構築されるが、一部分に段丘疊層の上面が露出する。全体として僅かな起伏があり、中央部が高く壁よりもやや低くなる傾向が見られる。

〈床面の施設〉 壁溝・貯蔵穴とも検出されていない。

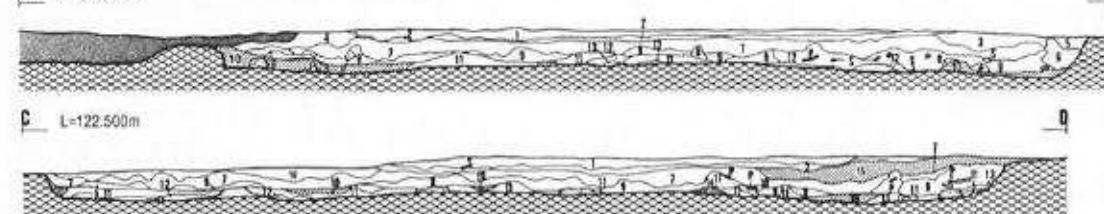
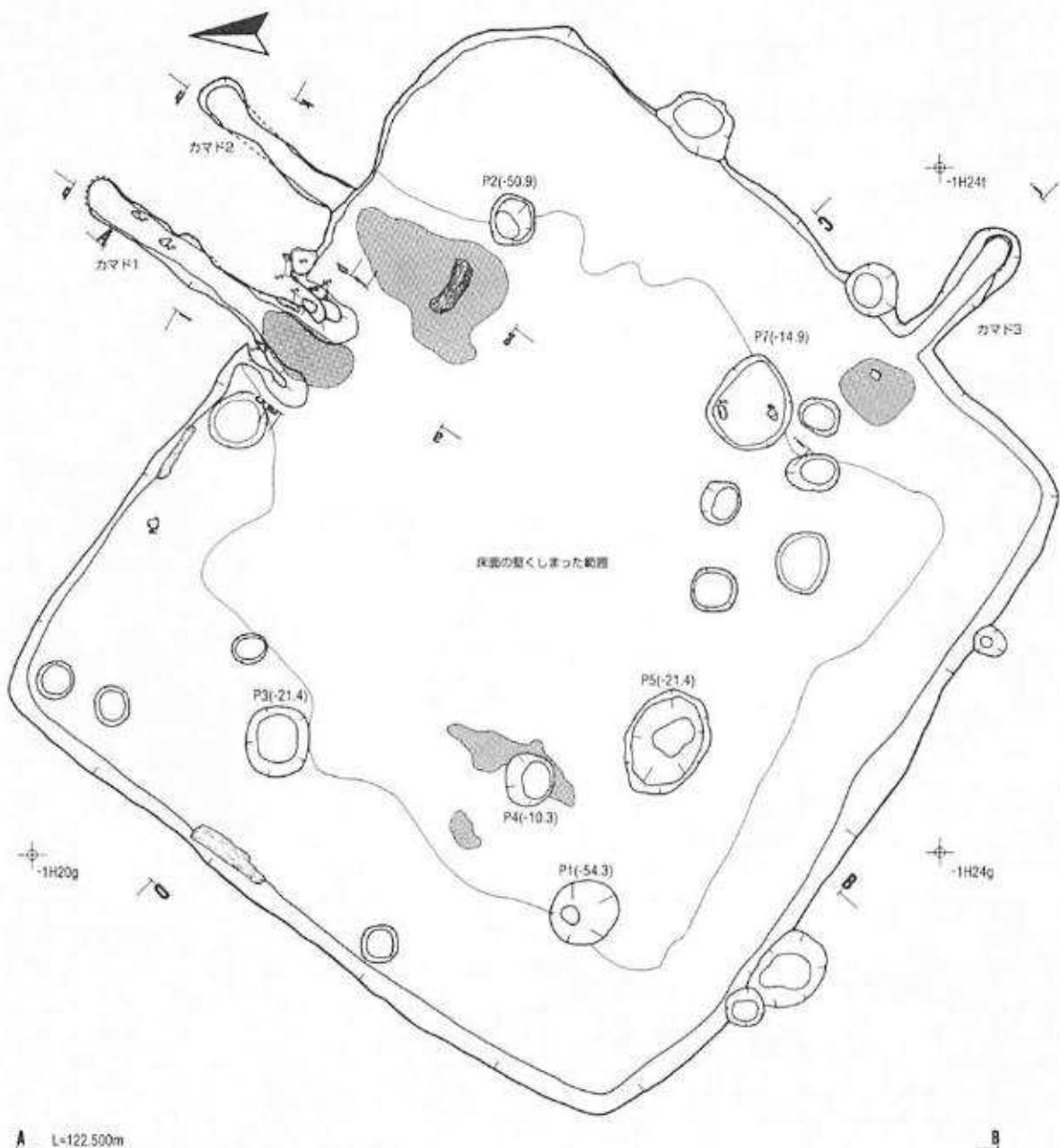
〈柱 穴〉 床面から柱穴状の小土坑が14基検出されている。規模は95cm×70cm~30cm×25cm、深さ21cm~54cmの範囲とバラツキが大きいほか、位置関係も不規則でありいずれが主柱穴となるのか明確でない。

〈カマド〉 北東壁の中央やや北東隅部寄りの1号、北東壁北東隅部寄りに2号、南東壁南東隅部寄りに3号の併せて3基構築されているが、袖部等の残存状態により3号カマドがもっとも新しいことは事実であるが、1・2号カマドの新旧関係は不明である。

1号カマド 袖部の他燃焼部・煙道部・煙出し部などが残存し、住居跡が廃棄の時に使用されていたカマドであることを示す。袖部は極暗褐色のシルトで構築され疊や土師器などによる補強材は無い。左右とも壁から70cmほど延び、それぞれ70cm×25~30cmの規模がある。燃焼部は70cm×35cmほどの広さがあり、ほぼ全面に最大層厚5cmの焼土が広がり、支脚は壁から20cm位離れた床面に径55cm、層厚4cmほどの梢円形状に広がっている。煙道部は溝状に検出されたことから掘り込み式と推測され、底面が火床面と同じ面から次第に深くなって北東に約2.0m延び、煙出し部は深さ45cm位の深さがある。埋土は色調によって10層に細分されるが、いずれもシルトや砂質シルトが混入し、ややしまりがある。

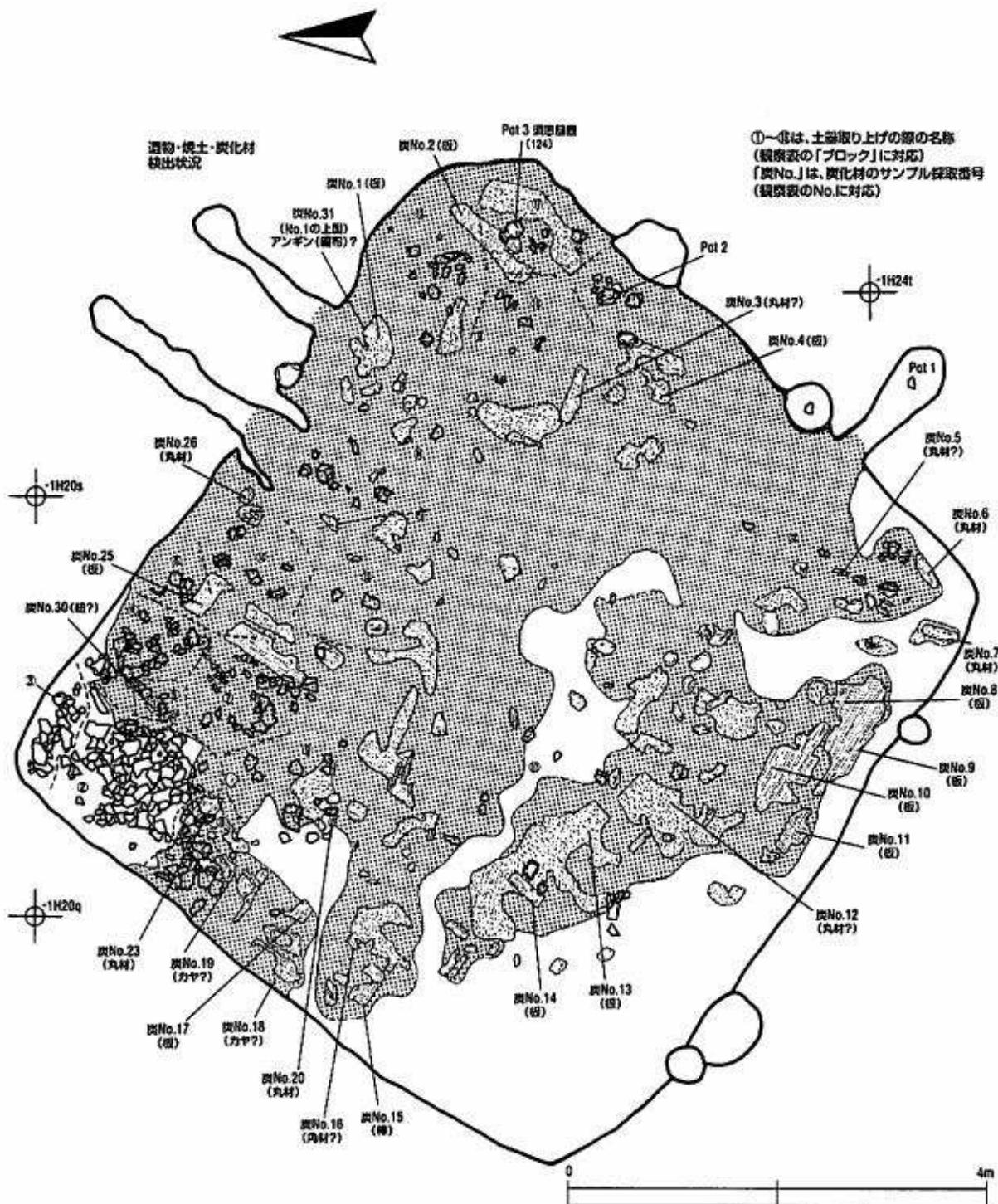
2号カマド 袖部は残存していないので不明であるが、燃焼部の焼土と煙道部が検出された。燃焼部の焼土は壁から20cm位離れた床面に径55cm、層厚4cmほどの梢円形状に広がっている。煙道部は溝状に検出されたことにより、掘り込み式と推測され、奥壁で若干高くなつた後、次第に深くなつて南東に約1.6m延び、煙出し部は深さ45cm位の深さがある。埋土は色調によって10層に細分されるが、いずれもシルトや砂質シルトが混入し、ややしまりがある。

3号カマド 煙道部と煙出し部そして燃焼部の焼土のみが残存し、その他の部分は不明である。燃焼部の焼土は壁から15cmほど離れた床面に径40cmほどの梢円形状に広がっている。煙道部は掘り込み式として検出されたが、奥壁と同じ面から次第に深くなつて南東に約1.4m延び、煙出し部は深さ45cm位の深さがあり、壁はほぼ垂直に立ち上がる。埋土は色調によって10層に細分されるが、いずれもシルトや砂質シルトが混入し、ややしまりがある。



- A-B・C-D
1. 10YR2/2淡褐色シルト しまりあり 黏性やや弱 塩化物粒2%混入  
10YR8/1灰白色パミスト (To-a) 小ブロック1%混入
  2. 10YR3/3暗褐色シルト しまりあり 黏性やや強 灰白色パミスト挟み  
10YR3/3暗褐色シルト しまり中 黏性やや強 塩化物粒ごく少量混入
  3. 10YR2/3灰褐色シルト しまり中 黏性やや強 塩化物粒ごく少量混入
  4. 10YR4/2灰褐色シルト しまり中 黏性やや強
  5. 10YR4/2灰褐色シルト しまりあり 塗作業 10YR8/3暗褐色プロフ  
ク混入
  6. 10YR2/3黒褐色シルト 13と同質)
  7. 10YR3/2灰褐色シルトと10YR4/4褐色シルトの混土 しまりなし 黏性あ  
り 黑色
  8. 10YR1/7/1 黒色シルト しまりあり 黏性強 10YR7/8灰褐色小ブロ  
ック1% 塩化物粒3%混入
  9. 10YR4/4褐色シルトと10YR2/3黒褐色シルトの混土 しまりあり 黏性強
  10. 10YR3/1暗褐色シルト しまりあり 黏性強 遊物 特に貝壳  
殻を多量に含む SVR4系和食灰 1.25% 10YR6/6暗黄褐色小  
ブロック1% 塩化物粒5%混入
  11. 10YR3/4暗褐色シルト しまり中 黏性やや強 小塊少量混入
  12. 10YR3/1暗褐色シルト しまりあり 黏性やや弱 10YR5/8灰  
褐色シルトとブロック3%混入
  13. 10YR2/1灰褐色シルト しまりあり 黏性やや強 10YR5/8灰  
褐色シルトとブロック3%混入
  14. 10YR3/3暗褐色シルト しまりやや弱り 黏性やや強  
SVR5/8暗褐色シルトとブロック、塩化物粒30%混入
  15. 10YR3/2暗褐色シルトとSVR5/8系褐色培土の混土 しまりあ  
り 黏性やや弱
  16. 10YR6/8明黄褐色シルト しまりあり 黏性やや弱  
10YR3/2暗褐色シルト20%混入
  17. 5YR5/8系褐色培土 しまりあり 黏性なし

第13図 RAO 5 竪穴住居跡（1）



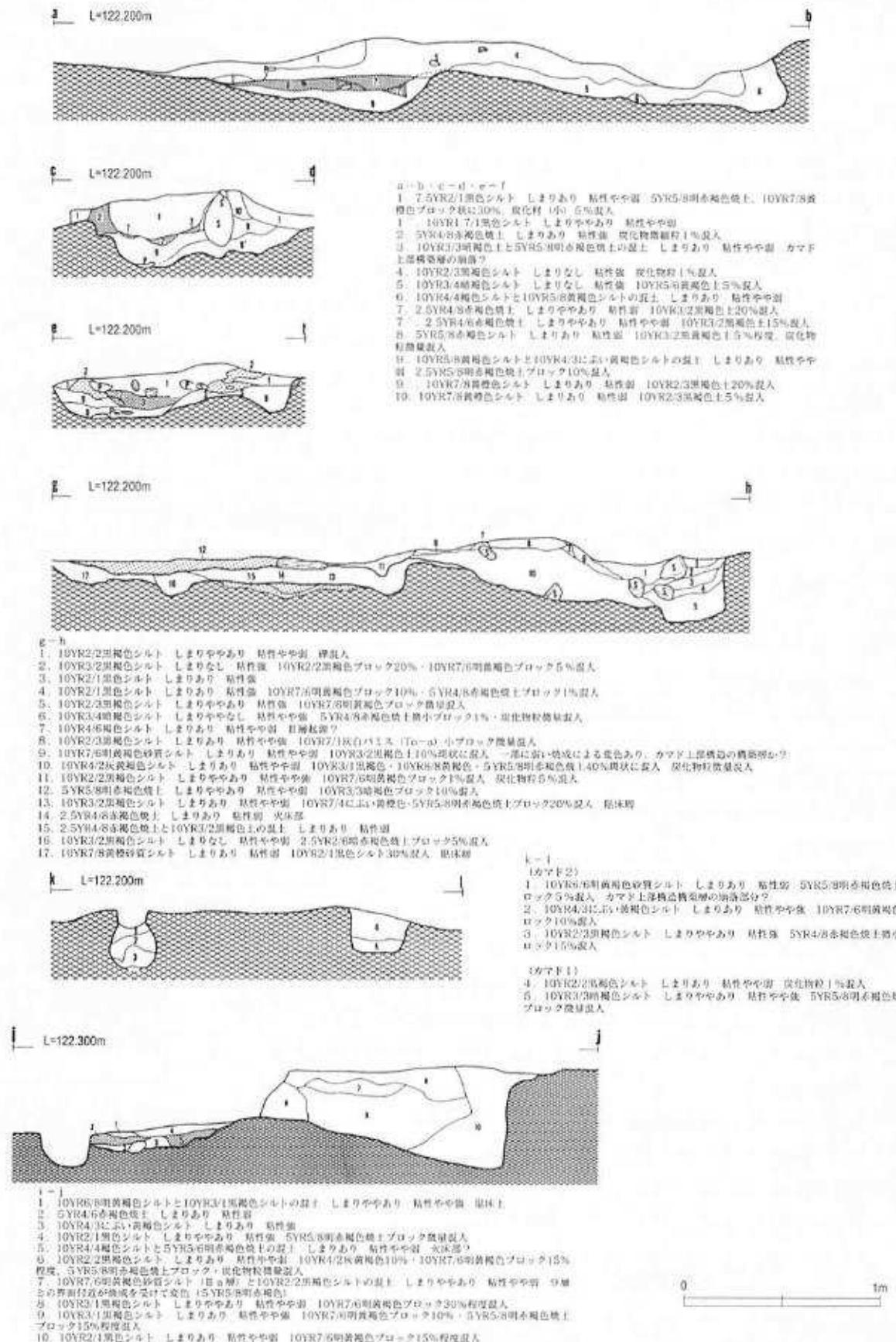
第14図 RA05 壺穴住居跡（2）

遺 物 (第38~47図、写真図版26・32~39図)

埋土内や床面から土師器38点、須恵器20点、鉄製品8点など大量の遺物が出土している。

土師器-38点には壺24点 (80~89・91~97・99~105・108~110)、高台付き壺4点 (90・98・106・107)、甕10点 (111~120) が含まれる。

壺の24点はすべてロクロ使用成形であるが、内面がミガキ後黒色処理される15点 (81~85・87・88・92・95・97・100・102・104・105・109・110) と無処理の9点 (86・89・91・93・94・96・101・103・108) がある。前者は底部から体部が僅かな丸味を持って大きく外傾する共通の器形をなし、一部の口縁端部



第15図 RAO 5 壓穴住居跡（3）

は小さく外反する。底部の切り離しは回転糸切り離しであり、ほとんどは無調整であるが84・85・97・100・105などの個体は一部または全面をヘラナデ再調整する。また、87の体部外面に「本」の墨書きがある。

高台付き壺は90・98・106・107の4点であるが、完形は90のみで他は体部下位～高台部を残す破片である。すべてロクロ使用成形され、回転糸切り離しの底部に「ハ」状に高台を貼り付けた器形であり、90以外の内面はミガキ後黒色処理される。壺部の器形は一般的な壺と同様であるが、90のみは特別大型であり一般的な個体の1.5倍ほどの大きさである。

甕の10点（111～120）は、111と118の2点はロクロ使用成形であるが他は不使用成形である。ロクロ使用成形の2点は体部下位～口縁部を残す111と体部中位～底部を残す118であるが、外面はロクロ成形の後ヘラケズリ調整、内面はヘラナデかヘラケズリ調整され、底面は全面ヘラケズリやナデ調整である。体部に若干ふくらみを持ち頸部で窄み、口縁部は外反し端部が直口気味となる器形である。ロクロ不使用成形の個体は115の小型鉢以外は破片での出土である。基本的に紐巻き上げロクロ仕上げであるが、体部の外面はヘラケズリを主体にヘラナデで調整され、内面はヘラナデやカキメの調整であり、基本的にはロクロ使用成形の個体と同様である。体部が長胴の個体（112・114・119）は頸部で軽く窄み口縁部が外傾する器形を示し、底部の周囲が突出する例もある。大きさは定かでないが大小関係があることは事実である。

須恵器—20点には壺4点（99・121～123）、壺12点（124～131・133～138）、甕4点（132・139・140）を含む。

壺はすべてロクロ使用成形され121と122は完形またはほぼ完形である。体部は内外面ともロクロ使用成形痕のみを残し、底部は回転糸切り離し無調整であり、体部が底部からほぼ直線的に外傾する器形である。

壺の12点（124～129・131・133～138）には一般に長頸瓶となる9点（124～129・131・133・134）が含まれ、特に底部の縁に低く断面三角形の高台を付す4点（124・127・133・134）は長頸瓶であろう。すべてロクロ使用成形され肩部から上位はロクロ成形痕、肩部から下位はヘラケズリかヘラナデまたはカキメによる調整があり、134の肩部には並行叩き具痕が若干観察される。内面はほとんどロクロ成形痕のみであるが、底部よりにヘラナデ調整される例もある。底部から体部が大きく外傾し肩部で丸味を持って頸部で窄み、口縁部が大きく外反して端部は縁帯状の受口となる器形が多い。また、頸部の下端に突帶を付す例が3点あり、生産地に東北地方と他地域が想定される。一般的な壺は5点（130・135～138）でそれも広口形である。高台が無いこと、広口であること、などを除くと形や調整等長頸瓶とした個体と特徴は大同小異であるが、大小関係が大きい。

甕の4点（130・132・139・140）は、体部外面に並行か格子目叩き具痕、内面に放射状・上位に放射状下位に並行、無文凸面の当て具痕を付す所謂大甕の3点（132・139・140）と、広口壺的な1点（130）がある。130はロクロ使用成形され体部上位～口縁部はロクロナデ調整のみであるが体部下半は外面ヘラケズリ、内面ヘラナデ調整痕がある。底面は手持ちヘラケズリ調整され、体部は丸味を持ちながら外傾し、肩部に最大径を持って頸部で窄み、大きく外反する口縁部は端部が縁帯状をなし受口となる。大甕は肩部に最大径を持って頸部で大きく窄み、口縁部が外反して端部が縁帯状の受口となる。

その他—鉄製品の8点には刀子3点（141・142・144）、釘4点（143・145～147）、槍頭1点（148）がある。

#### 遺構の時期

出土した遺物の様相から平安時代前期の9世紀前半代に位置づけられると推測される。

## (6) RA06竪穴住居跡

### 遺構 (第16~17図、写真図版8・9)

〈位置〉 1H2m区~同2p区付近、RA05竪穴住居跡の南西約9mに位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色の広がりとして確認された。

〈重複状況〉 後世の柱穴状土坑のほか大きな擾乱は無いが、東側がRA07竪穴住居跡と重複し、当住居跡の方が新しい遺構である。

〈平面形・規模〉 東~西約7~6.50m、南~北約6.50m、床面積約44m<sup>2</sup>の広さを持つ大型の住居跡であり、平面形に若干歪みはあるもほぼ方形をなし、中軸方向はN-76°-Wを示す。

〈埋土〉 大半は黒色~褐色を示すシルトまたはシルト質土の堆積であるが、重複するRA07竪穴住居跡の埋土も含め色調や混入物等により17層に細分されている。全体的に見ると若干しまりと粘性のある黒褐色と暗褐色のシルトが大半を占め、壁際の埋土内には壁の崩落と推測される褐色シルトの堆積が観察されるほか、地山起源の明黄褐色のシルト粒を混入させる。堆積状況の観察では、壁際では外部からの流入を示す斜め堆積であるが、中央部はほぼ平面的な堆積状況であり、全体として自然堆積により埋没したものと推察される。

〈壁・床面〉 壁の深さは35cm~20cm前後でやや外傾して立ち上がり、床面には若干の起伏は見られるもののほぼ平坦であり、水平状態の部分が多い。床面は東壁寄り面積約3/1は段丘疊層に地山起源の明黄褐色シルトで貼床されるが、その他はⅢ層で構築され、カマド寄りの面積約3/2は踏みしめにより堅くしまる。

〈床面の施設〉 南壁際と北壁際の床面に壁溝が掘られているほか、貯蔵穴状の土坑は検出されていない。

南壁際の壁溝は幅・深さとも最大10cmで、中央やや西寄りに1.85mの長さがある。一方、北壁際は幅最大20cm、深さ約10cmで、ほぼ中央に一部断続するが4.05mの長さがある。実測図には西壁際の北隅部寄りに土坑が2基記載されているが、貯蔵穴とするには規模が小型であり、否定的である。

〈柱穴〉 床面から柱穴状の小土坑が20基検出されている。規模は95cm×70cm~30cm×25cm、深さ9cm~24cmとバラツキが大きく、位置関係も不規則でありいずれが主柱穴となるのか明確でない。

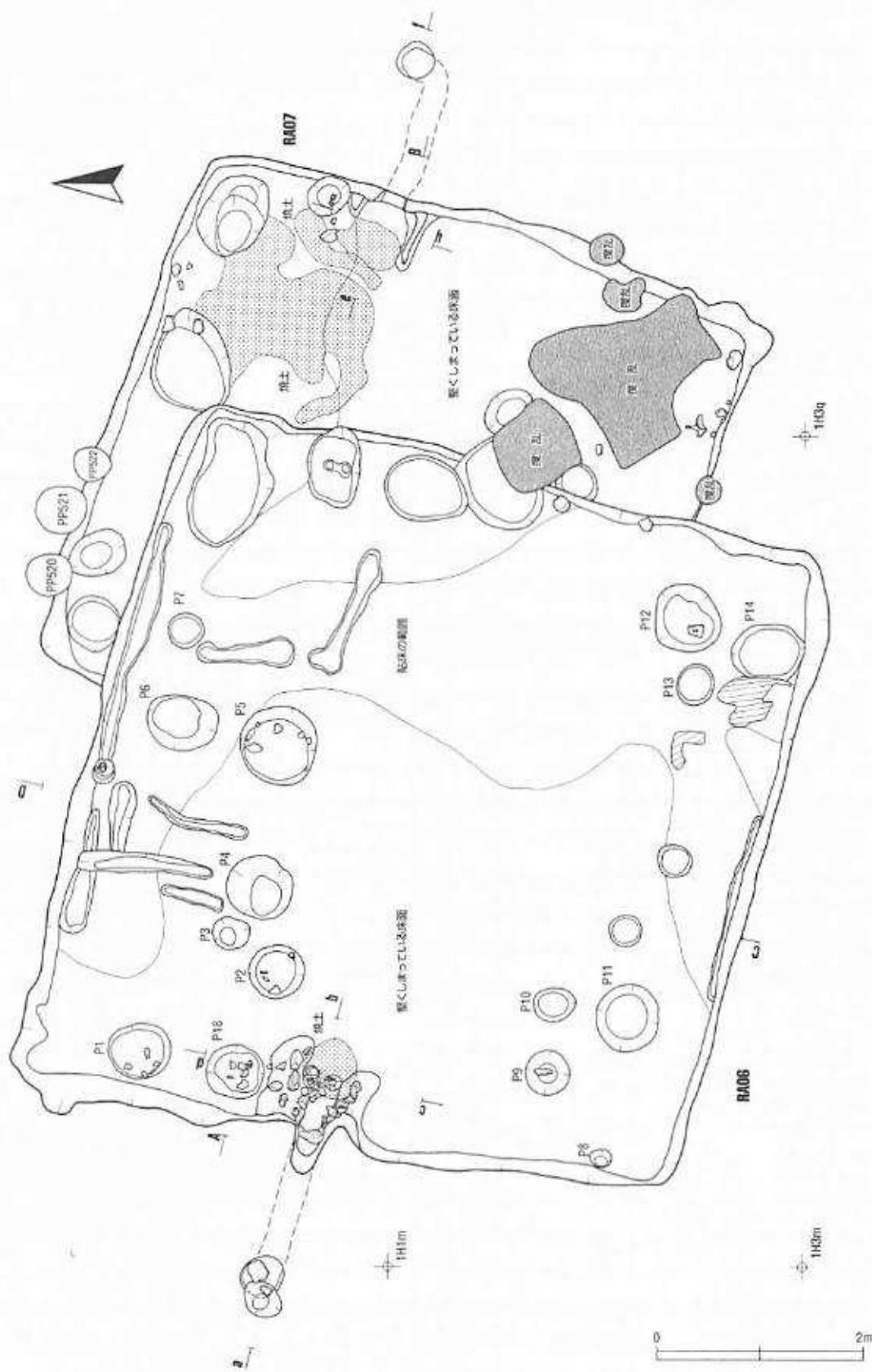
〈カマド〉 西壁の中央やや北隅部よりに構築され、袖部の他燃焼部・煙道部・煙出し部などが残存し、袖部は崩落した天井部が被さる形で検出された。袖部は左右とも芯に礫を補強剤として配置し、それに褐色シルトを貼り付けて構築しており、袖部は長さ80cm~60cm、幅40cm~30cmほどである。燃焼部は60cm×30cmほどの広さがあり、焚き口部から燃焼部中央付近まで最大肩厚5cmの焼土が広がり、焚き口部から30cmの位置に支脚が設置されている。煙道部は奥壁の床面から僅かに低くなつて西に1.6m延びた刎貫き式で構築され、煙りだし口は径約40cmの梢円形をなし、深さは約45cmである。埋土は黒色や黒褐色、赤褐色をなし、ややしまりと粘性をもつシルトが堆積し、色調や混入物の違いなどにより12層に細分され、下層には焼土粒や炭化物粒が混在している。

### 遺物 (第47~49図、写真図版40~41図)

埋土内や床面から土師器15点と須恵器13点、鉄製品2点、土製品1点が出土している。

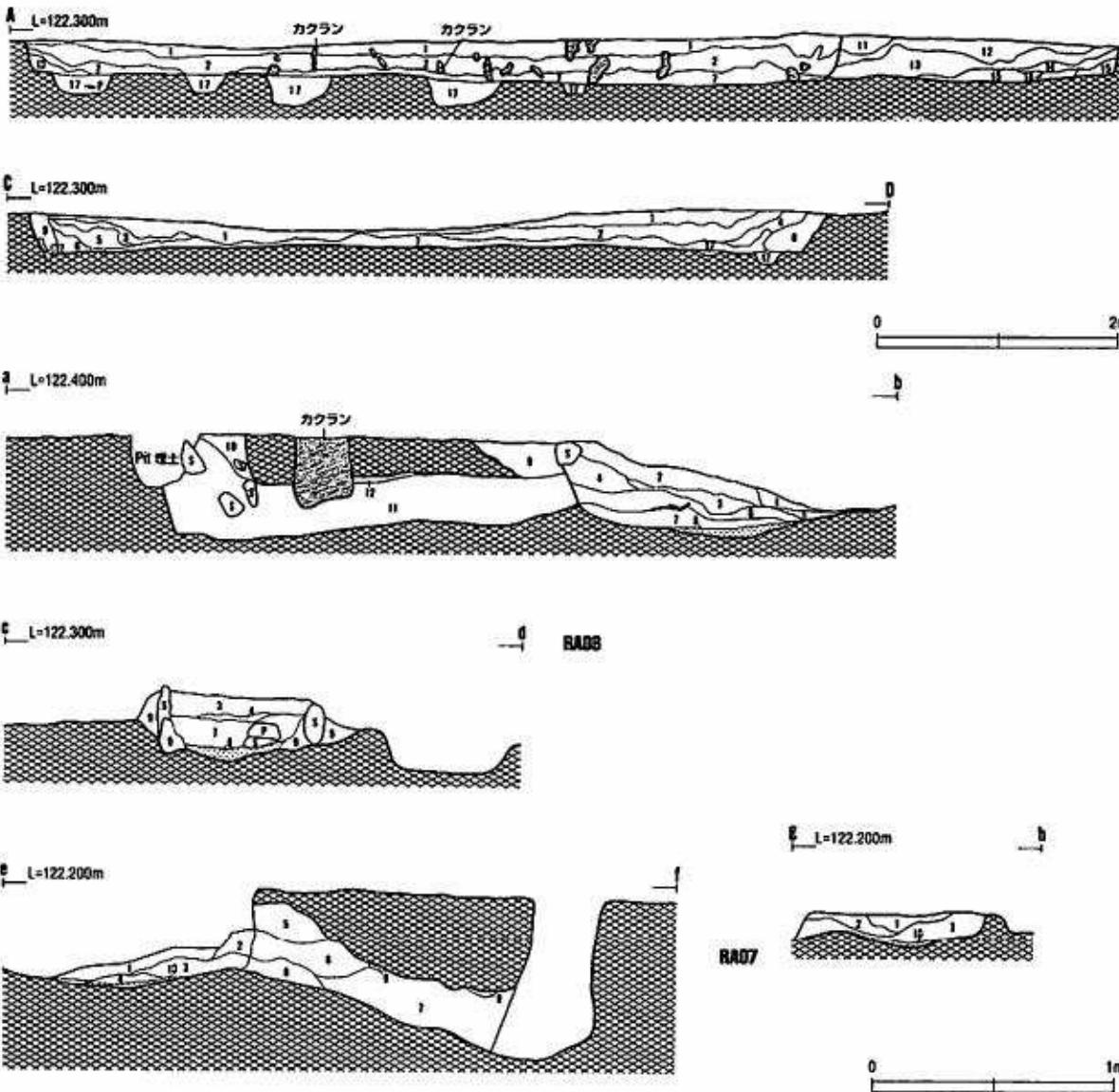
土師器-壺7点(149~155)、高台付き壺1点(16)、甕6点(157~159・161~163)がある。

壺はすべてロクロ使用成形であるが、内面がミガキ後黒色処理される3点(149・150・152)と黒色処理の無い4点(151・152・154・155)があり、底部は基本的には回転糸切り離しであるが149~151はヘラナデ再調整があり、149と155は体部下端にヘラケズリ調整、149の底面には判読不能の墨書きが付される。体部は底部から軽い丸味を持って外傾し端部が強く外反気味となる個体が多い。



第16図 RAO 6・07 壇穴住居跡（1）

第17図  
RA06・07竪穴住居跡（2）



A-H-C-D  
 1. 10VR2.3 黒褐色シート L:9.9 硬性中 明る褐色ブロック(10VR6.9)、硬性骨を10%含む  
 2. 10VR3.4 明る褐色シート L:9.9 硬性中や硬 明る褐色ブロック(10VR6.9)を1%含む  
 3. 10VR3.3 明る褐色シート L:9.9 硬性中 明る褐色ブロック(10VR6.9)、明る褐色ブロック(10VR6.9)を5%含む  
 4. 10VR2.2 明る褐色シート L:29.9 硬性中  
 5. 10VR4.2 明る褐色シート L:9.9 硬性中や硬 明る褐色ブロック(10VR6.9)、硬性骨を5%含む  
 6. 10VR4.3 にね・骨混じシート しまりなし 硬性中や硬 黒褐色ブロック(10VR3.1)15%、明る褐色ブロック(10VR6.9)、硬性骨を5%含む  
 7. 10VR3.5 明る褐色シート L:9.9 硬性中や硬 明る褐色ブロック(10VR6.9)10%、硬性骨を5%含む  
 8. 10VR3.1 黒褐色シート しまり中 硬性中 硬山岩層の明る褐色ブロック(10VR6.9)~10VR5.9)15%含む  
 9. 10VR4.4 黒褐色シート しまりなし 硬性中 明る褐色ブロック(10VR6.9)10%含む(木柱の跡?)  
 10. 10VR2.1 黒褐色シート しまりなし 硬性中 变化骨及び骨を複数に含む  
 11. 10VR2.2 黑褐色シート しまりあり 硬性中  
 12. 10VR2.3 黑褐色シート しまりややあり 硬性中 变化骨の明る褐色ブロック(10VR6.9)15%含む  
 13. 10VR3.1 黑褐色シート しまりややあり 硬性中 明る褐色と10VR3.4が15%、地化骨の明る褐色ブロック(10VR6.9)2%含む  
 14. 10VR3.4 黑褐色シート しまりあり 硬性中 硬山岩層の明る褐色ブロック(10VR6.9)1%含む  
 15. 10VR2.3 黑褐色シート しまりややあり 硬性中 明る褐色(10VR7.1)15%, 明る褐色骨  
 17. ブロック(2.5m)5m以下を含む  
 16. 10VR7.1 黑褐色シート明る褐色土との壁上 しまりややあり 硬性中 明る褐色骨  
 ブロック(2.5m)5m以下を含む  
 17. 10VR2.1 黑褐色シート しまりややあり 硬性少しあり 黑色ブロック(10VR6.9)を下段を少  
 4~10%、変化骨を含む

E-H-C-D  
 1. 10VR1.7.1 黒褐色シート しまりややあり 硬性中や硬 黑色ブロック(10VR4.6)13%、硬  
 性骨を5%含む  
 2. 10VR2.2 黑褐色シート L:9.9ややあり 硬性少しあり 黑色ブロック(10VR4.6)~壁上・底  
 6%含む  
 3. 10VR2.1 黑褐色シート L:9.9ややあり 硬性少しあり 壁上・底を骨を含む  
 4. 10VR3.1 黑褐色シート L:9.9ややあり 硬性少しあり 黑色ブロック(10VR4.6)~壁上・底  
 を骨を下段を中心に含む  
 5. 10VR4.1 黑褐色シート しまりややあり 硬性なし 黑色ブロック(10VR4.6)~壁上・底化骨を  
 含む  
 6. 10VR4.1 黑褐色シート しまりあり 硬性なし 黑褐色シート(10VR2.3)を下段を中心に30%  
 硬性・変化骨を含む  
 7. 2.5mR4.1 黑褐色シート L:29.9少しあり 硬性なし 黑色ブロック(10VR2.1)67%、硬  
 性骨を含む  
 8. 2.5mR5.5 司馬御用骨土 しまりあり 硬性なし  
 9. 10VR2.1 黑褐色シート しまりややあり 硬性少しあり 壁上・底化骨を含む  
 10. 10VR2.1 黑褐色シート しまりややあり 硬性なし 黑色ブロック(10VR4.6)を上段を中心  
 12%硬性骨を含む  
 11. 10VR2.2 黑褐色シート しまりややあり 硬性少しあり 黑色ブロック(10VR4.6)を上段  
 中に2%硬性骨を含む  
 12. 黑褐色シート しまり少しあり 硬性なし 变化骨を含む

F-G-H  
 1. 10VR4.4 黑褐色シート しまりなし 硬性中や硬 黑褐色ブロック(10VR2.2)を10%、骨・  
 骨柱骨を多く含む  
 2. 10VR2.2 黑褐色シート しまりなし 硬性なし 黑色ブロック(10VR4.6)~変化骨を複数に  
 含む  
 3. 2.5mR2.4 骨柱骨のシート L:9.9 硬性なし 变化ブロック・底骨を多く含む  
 4. 2.5mR4.6 黑褐色シート しまりなし 硬性なし 变化骨を多く含む  
 5. 10VR2.1 黑褐色シート しまり少しあり 硬性なし 黑色ブロック(10VR4.6)を多段に嵌入、骨・  
 骨柱骨を含む  
 6. 10VR2.3 黑褐色シート しまりあり 硬性なし 壁上・底化骨を含む  
 7. 10VR2.1 黑褐色シート しまり少しあり 硬性なし 黑褐色シート(10VR3.3)~壁上・底化骨  
 を含む  
 8. 2.5mR3.3 明る褐色シート L:29.9少しあり 硬性なし 变化骨を含む(人骨部が黒化した  
 もの)  
 9. 2.5mR2.3 明る褐色シート L:29.9少しあり 硬性なし 变化骨を含む(人骨部が黒化した  
 もの)  
 10. 2.5mR5.6 黑褐色シート L:29.9ややあり 硬性なし

高台付き壺1点(156)はロクロ使用成形外面ともヘラミガキ後黒色処理され、底部の切り離しは定かでないが「八」字状の高台を貼り付ける。壺部の器形は他の壺とほぼ同様である。

壺の6点(157~159・161~163)は、ロクロ使用成形される2点(158・161)とロクロ不使用成形のその他とある。前者の158は体部下位~底部を残し外面ヘラナデやヘラケズリ、内面がヘラナデ、底面もヘラケズリ調整される。全体的なことは不明であるが、口縁部は外反して縁帯状をなし受口状になる。ロクロ不使用成形の個体は体部外面がヘラケズリ、内面がヘラナデ調整され、底面に木葉痕を付す個体が多い。底部から外傾する体部は肩部に最大径を持って頸部で窄み口縁部が小さく外反する器形を示す。

壺の1点(160)は口縁部~体部上位を残す破片であり、詳細は定かでないが、内外面にロクロ調整痕を残し、体部~口縁部が軽く外反する器形らしい。

須恵器-13点には壺5点(164~168)、壺5点(169・173~176)、甕3点(170~172)がある。

壺は口縁部~底部まで残すのは168の1点のみで他は口縁部破片2点(164・166)と底部破片2点(165・167)である。いずれもロクロ使用成形され底部が回転糸切り離しで168は若干ヘラナデ調整される。

甕の中には所謂長颈瓶と推測される2点(175・176)のほか高台が付される2点(169・173)も長颈瓶である可能性が高い。高台を付す2点はともに体部が球状に膨らみ、169の外面はヘラケズリ、内面がヘラナデ調整されるが、173は内外面ともロクロナデ痕のみである。その他は頸部か口縁部を残存する破片であるが、口縁部が頸部から大きく外反し端部が縁帯状の受口となる。なお、頸部には突帯が付される東北型も観察される。

甕の3点は肩部上位~口縁部を残す170のほかは体部破片である。体部の外面はいずれも並行叩き具痕を持ち、内面には並行や放射状の当て具痕を付す。

その他-鉄製品が2点と韁羽口が1点出土している。鉄製品の1点(178)は器種不明であるが、177は断面が丸棒状の素材を環状に丸めた製品である。179は韁羽口の小破片である。

#### 遺構の時期

出土した遺物の様相から平安時代前期の9世紀頃に位置づけられると推測される。

### (7) RA07竪穴住居跡

#### 遺構 (第16~17図、写真図版9)

〈位置〉 I H2p区付近でRA06竪穴住居跡の東に約2.5mずれる形で重複する。

〈検出状況〉 III層上面で黒褐色の広がりとして確認された。

〈重複状況〉 RA06住居跡が重複し、南西部分の約55%を削平しており、東壁と北壁は全体が検出されたが、西壁と南壁は一部を残して削平を受けており残存せず、当住居跡の方が古い遺構である。

〈平面形・規模〉 残存する壁からの計測では東-西約5.30m、南-北約5.7mの規模で、本來の床面積は約30.2m<sup>2</sup>の広さと推測される。平面形に若干歪みはあるももほぼ方形をなすものと推定され、中軸方向はN-76°-Wを示す。

〈埋土〉 大半は黒色~褐色を示すシルトまたはシルト質土の堆積であるが、重複するRA06竪穴住居跡の埋土も含め色調や混入物等により17層に細分されている。全体的に見ると若干締まりと粘性のある黒褐色と暗褐色のシルトが大半を占め、壁際の埋土内には壁の崩落と推測される褐色シルトの堆積が観察されるほか、地山起源の明黄褐色のシルト粒を混入させる。堆積状況の観察では、壁際では外部からの流入を示す

斜め堆積であるが、中央部はほぼ平面的な堆積状況であり、全体として自然堆積により埋没したものと推察される。

〈壁・床面〉 壁の深さは35cm~20cm前後でやや外傾して立ち上がり、床面には若干の起伏は見られるもののほぼ平坦であり、水平状態の部分が多い。床面は東壁寄り面積約3/1は段丘疊層に地山起源の明黄褐色シルトで貼床されるが、その他はⅢ層で構築され、カマド寄りの面積約3/2は踏みしめにより堅く締まる。

〈床面の施設〉 南壁際と北壁際の床面に壁溝が掘られているほか、貯蔵穴状の土坑は検出されていない。南壁際の壁溝は幅・深さとも最大10cmで、中央やや西寄りに1.85mの長さがある。一方、北壁際は幅最大20cm、深さ約10cmで、ほぼ中央に一部断続するが4.05mの長さがある。実測図には西壁際の北隅部寄りに土坑が2基記載されているが、貯蔵穴とするには規模が小型であり、否定的である。

〈柱 穴〉 床面から柱穴状の小土坑が20基検出されている。規模は95cm×70cm~30cm×25cm、深さ13cm~27cmの範囲とバラツキが大きいほか、位置関係も不規則でありいずれが主柱穴となるのか明確でない。

〈カマド〉 西壁の中央やや北隅部よりに構築され、袖部の他燃焼部・煙道部・煙出し部などが残存し、袖部は崩落した天井部が被さる形で検出された。袖部は左右とも芯に疊を補強材として配置し、それに褐色シルトを貼り付けて構築しており、袖部は長さ80cm~60cm、幅40cm~30cmほどである。燃焼部は60cm×30cmほどの広さがあり、焚き口部から燃焼部中央付近まで最大層厚5cmの焼土が広がり、焚き口部から30cmの位置に支脚が設置されている。煙道部は奥壁の床面から僅かに低くなつて西に1.6m延びた削貫き式で構築され、煙りだし口は径約40cmの梢円形をなし、深さは約45cmである。埋土は黒色や黒褐色、赤褐色をなし、ややしまりと粘性をもつシルトが堆積し、色調や混入物の違いなどにより12層に細分され、下層には焼土粒や炭化物粒が混在している。

#### 遺 物 (第50図、写真図版41~42図)

埋土内や床面から土師器19点、須恵器2点、鉄製品2点、石製品1点の出土であるが、量的には少ない。

土師器一坏7点(180·182·183·185·188·190)、高台付き坏2点(181·184)、壺2点(189·191)が含まれる。

坏7点はすべてロクロ使用成形、190以外は内面ヘラミガキ後黒色処理され、底部は回転糸切り離しで一部(182·185·186)手持ちヘラケズリ調整される。底部から軽い丸味を持って体部が外傾する器形で、端部が若干外反する個体が多い。

高台付き坏の2点(181·184)は体部下位~底部を残す破片であり詳細は不明であるが、いわゆる一般的な坏に高台を貼り付けた形と推測されるが、181には内面黒色がない。

壺の2点(189·191)は、ロクロ使用成形(189)とロクロ不使用成形(191)があるものの、前者は体部下位~底部、後者は口縁部~体部上位を残す破片のため全体的なことは定かでない。前者は底部が回転糸切り離しされ体部の内外面ともロクロナデ痕があり、後者は体部外面ヘラケズリ、内面ハケメ、口縁部は内外面ともヨコナデ調整される。体部に最大径があり、頸部で軽く窄み口縁部が外反する器形である。

須恵器一坏1点(192)、壺1点(193)ある。坏はロクロ使用成形、底部回転糸切り離し無調整で、体部が僅かに丸味を持ち外傾する器形である。壺はロクロ使用成形された口頸部のみを残存する個体である。その他一鉄製品(195·196)は器種不明の2である。石製品(194)は小型の砥石である。

#### 遺構の時期

出土した遺物の様相から平安時代前期の9世紀前半に属すると推測される。

## (8) RA08堅穴住居跡 (旧名称RA11)

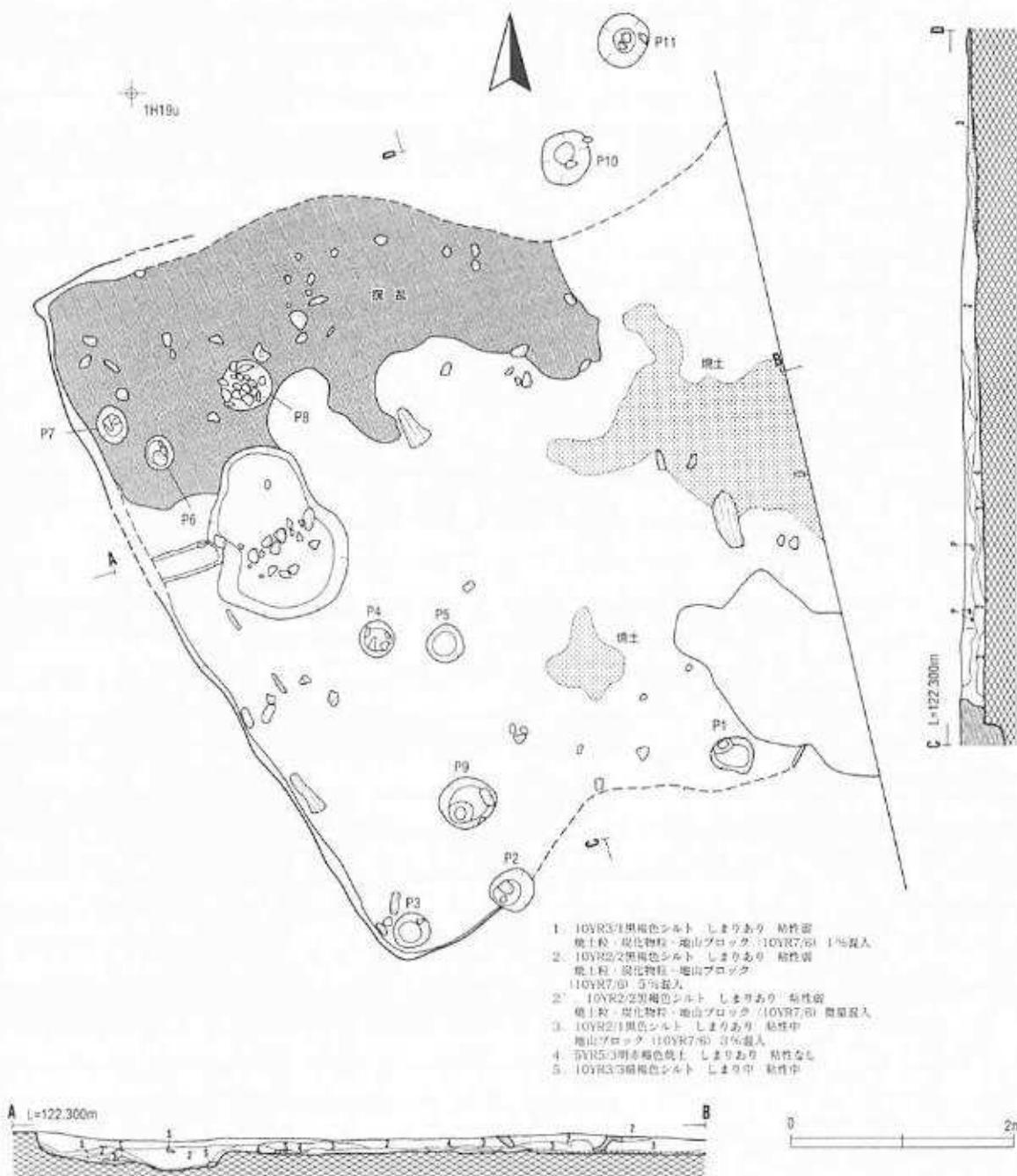
### 遺構 (第18図、写真図版10)

〈位置〉 RA05堅穴住居跡の東約8mで、-1H21u区～同21v区付近に位置する。

〈検出状況〉 III層の上面で黒褐色に広がる黒褐色シルトによって確認されたが、北部と南部が後世の攪乱による削平を受けており、南西壁と北西壁・南東壁の一部を検出したのみである。

〈重複状況〉 攪乱により詳細は不詳であるが、特に重複する遺構も無く単独で検出された。

〈平面形・規模〉 検出された南西壁の長さ7mからみて全体規模は7m×?と推測することができ、平面形は正方形か長方形をなすと推測される。中軸方向断定出来ないが南西壁がN-27-Wを示す。



第18図 RA08堅穴住居跡

〈埋 土〉 大全体が5層に細分されているが、1・2層は黒褐色のシルト、3層は黒色のシルト、4層は明赤褐色の焼土、褐色のシルトであり、全体に焼土粒や炭化物粒が混入する。堆積状況の観察では自然埋没による堆積と推測された。また、埋土内に焼土や炭化物を多く含むなどから焼失住居である可能性がある。

〈壁・床面〉 残存する南西壁は床面から外傾し、約20cmの深さがある。残存状態が悪く詳細は不明であるが、床は基本的にⅢ層で構築されるが東寄りの一部段丘疊層が露出している。北部には黒褐色シルトと混合したシルトによる貼床も観察され、踏みしめにより堅く締まる。

〈床面の施設〉 検出された床面の範囲では壁溝・貯蔵穴とも検出されていない。

〈柱 穴〉 柱穴状の小土坑は11基検出されているが、規模・位置関係とも不揃いであり、いずれが主柱穴を構成するかは不明である。

〈カマド〉 検出範囲では存在を確認していないことから、後世の搅乱により削平されたか、東壁に設置されていた可能性が強い。

#### 遺 物 (第51~54図、写真図版42~44図)

埋土内や床面から土師器7点、須恵器18点、鉄製品1点出土している。

土師器-土師器には壺4点(198・200・201・203)、高台付き壺2点(199・202)、甕1点(204)が含まれる。

壺はすべてロクロ使用成形で底部回転糸切り離し無調整であるが、内面はミガキ後黒色処理の2点(198・201)と無処理の2点(200・203)がある。体部が底部から若干丸味を持って外傾する器形はすべてに共通する特徴である。

高台付き壺の2点(199・201)には、体部下位~高台部を残す前者と高台部のみを欠失する後者があり、ロクロ使用成形された一般的な壺に高台部を貼り付けた器形と推測される。

甕はロクロ不使用成形された体部~口縁部を残す破片であるが、体部は外面へラケズリ、内面がヘラナデ、口縁部は内外面ともヨコナデで調整される。

須恵器-壺2点、壺6点、甕10点出土している。

壺2点(205・206)はロクロ使用成形、底部が回転糸切り離し無調整で、器形は前者が体部に僅かな丸味を持って外傾、後者は直線的に外傾し、ともに端部は軽く外反する。

壺の6点(207~212)には口縁部のみを残す4点(207~210)と、底部から口縁部まで残存する2点(211・212)がある。前者の内207・208は長頸瓶的な穿孔気を持ち、他の2点は甕的な器形を推測させ、すべてロクロ使用成形されている。後者2点の内211は甕的な甕であるし、212は底部に高台を付す等長頸瓶的な甕と言えよう。2点ともロクロ使用成形であるが、後者は体部外面がヘラケズリ調整される他、体部下端に並行叩き具痕を僅かに残す。底部の切り離しは211では回転糸切り離し無調整である。

甕は10点(213~222)と多いが、完形品はまったく出土していない。破片の状況から外面に並行叩き具痕を付す所謂大甕が8点(213~216・219~222)と甕的な器形を推測させる2点(217・218)がある。大甕は内面に同心円(213・222)、放射状(214・219・220・221)の当て具痕があり、甕的な器形とした個体は無文である。すべて体部が大きく膨らみ口縁部は外反や直線的に外傾する共通の器形であるが、大甕の底部は丸底となろう。口縁端部は上方に引き出されて縁帯状の受口と、肥厚させて外折させる例がある。

その他-鉄製品は1点(223)の出土であるが、器種は片刃となり鉈状利器の残欠の可能性がある。

### 遺構の時期

出土した遺物の様相から平安時代前期の9世紀前半代に位置づけられると推測される。

## 2. 住居跡状遺構

4棟の検出であるが、竪穴住居跡に比較して平面形や壁高はほぼ近似した状況を示すが、カマドや床面から焼土が検出されないこと、規模が若干小型であること、などから住居跡状遺構として区別した。

### (1) REO1住居跡状遺構(旧名称RAO8)

#### 遺構(第19図、写真図版11図)

〈位置〉 -IH24s区～IH25t付近で、REO2住居跡状遺構は西北西に約24mの距離がある。

〈検出状況〉 Ⅲ層の上面で黒褐色の埋土が露出したことにより確認した。重複する遺構もなく単独で検出された。

〈規模と形状〉 東～西1.90m、南～北1.80mの規模を持ち、平面形は東西方向が僅かに長い略方形をなし、床の面積は約3.40m<sup>2</sup>である。

〈埋土〉 黒褐色シルトが主体をなし、褐色シルトの粒が若干混在する。

〈壁・床面〉 壁高は東23cm、西22cm、南25cm、北24cmほどあり、床面からやや外傾する部分もあるが、ほぼ直立気味に立ち上がる。

〈柱穴〉 床面内外ともに柱穴と推測されるような規模の土坑は検出されていないので不明である。

〈カマド〉 カマドに伴うと推測される遺構、焼土とも検出されていないので、カマドは設置されていないものと理解される。

#### 遺物(第54図224、写真図版44図)

南西壁際床面付近から、内外面黒色され高台を付した土師器壺が出土している。

土師器-完形の高台付き壺1点(224)が出土している。ロクロ使用成形され内外面ともミガキ後黒色処理され、底部の切り離しはヘラナデ調整で不明であるが、「ハ」字状の高台を貼り付けている。体部が丸味を持って外傾し、全体的な雰囲気は高台付き碗と言える。

#### 遺構の性格と時期

出土した土師器の器形から平安時代前期の遺構と推測されるが、性格については不明である。

### (2) REO2住居跡状遺構(旧名称RD15)

#### 遺構(第19図、写真図版11図)

〈位置〉 -IH22g区付近で、REO4住居跡状遺構は北東に約12mの距離がある。

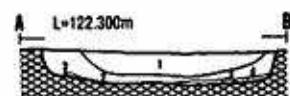
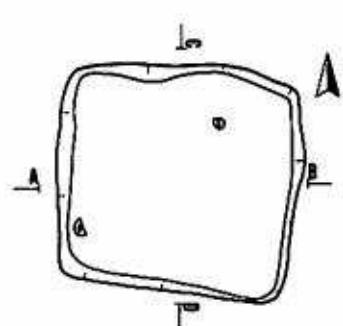
〈検出状況〉 Ⅲ層の上面で黒褐色に広がる埋土が検出されたことにより確認した。新期の柱穴状小土坑との重複は見られるが、竪穴住居跡や掘立柱建物跡との重複はない。

〈規模と形状〉 北東～南西2.10m、北西～南東2.00mの規模を持ち、平面形は北東～南西方向が僅かに長い略方形をなし、床の面積は約4.20m<sup>2</sup>である。

〈埋土〉 黒褐色シルトが主体をなすが、床面付近に黒色シルトが層状に堆積する。

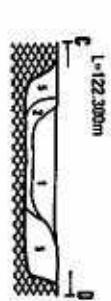
〈壁・床面〉 壁高は東28cm、西30cm、南35cm、北28cmほどあり、一部は床面からやや外傾するが、ほぼ直立気味に立ち上がる。床面は凹凸が著しいものの、貼床などの処置は確認されていない。

〈柱穴〉 床面内外ともに柱穴状の土坑は検出されていないので不明である。



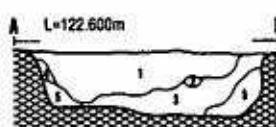
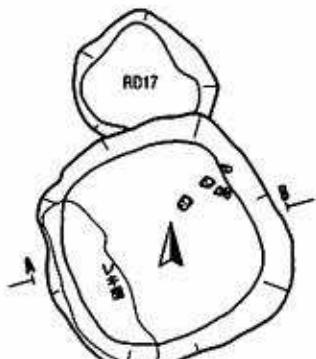
- A-B, C-D  
 1. 10YR2/2 黄褐色土、しまり中、粘性低、粘土質シルト  
 10YR4/6褐色土上にブロックを10%含む 10YR1.7/1褐色土上にブロックを2%含む  
 2. 10YR2/3 黄褐色土、しまり中、粘性低、シルト、褐色土上にブロックを15%含む  
 3. 10YR4/6 褐色土上部、しまり中、粘性中、シルト、褐色土と黒褐色土の混じ  
 4. 10YR5/6 黑褐色土、しまり中、粘性中、砂質シルト、塊状  
 5. 10YR2/2 黄褐色土、しまり中、粘性低、シルト

REO1



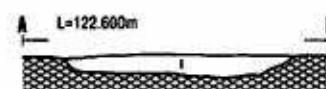
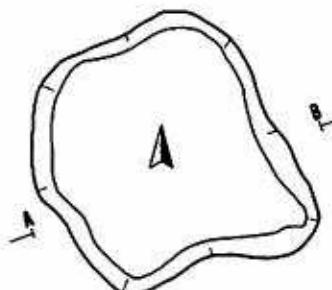
1. 10YR2/2 黄褐色土、しまりややあり、粘性あり、粘土質シルト  
 地山起源の黄褐色土 (10YR5/6) をブロック状に10%含む  
 2. 10YR2/3 黄褐色土、しまりややあり、粘性あり、粘土質シルト  
 1層とはば4層であるが、黄褐色土の割りあいが若干多くやや明るい  
 3. 10YR2/1 黄色土、しまりややあり、粘性あり、粘土質シルト  
 黄褐色土層を3%含む  
 4. 10YR3/2 黄褐色土、しまりややあり、粘性あり、粘土質シルト  
 黄褐色土との互層  
 5. 10YR5/6 褐色シルト、しまりややあり、粘性ややあり、地山層

REO2



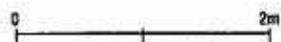
- A-B  
 1. 10YR2/1 黒色土、しまりなし  
 粘性あり、粘土質シルト、地山起源  
 黒褐色土が下段を中心に2%混入する  
 2. 10YR2/2 黄褐色土、しまりなし  
 粘性あり、地山起源の褐色土が  
 下段を中心に2%混入する  
 3. 10YR2/3 黑褐色土、しまりやや  
 あり、粘性あり、粘土質シルト  
 褐色土 (10YR4/6) が段状に7%  
 混入する  
 4. 10YR2/1 黑色土、しまりやや  
 あり、粘性あり、褐色土 (10YR4/6)  
 が2%混入する  
 5. 10YR4/4 黄褐色砂質シルト、しま  
 りなし、粘性ややあり、地山層

REO3



1. 10YR2/2 黑褐色シルト、しまりややあり、粘性ややあり  
 1~7cmの大粒の礫を30%含む

REO4



第19図 R E O 1 ~ O 4 住居跡状遺構

〈カマド〉 焼土等カマドに伴うと推測される遺構は検出していないので、設置しなかったと理解される。

遺物 (第54図225、写真図版19図)

埋土内から土師器が出土している。

土師器 - ロクロ使用成形され内面がミガキ後黒色処理され、底部の切り離しはヘラナテ調整で不明な体部中位～底部を残す破片である。

遺構の性格と時期

出土した遺物から平安時代の遺構と推測される。

### (3) REO3住居跡状遺構 (旧名称RD16)

遺構 (第19図、写真図版11図)

〈位置〉 -1H22b区付近に位置する。

〈検出状況〉 IIb層～Ⅲ層上面で黒色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 北側がRD17土坑と重複し、新旧関係は当遺構の方が古い。

〈規模と形状〉 規模は、検出面で東西1.8m×南北1.7m、底面が東西1.45m×南北1.5m、壁高50cmであり、平面形は突辺隅丸のほぼ方形に近い形状をなし、約3m<sup>2</sup>の広さがある。

〈埋土〉 上位は黒色シルト、下位が黒褐色シルト、最下部の壁際には褐色砂質シルトが堆積しており、中位の黒褐色シルトにも地山の褐色シルト粒が混入する。

〈壁・床面〉 壁は底面から軽く外傾して立ち上がるが、直線的な部分とやや不規則な部分がある。底面は東側が若干低くなり、全体として軽い起伏があるが堅い。また、西壁よりには地山疊層が露出する。

〈柱穴〉 底面や周辺部からも柱穴状土坑は検出されていない。

〈カマド〉 設置されていない。底面に焼成の痕跡は見受けられない。

遺物 (第54図226、写真図版19図)

埋土内から土師器が出土している。

土師器 - ロクロ使用成形され内面がミガキ後黒色処理され、底部が回転糸切り離しの体部中位～底部を残す破片である。

遺構の性格と時期

出土した遺物から平安時代の遺構と推測される。

### (4) REO4住居跡状遺構 (旧名称RD28)

遺構 (第19図、写真図版11図)

〈位置〉 -1H17j区付近に位置する。

〈検出状況〉 IIb層上面で黒色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 重複する遺構は無い。

〈規模と形状〉 規模は、検出面で東西1.8m×南北1.9m、底面が東西1.55m×南北1.6m、壁高18cmであり、平面形はやや不整な突辺隅丸のほぼ方形に近い形状であるが、南東隅部が軽く外方に突出する。

〈埋土〉 黒褐色シルトの単層である。

〈壁・床面〉 壁は底面から大きく外傾して立ち上がり、直線的な部分とやや不規則な部分がある。底面は東側が若干低くなるが、全体としてはほぼ平坦で水平に近い。

〈柱 穴〉 底面や周辺部からも柱穴を構成する土坑の検出は無い。

〈カマド〉 設置されていない。底面に焼土等焼成を受けた痕跡は無い。

#### 遺 物

埋土内から土師器が出土している。

#### 遺構の性格と時期

出土した遺物から平安時代の遺構と推測される。

### 3. 掘立柱建物跡

当遺跡の発掘調査では4棟の掘立柱建物跡が検出されている。いずれも9本の柱が田の字状に配置されるほか、3棟がほぼ直線的かつ等間隔に配置するなど、共通した特徴がある。ほぼ同時期に建設された建物と考えることが出来よう。

#### (1) RBO2掘立柱建物跡

##### 遺 構 (第20図、写真図版12図)

〈位 置〉 グリッド-1H21e区付近でRBO3掘立柱建物跡の南西約5mに位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層の上面で柱穴が円形の黒色シルトの土層変化として検出された。

〈重複状況〉 新期のRG11溝跡と重複し、当遺構の方が古い遺構である。

〈埋 土〉 埋土は柱穴によつて単層～5層に細分と違いはあるが、基本的にはやや粘性のある黒褐色か暗褐色のシルトが堆積し、全体としてしまりがある。

〈規模と形状〉 全体規模が南東～北西3.40m、南西～北東3.40mであり、平面形態は若干の歪みはあるもののほぼ正方形に近い。中軸方向はN-50°-Eを示す。

〈柱穴配置〉 柱穴の配置関係を見ると、中间の柱位置は中心から若干ずれるものの各柱列の交点すべての9箇所に田の字状に配置するいわゆる総柱建物である。

〈柱間寸法〉 南東～北西3.40mにはほぼ中间の1.70mに、南西～北東3.40mは北東から1.80m+1.60mであり、各柱列には微妙に違いがあるものの、許容誤差の範囲と考えられる。

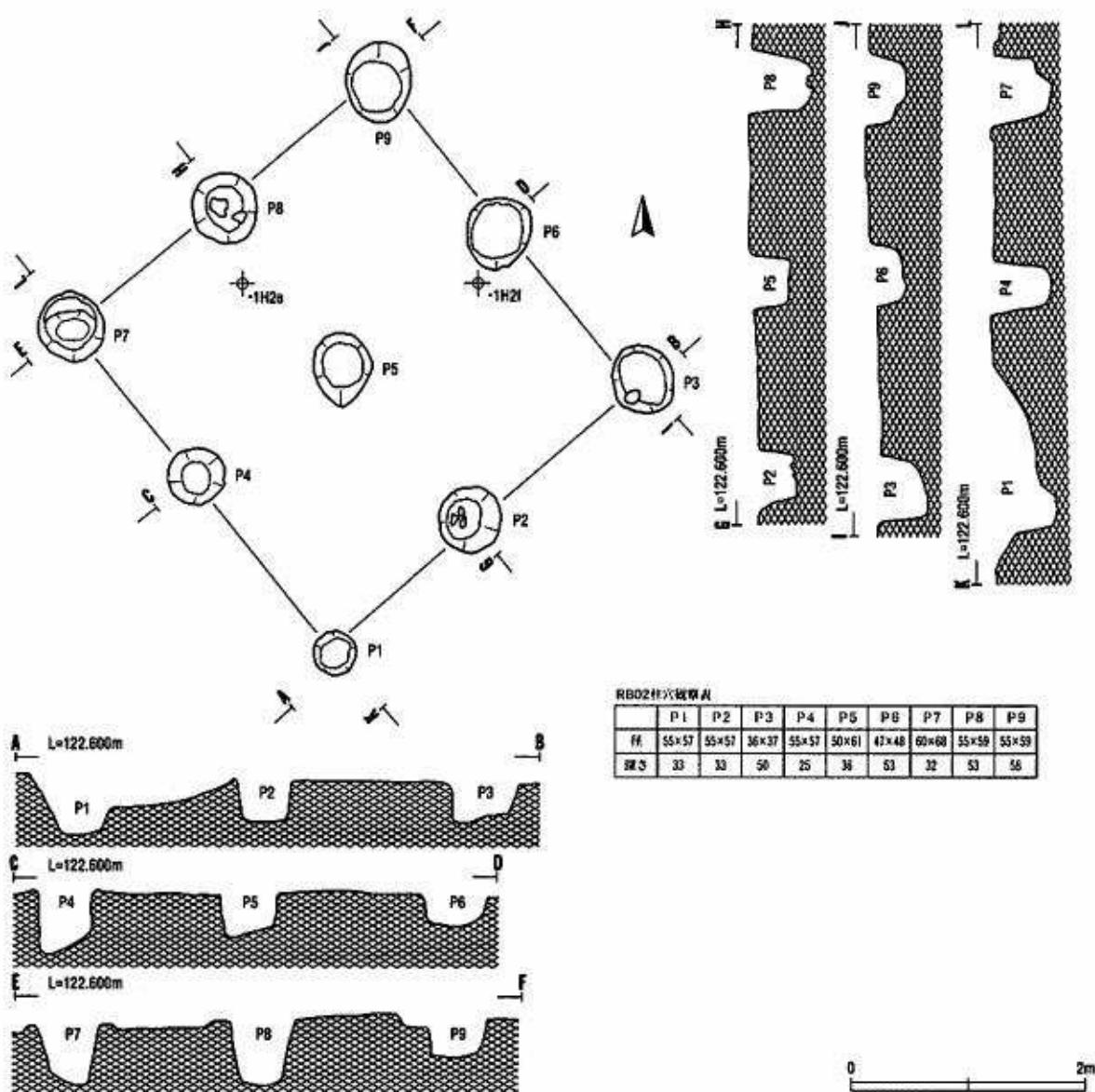
〈柱穴規模〉 径約68cm～36cmとややバラツキがあるものの50cm以上の例が多く、平面形は円形か梢円形である。深さは55cm～25cmと若干の差があるものの30cmの深さがもっとも多い。

##### 遺 物 (第57～58図271・275・276、写真図版47図)

埋土内から内外面に並行叩き具痕を付す須恵器大甕の体部破片が1点(271)と、鍋の口縁部破片1点、高台付き壺1点が出土している。275はロクロ使用成形で外面がヘラケズリ調整され、内面はロクロナナテ調整される口縁部破片である。276はロクロ使用成形で内面黒色処理がなく、一般的な壺の底部に高台を貼り付けた形である。

##### 性格と時期

出土遺物などから時期や性格を明示出来る状況ではないが、平安時代の集落を構成する稲倉的な性格が想定される。



第20図 RB02掘立柱建物跡

## (2) RB03掘立柱建物跡

**遺構** (第21図、写真図版12図)

**位置** グリッド-1H21e区付近でRB03号掘立柱建物跡の南西約5mに位置する。

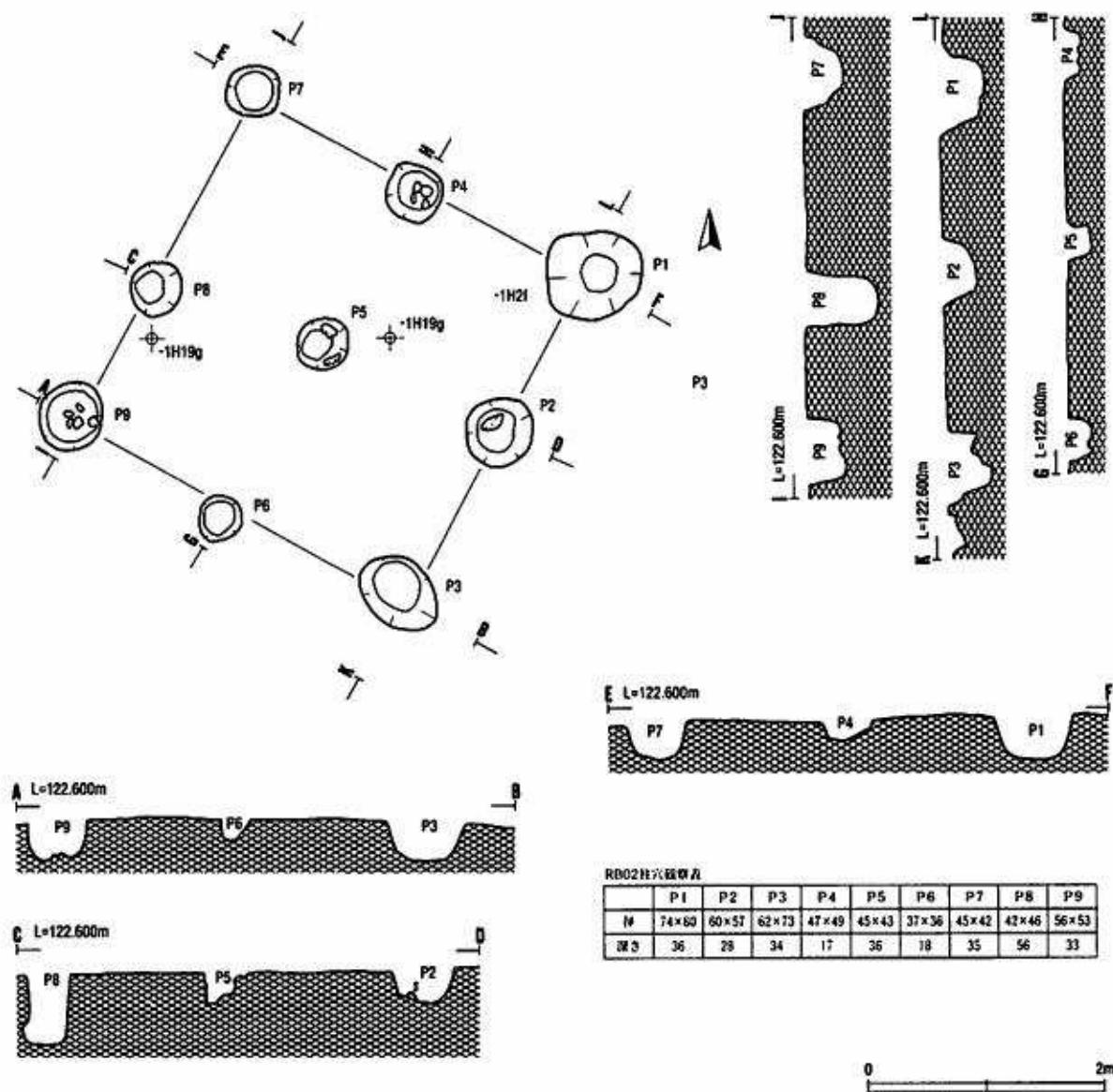
**検出状況** III層の上面で円形の黒色シルトの広がりとして検出された。

**重複状況** 新期のRG11溝跡と重複する以外はまったく重複しない。当遺構の方が古い遺構である。

**埋土** 埋土は柱穴によつて単層～5層に細分と違いはあるが、基本的にはやや粘性のある黒褐色か暗褐色のシルトが堆積し、全体としてしまりがある。

**規模と形状** 全体規模が南東～北西3.40m、南西～北東3.40mであり、平面形態は若干の歪みはあるもののほぼ正方形に近い。中軸方向はN-32°-Eを示す。

**柱穴配置** 柱穴の配置関係を見ると、中間の柱位置は中心から若干ずれるものの各柱列の交点すべての9箇所に田の字状に配置するいわゆる総柱建物である。



第21図 RB03掘立柱建物跡

（柱間寸法） 南東—北西3.40mは1.70mのほぼ等間に、南西—北東3.40mは北東から1.80m+1.60mに分割されており、各柱列には微妙に違いがあるものの、許容誤差の範囲と考えられる。

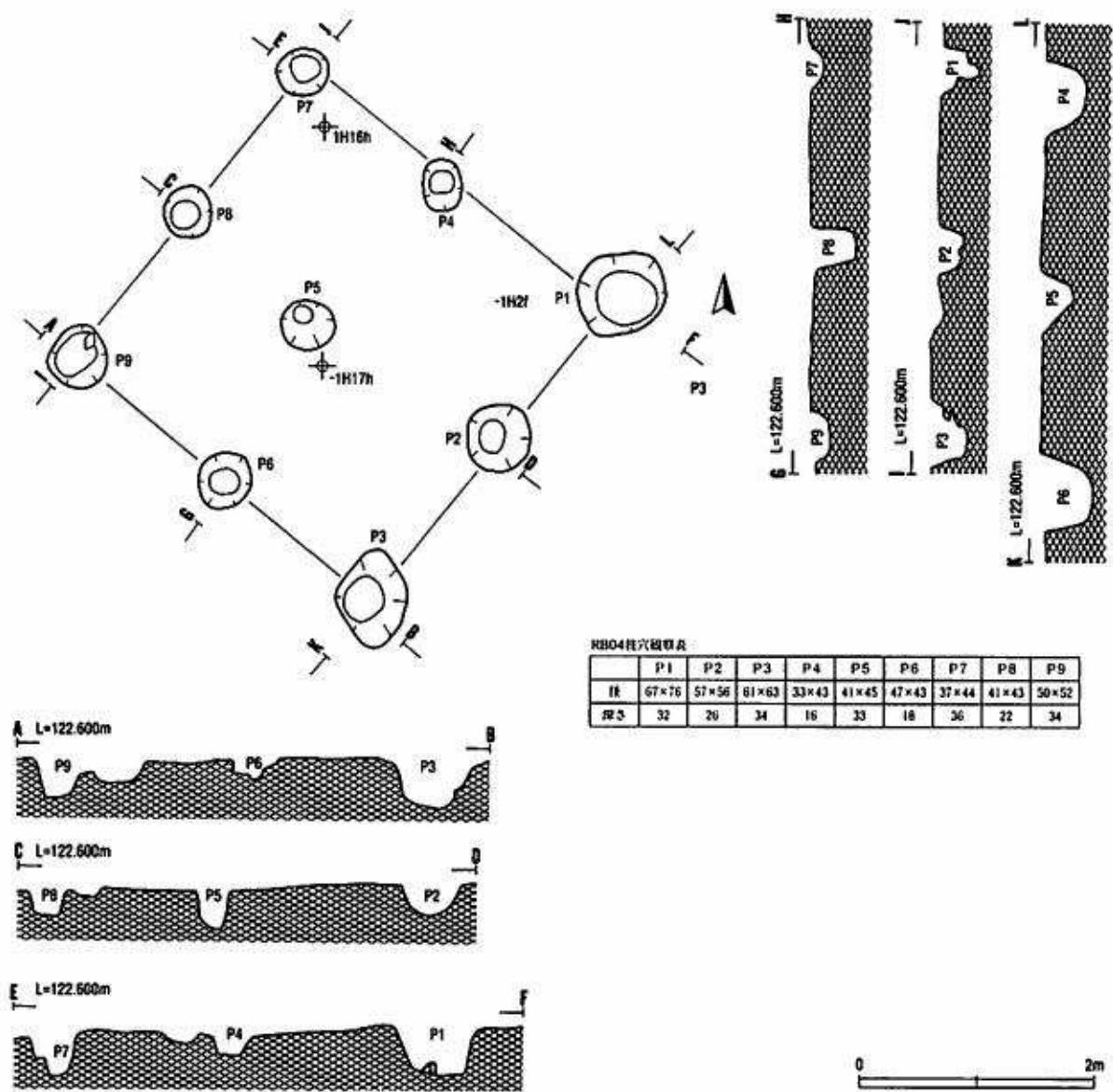
（柱穴規模） 径約80cm~37cmとややバラツキがあるものの40cm~40cm前後の例が多く、平面形は円形か梢円形である。深さは56cm~17cmと大きな差があるが、30cm台がもっとも多い。

#### 遺物

遺物は出土していない。

#### 性格と時期

遺物の出土が無いので時期を明示出来ないが、柱穴配置から稻倉的な性格の建物跡と推測され、集落を構成する遺構と判断される。



第22図 R B O 4 掘立柱建物跡

### (3) R B O 4 掘立柱建物跡

遺構 (第22図、写真図版12図)

〈位置〉 グリッド-1 H17g 区付近でRB03号掘立柱建物跡の北東約5mに位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層の上面で柱穴が円形の黒色シルトとして検出された。

〈重複状況〉 他遺構との重複はまったく無く、単独で検出された。

〈埋土〉 埋土は柱穴によって単層～5層と違いはあるが、基本的にはやや粘性のある黒褐色か暗褐色のシルトが堆積する共通性が見られ、全体としてしまりがある。

〈規模と形状〉 全体規模が南東～北西3.30m、南西～北東3.20mであり、平面形態は若干の歪みはあるもののほぼ正方形に近い。中軸方向はN-36°-Eを示す。

〈柱穴配置〉 柱穴の配置関係を見ると、中間の柱位置は中心から若干ずれるものの各柱列の交点すべての9箇所に田の字状に配置するいわゆる総柱建物である。

**(柱間寸法)** 南東-北西3.60mにはほぼ中間の1.65mに、南西-北東3.20mは北東から1.50m+1.70mであり、各柱列には微妙な出入りがあるものの、許容誤差の範囲と言つていいよう。

**(柱穴規模)** 径約67cm~33cmとバラツキがあるものの40cm以上の例が多く、平面形は円形か梢円形である。深さは36cm~16cmと差があり30cm~20cmがもつとも多い。

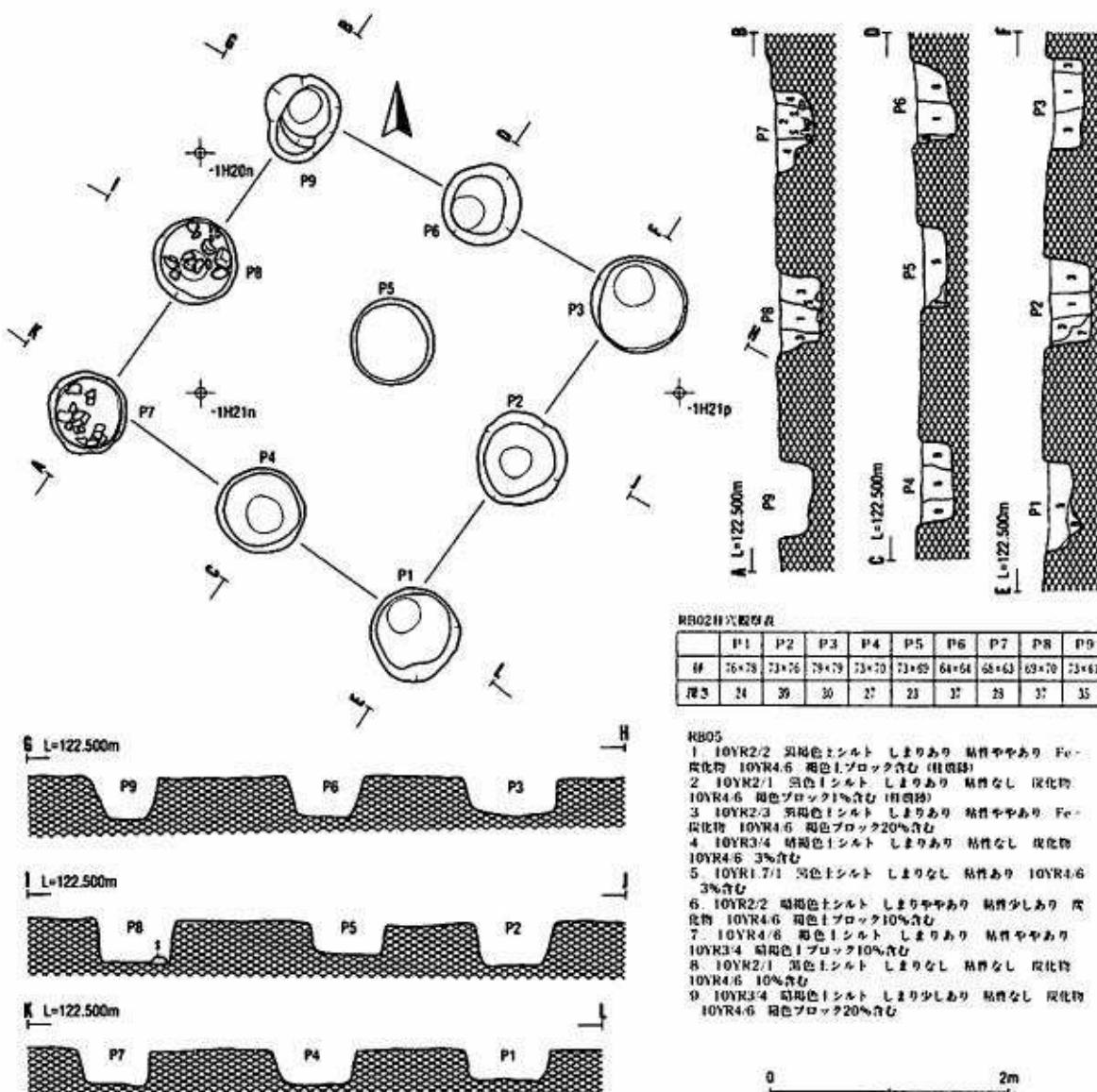
#### 遺物 (第58図272~274、写真図版47図)

柱穴内から須恵器が3点出土している。

須恵器の3点 (272~274) は、272は外面に並行叩き具痕、内面に青海波文の当て具痕を付す大甕の肩部上位破片である。273は壺（もしくは長頸瓶）の口縁端部の破片であり、274は外面の肩部上位は口クロナデし下位をヘラケズリ調整、内面はヘラナデやカキメ調整される甕もしくは壺の類の体部破片である。

#### 性格と時期

遺物の出土が無いので時期や性格を明示出来ないが、平安時代の集落に伴う稻倉的な性格が想定される。



第23図 R B O 5 掘立柱建物跡

#### (4) RBO 5掘立柱建物跡

##### 遺構 (第23図、写真図版13図)

- 〈位置〉 グリッド-1 H21 n区付近でRBo 2号掘立柱建物跡の東約18mに位置する。
- 〈検出状況〉 III層の上面で柱穴が円形の黒色シルトとして検出された。
- 〈重複状況〉 他遺構との重複はまったく無く、単独で検出された。
- 〈埋土〉 埋土は柱穴によって单層～5層と違いはあるが、基本的には他の建物跡と同様、やや粘性のある黒褐色か暗褐色のシルトが堆積する共通性が見られ、全体としてしまりがある。
- 〈規模と形状〉 全体規模が南東一北西3.30m、南西一北東3.30mであり、平面形態は若干の歪みはあるもののほぼ正方形に近い。中軸方向はN-34° -Eを示す。
- 〈柱穴配置〉 柱穴の配置関係を見ると、中間の柱位置は中心から若干ずれるものの各柱列の交点すべての9箇所に田の字状に配置するいわゆる総柱建物である。
- 〈柱間寸法〉 南東一北西3.30mにはほぼ中間の1.65mに、南西一北東3.30mは北東から1.55m+1.65mであり、各柱列には微妙な差はあるものの、許容誤差の範囲と言いうことが出来よう。
- 〈柱穴配置〉 径約79cm～61cmと差はあるがほぼ70cm前後の例が多く、平面形は円形か梢円形である。深さは39cm～24cmの範囲と差はあるもののほぼ一定しており、全体として良く揃っている。

##### 遺物 (第54図228～230、写真図版44図)

埋土内から土師器が出土している。

土師器-ロクロ不使用成形された甕の体部～頸部、体部～口縁部、口縁部の破片が3点(228～230)出土している。体部外面はヘラケズリ(230)、ハケメ(228)、内面はヘラナデやハケメ調整され、口縁部は内外面ともヨコナデである。

##### 性格と時期

出土した遺物から平安時代前期の集落に伴う稻倉的な性格が想定される。

## 4. 土坑

土坑は27基の検出であるが、そのほとんどが所属時期・用途などを明確に示す資料は得られていないことから、時期・性格とも不明の例が多い。

#### (1) RDO 5土坑

##### 遺構 (第24図、写真図版14)

- 〈位置〉 グリッド-1 H17 a区に位置する。
- 〈検出状況〉 II b層中にRDO 5・06・07土坑の3基が重複して検出された。II b層は黒色土であるが、埋土はやや灰黒褐色気味を示している。
- 〈重複状況〉 RD 06・07土坑と重複している。埋土断面の状況からRD 06土坑が新しい。また、RD 07土坑は平面的な状況から当遺構の方が新しい。
- 〈規模と形状〉 平面形は梢円形、断面形は浅い皿状をなし、規模は検出面の開口部で径118cm×100cm、底部径89cm×74cm、深さ約22cmである。
- 〈埋土〉 黒褐色シルト主体の单層である。

〈壁・底面〉 壁は外傾して緩やかに立ち上がる。底部付近に焼土及び炭化材を検出しているが、その性格は不明である。

#### 遺物

出土していない。

#### 性格と時期

遺物の出土がないため時期・性格とも不明である。

### (2) RD06土坑

#### 遺構 (第24図、写真図版14)

〈位置〉 グリッド-1 G17y、-1 H17a区にまたがって位置する。

〈検出状況〉 II b層中にRD05・06・07土坑の各土坑と重複して検出された。II b層は黒色土であるが、埋土はやや灰黒褐色気味を示している。

〈重複状況〉 埋土断面の状況からRD05より古く、RD07土坑より新しい。

〈形状・規模〉 平面形は不整円形、断面形は浅い皿状をなし、規模は検出面の開口部で径170cm×147cm、底部径140cm×120cm、深さ約28cmである。

〈埋土〉 黒褐色シルトが主体の単層である。

〈壁・底面〉 壁は断面の状況からすると外傾して緩やかに立ち上ると推測されるが、他の土坑との重複により、全容を把握出来ない部分がある。底部付近に焼土及び炭化材を検出しているが、その性格は不明である。

#### 遺物

出土していない。

#### 性格と時期

出土遺物がないため時期・性格等定かでない。

### (3) RD07土坑

#### 遺構 (第24図、写真図版14)

〈位置〉 グリッド-1 G17yに位置する。

〈検出状況〉 II b層中にRD05・06・07土坑の各土坑と重複して検出された。II b層は黒色土であるが、埋土はやや灰黒褐色気味を示している。

〈重複状況〉 RD05土坑、RD07土坑に記載したとおりである。

〈形状・規模〉 平面形は梢円形、断面形は浅い皿状をなし、規模は検出面の開口部で径96cm×75cm、底部径78cm×57cm、深さ約10cmである。

〈埋土〉 灰黒褐色シルトが主体の単層である。

〈壁・底面〉 RD06土坑との重複により全容の把握が出来ないが、西側壁は緩やかに外傾して立ち上ると推測される。

#### 遺物

出土していない。

#### 性格と時期

出土遺物がないため時期・性格等定かでない。

### (4) RD08土坑

#### 遺構 (第24図、写真図版15)

〈位置〉 グリッドー1 H22e区に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 重複する遺構は無く単独で検出された。

〈形状・規模〉 平面形は円形、断面形は皿形より深い掘鉢状で、規模は検出面の開口部で径200cm×200cm、底部径64cm×64cm、深さ約39cmである。

〈埋土〉 黒褐色シルトが主体的に堆積する。

〈壁・底面〉 壁は緩やかに外傾している。底部中央には地山疊層が露出している。

#### 遺物 (第55図232、写真図版45)

土師器小破片5点、須恵器小破片5点（壺・甕体部破片）が出土している。また、輪羽口の破片と推測される土製品232も1点出土している。

#### 性格と時期

出土遺物から平安時代の土坑である可能性が強い。

### (5) RD09土坑

#### 遺構 (第24図、写真図版15)

〈位置〉 グリッドー1 H22f区に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 重複遺構は無く単独で検出された。

〈形状・規模〉 平面形は円形、断面形掘鉢状をなし、規模は検出面開口部で径192cm×185cm、底部径67cm×56cm、深さ約42cmである。

〈埋土〉 黒色～黒褐色シルトが主体的に堆積する。

〈壁・底面〉 壁は底面の中央付近から緩やかに外傾して立ち上がり、開口部付近でやや直立気味になる。

#### 遺物 (第55図233、写真図版45)

土師器壺の体部破片が1点（233）出土している。外面がヘラケズリ、内面ハケメで調整される。

#### 性格と時期

出土した遺物から平安時代の土坑と推測される。

### (6) RD10土坑

#### 遺構 (第24図、写真図版15)

〈位置〉 グリッドー1 H24f区に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 重複遺構は無く単独で検出された。

（形状・規模） 平面形はほぼ円形、断面形が皿状をなし、規模は検出面の開口部で径186cm×162cm、底部径131cm×56cm、深さ約24cmである。

（埋 土） 黒色シルトが主体的に堆積する。黒色土中には明黄褐色土の小塊が点在している。

（壁・底面） 壁は緩やかに外傾して立ち上がる。

#### 遺 物 (第55図234、写真図版45)

埋土内から土師器の高台付き壺が1点出土している。ロクロ使用成形され、内面ミガキ後黒色処理の壺に高台を付した形である。

#### 性格と時期

出土した遺物から平安時代の土坑と推測される。

### （7） RD 1 1 土坑

#### 遺 構 (第24図、写真図版15)

（位 置） グリッド-1 H25g 区に位置する。

（検出状況） Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出した。

（重複状況） 重複遺構は無く単独で検出された。

（形状・規模） 平面形は不整円形、断面形が鍋底状をなし、検出面の開口部で径104cm×103cm、底部が径74cm×58cm、深さ30cmの規模である。

（埋 土） 黒褐色シルトが主体的に堆積する。

（壁・底面） 壁は直立気味に立ち上がり底面は平坦である。

#### 遺 物 (第55図235、写真図版45)

埋土上部から土師器壺あるいは鉢の底部と推測される破片（内面黒色処理）が出土している。

#### 性格と時期

出土した遺物から平安時代の土坑である可能性が強い。

### （8） RD 1 2 土坑

#### 遺 構 (第24図、写真図版16)

（位 置） グリッド-1 H22c 区に位置する。

（検出状況） Ⅲ層上面で暗褐色シルトの広がりとして検出された。

（重複状況） 重複遺構は無く単独で検出された。

（形状・規模） 平面形は隅丸三角形、断面形が皿状をなし、検出面の開口部で径142cm×74cm、底部径135cm×58cm、深さ11cmの規模である。

（埋 土） 黒褐色シルトが主体的に堆積する。

（壁・底面） 壁は直立し、底面の北西側に地山礫屑が露出している。

#### 遺 物

陶磁器の破片と土師器の破片が数点出土している。

#### 性格と時期

遺物の出土は有るが陶磁器を含むことや、形状や深さから土坑であるか否か疑問のある遺構である。

## (9) RD14土坑

遺構 (第24図、写真図版16)

〈位置〉 グリッド1H2g区に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 RD20土坑と重複しており、平面及び断面から当土坑の方が新しい遺構である。

〈形状・規模〉 平面形はほぼ円形、断面形が鍋底状をなし、検出面の開口部で径98cm×84cm、底部径71cm×42cm、深さ29cmの規模である。

〈埋土〉 黒褐色シルトが主体的に堆積する。

〈壁・底面〉 壁はやや直立気味に立ち上がり、底面には凹凸がある。

遺物

土師器の小破片と陶磁器の小破片が数点出土している。

性格と時期

遺物の出土はあるものの陶磁器片を含むことから最近の土坑と推測される。

## (10) RD17土坑

遺構 (第24図、写真図版16)

〈位置〉 グリッド-1H22bと-1H22c区にまたがって位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 RE03土坑と重複しているが、平面及び断面の観察で新旧関係を明確にし得なかった。

〈形状・規模〉 平面形は橢丸方形形状、断面形皿状をなし、検出面の開口部で径100cm×103cm、底部径85cm×77cm、深さ20cmの規模である。

〈埋土〉 黒褐色シルトが主体的に堆積する。

〈壁・底面〉 外傾しながら立ち上がる。

遺物

出土していない。

性格と時期

遺物の出土が無いので時期・性格とも不明である。

## (11) RD18土坑

遺構 (第24図、写真図版16)

〈位置〉 グリッド-1H18d区に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で暗褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 RZ03溝跡と重複しているが、平面及び断面の観察で新旧関係を明確にし得なかった。

〈形状・規模〉 平面形は円形、断面形ピーカー状をなし、検出面の開口部で径190cm×190cm、底部径159cm×159cm、深さ36cmの規模である。

〈埋土〉 黒褐色～暗褐色のシルトが主体的に堆積する。

〈壁・底面〉 壁は直立に立ち上がる。底面の約2/3には地山の礫層が露出している。

遺物

土師器と須恵器の小破片が出土している。

### 性格と時期

出土し遺物から平安時代の土坑である可能性が強い。

## (12) RD22土坑

### 遺構 (第24図、写真図版17)

〈位置〉 グリッド-1H19b・-1H19c区にまたがって位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 RZ02円形周溝遺構の南側部分と重複しているが、新旧関係については明確にし得なかつた。

〈形状・規模〉 平面形は不整形、断面形は丸鍋底状をなし、検出面の開口部で径221cm×64cm、底部径194cm×36cm、深さ32cmの規模である。

〈埋土〉 黒色のシルトが主体的に堆積する。

〈壁・底面〉 壁は比較的緩やかに立ち上がり、底面にはほぼ全面に地山疊層が露出している。

### 遺物

出土していない。

### 性格と時期

遺物が出土していないことや埋土の黒色土が比較的新規の土と推測されることから近現代の土坑の可能性がある。

## (13) RD23土坑

### 遺構 (第25図、写真図版17)

〈位置〉 グリッド-1H20b区に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 RG11溝跡を截っており、より新しいものである。

〈形状・規模〉 平面形は梢円形、断面形は鍋底状をなし、検出面の開口部で径183cm×86cm、底部径132cm×58cm、深さ25cmの規模である。

〈埋土〉 黒褐色のシルトが主体的に堆積するが、埋土上位には木根痕が入り込んでいる。

〈壁・底面〉 壁は外傾しながら緩やかに立ち上がり、北西側には地山疊層が露出している。

### 遺物

須恵器甕体部破片が3点出土している。

### 性格と時期

出土した遺物から平安時代の土坑の可能性がある。

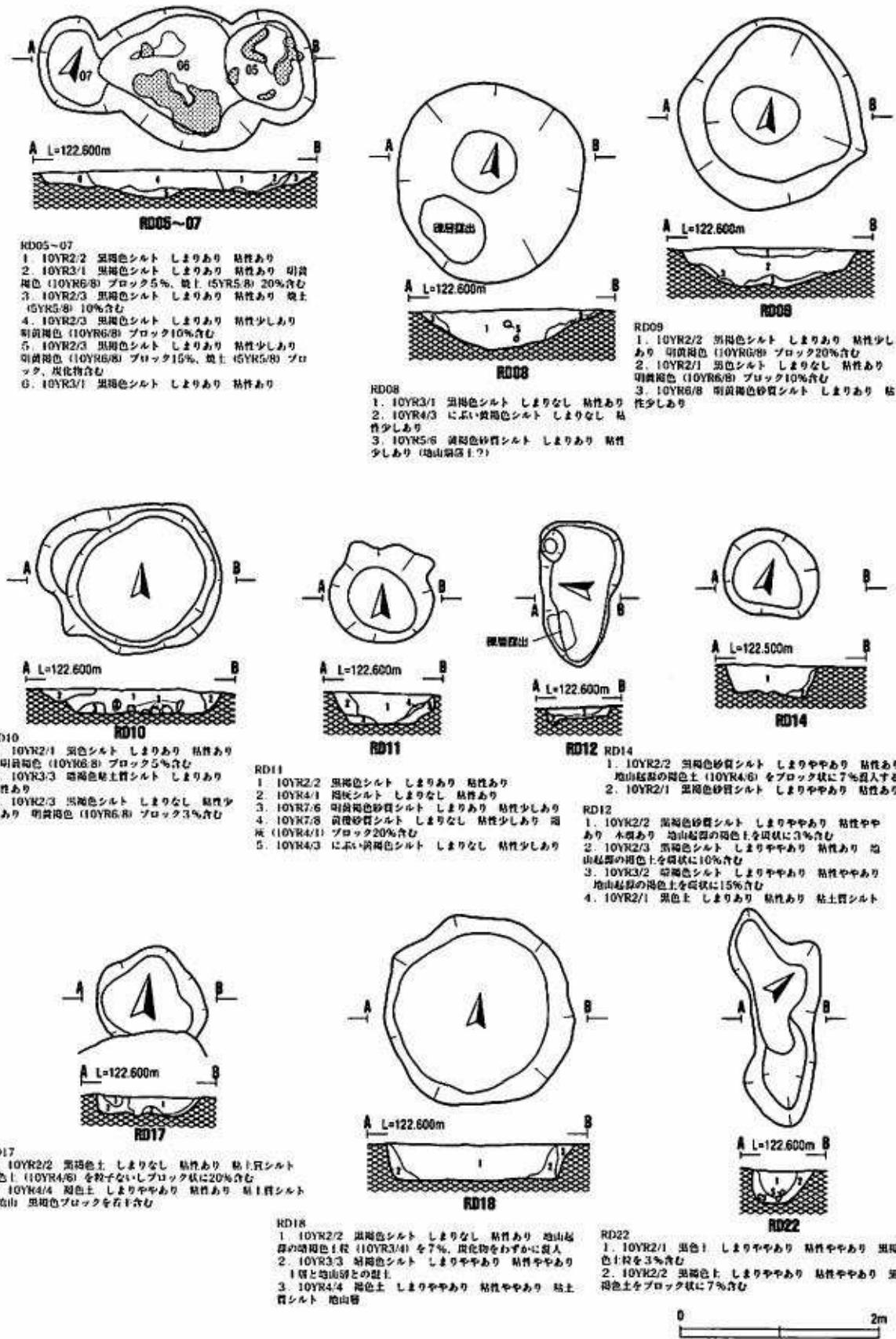
## (14) RD24土坑

### 遺構 (第25図、写真図版17)

〈位置〉 グリッド-1H17k・-1H18k区に位置する。

〈検出状況〉 調査区中央部の疊層露出域で黒褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 重複遺構は無い。



第24図 R D O 5 ~ 2 2 土坑

〈形状・規模〉 平面形は梢円形、断面形は鍋底状をなし、検出面の開口部で径196cm×141cm、底部径148cm×113cm、深さ42cmの規模である。

〈埋 土〉 黒褐色のシルトが主体的に堆積するが、埋土下位は砂や礫が主体である。

〈壁・底面〉 壁は外傾しながら緩やかに立ち上がり、開口部付近では直立気味となる。一部に地山礫層が露出し壁や底面は拳大の礫や砂で構成される。

#### 遺 物

出土していない。

#### 性格と時期

一応、土坑として登録したが、遺物が出土しないことや埋土の黒色土が比較的新規の土と推測されることから近現代の耕作に伴う土坑の可能性がある。

### (15) RD25土坑

#### 遺 構 (第25図、写真図版18)

〈位 置〉 グリッドー1 H19 i 区に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で暗黒褐色～黒褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 重複遺構は無い。

〈形状・規模〉 平面形は梢円形、断面形は丸鍋底状をなし、検出面の開口部で径110cm×82cm、底部径90cm×53cm、深さ35cmの規模である。

〈埋 土〉 黒褐色のシルトが主体的に堆積するが、埋土中に焼土小塊や炭化材が混入する。

〈壁・底面〉 壁は緩やかに立ち上がり、底面は丸味をおびている。

#### 遺 物

土師器坏（ロクロ使用・内面黒色処理？）底部片、須恵器甕体部破片が出土している。

#### 性格と時期

出土した遺物から平安時代の土坑の可能性がある。

### (16) RD26土坑

#### 遺 構 (第25図、写真図版18)

〈位 置〉 グリッドー1 H22 k 区に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 当土坑下部でPP145と重複しているが、当土坑が新しい遺構である。

〈形状・規模〉 平面形は円形、断面形は皿状をなし、検出面の開口部で径115cm×103cm、底部径103cm×85cm、深さ15cmの規模である。

〈埋 土〉 黒褐色のシルトが主体的に堆積するが、黄褐色シルト小塊が混入する。

〈壁・底面〉 壁は緩やかに立ち上がり、底面は丸味をおびている。

#### 遺 物

出土していない。

#### 性格と時期

遺物の出土がないので断定できないが、埋土の状況から近現代の土坑である可能性が強い。

### (17) RD27土坑

遺構 (第25図、写真図版18)

〈位置〉 グリッドー1H17h・-1H18h区に位置する。

〈検出状況〉 調査区中央部疊層露出域で黒褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 ない。

〈形状・規模〉 平面形は不整隅丸長方形、断面形は皿状をなし、検出面の開口部で径197cm×95cm、底部径186cm×79cm、深さ25cmの規模である。

〈埋土〉 黒褐色のシルトが主体的に堆積する。

〈壁・底面〉 土坑周辺は疊層が露出する区域であり、壁・底面も同様に疊が露出する。

遺物

土師器小破片(摩滅が著しい)、須恵器壺体部破片が出土している。

性格と時期

遺物の出土があるものの埋土の状況から近現代の土坑である可能性が強い。

### (18) RD29土坑

遺構 (第25図、写真図版18)

〈位置〉 グリッドー1H19c区に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層の上面で黒褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 RD02土坑と重複しているが、平面や断面の観察で当土坑が古い土坑である。

〈形状・規模〉 平面形は隅丸長方形、断面形は皿状をなし、検出面の開口部で径93cm×70cm、底部径86cm×59cm、深さ9cmの規模である。

〈埋土〉 黒褐色のシルトが主体的に堆積するが、焼土塊が僅かに混入する。

〈壁・底面〉 全体として浅く、壁・底面ともⅢ層であるが、一部不規則である。

遺物

出土していない。

性格と時期

出土遺物が無いので断定出来ないが、埋土の状況から近現代の土坑、もしくは耕作に伴う掘り込みの可能性が強い。

### (19) RD30土坑

遺構 (第25図、写真図版19)

〈位置〉 グリッド1H3m区に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層の上面で黒褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 重複する遺構はない。

〈形状・規模〉 平面形は円状、断面形は不整形をなし、検出面の開口部で径100cm×100cm、底部径100cm×100cm、深さ23cmの規模である。

〈埋土〉 黒褐色のシルトが主体的に堆積するが、下部は黒褐色シルトと黄褐色シルトが混在する。また、検出面で焼土塊が確認されたほか、埋土中位の一部に炭化物が点在する。

〈壁・底面〉 壁はほぼ直立であるが、底面の起伏が著しく不規則である。

#### 遺物

土師器の小破片が出土している。

#### 性格と時期

土師器の破片が出土しているものの、埋土の状況から近現代の土坑の可能性が強い。

### (20) RD31土坑

#### 遺構 (第25図、写真図版19)

〈位置〉 グリッド-1H201と-1H211区に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層の上面で黒褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 重複する遺構はない。

〈形状・規模〉 平面形は長楕円形、断面形は皿形をなし、検出面の開口部で径138cm×62cm、底部径119cm×43cm、深さ14cmの規模である。

〈埋土〉 黒褐色のシルトが主体的に堆積する。

〈壁・底面〉 壁は緩やかに立ち上がり、底面は平坦である。

#### 遺物 (第55図230、写真図版)

土師器壺と甌の小破片が5点出土している。230は甌の体部下端～底部を残す破片であるが、ロクロ不使用成形されたと推測され、底面に砂を付着させる砂底である。

#### 性格と時期

土師器の破片が出土しており、平安時代の可能性が強い。

### (21) RD32土坑

#### 遺構 (第25図、写真図版19)

〈位置〉 グリッド-1H18c区に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で、RZ02を精査中に、黒色シルト域部分とRG09と重複して検出された。

〈重複状況〉 平面形からRG09より当土坑の方が古いと推測されるが、主体部との新旧関係は断定出来ない。

〈形状・規模〉 平面形はほぼ円形、断面形は丸底錐状をなし、検出面の開口部で径101cm×90cm、底部径67cm×52cm、深さ24cmの規模である。

〈埋土〉 黒褐色のシルトが主体的に堆積する。

〈壁・底面〉 壁はやや外傾しながら立ち上がり、壁・底面とも地山疊層が露出する。

#### 遺物

出土していない。

#### 性格と時期

不明である。

## (22) RD33土坑

### 遺構 (第25図、写真図版19)

〈位置〉 グリッドー1H24k・-1H25k区にまたがって位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で梢円形状の土師器と須恵器を出土する黒褐色シルトの広がりとして検出した。

〈重複状況〉 重複する遺構は無い。

〈形状・規模〉 平面形はほぼ円形、断面形は丸底鍋状をなし、検出面の開口部で径101cm×90cm、底部径67cm×52cm、深さ24cmの規模である。

〈埋土〉 黒褐色のシルトが主体的に堆積する。

〈壁・底面〉 壁はやや外傾しながら立ち上がり、壁・底面とも地山礫屑が露出する。

### 遺物 (第55図237~239、写真図版45)

埋土内から土師器坏2点と(237・238)須恵器大甕1点(239)のほか小破片が出土している。

土師器坏の2点はロクロ使用成形で内面ミガキ後黒色処理され底部が回転糸切り離しと共通するが、237は体部下端がヘラケズリ、238は底面がヘラナデによる再調整がある。

須恵器大甕(239)は体部～口縁部を残す個体である。ロクロ使用成形され肩部～口縁部はロクロナデ痕のみを付し、肩部より下位は外面に並行叩き具痕にヘラナデ痕、内面には並行当て具痕が付されている。

### 性格と時期

出土した遺物により平安時代9世紀代の遺構と推測される。

## (23) RD37土坑

### 遺構 (第図、写真図版 )

〈位置〉 グリッドー1H15p区・RA03のカマド西脇付近に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面においてRA03のプランの一部として検出した。当初はRA03に伴うものとも考えられたが、精査の結果、別遺構として確認された。

〈重複状況〉 RA03と重複しているが、攪乱によりRA03との新旧関係は明らかではない。

〈形状・規模〉 平面形は開口部径52cm×48cmのやや梢円形で、断面形は丸底鍋状、深さ24cmである。

〈埋土〉 黒褐色のシルトの单層である。拳大の礫や土師器片をやや多く含んでいる。

〈壁・底面〉 壁はやや外傾しており、底面は僅かにくぼむ。

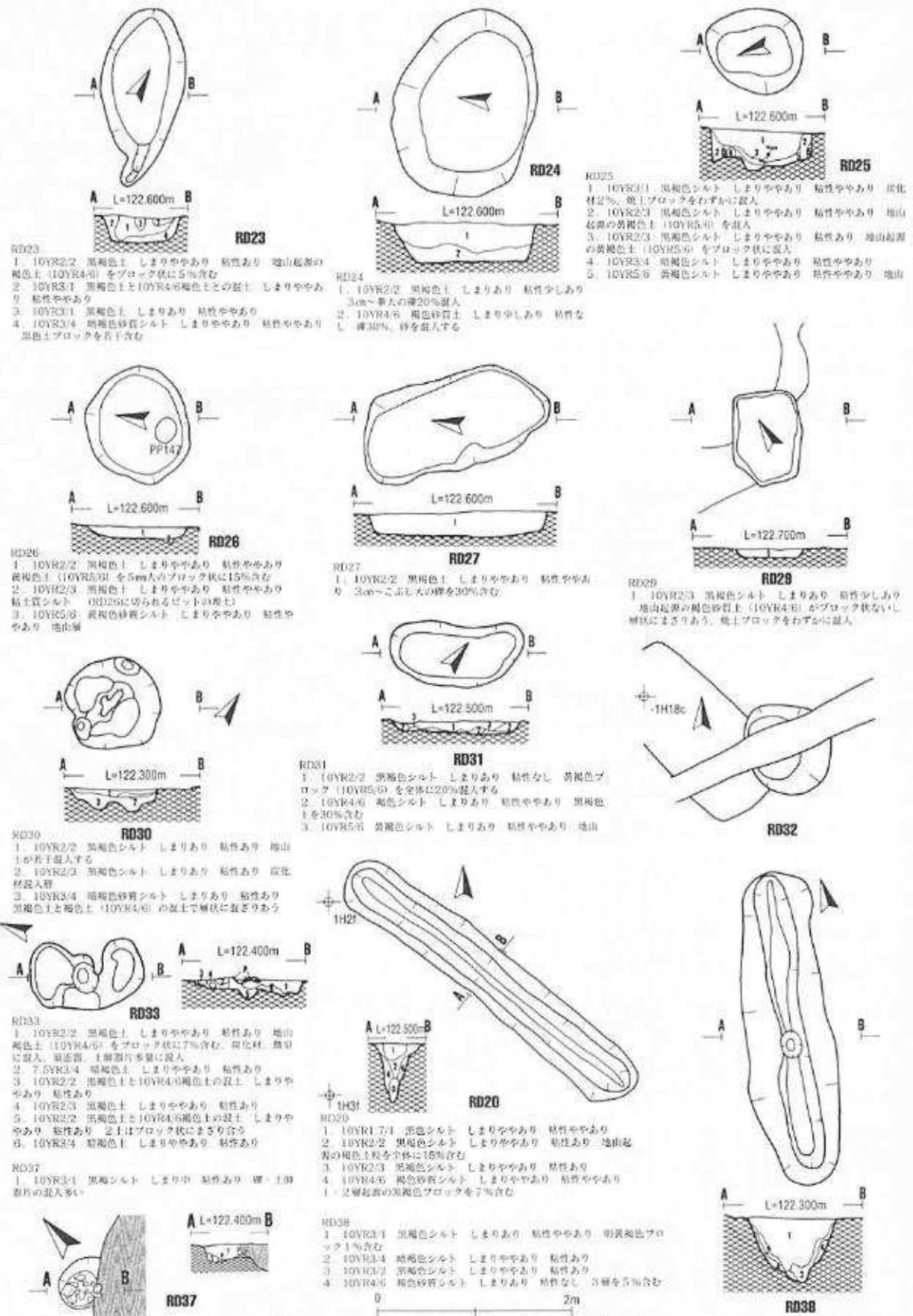
### 遺物 (第56図245~249、写真図版 )

埋土内から土師器の坏(245・246)と甕(247~249)が出土している。

ロクロ不使用成形の坏(245)は内外両面ともに黒色処理されている。一方、246はロクロ使用で、かつ内面黒色処理されないものであり、出土した杯2点には時期差があると推測される。また、甕は2点(247・248)がロクロ使用、1点(249)がロクロ不使用のものである。

### 性格と時期

出土した遺物から、平安時代の土坑と推測される。



第25図 R D 2 3 ~ 4 0 土坑

## 5. 陥し穴状遺構

溝状をなす縄文時代の陥し穴状遺構が2基検出されている。

### (1) RD20陥し穴状遺構

遺構 (第25図、写真図版17)

- 〈位置〉 グリッド1H1f・1H2f・1H2g区にまたがって位置する。
- 〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒色シルトの広がりとして検出された。
- 〈重複状況〉 RD14土坑と重複しているが、平面及び断面の観察で当土坑の方が古い遺構である。
- 〈形状・規模〉 検出面の開口部で長径367cm×短径54cm、底部の長径343cm×短径8cm、深さ61cmの規模を持ち、平面形は細長い溝状、断面形が漏斗状をなし、長軸方向はN-50°-Wを示す。
- 〈埋土〉 上部は黒色のシルト、中～下部は黒褐色シルトが主体であり、壁際は壁の崩落土と推測される黒褐色シルトと褐色シルトの混合土になっている。
- 〈壁・底面〉 壁は上部まで底面からやや外傾してほぼ直線的に立ち上がり、開口部付近では大きく外傾する。底面はやや中央が窪む様相を示す。
- 遺物
- 遺物は出土していない。
- 性格と時期
- 遺物の出土は無いが縄文時代中期以降と推測される。

### (2) RD38陥し穴状遺構

遺構 (第25図)

- 〈位置〉 グリッド-1h24w区に位置する。
- 〈検出状況〉 調査区北西端、拡張部分のIIb層上面で褐色シルトの広がりとして検出した。本来はIIa層から掘り込まれた可能性がある。
- 〈重複状況〉 重複する遺構は無い。
- 〈形状・規模〉 検出面の開口部で長軸330cm×短軸80cm、底部長軸285cm×短軸20cm、深さ70cmの規模で、平面形は細長い溝状、断面形はV字に近い漏斗状をなし、長軸方向はほぼ南北を示す。
- 〈埋土〉 黒褐色シルト～褐色砂質シルトが堆積し、4層に細分される。
- 〈壁・底面〉 底部はほぼ直線的で、やや丸味を持つ底面から壁面が外傾する。
- 遺物
- 出土していない。
- 性格と時期
- 縄文時代中期以降の遺構と推測される。

## 6. 池状遺構

1基検出した。池跡とした根拠は、当土坑から東西方向に溝跡（RG12・13・14）が延びているが、新旧関係の観察では新旧関係を明瞭に判別できず、むしろ同時存在し溝跡と一体となる土坑と解釈した方が理解し易かったことによる。

### (1) RZO3 池状遺構

#### 遺構 (第26図、写真図版22)

〈位置〉 グリッド1H3r区に位置し、北半約50%は調査範囲外に延びる。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出した。

〈重複状況〉 当池跡には東西に溝跡（RG12・13・14）が延びるが、本来は重複関係として精査したが、新旧関係を明瞭に判断出来なかった。むしろ同時存在した遺構と解釈された。

〈形状・規模〉 検出面で長径5m×短径2.8m、底面の径1.9m×1.9m、深さ95cmの規模があり、平面形は梢円形と推測され、断面形は大小の皿を重ねたような形である。

〈埋土〉 黒褐色シルトが主体であるが、上位層は比較的粘性・しまりともあり、下層は褐灰色シルトで、粘性・しまりとも上位層より弱い。なお、最下層の6・7層は帶水状態で沈殿した粘土状態の土であり、腐葉や植物の根等の堆積物が観察されている。また、5層と6層の間には十和田A降下火山灰の堆積が確認されている。

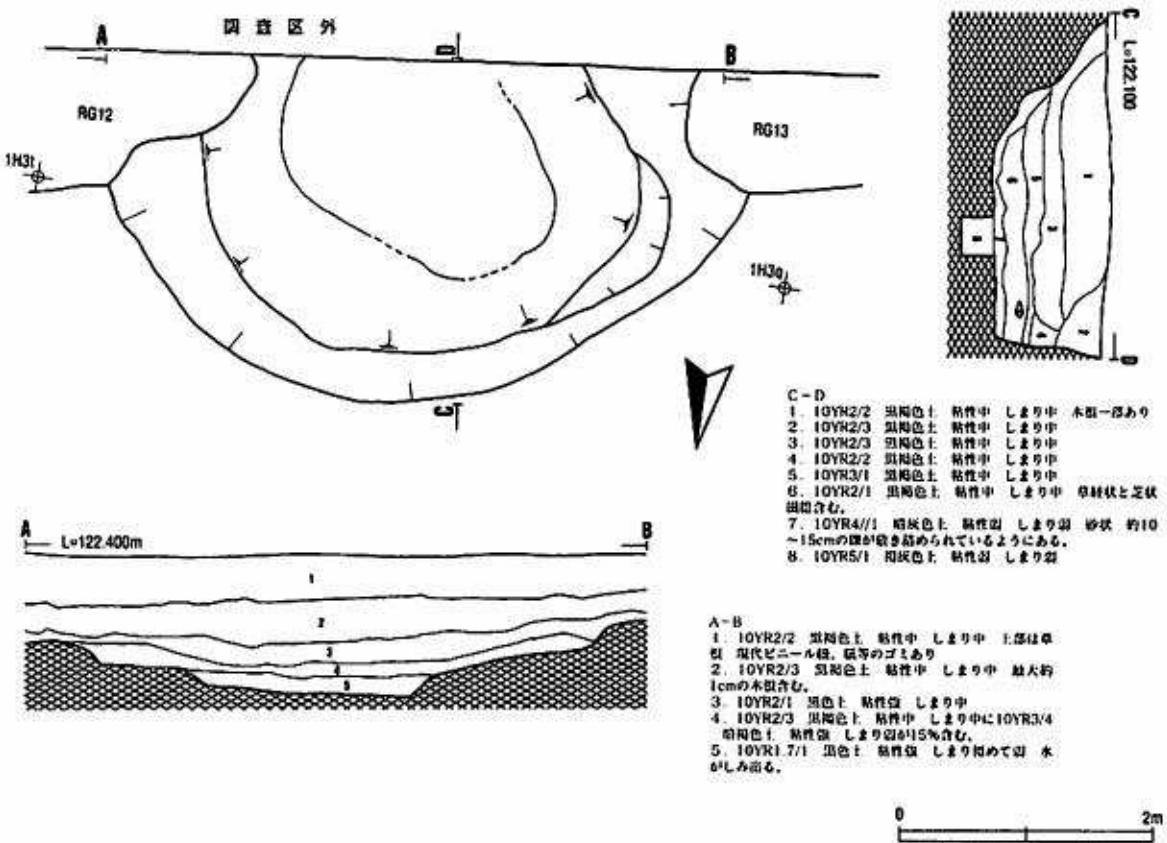
〈壁・底面〉 本来は底面が平坦で壁が外傾するやや深めの皿形と推測されるが、調査後の現状では大小の皿を重ね合わせたような形である。

#### 遺物 (第56図251~252、写真図版46)

土師器の破片が48点出土しているが、摩滅が著しいことと小破片のため復元された物はない。土師器壊の底部片1点と須恵器大甕の体部破片1点を掲載した。

#### 性格と時期

埋土内にAD915年降下とされる十和田A降下火山灰の堆積が確認されていることと、出土した遺物が平安時代の土師器と須恵器のみであることから、平安時代の遺構と言えるが、機能・性格については取りあえず池跡としたが、埋土の観察により帶水していたことは事実と思うが、池跡であるかは今後検討を要する。



第26図 RZO3 池跡

## 7. 溝跡

9条検出したが、一部は長い例もあるが、短く完結する例もあり、性格を明確に出来なかつた。また、所属時期にしても、平安時代の土師器や須恵器を出土した例も存在するが、埋土の観察ではそれほど古い堆積状況と判断出来ない。おそらくは近現代の溝跡が大半であろうと推測される。

### (1) RGO9溝跡

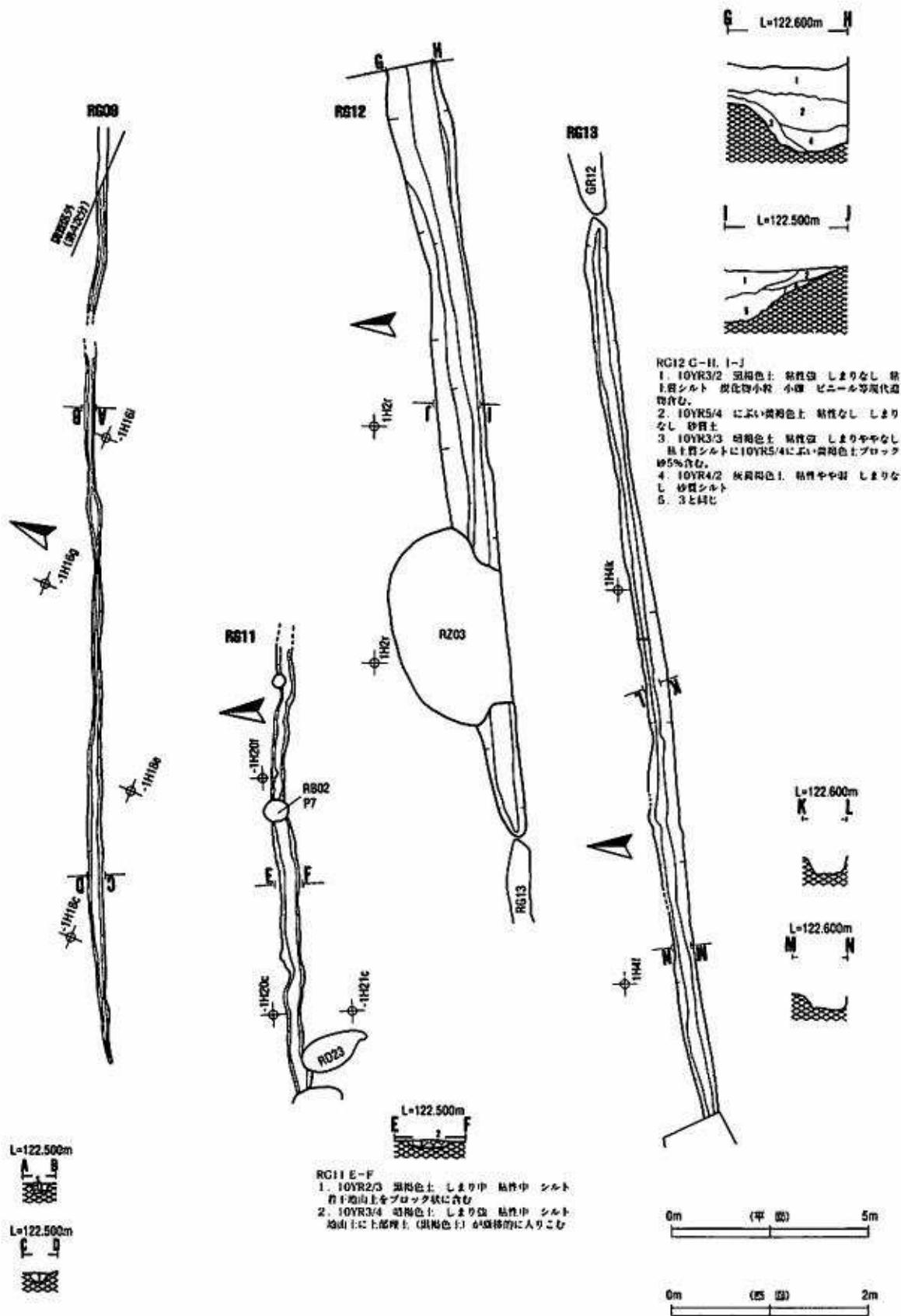
遺構 (第27図、写真図版23)

〈位置〉 グリッド-1H18a~-1H12q区にまたがつて位置する。調査区の北半をおよそ南西-北東に横断する形で延びており、東半分が4次調査範囲、西半分が3次調査範囲にまたがる。

〈検出状況〉 III層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出した。

〈重複状況〉 当溝跡の西端部分でRZ02とRD32と重複している。埋土などの観察からRZ02より当遺構が新しく、RD32との新旧関係は明確にし得なかつた。

〈形状・規模〉 形状はほぼ直線的に延びるが、西端部は調査区境付近で止まり、東端部は北東側の調査範囲



第27図 RGO 9 · 11 ~ 13 溝跡

外にさらに延びる。規模は検出された総延長約35m、幅は検出面で24cm~34cm、底面で14cm~20cmであり、深さは地点によってバラツキはあるものの概ね8cm~24cmの範囲であるが、溝の西半・中央・北東側の高低差についてレベル数値で比較すると、顕著な違いが無いことから、検出面の高低差によるものと推測される。長軸の方向はN-65°-Eを示す。

〈埋 土〉 ほぼ黒褐色シルト主体の単層であり、地点による大きな違いは見られないが一部に砂質シルトや砂が入り込んでいる。また、壁及び底面に地山疊層の露出する部分がある。

〈壁・底面〉 断面形がほぼ全域でU字状であり、地点による差はほとんど無い。

#### 遺 物

土師器と須恵器の小破片が数点出土している。

#### 性格と時期

遺構の重複による新旧関係では古墳時代以降、出土遺物からでは平安時代以降の溝跡となるが、埋土の状況では近現代の遺構である可能性が窺える。

### (2) RG11溝跡

#### 遺 構 (第27図、写真図版23・24)

〈位 置〉 グリッド-1H20b~-1H20g区にまたがって位置する。

〈検出状況〉 III層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出した。

〈重複状況〉 中央部~東半にかけてpp199・pp224と重複する。埋土の状態から当溝跡が古い遺構である。

〈形状・規模〉 形状はほぼ東西方向に直線的に延びるが、調査区西側で現代の擾乱及びII層黒色土の落ち込み等によって分断されている様相を示す。東側は次第に埋土が浅くなり、-1H20g付近の疊層に差し掛かると遺構が検出出来なくなる。検出された総延長約11m40cmほどで、幅は検出面で26cm~53cm、底面で15cm~35cm、深さ13cmほどである。底面の高低差に顕著な差は見られない。

〈埋 土〉 黒褐色シルト~暗褐色シルトが堆積している。

〈壁・底面〉 断面形がほぼ全域で皿状であり、地点による差は無い。

#### 遺 物

出土していない。

#### 性格と時期

時期を決定する資料は得られていないが、埋土の状況から近現代の溝跡の可能性が強い。

### (3) RG12溝跡

#### 遺 構 (第27図、写真図版24)

〈位 置〉 グリッド1H3s~1H3y区にまたがって位置し、RZ03池跡から東に延び東端は調査範囲外にさらに延びる。

〈検出状況〉 III層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 西端部がRZ03池跡と重複もしくは接続するが、精査の結果新旧関係よりも同時存在の遺構と認識された。

〈形状・規模〉 規模は、検出面で幅0.8m~1.80m、底面の幅52cm~85cm、深さ50cmであり、検出された延長は12mである。断面形はU字状をなす。

〈埋 土〉 最上層は黒褐色シルトであるが、中位層は黄褐色や暗褐色のシルトが堆積し、最下層は灰黄褐色シルトである。層で多少の違いはあるがどの層にも粘性はあるものの、しまりはあまり見られない。

〈壁・底面〉 地点によって若干異なるが、やや丸味を持つ底面から外傾して立ち上がる。

#### 遺 物

出土していない。

#### 性格と時期

池跡の一部を構成する遺構であることから、平安時代の遺構と言えよう。

### (4) RG13溝跡

#### 遺 構 (第27図、写真図版24)

〈位 置〉 グリッド1H5d～1H3q区にまたがって位置し、RZ03池跡から西に延び西端は調査範囲外にさらに延びる。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出された。

〈重複状況〉 東端部がRG14溝跡と相対しているが、検出時には離れていたが、本来は接続し同一の溝跡の可能性が強い。現状では重複する遺構は無い。

〈形状・規模〉 規模は、検出面で幅28cm～52cm、底面の幅18cm～36cm、深さ10cm～15cmであり、検出された延長は26mである。断面形はU字状をなす。

〈埋 土〉 最上層は黒褐色シルトであるが、中位層は黄褐色や暗褐色のシルトが堆積し、最下層は灰黄褐色シルトとRG12溝跡と同様である。

〈壁・底面〉 地点によって若干異なるが、やや丸味を持つ底面から外傾して立ち上がり深い皿形に近い。

#### 遺 物

出土していない。

#### 性格と時期

池跡とした土坑に付随する溝跡とすれば、平安時代に位置づけられる。

### (5) RG14溝跡 (旧名称RZ03)

#### 遺 構 (第28図、写真図版24)

〈位 置〉 グリッド-1H14c区に位置し、北東側にRG15溝跡が位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出した。

〈形状・規模〉 検出された総延長約4mほどで、幅は検出面で8cm～16cm、底面で3cm～7cm、深さ2cm～10cmと浅く、形状はほぼ直線的で両端は完結しこれに続く様相の溝は無い。長軸の方向はN-34°～Eを示す。

〈埋 土〉 黒褐色シルト～砂質シルトが主体的に堆積している。

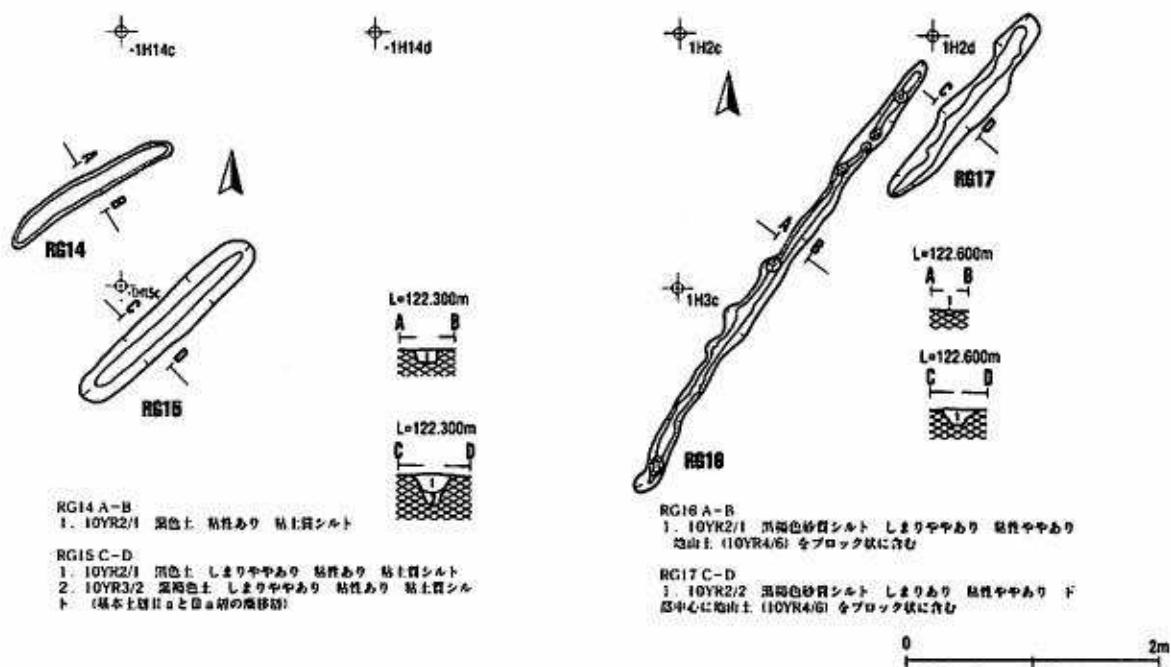
〈壁・底面〉 断面形はU字状～掘り鉢状を示し、底面には小穴が連続して検出されたが、樹列の様相とも異なり性格不明である。

#### 遺 物

出土していない。

#### 性格と時期

時期を決定する資料は得られていないが、埋土の状況から近現代の遺構の可能性が強い。



第28図 RG14~17溝跡

### (6) RG15溝跡(旧名称RZ04)

追構(第28図、写真図版24)

〈位置〉 グリッドー1H14c - 1H14c g区にまたがって位置し、北西1mの場所に規模・形状の近似するRG14溝跡が位置する。

〈検出状況〉 調査区北西端のIIb層中で灰黒褐色シルトの広がりとして検出した。

〈重複状況〉 重複する追構は無い。

〈形状・規模〉 検出された総延長約1m77cmほどで、幅は検出面で31cm、底面で10cm、深さ25cmである。両端とも完結する様相を示し、形状は溝状型の陥し穴状追構的であるが、深さが25cmと浅く断定出来ないので、取りあえず溝跡とした。長軸の方向はN-48°-Eを示す。

〈埋土〉 黒色～黒褐色シルトが主体的に堆積している。

〈壁・底面〉 検出面・壁・底面ともIIb層の黒色土中にあり、埋土との判別が困難であるが、断面形は掘り鉢状を示す。

追物

出土していない。

性格と時期

時期を決定する資料は得られていないが、埋土の状況から近現代の追構の可能性が強い。

### (7) RG16溝跡（旧名称RZ05）

遺構（第28図、写真図版25）

〈位置〉 グリッド-1H2c・-1H3c g区にまたがって位置し、北東側にRG17溝跡が位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出した。

〈重複状況〉 重複する遺構は無い。

〈形状・規模〉 検出された総延長約4mほどで、幅は検出面で8cm~16cm、底面で3cm~7cm、深さ2cm~10cmと浅く、形状はほぼ直線的で両端は完結しこれに続く様相の溝は無い。長軸の方向はN-34°-Eを示す。

〈埋土〉 黒褐色シルト～砂質シルトが主体的に堆積している。

〈壁・底面〉 断面形はU字状～掘り鉢状を示し、底面には小穴が連続して検出されが、柵列の様相とも異なり性格不明である。

遺物

出土していない。

性格と時期

時期を決定する資料は得られていないが、埋土の状況から近現代の遺構の可能性が強い。

### (8) RG17溝跡（旧名称RZ06）

遺構（第28図、写真図版25）

〈位置〉 グリッド-1H2dに位置し、南西側に並行するようにRG16溝跡が位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出した。

〈重複状況〉 重複する遺構は無い。〈形状・規模〉 検出された総延長約1m79cmほどで、幅は検出面で22cm~28cm、底面で6cm~10cm、深さ8cm~16cmである。形状はほぼ直線的で両端は完結し、これに続く様相の溝は無い。長軸方向はN-38°-Eを示す。

〈埋土〉 黒褐色シルト～砂質シルトが主体的に堆積している。

〈壁・底面〉 断面形はU字状を示し、底面はやや不整形で起伏がある。

遺物

出土していない。

性格と時期

時期を決定する資料は得られていないが、埋土の状況から近現代の遺構の可能性が強い。

## 8. 円形周溝遺構

2基検出している。当初は古墳的な墳墓の区画に伴う溝跡と推測していたが、精査で主体部が未検出であることから、既述の性格を念頭に置きながらも周溝遺構とした。

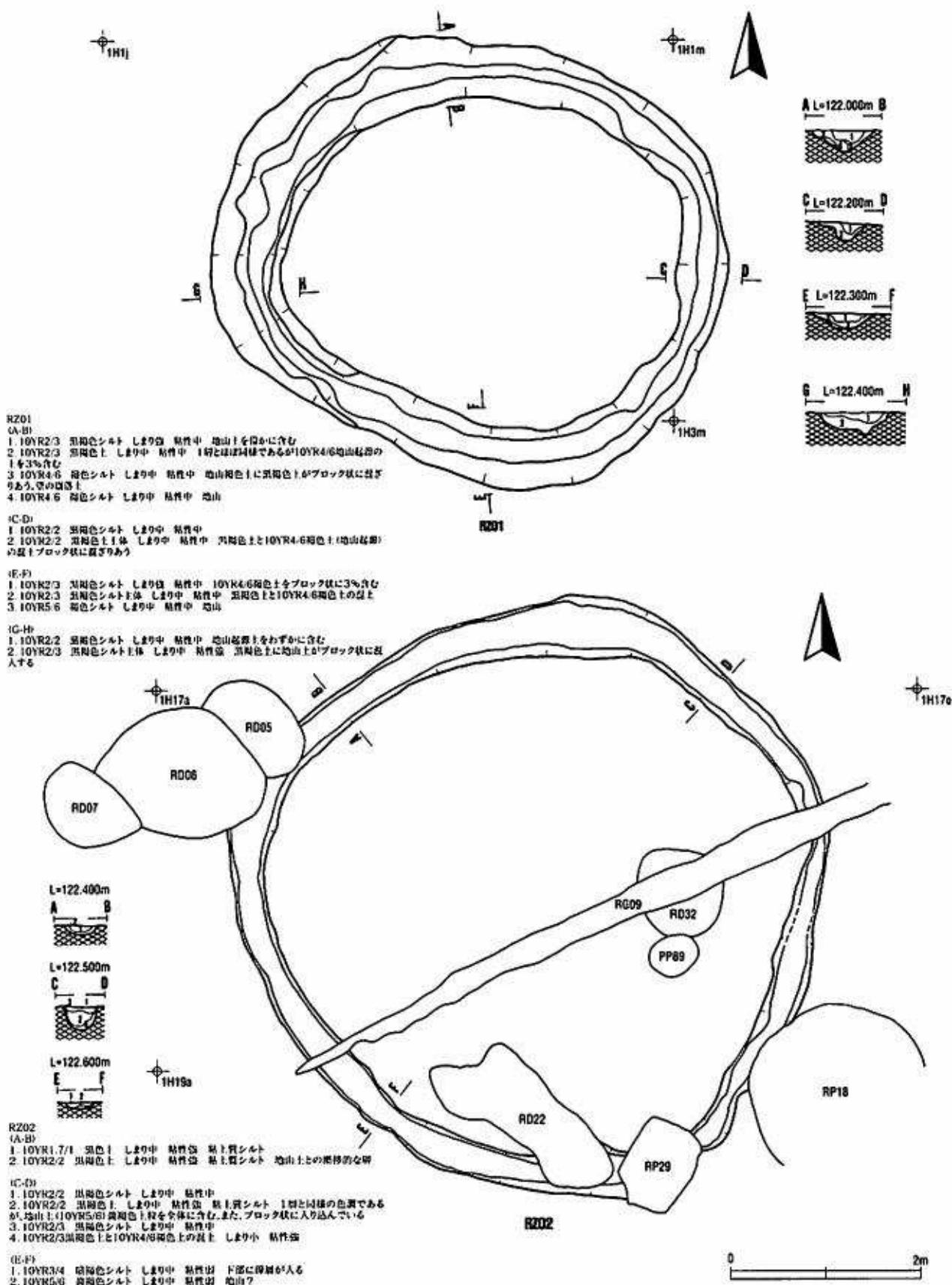
### (1) RZO1円形周溝

遺構（第29図、写真図版20・21）

〈位置〉 調査区の南側グリッド1H1k~1H2l区にまたがって位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出した。

〈重複状況〉 当周溝遺構内にRZ04土壙墓とRZ05土壙墓が検出されているが、RZ04土壙墓以外は直接的な重複関係ではない。新旧関係は当土坑の方が古い遺構である。



第29図 RZ01・O2円形周溝

**(形状・規模)** 平面形は環状に巡る溝であるが、規模は、外径が東西5m40cm×南北4m70cm、内傾が東西4m14cm×南北3m42であり、全体形が正円ではなく東西にやや長くなる梢円形的である。周溝の幅は検出面で32cm~86cm、底面で12cm~32cmであり、深さは12cm~25cmと、位置によって幅・深さとも若干の差がある。

**(埋 土)** 上半は黒褐色シルト主体であり、下半は黒褐色シルトに黄褐色シルトか小塊状で混在する。

**(壁・底面)** 断面形がほぼ全域でU字状~掘り鉢状であるが、壁は底面から直立気味に立ち上がった後、緩やかに外傾する。なお、周溝で区画された内部では既述した別遺構の検出はあつたが、当遺構に伴う土坑等の検出は無い。

#### 遺 物 (第56図250、写真図版46)

周溝の埋土内から土師器と須恵器の破片が数十点出土しているが、土師器の破片は全体として摩滅が著しいため、本報告では須恵器の体部破片1点(250)を掲載した。

須恵器-250は外面に並行叩き具痕、内面に並行のち無文凸面の当て具痕が付される。所謂大觀の体部破片である。

#### 性格と時期

出土遺物では平安時代の遺構となるが、破片での出土であり決定的では無い。性格も決定付ける資料は得られていないが、これまでの調査経験から平安時代の墳墓を区画した溝である可能性が考えられる。

## (2) R Z O 2円形周溝

#### 遺 構 (第29図、写真図版21)

**(位 置)** 調査区の北西側グリッド-1H17b~-1H19d区にまたがって位置する。

**(検出状況)** II b層~Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出した。

**(重複状況)** 当周溝遺構を横断するようにRG09が、周溝北東部でRD05と重複関係にあるが、当遺構よりいずれも新しい遺構である。さらに、南部でRD18・RD22・RD29とも重複するが、RD22は明確でなかったが他の2遺構は当遺構よりも新しい遺構である。

**(形状・規模)** 平面形は環状に巡る溝であるが、規模は、外径が東西6m25cm×南北6m28cm、内径が東西5m65cm×南北5m30であり、全体形がほぼ正円に近い。周溝の幅は検出面で21cm~65cm、底面で16cm~46cmであり、深さは3cm~20cmと、位置によって幅・深さとも若干の差がある。

**(埋 土)** 北側は周辺がII b層の黒色シルトであり、埋土は黒色シルト~黒褐色シルトが主体であるが、一部は黒褐色~暗褐色シルトが主体である。

**(壁・底面)** 断面形は、II b層の広がる北側はU字状をなし他より深く、西~南側は周溝の掘り込みが浅いため断面形も皿状をなし、埋土も暗褐色シルトが主体である。東側は溝の掘り込みが明確に検出されないことから、全体が馬蹄形となる可能性もあるが、かろうじて黒褐色~暗褐色シルトが断続的に続くことから、環状に全周するものと推測した。周溝で区画された内部から当遺構に関連すると考えられる遺構は検出されていない。

#### 遺 物

埋土内から土師器と須恵器の破片が出土しているが、全体として摩滅が著しい。

#### 性格と時期

出土した遺物が少量のため時期を明確にし難いが、先のRZ01円形周遺構と同様の性格が想定される。

## 9. 土壙墓

3基検出している。人骨の残存は不良であったが、出土した副葬品から近世～近代頃の墓壙と判断された。

### (1) RZO4土壙墓

遺構 (第30図、写真図版22)

〈位置〉 グリッド1H21区に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層の上面で擾乱によると推測される黒褐色シルトと地山褐色シルトの混合土の広がりとして検出された。

〈重複状況〉 RZO1周溝遺構と東端部が重複しているが、当遺構の方が新しい遺構である。

〈形状・規模〉 長径1.3m×短径95cm、深さ約35cmほどの規模があり、平面形は隅丸長方形気味で断面形は深皿状に近い。

〈埋土〉 埋土は7層に細分されているが、中央部に棺跡の痕跡と推測される黒褐色シルトが堆積するほか、その周辺を暗褐色や黒褐色のシルトに地山黄褐色シルトが混在する土が1層を取り囲むように堆積し、どの層も混合比率の多少はあるが大同小異と言える。

遺物 (第56～57図253～259、写真図版46・47)

埋上下部から人骨の下頸骨辺や歯のほか、銅製の柄鏡や陶磁器・櫛などが出土している。

柄鏡の鏡部は径11.2cmの正円で鏡面は僅かな凸面で無文、背面は縁に幅2.5mmの高さ2mmほど、さらに3cm内側にも径5.8cmで幅2.5mmの突帯が全周し、外区に「藤原光長」の銘、内区には蝶が3匹鋳出されている。文様のない部分は魚子地である。柄部は幅2cm、長さ8cmの直方体である。

257は型作りの平面が凸レンズ状をなす紅皿で、体部外面は菊花の花弁状をなし口縁部は輪花となる。

その他として鉄釘1点(253)、カミソリ状の鉄製品残欠1点(254)、梳き櫛残欠1点(255)、種類不明1点(256)がある。また、数珠様のガラス小玉79点(258)が、歯および柄鏡周辺から出土している。

性格と時期

出土した柄鏡の時期から近世～近代初期頃の土壙墓と言えよう。

### (2) RZO5土壙墓

遺構 (第30図、写真図版23)

〈位置〉 グリッド1H3k区に位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で土坑と推測される黒褐色シルトと褐色シルトの混合土の広がりとして検出した。

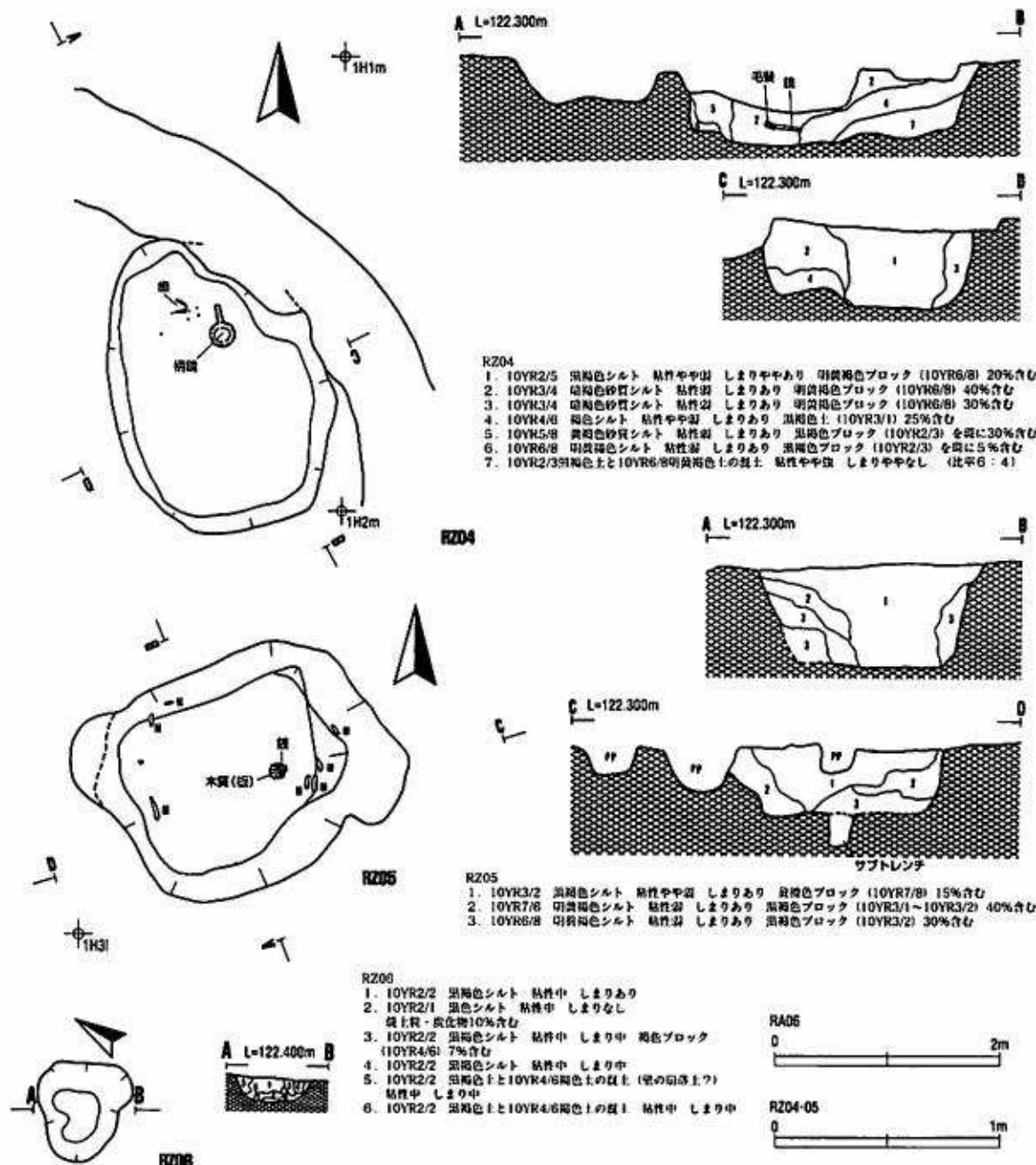
〈重複状況〉 重複する遺構は無く単独で検出された。

〈形状・規模〉 長径1.2m×短径1m、深さ約40cmほどの規模があり、平面形は隅丸長方形気味で断面形は平坦な底面から壁が軽く直線的に外傾する深皿状に近い。

〈埋土〉 埋土は3層に細分されるが、中央部分に棺跡の痕跡となる黒褐色シルトが堆積し、その周囲を取り囲むように暗褐色や黒褐色のシルトに地山黄褐色シルトを混在する土が堆積し、どの層も混合比率の差はあるが大同小異と言える。

遺物 (第57図261～267、写真図版47)

底面付近の埋土内から板状の木片と鉄釘のほか銭貨「寛永通寶」が出土している。鉄釘1点(260)は尖端部を欠失する。銭貨はいずれも「寛永通寶」であるが、寛文13年以前に鋳造の3点(265～267)と寛文年間鋳造の2点(262・264)、さらに破損のため銭文が不明な2点(261・263)がある。



第30図 RZ04～06土壙墓

#### 性格と時期

人骨の出土は無いが、銭貨の出土や埋土の状況から近世17世紀代の土壙墓と考えられる。

#### (3) RZ06土壙墓 (旧名称R D34)

遺構 (第30図、写真図版20)

〈位置〉 調査区の南側グリッド1H4eに位置する。

〈検出状況〉 Ⅲ層上面で黒褐色シルトの広がりとして検出した。

〈重複状況〉 重複する遺構は無い。

〈形状・規模〉 平面形は不整円形、断面形は鍋底状をなし、規模は開口部径95cm×81cm、底面は47cm×45cm、深さ20cmである。

〈埋 土〉 黒褐色シルトが主体であるが、黄褐色シルトが小塊状で混在し、人为的に埋め戻された様相を示す。また、中位～下部には焼土や炭化材も混在する。

〈壁・底面〉 底面はやや丸味を持ち壁は軽く外傾気味に立ち上がる。

遺 物 (第56図241～244、写真図版45)

人骨は残存していないが、副葬された貨幣「寛永通寶」が4枚出土している。

性格と時期

出土した遺物の貨幣がすべて俗に古寛永通寶と言われる寛文年間より古い時期の鋳造であり、17世紀前半代の墓壙と推測される。

## 10. 柱穴状土坑

当遺跡の調査範囲から柱穴状の小土坑が約544基ほど検出されているが、当地は発掘調査直前まで畠地として耕作されていたことや地点により表土が薄いなどにより無数の小土坑が散在して検出された。

これらの小土坑にはいわゆる掘立柱建物の柱穴を構成する土坑も含まれる可能性があるものの、大多数は規模が小さいこと、規模に比較して全体として浅いこと、断面形が先細りの楔形で打ち込み土坑が多いこと、埋土の状態が新しい様相を示す例が多いことなどから、大半は耕作もしくは至近の屋敷に係る杭穴的な土坑である可能性が強い。また、これらの柱穴の中から掘立柱建物として把握された例が既述の4棟以外には無いこともこの結論に至った傍証である。本来であれば、現地調査の中で所謂柱穴状土坑と耕作に係わる杭穴的な柱穴状土坑とは区別すべきであつたが、一括で処理をしている現状では実測図だけで両者を判断し区分することは不可能であるため、本稿ではすべてを柱穴状土坑として一括して柱穴状土坑配置図を掲載し、それに伴う個別の計測一覧表を掲載し報告に換える。

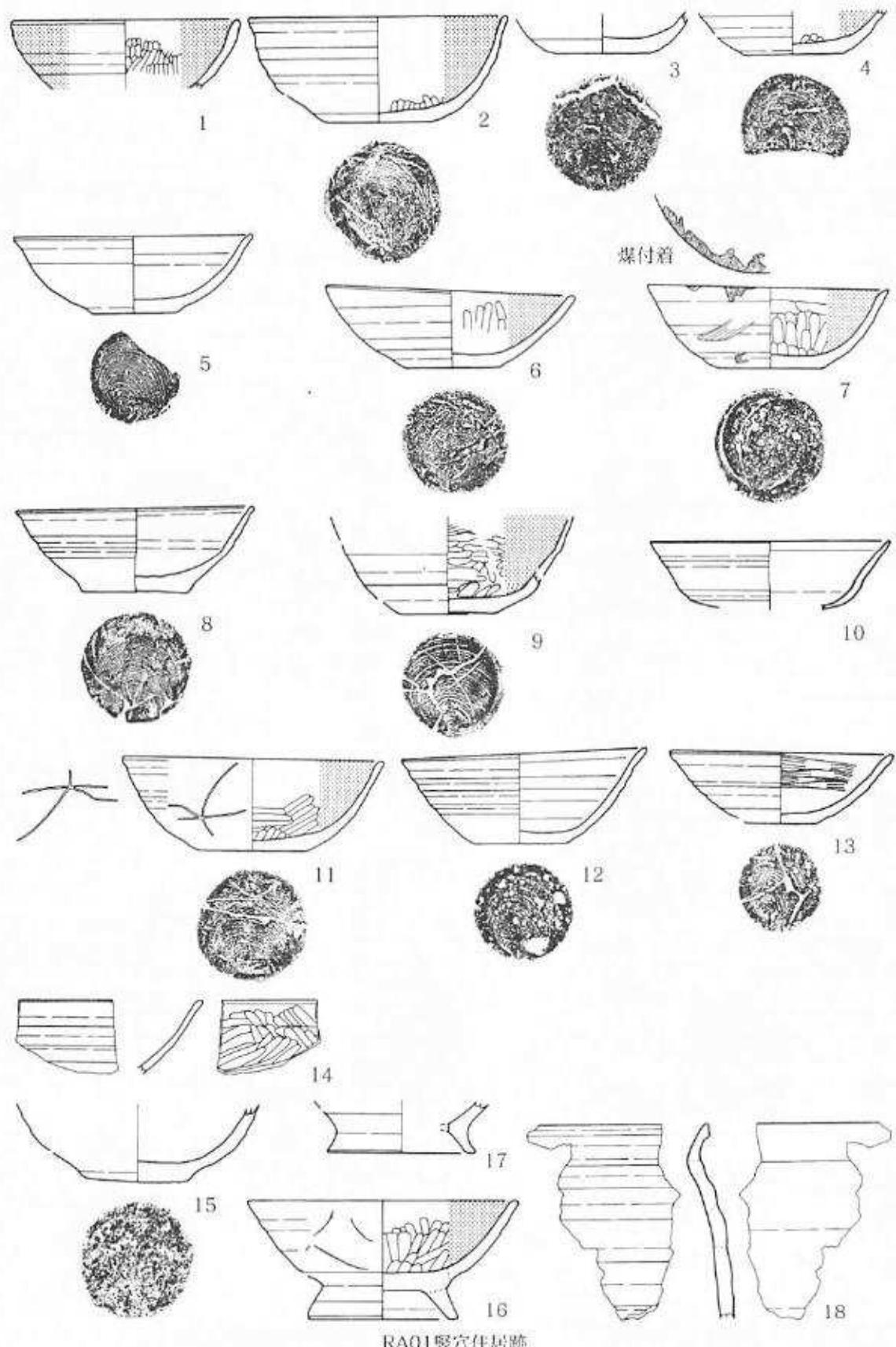
## 11. 遺構外の出土遺物

粗掘りや遺構検出中に表土から出土した遺物は本項に一括したが、土師器7点、須恵器5点、石製品・石器2点の合わせて14点出土している。以下では種類毎に一括する。

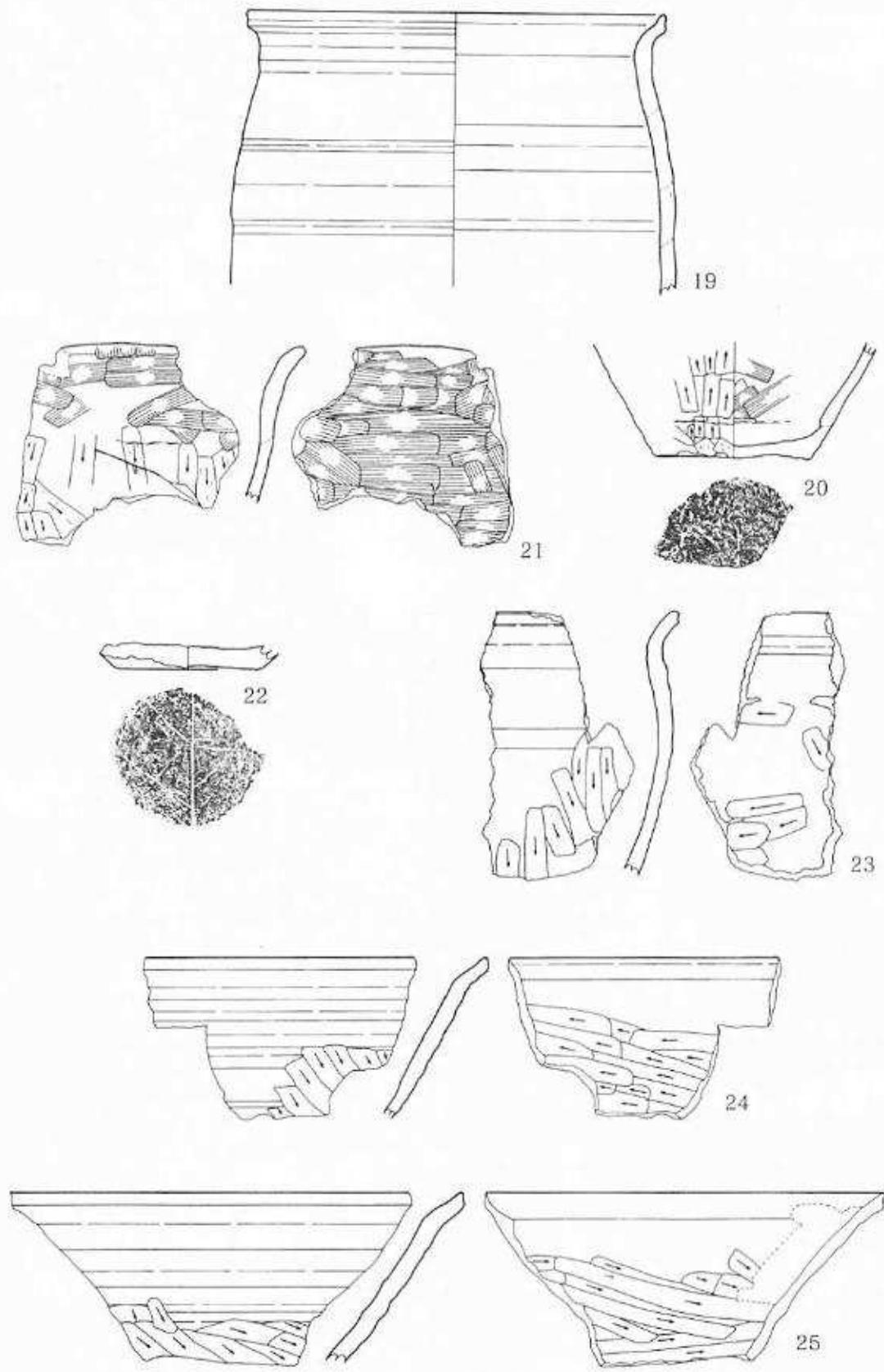
土師器－7点の出土であるが中に壺1点(280)、高台付き壺3点(277・281・283)、甌3点(278・282・287)が含まれる。278以外はロクロ使用成形されるが、壺の1点(280)は内面非黒色処理で底面は回転糸切り離し無調整である。高台付き壺の3点は一般的な壺に高台を貼り付けた形と推測されるが、いずれも高台部を欠損しており、詳細は定かでない。甌の3点はロクロ使用成形の2点(282・287)とロクロ不使用成形の1点(278)がある。前者282は外面の一部にヘラケズリ調整があり、内面はロクロナデのみである。287は内外面ともロクロナデ調整のみである。

須恵器－壺1点(284)、甌もしく長頸瓶2点(285・286)、甌1点(279)、甌1点(288)がある。すべてロクロ使用成形されるが、壺は底部回転糸切り離し無調整、285・286は高台を付すことから長頸瓶と推測される。

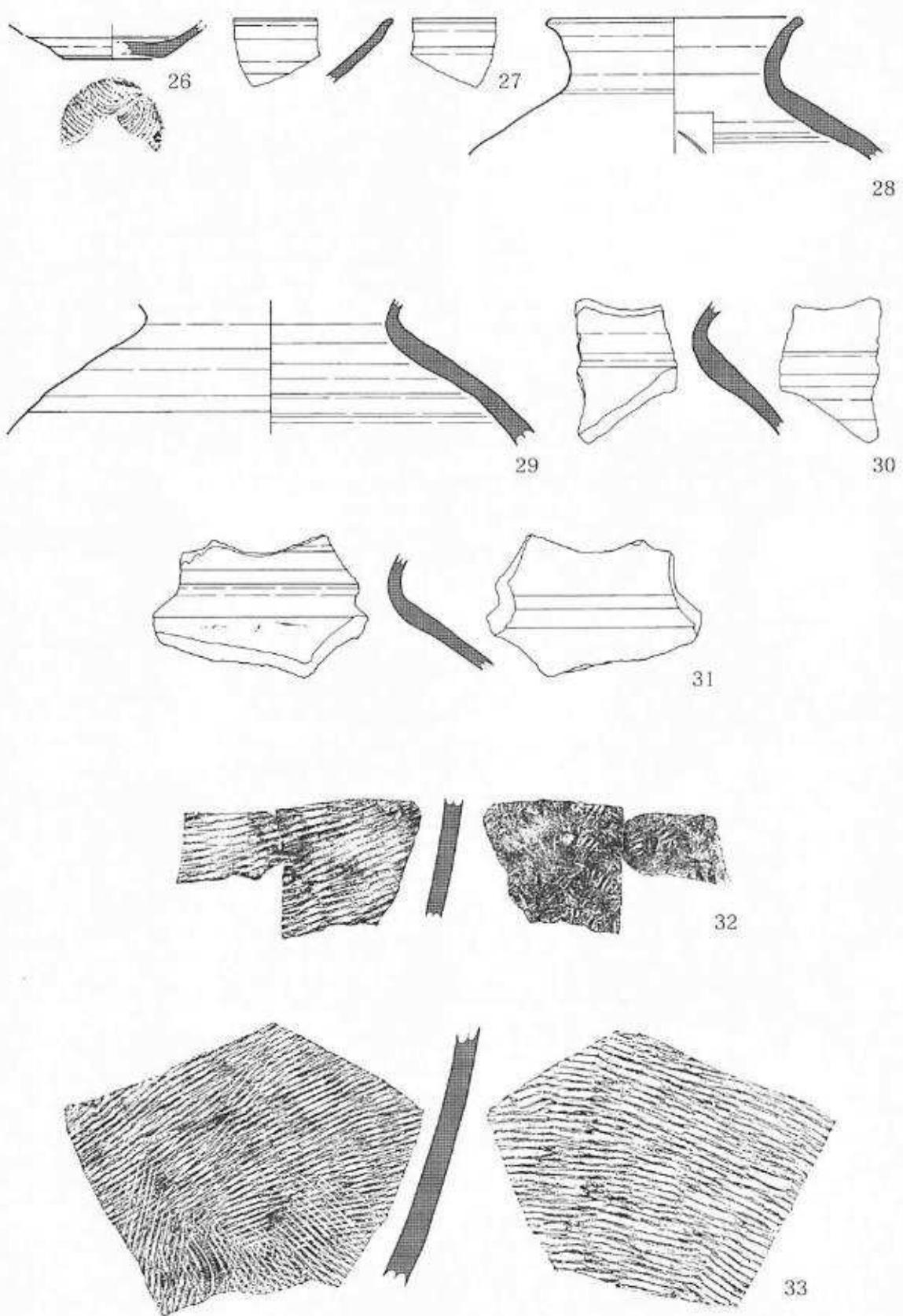
石製品の2点は290は自然礫であるが砾石的な様相であるし、289は縄文時代の削器である。



第31図 遺構内出土遺物 (1)

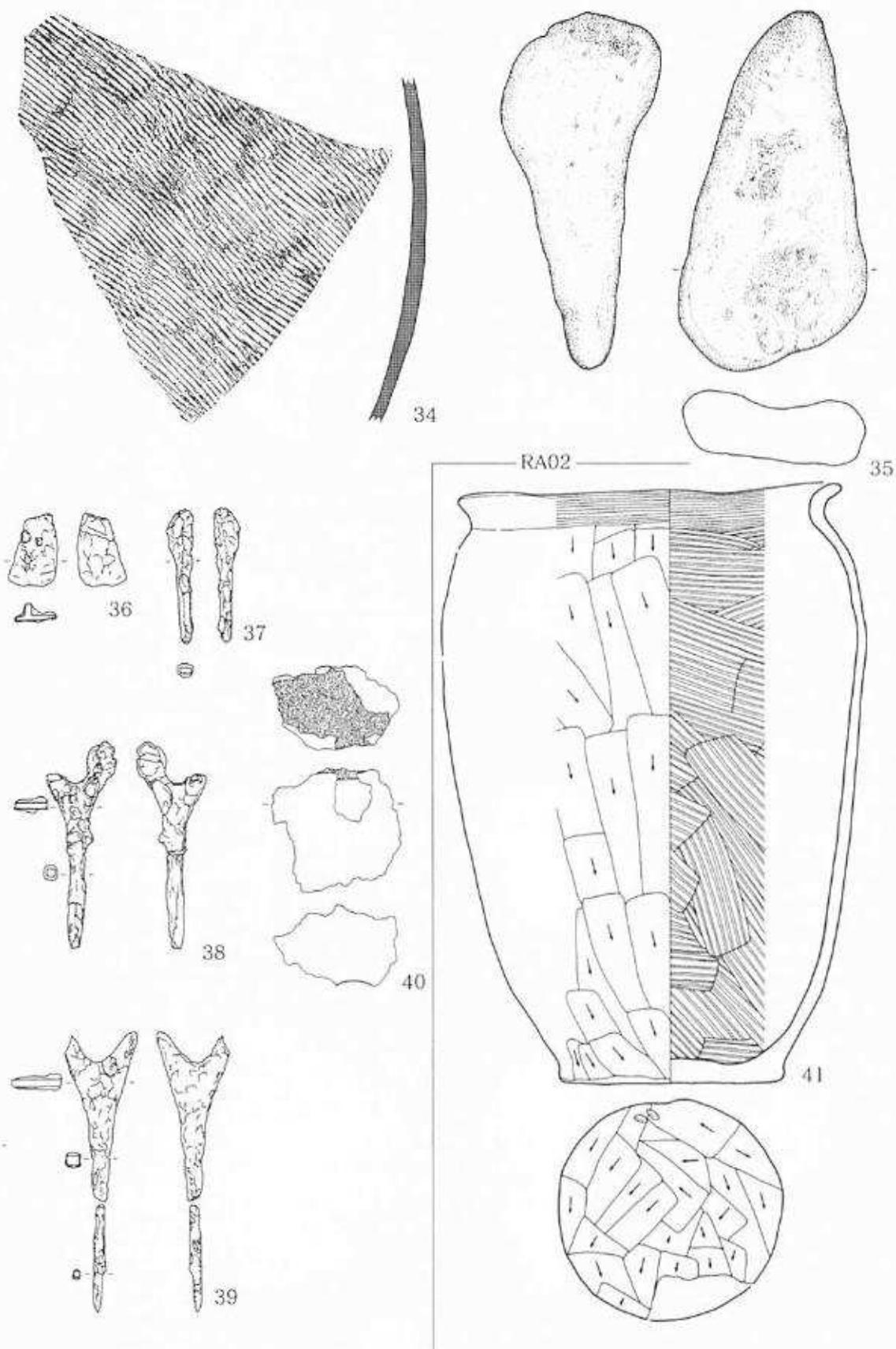


RA01堅穴住居跡  
第32図 遺構内出土遺物（2）

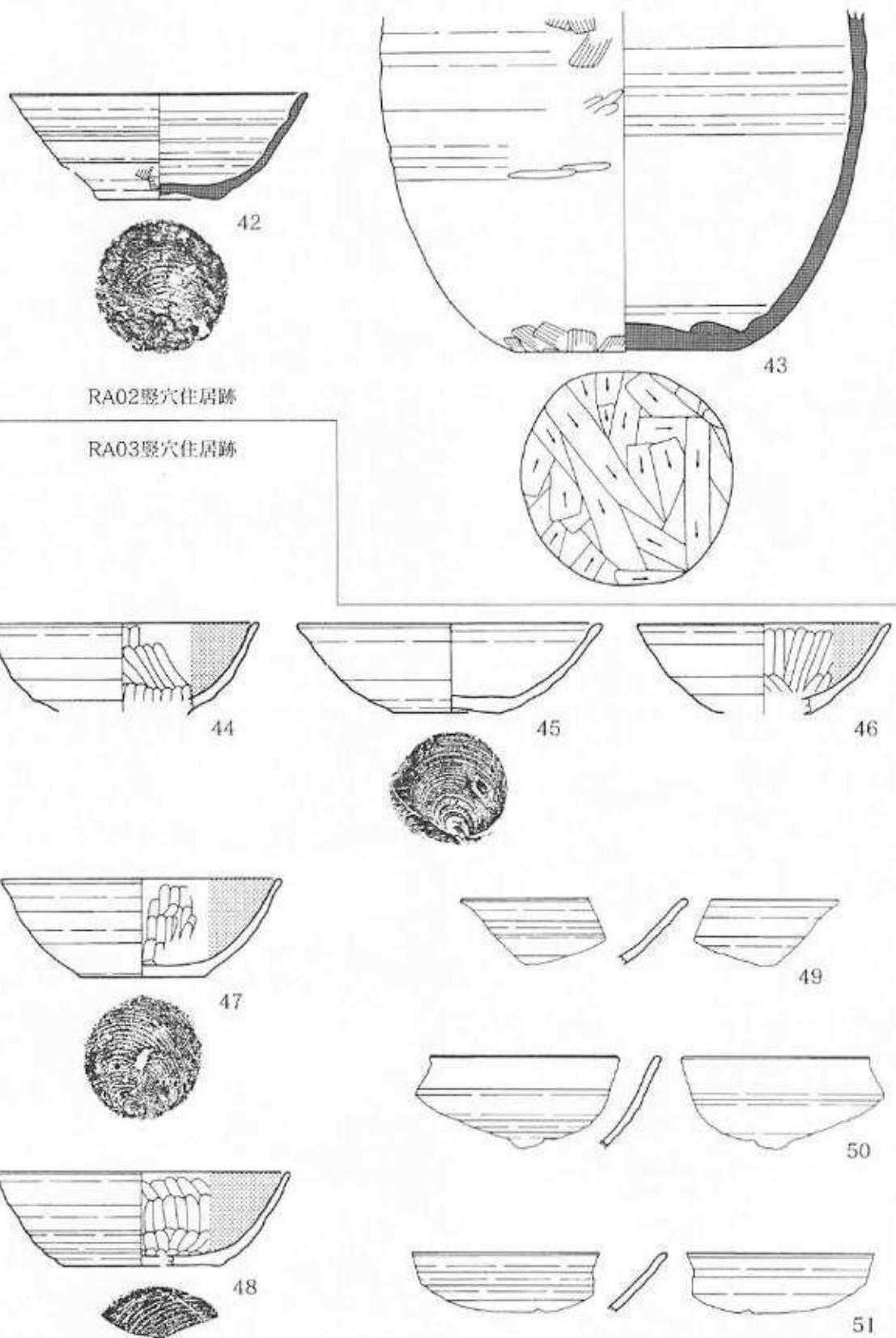


RA01竪穴住居跡

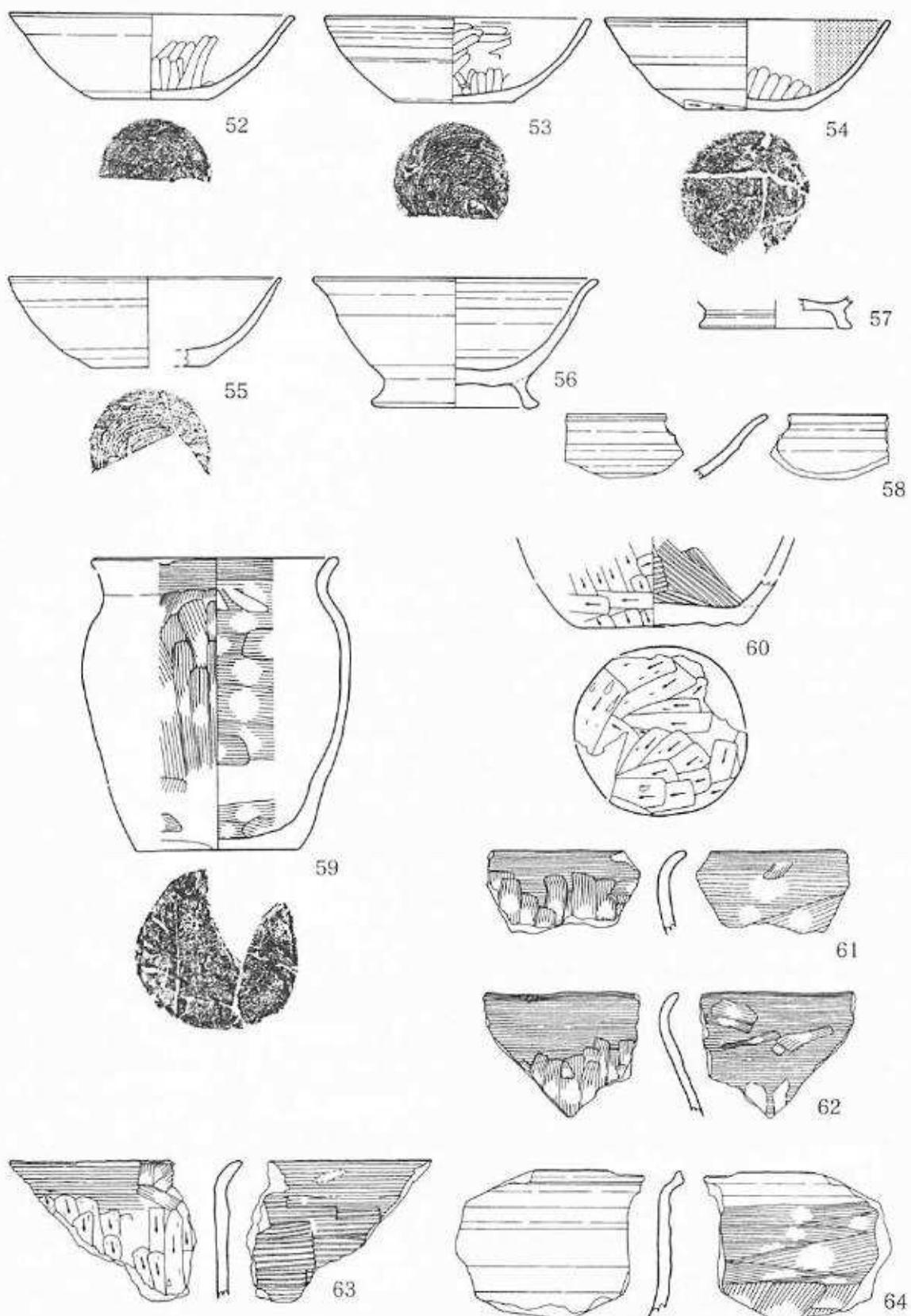
第33図 遺構内出土遺物（3）



第34図 遺構内出土遺物（4）

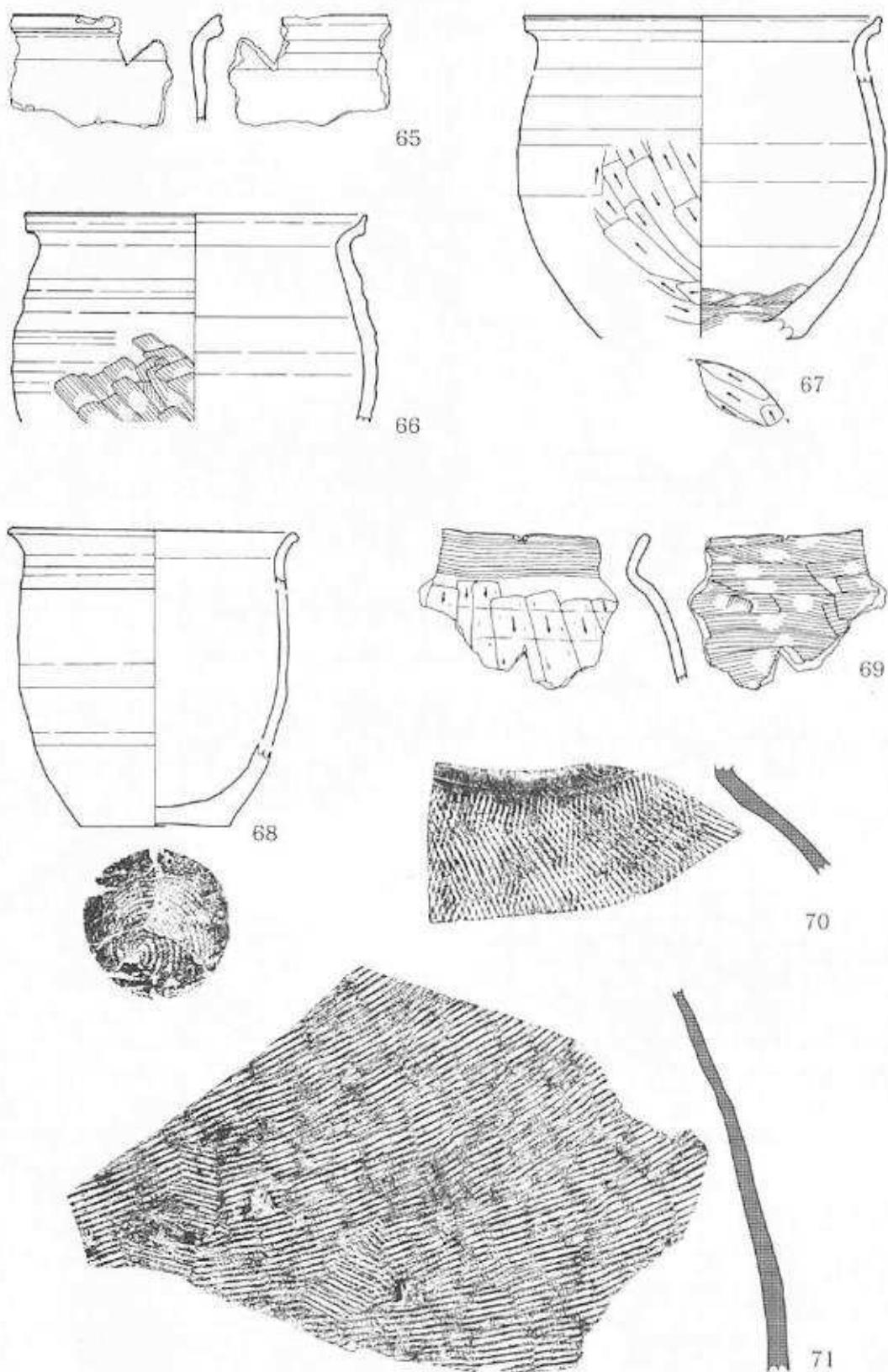


第35図 遺構内出土遺物（5）



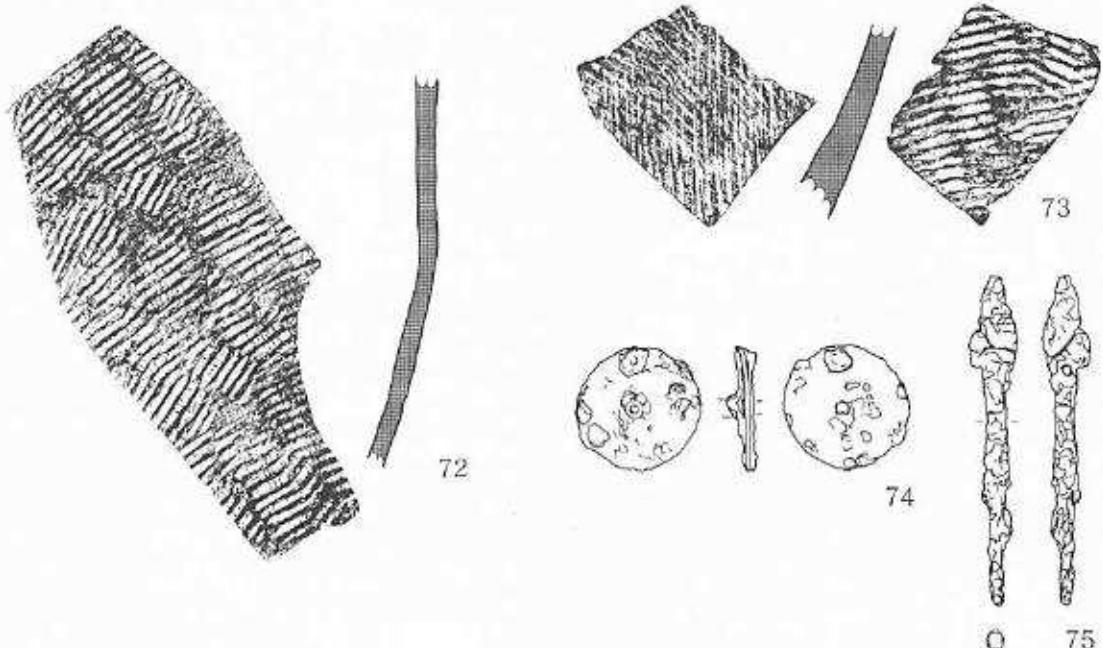
RA03竪穴住居跡

第36図 遺構内出土遺物（6）

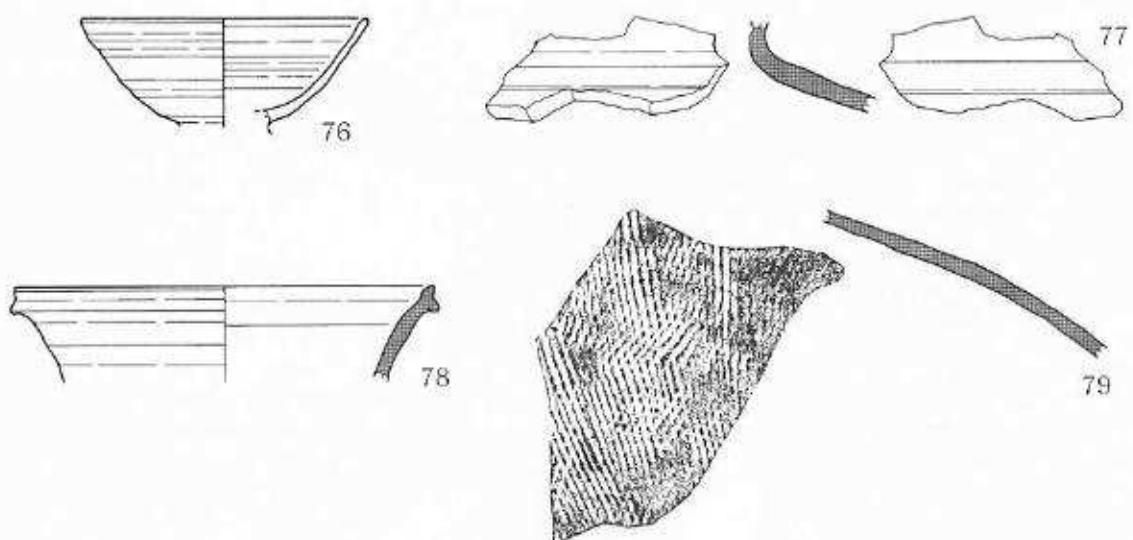


RA03堅穴住居跡

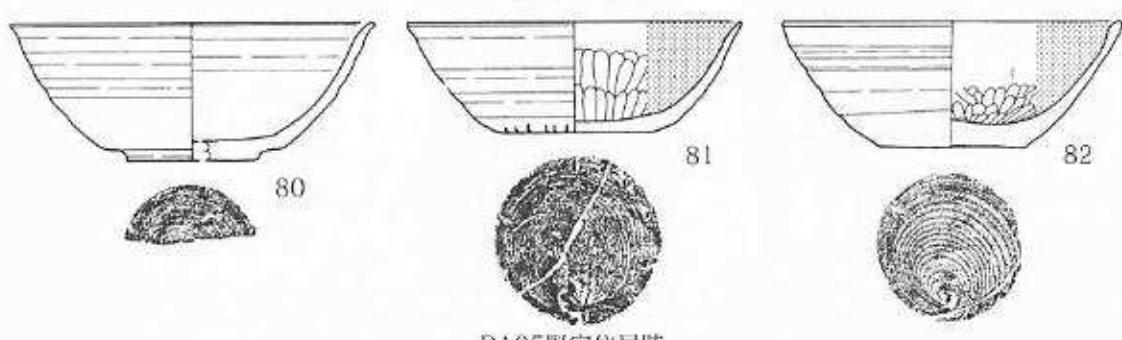
第37図 遺構内出土遺物（7）



RA03堅穴住居跡

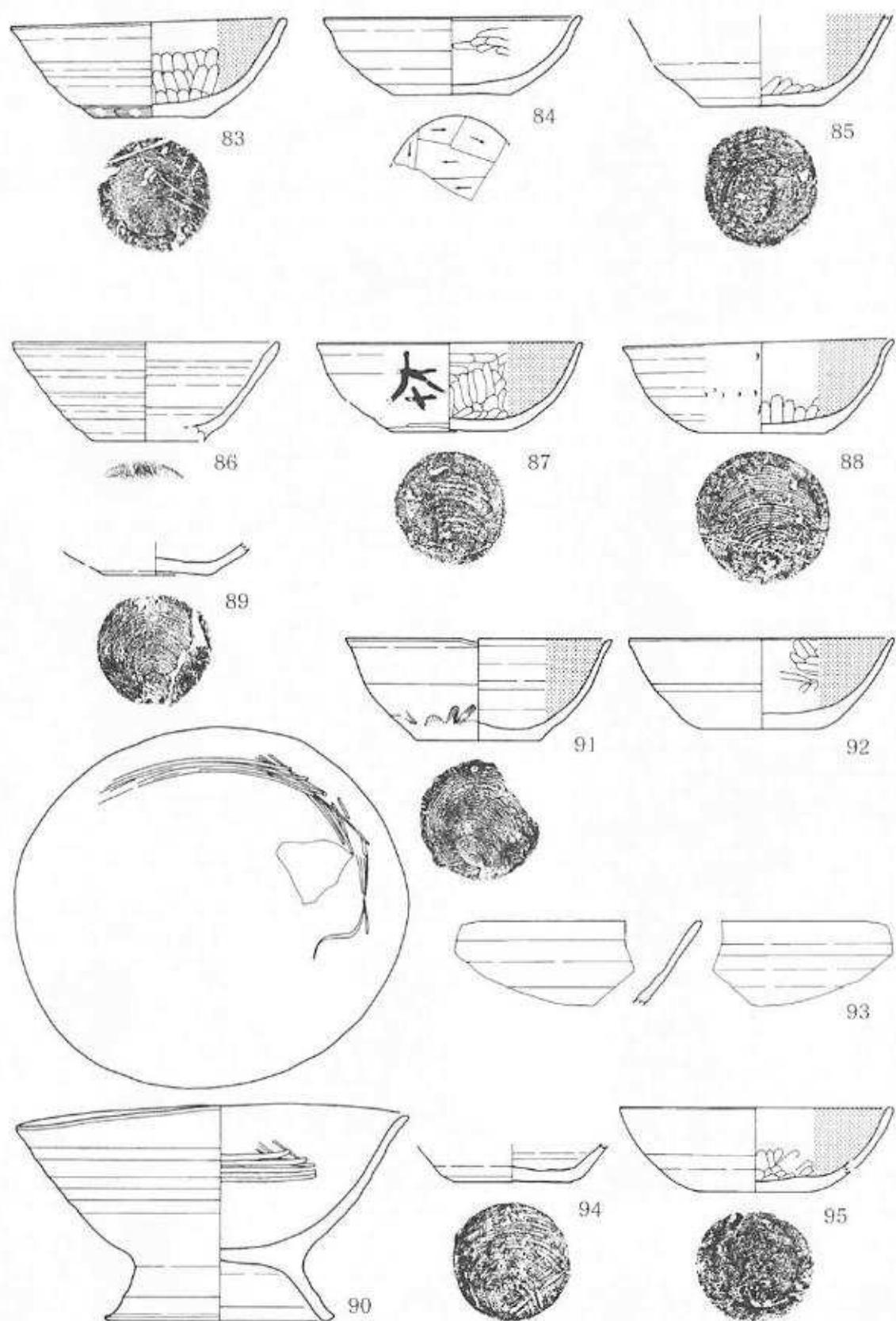


RA04堅穴住居跡

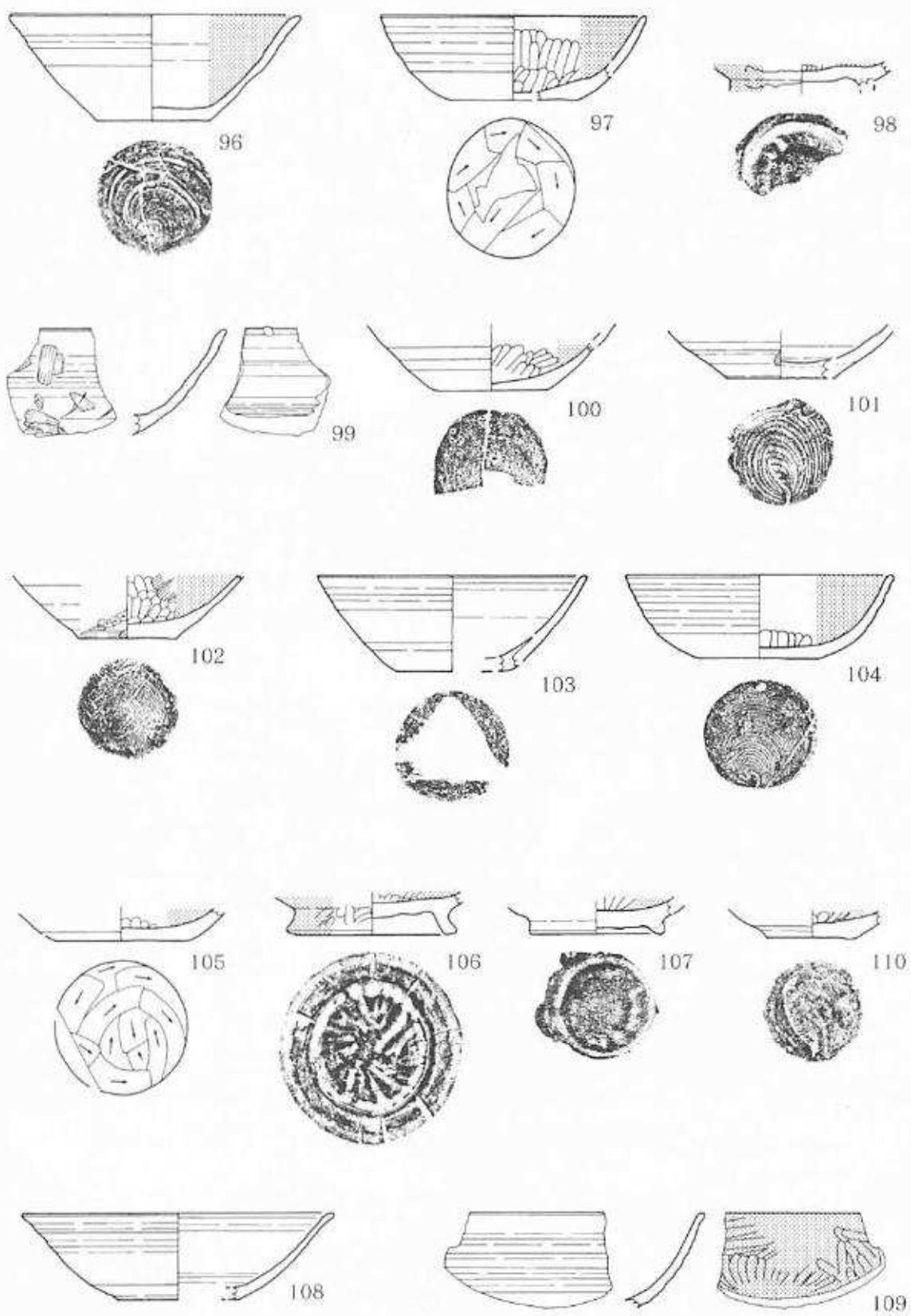


RA05堅穴住居跡

第38図 遺構内出土遺物（8）

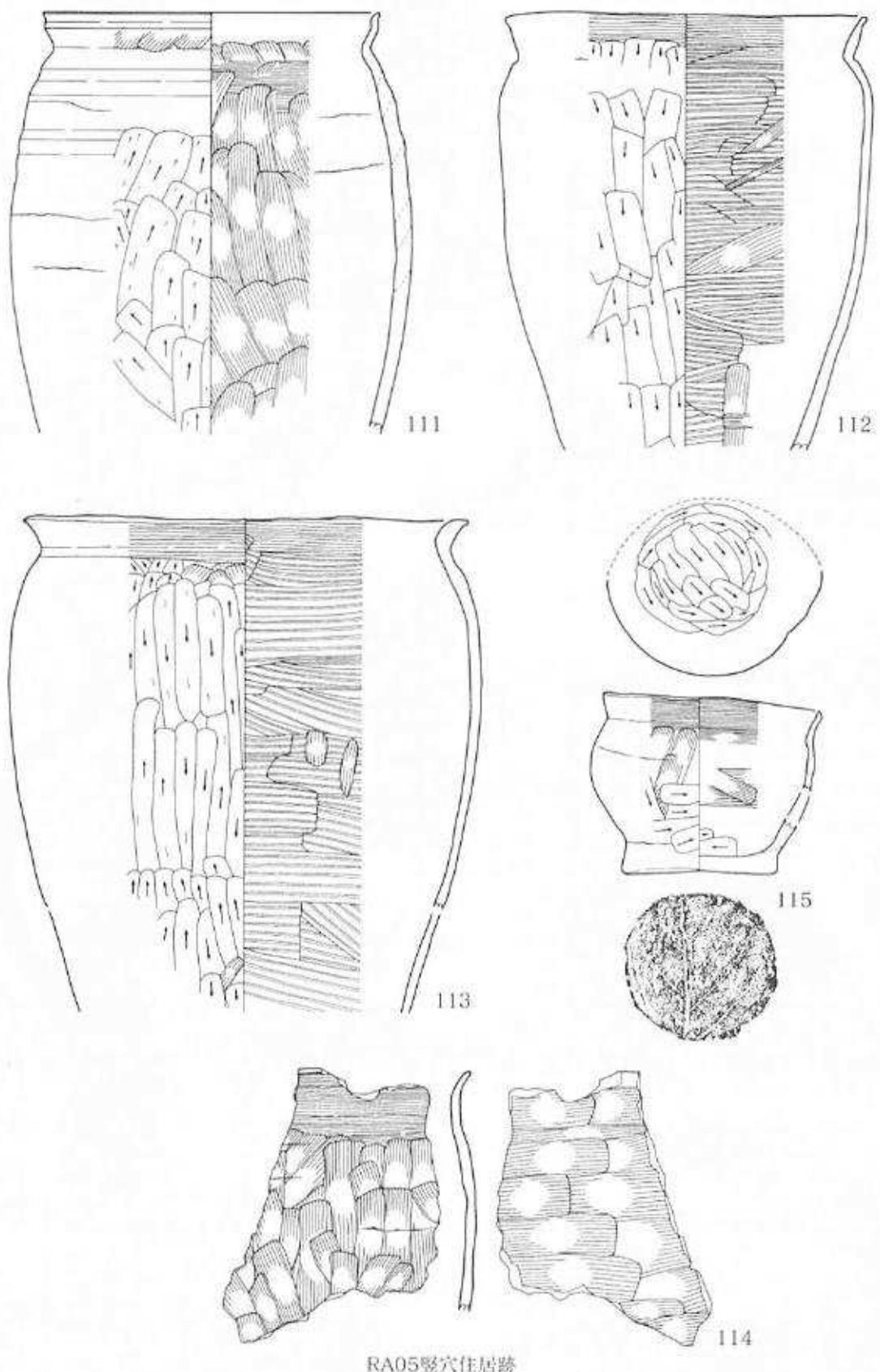


RA05縄穴住居跡  
第39図 遺構内出土遺物（9）



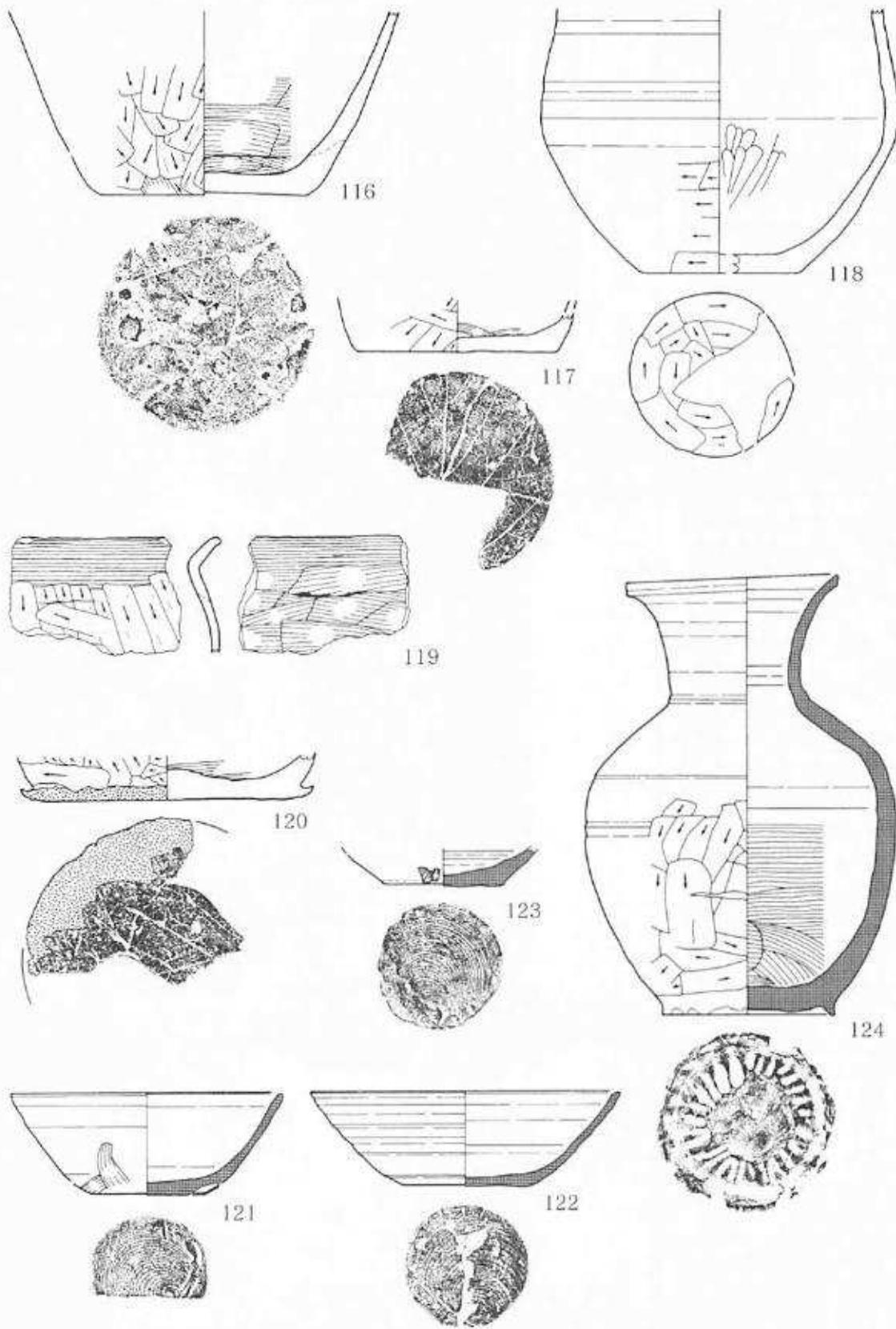
RA05壁穴住居跡

第40図 遺構内出土遺物 (10)



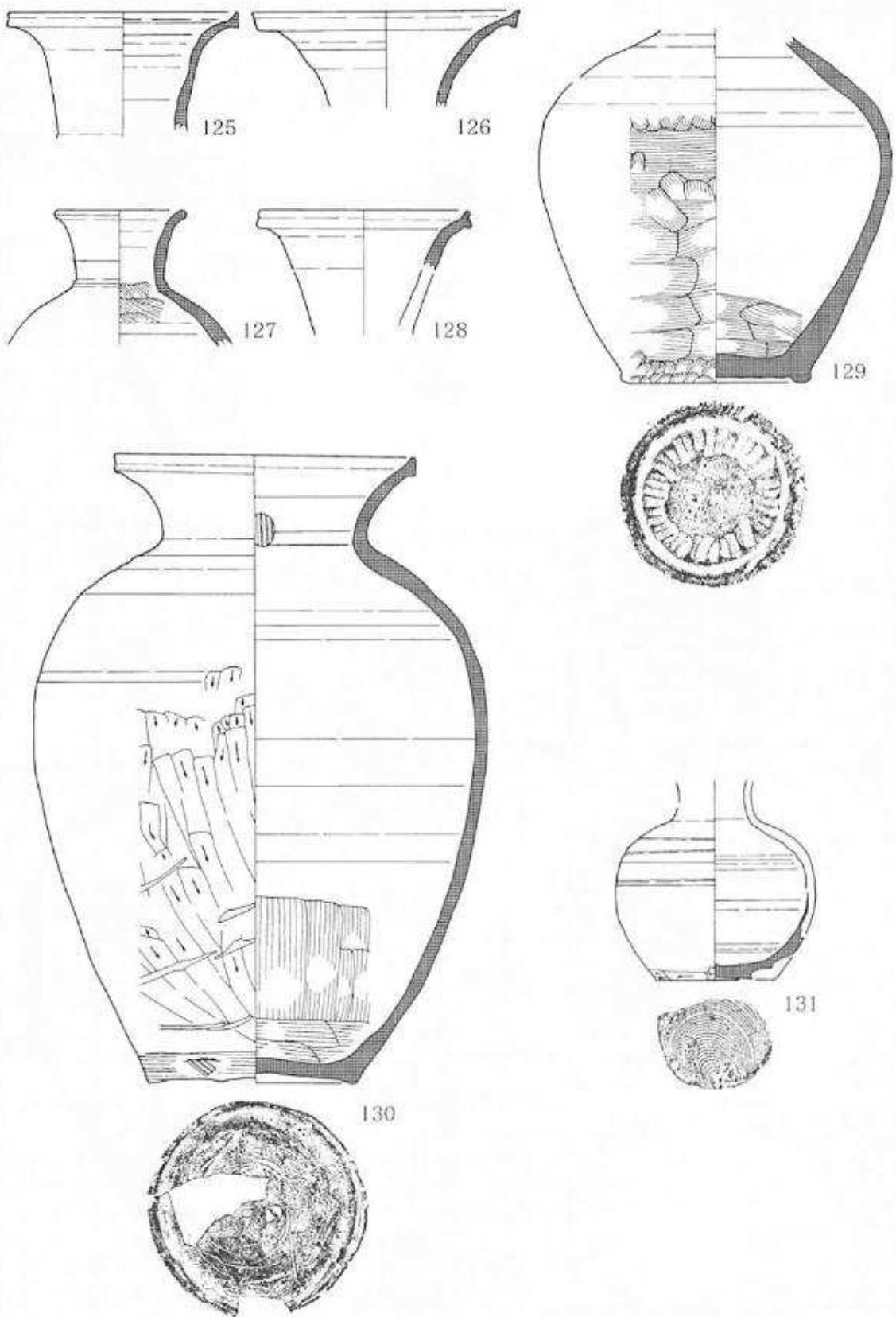
RA05竪穴住居跡

第41図 遺構内出土遺物 (1)



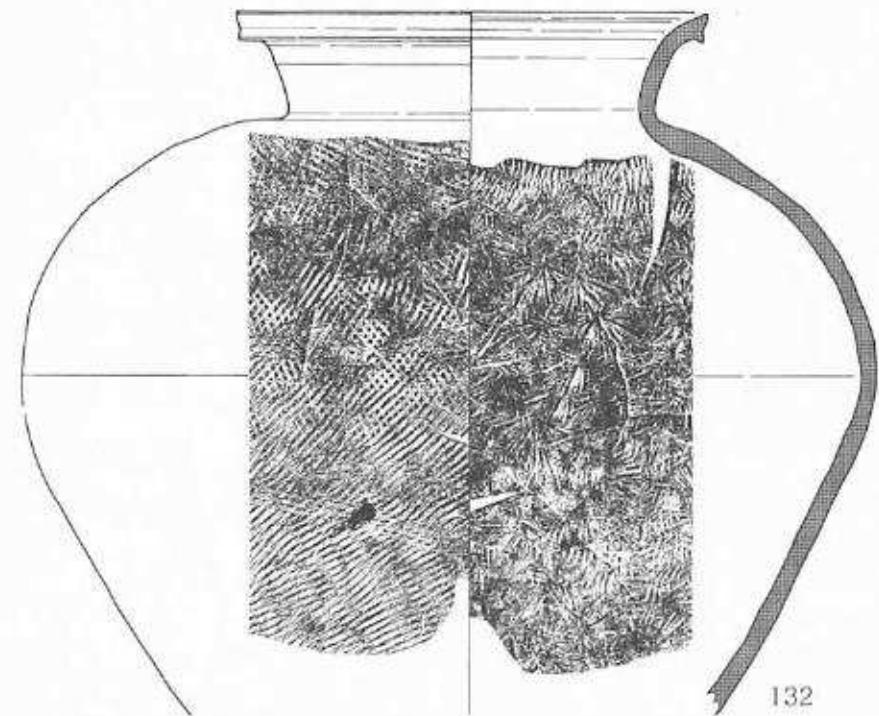
RA05堅穴住居跡

第42図 遺構内出土遺物 (12)

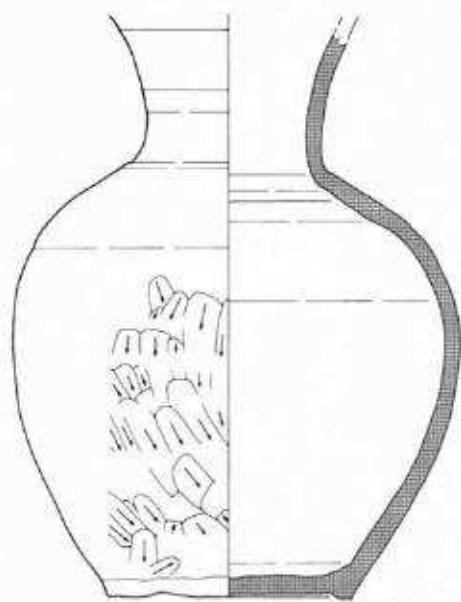


RA05堅穴住居跡

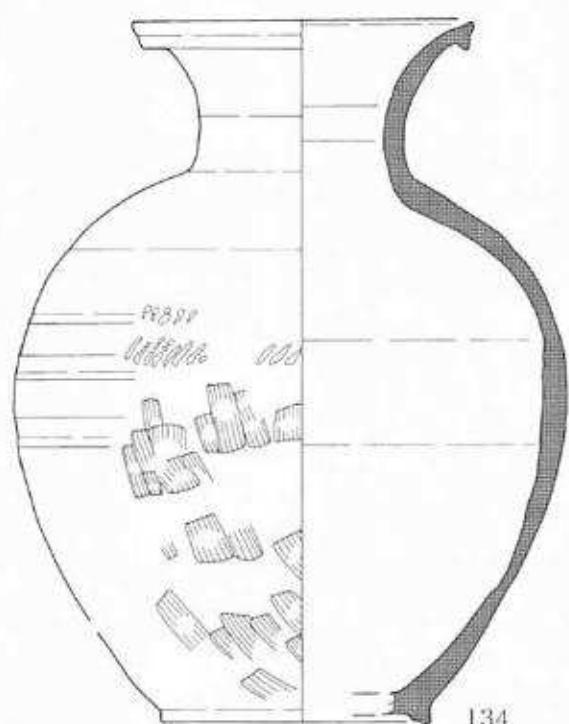
第43図 遺構内出土遺物 (13)



132



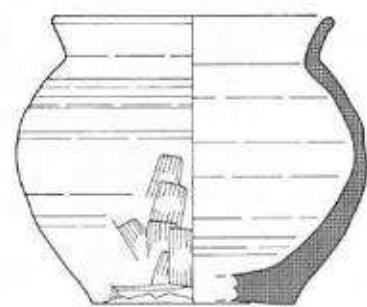
133



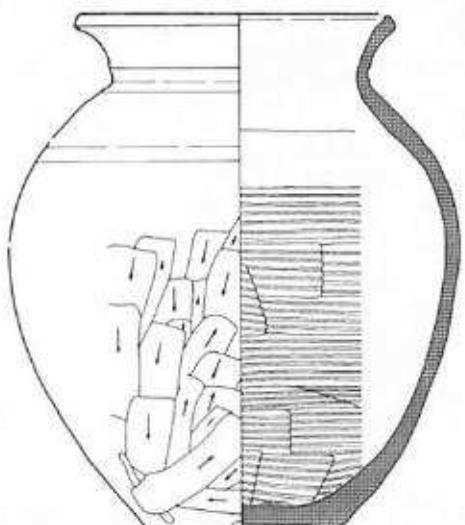
134

RA05堅穴住居跡

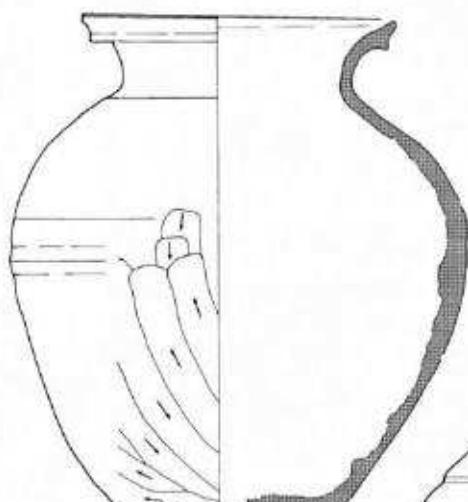
第44図 遺構内出土遺物 (14)



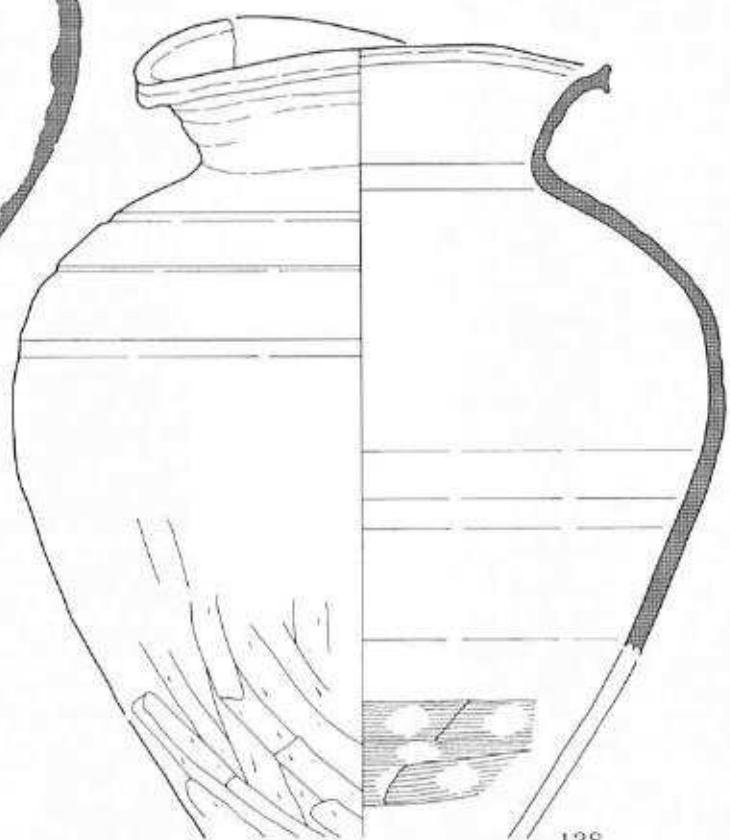
135



136



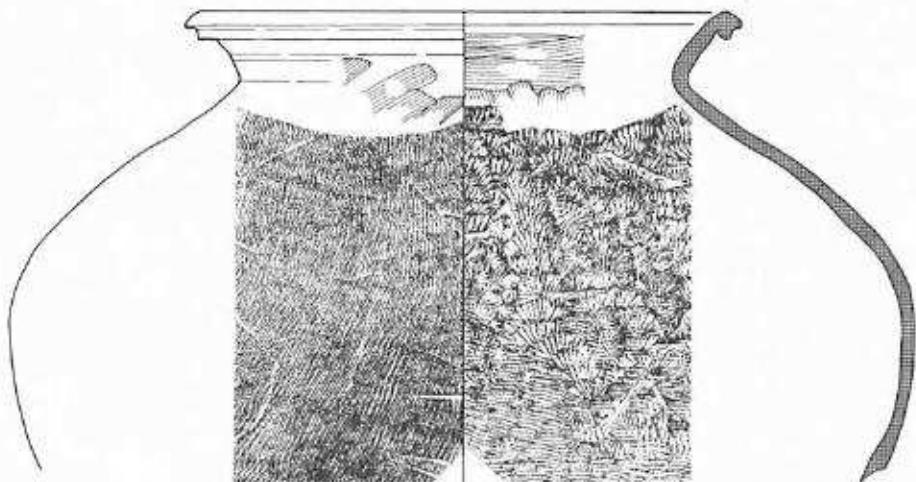
137



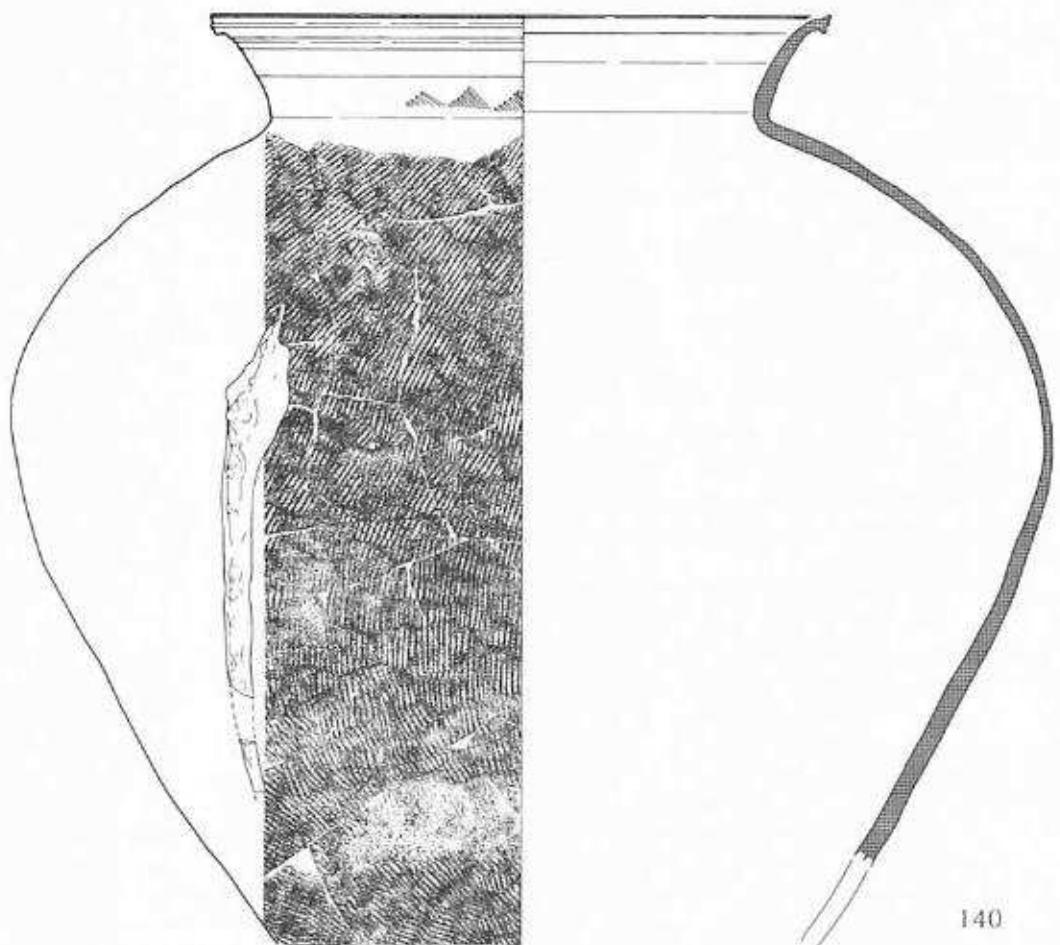
138

RA05堅穴住居跡

第45図 遺構内出土遺物 (15)



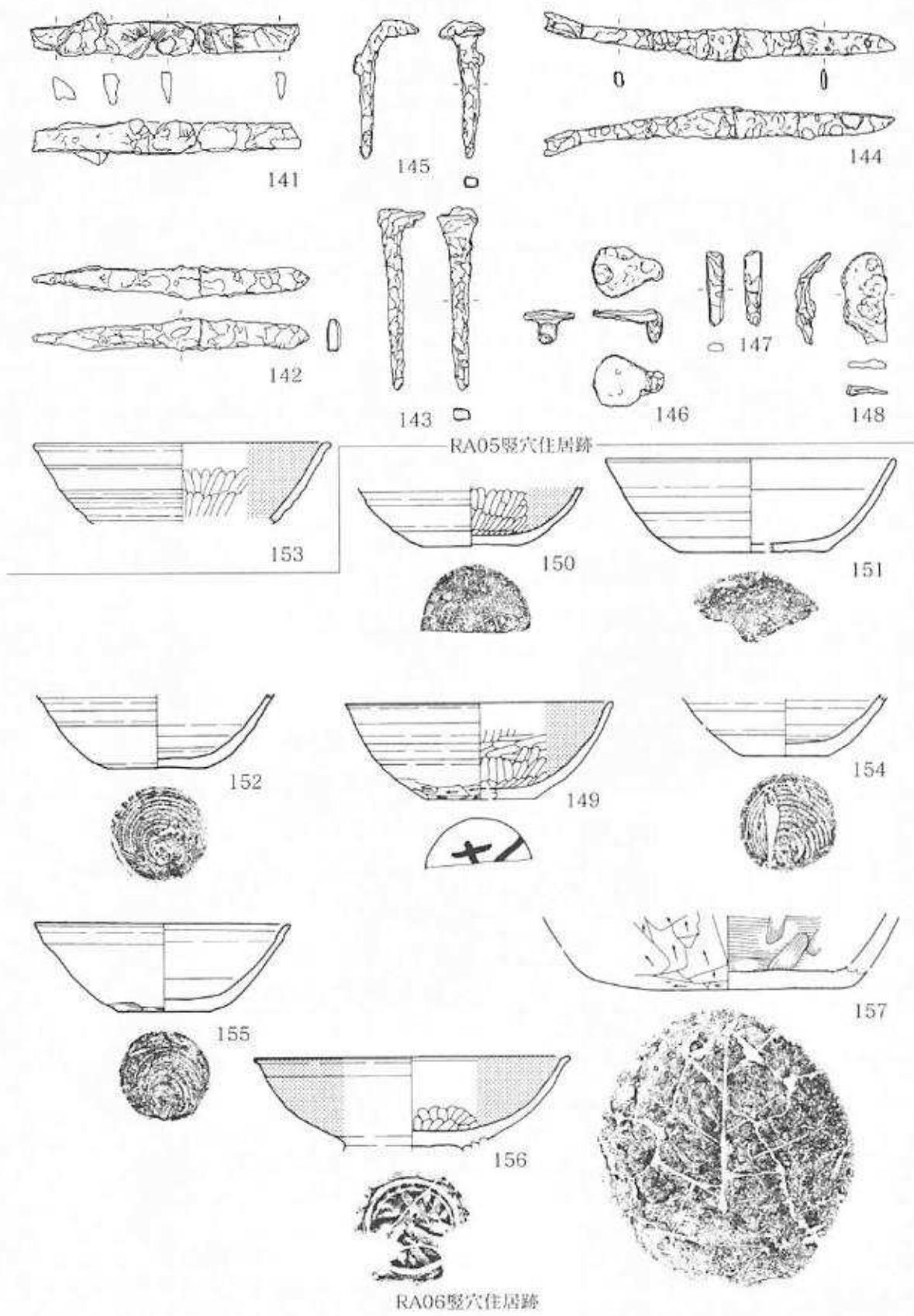
139



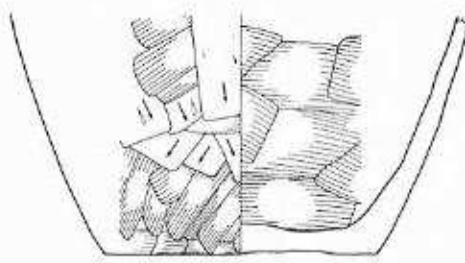
140

RA05竪穴住居跡

第46図 遺構内出土遺物 (16)



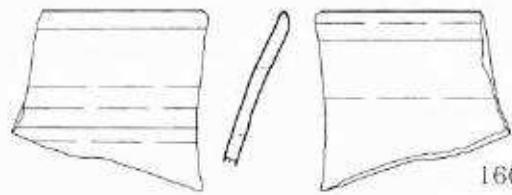
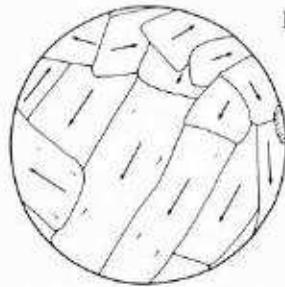
第47図 遺構内出土遺物 (17)



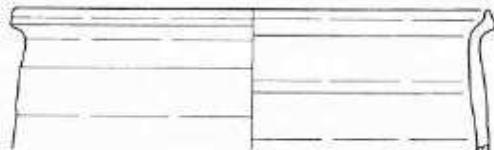
158



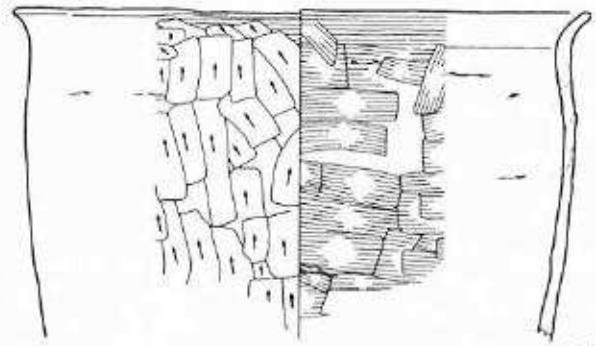
159



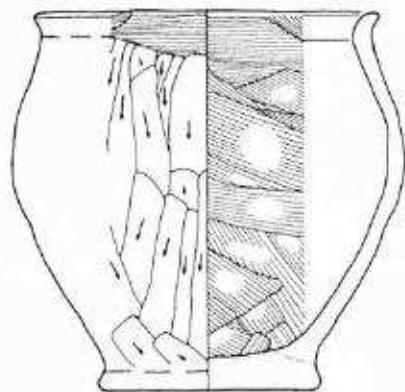
160



161



162



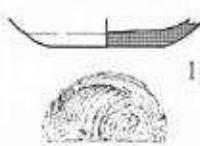
163



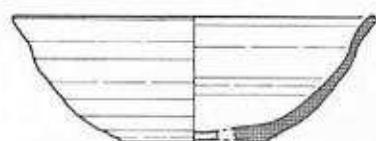
164



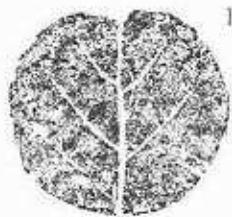
165



166



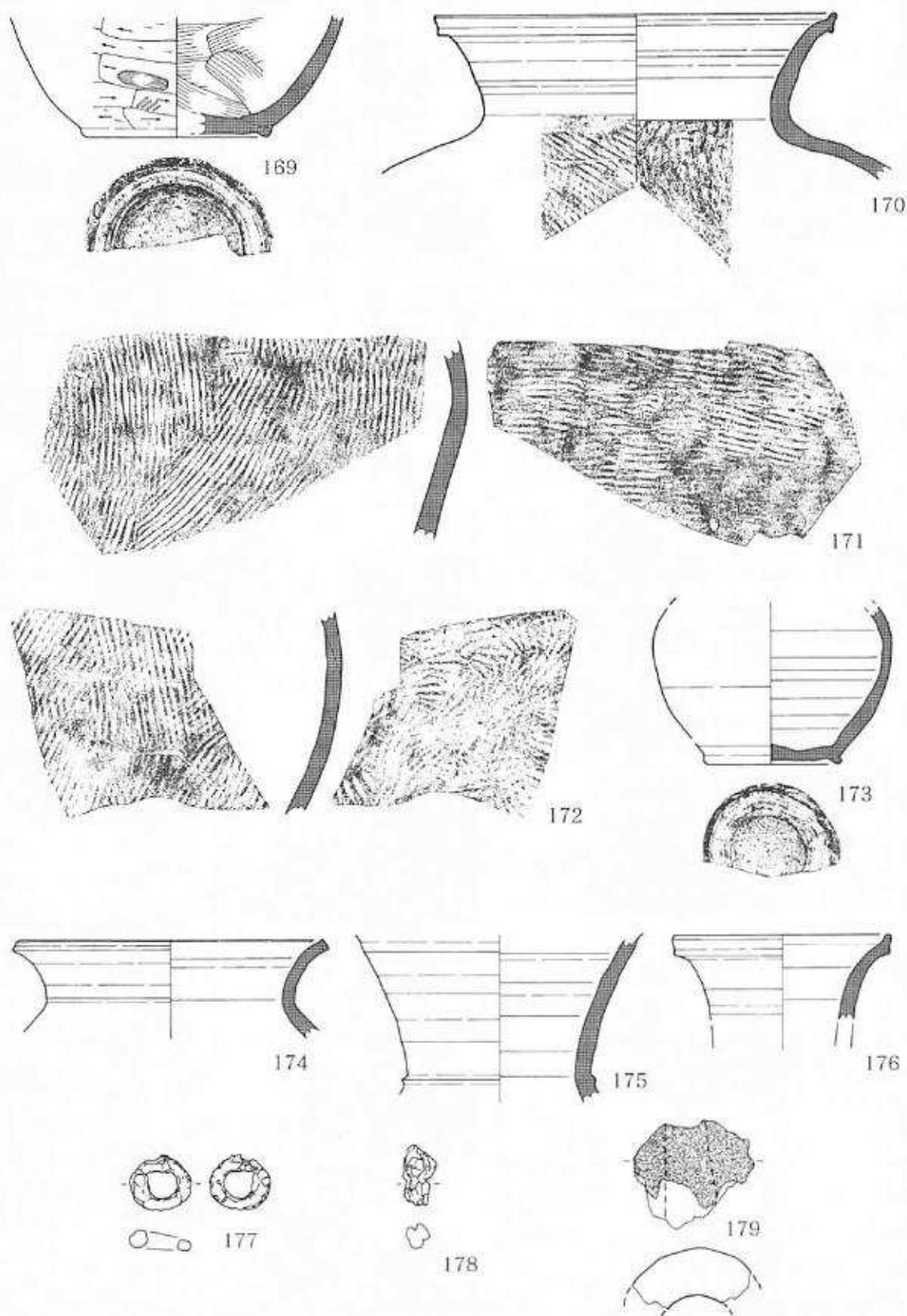
167



168

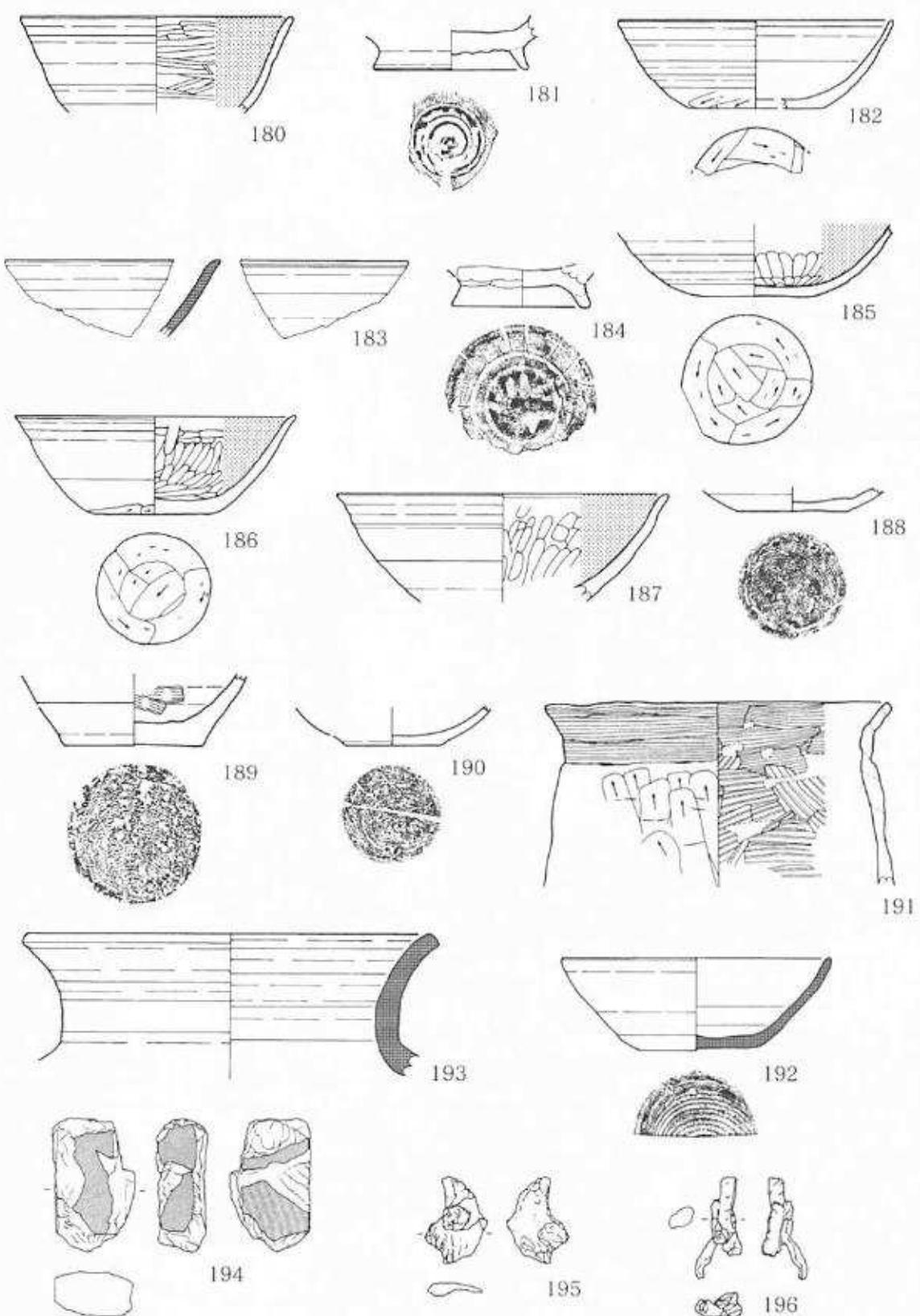
RA06堅穴住居跡

第48図 遺構内出土遺物 (18)



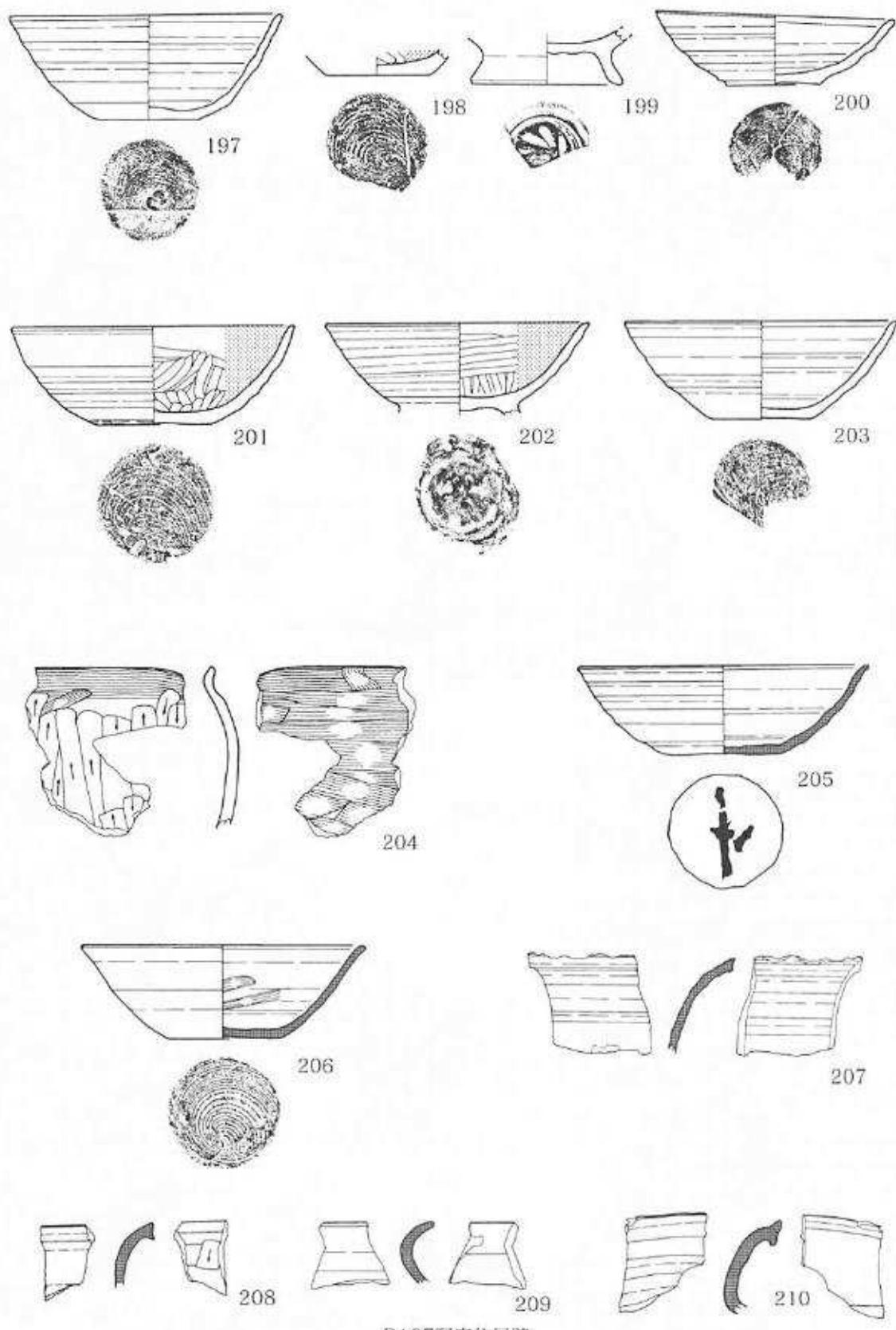
RA06堅穴住居跡

第49図 遺構内出土遺物 (19)



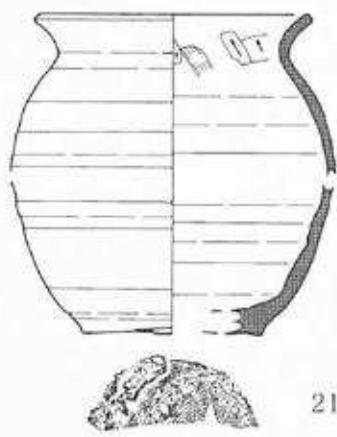
RA07 竪穴住居跡

第50図 遺構内出土遺物 (20)

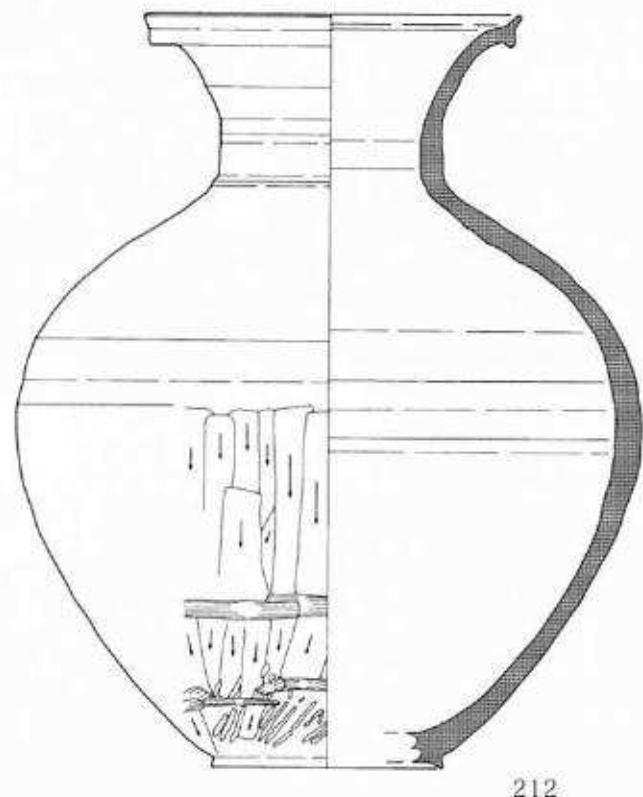


RA07堅穴住居跡

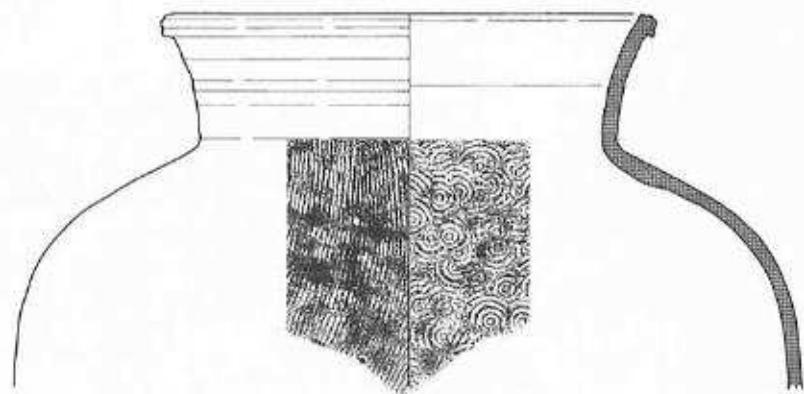
第51図 遺構内出土遺物 (21)



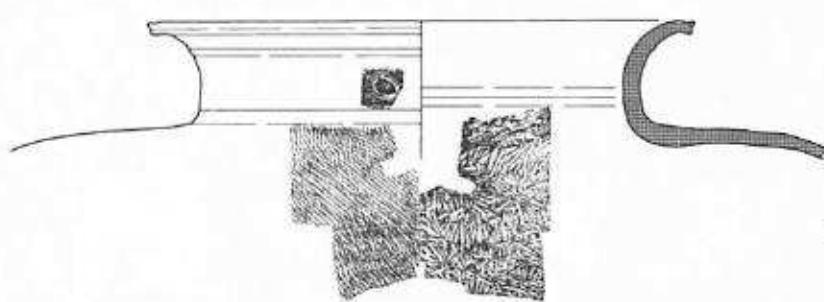
211



212



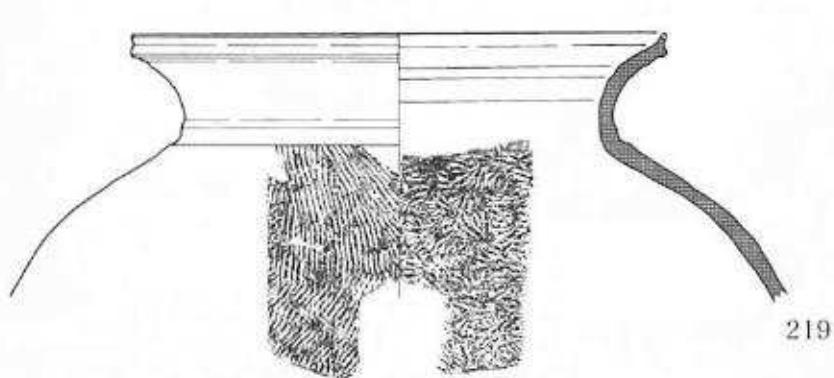
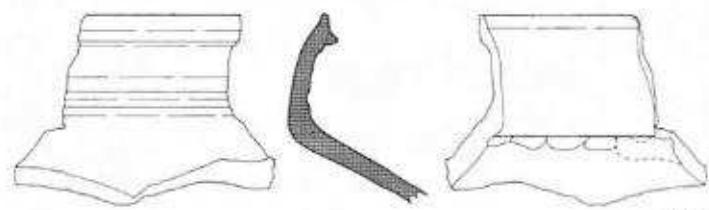
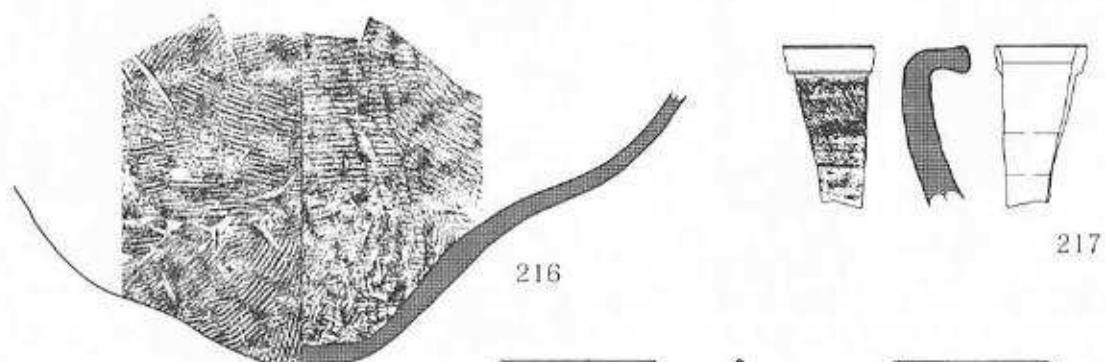
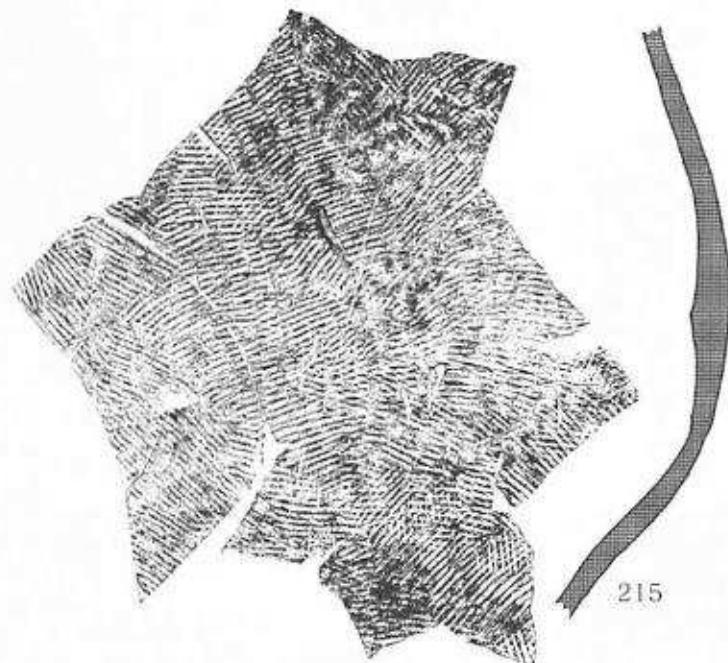
213



214

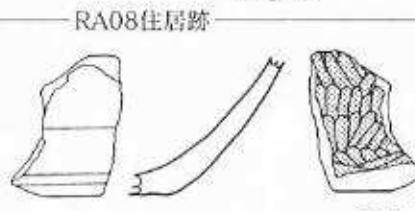
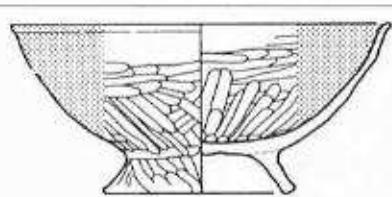
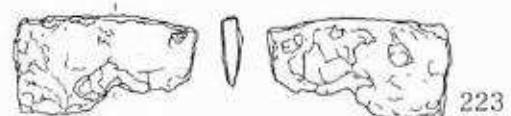
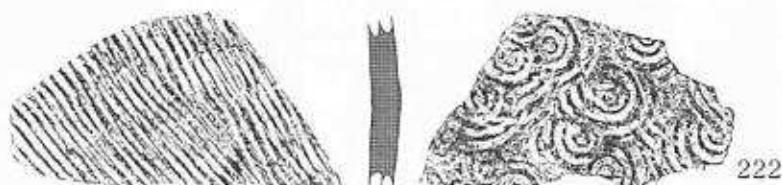
RE08堅穴住居跡

第52図 遺構内出土遺物 (22)

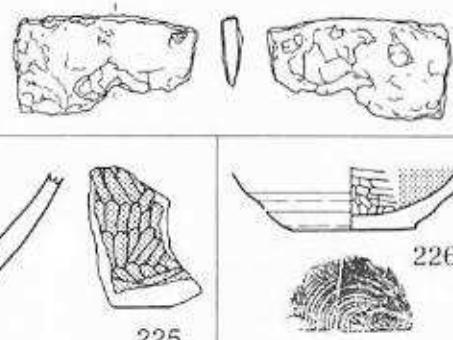


RA08縄穴住居跡

第53図 遺構内出土遺物 (23)

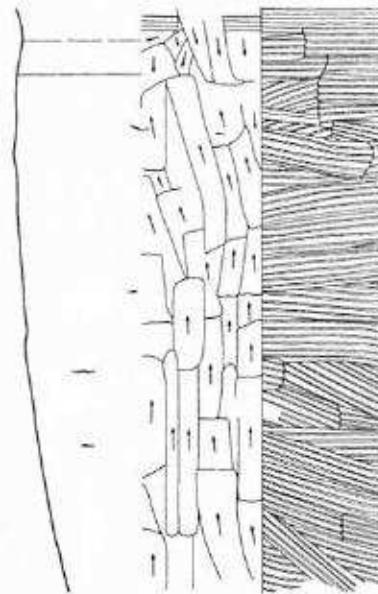
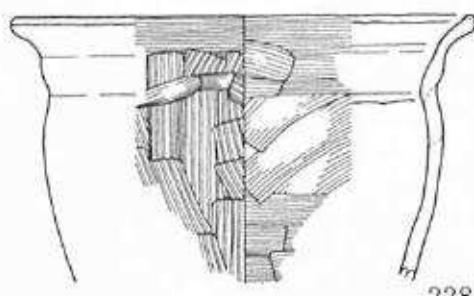
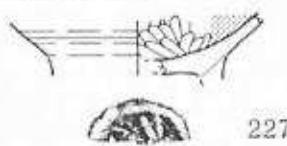


RE02竪穴状遺構



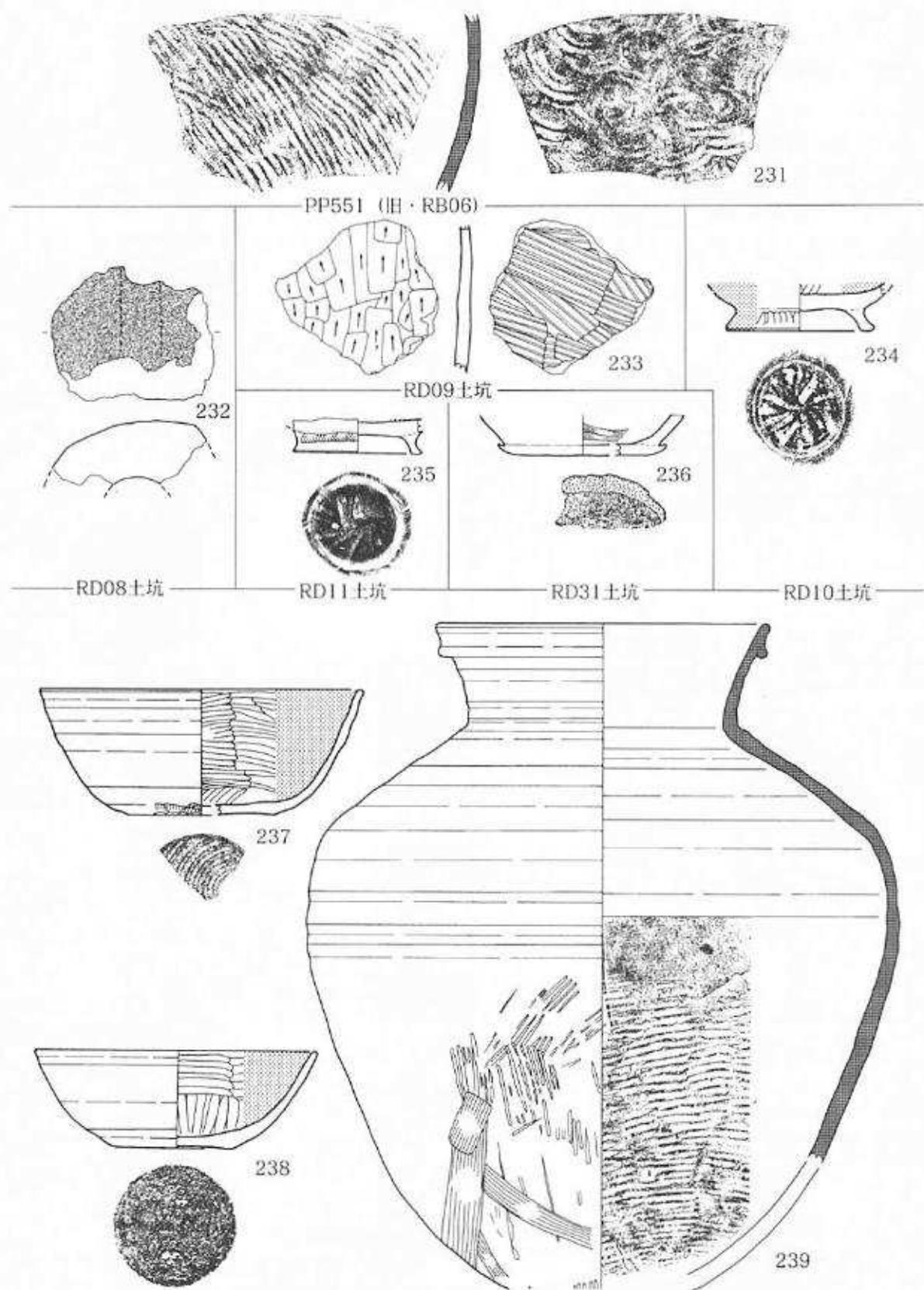
RE03竪穴状遺構

RE01竪穴状遺構



RB05掘立柱建物跡

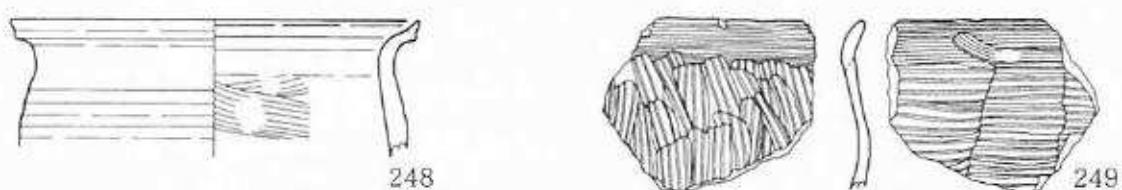
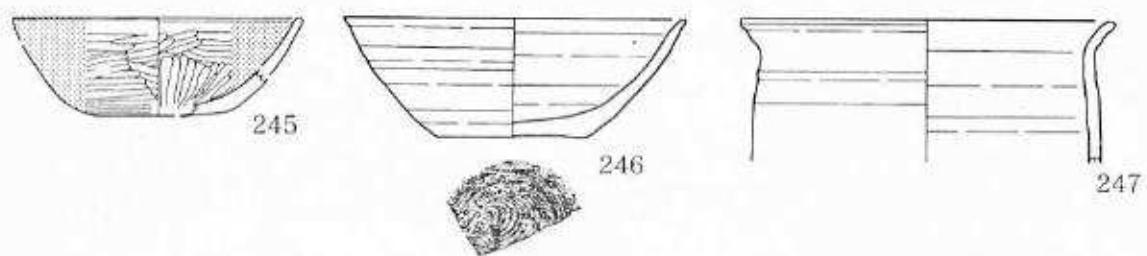
第54図 遺構内出土遺物 (24)



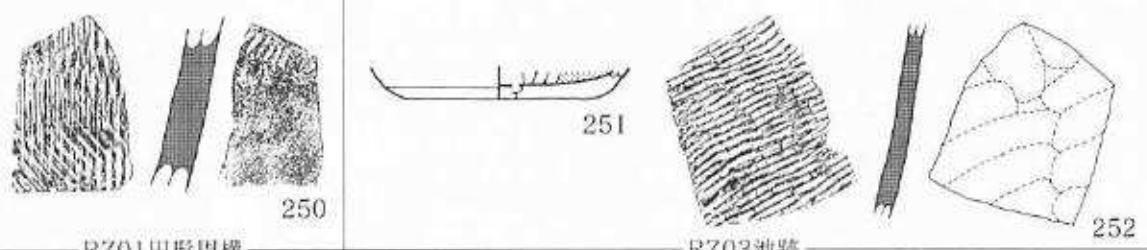
第55図 遺構内出土遺物 (25)



RD34土坑



RD37土坑

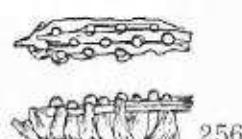
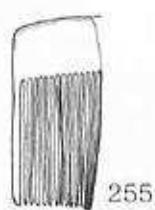


RZ01円形周構

RZ03池跡

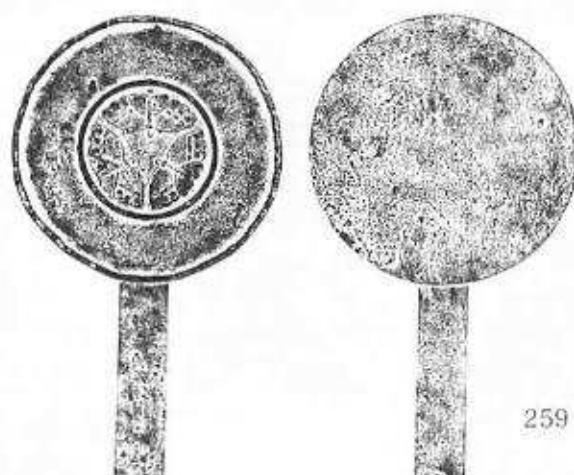


257

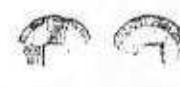


RZ04墓壠

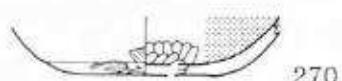
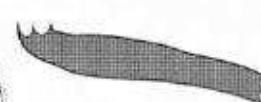
第56図 遺構内出土遺物 (26)



RZ04墓壙

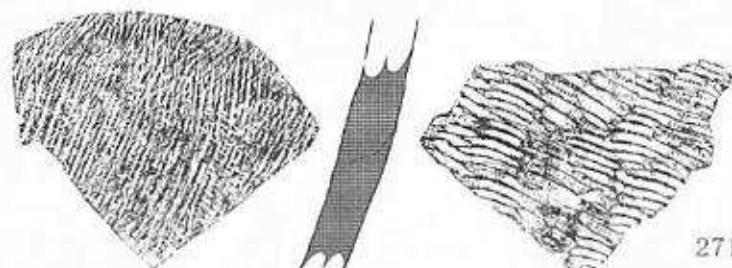


RZ05墓壙



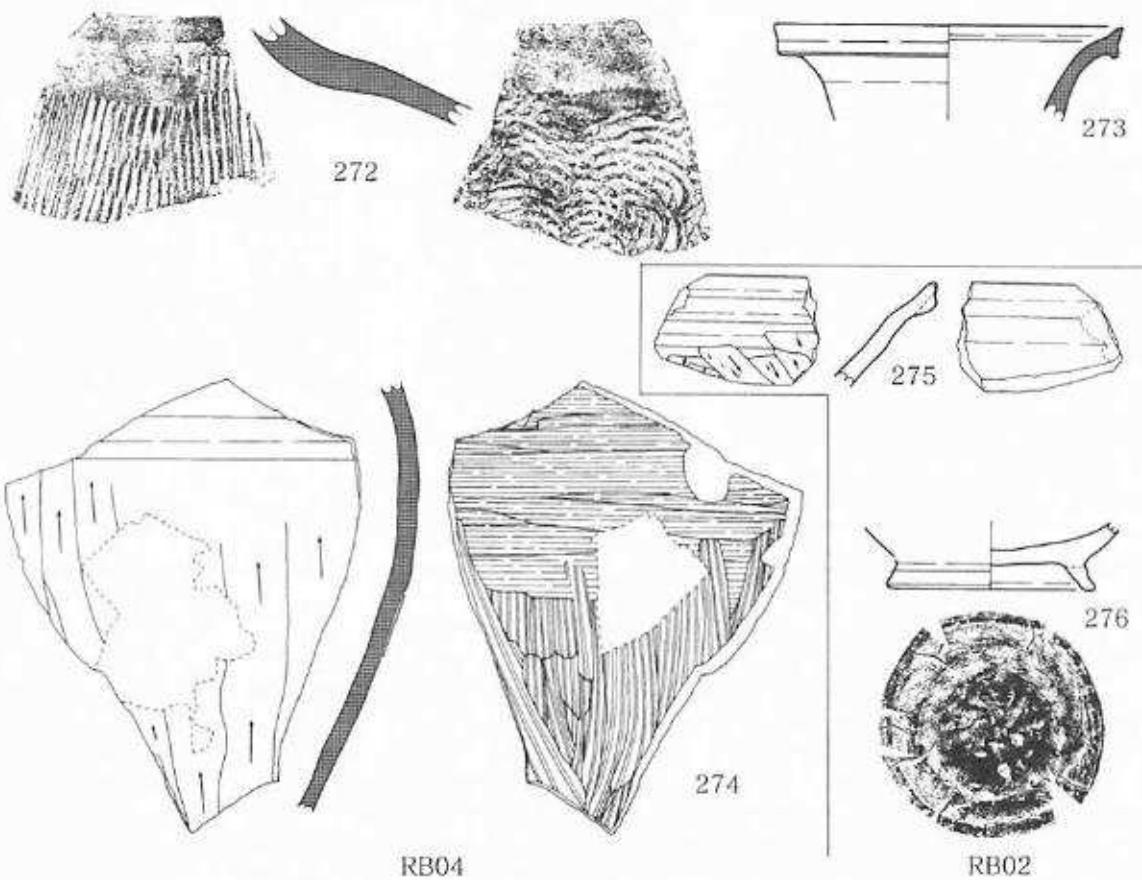
RG12溝跡

PP17

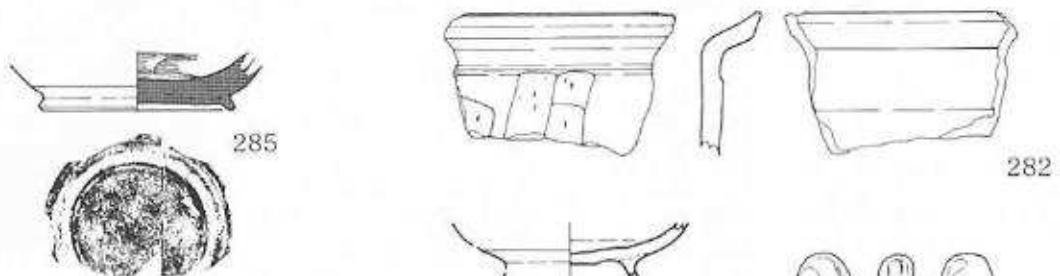
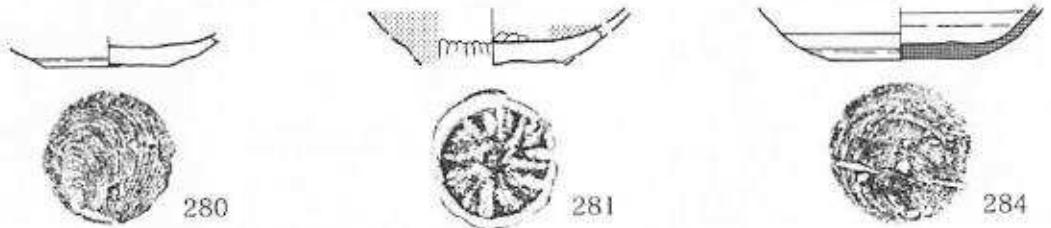


RB02掘立柱建物跡

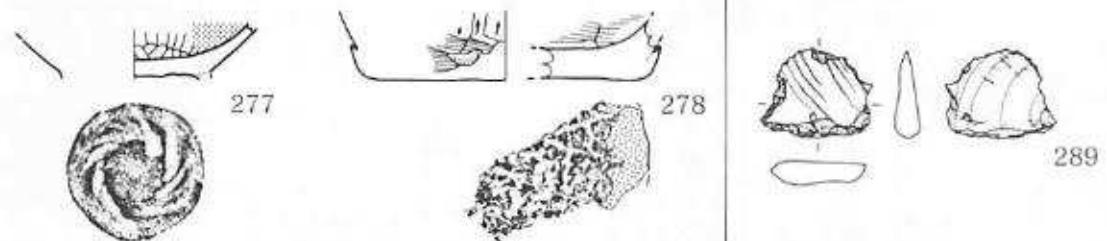
第57図 遺構内出土遺物 (27)



第58図 遺構内出土遺物 (28)

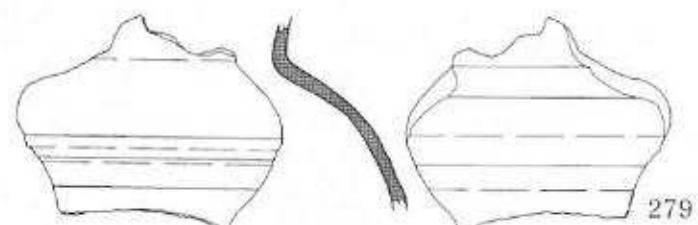
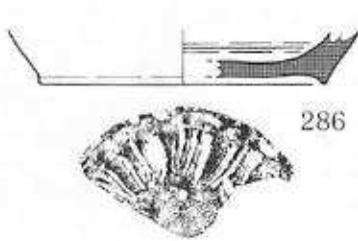


補4付近



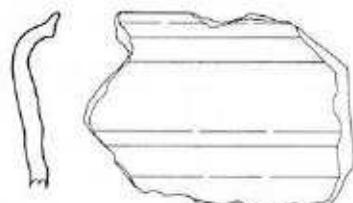
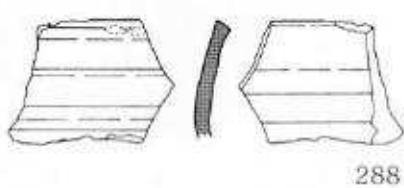
-IH19p-

-IH18m-



トレンチ5

-IH21v-



出土地点不明

第59図 遺構外出土遺物

第2表 柱穴状土坑計測表

| No. | 口開部cm | 深さcm | 形状  | 編 号              | No. | 開口部cm | 深さcm | 形状  | 編 号              |
|-----|-------|------|-----|------------------|-----|-------|------|-----|------------------|
| 1   | 30×28 | 12   | 楕円形 |                  | 92  | 32×35 | 27   | 楕円形 | 第4次調査区           |
| 2   | 31×29 | 18   | 楕円形 |                  | 93  | 26×27 | 20   | 円形  | 第4次調査区           |
| 3   | 25×32 | 10   | 楕円形 | 柱頭跡有り            | 94  | 40×53 | 23   | 楕円形 |                  |
| 4   | 29×36 | 16   | 楕円形 |                  | 95  | 29×33 | 21   | 楕円形 |                  |
| 5   | 32×69 | 19   | 楕円形 | 柱頭跡有り            | 96  | 55×63 | 35   | 楕円形 |                  |
| 6   |       |      |     |                  |     |       |      |     |                  |
| 7   |       |      |     |                  |     |       |      |     |                  |
| 8   |       |      |     |                  |     |       |      |     |                  |
| 9   | 32×27 | 24   | 楕円形 |                  | 100 | 48×50 | 17   | 楕円形 |                  |
| 10  | 33×36 | 25   | 楕円形 | 柱頭跡有り            | 101 | 33×34 | 21   | 円形  |                  |
| 11  | 30×29 | 24   | 楕円形 |                  | 102 | 25×27 | 26   | 楕円形 |                  |
| 12  | 27×26 | 25   | 楕円形 |                  | 103 | 24×26 | 14   | 楕円形 |                  |
| 13  | 23×26 | 23   | 楕円形 |                  | 104 | 45×48 | 12   | 楕円形 |                  |
| 14  | 27×32 | 31   | 楕円形 |                  | 105 | 39×40 | 16   | 楕円形 |                  |
| 15  | 40×42 | 31   | 楕円形 |                  | 106 |       |      |     |                  |
| 16  | 32×37 | 37   | 楕円形 |                  | 107 | 67×76 | 32   | 楕円形 | RB04倒立柱建物、柱頭跡片出上 |
| 17  | 25×28 | 17   | 楕円形 |                  | 108 | 51×58 | 22   | 楕円形 |                  |
| 18  | 30×28 | 32   | 楕円形 |                  | 109 | 40×44 | 23   | 楕円形 |                  |
| 19  | 45×48 | 41   | 楕円形 |                  | 110 | 56×63 | 15   | 楕円形 |                  |
| 20  | 27×30 | 17   | 楕円形 |                  | 111 | 35×40 | 16   | 楕円形 |                  |
| 21  | 29×30 | 22   | 楕円形 |                  | 112 | 61×63 | 34   | 楕円形 | RB04倒立柱建物、柱頭跡片出上 |
| 22  | 17×33 | 47   | 楕円形 |                  | 113 | 26×27 | 10   | 円形  |                  |
| 23  | 28×30 | 51   | 楕円形 |                  | 114 | 37×44 | 36   | 楕円形 | RB04倒立柱建物、       |
| 24  | 27×30 | 17   | 楕円形 |                  | 115 | 43×45 | 27   | 楕円形 | RB03倒立柱建物、       |
| 25  | 29×32 | 24   | 楕円形 |                  | 116 | 42×46 | 32   | 楕円形 |                  |
| 26  | 32×38 | 49   | 楕円形 |                  | 117 | 37×39 | 26   | 楕円形 |                  |
| 27  | 24×25 | 23   | 楕円形 |                  | 118 | 57×60 | 28   | 楕円形 | RB03倒立柱建物        |
| 28  | 27×30 | 24   | 楕円形 |                  | 119 | 31×35 | 22   | 楕円形 |                  |
| 29  | 24×30 | 18   | 楕円形 |                  | 120 | 72×80 | 36   | 楕円形 |                  |
| 30  | 28×30 | 18   | 楕円形 |                  | 121 | 23×29 | 18   | 楕円形 |                  |
| 31  | 31×32 | 16   | 円形  |                  | 122 | 56×57 | 26   | 円形  | RB04倒立柱建物、       |
| 32  | 25×27 | 23   | 楕円形 |                  | 123 | 34×39 | 36   | 楕円形 |                  |
| 33  | 28×30 | 18   | 楕円形 |                  | 124 | 30×31 | 37   | 円形  |                  |
| 34  | 27×31 | 11   | 楕円形 |                  | 125 | 34×34 | 27   | 円形  | 第4次調査区           |
| 35  | 38×41 | 15   | 楕円形 |                  | 126 | 34×36 | 24   | 楕円形 | 第4次調査区           |
| 36  | 39×44 | 17   | 楕円形 |                  | 127 | 10×11 | 8    | 楕円形 | 第4次調査区           |
| 37  | 28×38 | 15   | 楕円形 |                  | 128 | 10×21 | 35   | 楕円形 | 第4次調査区           |
| 38  | 24×25 | 19   | 楕円形 |                  | 129 | 12×15 | 10   | 楕円形 | 第4次調査区           |
| 39  | 30×37 | 10   | 楕円形 |                  | 130 | 24×26 | 34   | 楕円形 |                  |
| 40  | 32×33 | 14   | 楕円形 |                  | 131 | 30×35 | 33   | 楕円形 | 第4次調査区           |
| 41  | 60×65 | 10   | 楕円形 |                  | 132 | 28×34 | 36   | 楕円形 |                  |
| 42  | 38×39 | 29   | 楕円形 |                  | 133 | 22×23 | 25   | 楕円形 |                  |
| 43  | 43×47 | 37   | 楕円形 |                  | 134 | 28×29 | 36   | 楕円形 | 第4次調査区           |
| 44  | 42×47 | 36   | 楕円形 |                  | 135 | 24×25 | 10   | 楕円形 | 第4次調査区           |
| 45  | 31×38 | 23   | 楕円形 |                  | 136 | 30×30 | 11   | 円形  | 第4次調査区           |
| 46  | 36×38 | 33   | 楕円形 |                  | 137 | 19×20 | 27   | 楕円形 | 第4次調査区           |
| 47  | 37×38 | 30   | 円形  |                  | 138 | 21×21 | 10   | 円形  | 第4次調査区           |
| 48  | 33×34 | 42   | 楕円形 |                  | 139 | 22×22 | 27   | 円形  | 第4次調査区           |
| 49  | 30×32 | 30   | 円形  |                  | 140 | 34×40 | 28   | 楕円形 | 第4次調査区           |
| 50  | 36×36 | 20   | 円形  |                  | 141 |       |      |     |                  |
| 51  | 36×38 | 27   | 楕円形 |                  | 142 | 20×22 | 26   | 楕円形 | 第4次調査区           |
| 52  | 32×35 | 25   | 楕円形 |                  | 143 | 47×55 | 36   | 楕円形 |                  |
| 53  | 31×35 | 31   | 楕円形 |                  | 144 | 52×55 | 22   | 楕円形 |                  |
| 54  | 22×24 | 28   | 楕円形 |                  | 145 | 57×57 | 19   | 円形  |                  |
| 55  | 39×42 | 40   | 楕円形 |                  | 146 | 39×47 | 46   | 楕円形 |                  |
| 56  | 32×33 | 30   | 楕円形 |                  | 147 |       |      |     |                  |
| 57  | 21×22 | 25   | 楕円形 |                  | 148 |       |      |     |                  |
| 58  | 32×41 | 33   | 楕円形 |                  | 149 |       |      |     |                  |
| 59  | 43×44 | 16   | 円形  |                  | 150 |       |      |     |                  |
| 60  | 42×45 | 37   | 楕円形 |                  | 151 | 29×31 | 27   | 楕円形 |                  |
| 61  | 38×43 | 27   | 楕円形 |                  | 152 | 52×55 | 27   | 楕円形 |                  |
| 62  | 42×45 | 37   | 楕円形 |                  | 153 | 28×29 | 33   | 楕円形 |                  |
| 63  | 40×41 | 37   | 円形  |                  | 154 | 30×32 | 19   | 楕円形 |                  |
| 64  | 28×29 | 27   | 円形  |                  | 155 | 27×28 | 27   | 楕円形 |                  |
| 65  | 35×36 | 39   | 円形  |                  | 156 | 24×26 | 26   | 楕円形 |                  |
| 66  | 28×30 | 28   | 楕円形 |                  | 157 | 29×31 | 19   | 楕円形 |                  |
| 67  | 42×46 | 38   | 楕円形 |                  | 158 | 32×35 | 29   | 楕円形 |                  |
| 68  | 25×31 | 31   | 楕円形 |                  | 159 | 34×35 | 26   | 楕円形 |                  |
| 69  | 32×33 | 21   | 円形  |                  | 160 | 23×27 | 24   | 楕円形 |                  |
| 70  | 30×33 | 26   | 楕円形 |                  | 161 | 28×29 | 23   | 楕円形 |                  |
| 71  | 38×41 | 30   | 楕円形 |                  | 162 | 34×37 | 26   | 楕円形 |                  |
| 72  | 32×33 | 33   | 円形  |                  | 163 | 59×65 | 37   | 楕円形 |                  |
| 73  | 25×31 | 33   | 楕円形 |                  | 164 | 24×25 | 15   | 楕円形 |                  |
| 74  | 44×45 | 37   | 円形  |                  | 165 | 25×25 | 19   | 円形  |                  |
| 75  | 44×49 | 37   | 楕円形 |                  | 166 | 31×34 | 21   | 楕円形 |                  |
| 76  | 34×38 | 21   | 楕円形 |                  | 167 | 31×33 | 26   | 楕円形 |                  |
| 77  | 23×30 | 22   | 楕円形 |                  | 168 | 21×26 | 24   | 楕円形 |                  |
| 78  | 35×36 | 28   | 円形  |                  | 169 | 30×31 | 23   | 楕円形 |                  |
| 79  | 34×43 | 35   | 楕円形 |                  | 170 | 24×25 | 14   | 楕円形 |                  |
| 80  | 29×34 | 18   | 楕円形 |                  | 171 | 29×34 | 27   | 楕円形 |                  |
| 81  | 28×36 | 26   | 楕円形 |                  | 172 | 24×26 | 19   | 楕円形 |                  |
| 82  |       |      |     |                  | 173 | 30×31 | 19   | 楕円形 |                  |
| 83  | 55×59 | 53   | 楕円形 | RB02倒立柱建物、柱頭跡片出上 | 174 | 34×47 | 27   | 楕円形 |                  |
| 84  | 55×59 | 50   | 楕円形 | RB02倒立柱建物。       | 175 | 25×27 | 18   | 楕円形 |                  |
| 85  | 27×28 | 18   | 円形  |                  | 176 | 26×30 | 15   | 楕円形 |                  |
| 86  | 28×30 | 15   | 楕円形 | 焼土流入             | 177 | 41×49 | 25   | 楕円形 |                  |
| 87  | 49×51 | 35   | 楕円形 | 焼土流入             | 178 | 25×25 | 36   | 円形  |                  |
| 88  | 42×51 | 23   | 楕円形 |                  | 179 | 33×34 | 27   | 楕円形 |                  |
| 89  | 42×62 | 25   | 楕円形 |                  | 180 | 23×25 | 24   | 楕円形 |                  |
| 90  | 54×66 | 26   | 楕円形 |                  | 181 | 38×40 | 28   | 楕円形 |                  |
| 91  | 28×30 | 26   | 楕円形 | 第4次調査区           | 182 | 26×28 | 22   | 楕円形 |                  |

| No. | 口部直径cm | 深さcm | 形状   | 備考           | No. | 開口部直径cm | 深さcm | 形状   | 備考              |
|-----|--------|------|------|--------------|-----|---------|------|------|-----------------|
| 183 | 19×20  | 18   | ほぼ円形 |              | 275 | 28×30   | 31   | ほぼ円形 |                 |
| 184 | 31×32  | 21   | ほぼ円形 |              | 276 | 28×30   | 34   | ほぼ円形 |                 |
| 185 | 18×28  | 34   | 梢円形  |              | 277 | 32×35   | 28   | ほぼ円形 |                 |
| 186 | 28×33  | 35   | 梢円形  |              | 278 | 25×27   | 22   | ほぼ円形 |                 |
| 187 | 24×25  | 15   | ほぼ円形 |              | 279 | 22×24   | 18   | ほぼ円形 |                 |
| 188 | 21×23  | 21   | ほぼ円形 |              | 280 | 27×28   | 21   | ほぼ円形 |                 |
| 189 | 32×35  | 16   | ほぼ円形 |              | 281 | 19×21   | 16   | 梢円形  |                 |
| 190 | 32×33  | 29   | ほぼ円形 |              | 282 |         |      |      |                 |
| 191 | 30×33  | 34   | ほぼ円形 |              | 283 | 31×33   | 20   | ほぼ円形 |                 |
| 192 | 16×25  | 15   | 梢円形  |              | 284 | 25×28   | 17   | 梢円形  |                 |
| 193 | 29×30  | 31   | ほぼ円形 |              | 285 | 33×34   | 19   | ほぼ円形 |                 |
| 194 | 36×33  | 35   | 円形   |              | 286 | 21×22   | 17   | ほぼ円形 |                 |
| 195 | 39×47  | 37   | 梢円形  |              | 287 | 30×34   | 25   | 梢円形  |                 |
| 196 | 45×47  | 31   | ほぼ円形 |              | 288 | 19×20   | 21   | ほぼ円形 |                 |
| 197 | 24×27  | 19   | ほぼ円形 |              | 289 |         |      |      |                 |
| 198 | 50×50  | 10   | 円形   |              | 290 |         |      |      |                 |
| 199 | 62×73  | 34   | 梢円形  | RB03倒立柱建物    | 291 |         |      |      |                 |
| 200 | 24×26  | 14   | ほぼ円形 |              | 292 |         |      |      |                 |
| 201 | 31×32  | 29   | ほぼ円形 |              | 293 |         |      |      |                 |
| 202 | 36×39  | 40   | ほぼ円形 |              | 294 |         |      |      |                 |
| 203 | 31×32  | 16   | ほぼ円形 |              | 295 |         |      |      |                 |
| 204 | 22×27  | 11   | 梢円形  |              | 296 |         |      |      |                 |
| 205 |        |      |      | 上版陥入六状遺物     | 297 |         |      |      |                 |
| 206 | 16×20  | 27   | 梢円形  |              | 298 |         |      |      |                 |
| 207 | 18×23  | 15   | 梢円形  |              | 299 |         |      |      |                 |
| 208 | 24×25  | 28   | ほぼ円形 |              | 300 | 41×45   | 33   | 梢円形  | RB05倒立柱建物,柱頭部打リ |
| 209 | 21×27  | 29   | 梢円形  |              | 301 | 37×42   | 35   | 梢円形  | 十脚裏片出土          |
| 210 | 20×21  | 10   | ほぼ円形 |              | 302 | 27×28   | 22   | ほぼ円形 |                 |
| 211 | 28×29  | 30   | ほぼ円形 | 第4次調査        | 303 | 25×36   | 35   | 梢円形  |                 |
| 212 | 34×38  | 28   | 梢円形  | 第4次調査        | 304 | 31×33   | 26   | ほぼ円形 |                 |
| 213 | 48×54  | 14   | 梢円形  | 第4次調査        | 305 | 26×28   | 14   | ほぼ円形 |                 |
| 214 | 32×34  | 20   | ほぼ円形 | 第4次調査        | 306 | 37×41   | 32   | 梢円形  | 柱頭部打リ           |
| 215 | 33×33  | 18   | 円形   | 第4次調査        | 307 | 25×29   | 17   | 梢円形  |                 |
| 216 | 43×44  | 21   | ほぼ円形 | 第4次調査,土的裏片出土 | 308 | 38×40   | 30   | ほぼ円形 |                 |
| 217 | 68×70  | 38   | ほぼ円形 | 第4次調査        | 309 | 30×33   | 32   | ほぼ円形 | 上部裏片出土          |
| 218 | 41×42  | 37   | ほぼ円形 | 上部裏片・須恵器片出土  | 310 | 50×52   | 38   | ほぼ円形 | 上部裏片推上          |
| 219 | 57×58  | 36   | ほぼ円形 | 上部裏片・須恵器片出土  | 311 | 29×30   | 32   | ほぼ円形 |                 |
| 220 |        |      |      |              | 312 | 23×27   | 22   | 梢円形  |                 |
| 221 |        |      |      |              | 313 | 22×26   | 28   | 梢円形  |                 |
| 222 |        |      |      |              | 314 | 28×28   | 10   | 円形   |                 |
| 223 |        |      |      |              | 315 | 32×36   | 29   | 梢円形  |                 |
| 224 | 54×56  | 34   | ほぼ円形 | RB02倒立柱建物    | 316 | 20×20   | 16   | 円形   |                 |
| 225 | 42×44  | 44   | ほぼ円形 |              | 317 | 16×18   | 24   | ほぼ円形 |                 |
| 226 | 55×57  | 25   | ほぼ円形 | RB02倒立柱建物    | 318 | 20×20   | 11   | 円形   |                 |
| 227 | 50×61  | 36   | 梢円形  | RB02倒立柱建物    | 319 | 29×29   | 12   | 円形   |                 |
| 228 | 47×48  | 53   | 円形   | RB02倒立柱建物    | 320 | 23×24   | 11   | 円形   |                 |
| 229 | 36×37  | 50   | 円形   | RB02倒立柱建物    | 321 | 23×24   | 12   | 円形   |                 |
| 230 | 53×55  | 35   | ほぼ円形 | RB02倒立柱建物    | 322 | 19×20   | 20   | 円形   |                 |
| 231 | 55×57  | 3    | ほぼ円形 | RB02倒立柱建物    | 323 | 25×26   | 16   | 円形   |                 |
| 232 | 37×41  | 13   | ほぼ円形 |              | 324 | 26×27   | 16   | 円形   |                 |
| 233 | 35×35  | 14   | 円形   | 柱頭部打リ        | 325 | 26×29   | 14   | 梢円形  |                 |
| 234 | 40×40  | 18   | 円形   | 柱頭部打リ        | 326 | 30×31   | 21   | 円形   |                 |
| 235 | 22×25  | 19   | ほぼ円形 |              | 327 | 31×34   | 21   | 梢円形  |                 |
| 236 | 53×56  | 33   | ほぼ円形 | RB03倒立柱建物    | 328 | 29×31   | 28   | ほぼ円形 |                 |
| 237 | 42×46  | 56   | ほぼ円形 | RB03倒立柱建物    | 329 | 28×28   | 14   | 円形   |                 |
| 238 | 41×43  | 22   | ほぼ円形 | RB04倒立柱建物    | 330 | 23×26   | 19   | 梢円形  |                 |
| 239 | 32×33  | 15   | ほぼ円形 |              | 331 | 24×24   | 15   | 円形   |                 |
| 240 | 33×43  | 16   | 梢円形  | RB04倒立柱建物    | 332 | 31×32   | 26   | 円形   |                 |
| 241 | 43×47  | 18   | 梢円形  | RB04倒立柱建物    | 333 | 27×28   | 16   | 円形   |                 |
| 242 | 47×49  | 17   | ほぼ円形 | RB03倒立柱建物    | 334 | 34×37   | 26   | 梢円形  |                 |
| 243 | 36×37  | 18   | ほぼ円形 | RB03倒立柱建物    | 335 | 27×27   | 19   | 円形   |                 |
| 244 | 35×40  | 27   | 梢円形  |              | 336 | 20×21   | 12   | 円形   |                 |
| 245 | 30×34  | 24   | 梢円形  |              | 337 | 31×36   | 21   | 梢円形  |                 |
| 246 |        |      |      |              | 338 | 48×50   | 10   | ほぼ円形 |                 |
| 247 | 37×39  | 26   | 梢円形  |              | 339 | 37×38   | 14   | 円形   |                 |
| 248 | 27×27  |      | 円形   |              | 340 | 23×24   | 13   | 円形   |                 |
| 249 | 34×36  | 22   | ほぼ円形 |              | 341 | 24×27   | 13   | 梢円形  |                 |
| 250 | 32×34  | 22   | ほぼ円形 |              | 342 | 28×35   | 21   | 梢円形  |                 |
| 251 | 23×25  | 20   | ほぼ円形 |              | 343 | 29×30   | 2    | 円形   |                 |
| 252 | 27×28  | 20   | 円形   |              | 344 | 22×30   | 27   | 梢円形  |                 |
| 253 | 26×27  | 21   | ほぼ円形 | 第4次調査        | 345 | 24×27   | 14   | 梢円形  |                 |
| 254 | 20×24  | 20   | 梢円形  | 第4次調査        | 346 | 27×35   | 27   | 梢円形  |                 |
| 255 | 18×22  | 16   | 梢円形  | 第4次調査        | 347 | 28×29   | 22   | 円形   |                 |
| 256 | 20×21  | 13   | ほぼ円形 |              | 348 | 37×38   | 28   | 円形   |                 |
| 257 | 26×27  | 15   | ほぼ円形 |              | 349 | 27×31   | 23   | 梢円形  |                 |
| 258 | 25×25  | 12   | 円形   |              | 350 | 27×31   | 30   | 梢円形  |                 |
| 259 | 31×31  | 14   | 円形   |              | 351 | 34×35   | 25   | 円形   |                 |
| 260 | 8×30   | 12   | ほぼ円形 |              | 352 | 31×32   | 2    | 円形   |                 |
| 261 | 31×34  | 24   | ほぼ円形 |              | 353 | 25×28   | 28   | 梢円形  |                 |
| 262 | 25×28  | 21   | ほぼ円形 |              | 354 | 24×29   | 28   | 梢円形  |                 |
| 263 | 23×23  | 23   | 円形   |              | 355 | 21×23   | 22   | 梢円形  |                 |
| 264 | 24×25  | 15   | 円形   |              | 356 | 31×44   | 17   | 梢円形  |                 |
| 265 | 28×29  | 28   | 円形   |              | 357 | 22×24   | 18   | ほぼ円形 |                 |
| 266 | 30×32  | 19   | ほぼ円形 |              | 358 | 24×25   | 15   | ほぼ円形 |                 |
| 267 | 26×27  | 27   | ほぼ円形 |              | 359 | 28×31   | 20   | 梢円形  |                 |
| 268 | 43×49  | 21   | 梢円形  |              | 360 | 23×28   | 15   | 梢円形  |                 |
| 269 | 32×38  | 18   | 梢円形  |              | 361 | 31×45   | 19   | 梢円形  |                 |
| 270 | 50×54  | 19   | 梢円形  |              | 362 | 45×46   | 39   | 円形   |                 |
| 271 | 23×24  | 22   | 円形   |              | 363 | 21×21   | 19   | 円形   |                 |
| 272 | 22×24  | 17   | ほぼ円形 |              | 364 | 25×27   | 15   | 梢円形  |                 |
| 273 | 30×40  | 16   | 梢円形  |              | 365 | 35×39   | 21   | 梢円形  |                 |
| 274 | 27×28  | 13   | 円形   |              | 366 | 25×31   | 23   | 梢円形  |                 |

| No. | 口開部横cm | 深さcm | 形状   | 備考 | No. | 口開部横cm | 深さcm | 形状   | 備考 |
|-----|--------|------|------|----|-----|--------|------|------|----|
| 367 | 27×32  | 39   | 楕円形  |    | 459 | 22×28  | 19   | 楕円形  |    |
| 368 | 29×30  | 27   | ほぼ円形 |    | 460 | 40×41  | 34   | ほぼ円形 |    |
| 369 | 28×41  | 15   | 楕円形  |    | 461 | 41×45  | 27   | 楕円形  |    |
| 370 | 21×28  | 15   | 楕円形  |    | 462 | 30×38  | 21   | 楕円形  |    |
| 371 | 21×23  | 23   | ほぼ円形 |    | 463 | 58×59  | 28   | ほぼ円形 |    |
| 372 | 28×32  | 25   | 楕円形  |    | 464 | 43×68  |      | 楕円形  |    |
| 373 | 30×31  | 45   | ほぼ円形 |    | 465 | 41×42  |      | ほぼ円形 |    |
| 374 | 28×31  | 46   | 楕円形  |    | 466 | 40×43  | 31   | 楕円形  |    |
| 375 | 24×28  | 24   | 楕円形  |    | 467 | 30×42  | 27   | 楕円形  |    |
| 376 | 31×50  | 22   | 楕円形  |    | 468 | 32×39  | 27   | 楕円形  |    |
| 377 | 27×29  | 26   | ほぼ円形 |    | 469 |        |      |      |    |
| 378 | 28×28  | 12   | 円形   |    | 470 |        |      |      |    |
| 379 | 21×25  | 22   | 楕円形  |    | 471 | 24×28  |      | 楕円形  |    |
| 380 | 21×39  | 29   | 楕円形  |    | 472 | 22×37  | 28   | 楕円形  |    |
| 381 | 20×22  | 10   | ほぼ円形 |    | 473 | 29×60  | 20   | 楕円形  |    |
| 382 | 25×28  | 19   | 楕円形  |    | 474 | 30×58  | 16   | 楕円形  |    |
| 383 | 18×23  | 32   | 楕円形  |    | 475 | 30×33  | 10   | ほぼ円形 |    |
| 384 | 18×21  | 11   | 楕円形  |    | 476 | 30×31  | 10   | ほぼ円形 |    |
| 385 | 23×23  | 17   | 円形   |    | 477 | 25×41  | 20   | ほぼ円形 |    |
| 386 | 32×33  | 24   | 円形   |    | 478 | 26×29  | 14   | 楕円形  |    |
| 387 | 19×21  | 28   | ほぼ円形 |    | 479 | 23×25  | 15   | ほぼ円形 |    |
| 388 | 24×24  | 12   | 円形   |    | 480 | 22×45  | 16   | 楕円形  |    |
| 389 | 16×17  | 11   | 円形   |    | 481 | 35×38  | 19   | ほぼ円形 |    |
| 390 | 30×31  | 12   | 円形   |    | 482 | 31×31  | 23   | 円形   |    |
| 391 | 28×35  | 30   | 楕円形  |    | 483 | 28×35  | 25   | 楕円形  |    |
| 392 | 26×28  | 9    | 楕円形  |    | 484 | 25×32  | 22   | 楕円形  |    |
| 393 | 33×40  | 25   | 楕円形  |    | 485 | 30×42  | 26   | 楕円形  |    |
| 394 | 38×46  | 25   | 楕円形  |    | 486 | 34×35  | 11   | ほぼ円形 |    |
| 395 | 31×34  | 24   | 楕円形  |    | 487 | 26×43  | 10   | 楕円形  |    |
| 396 | 31×34  | 24   | 楕円形  |    | 488 | 34×35  | 16   | ほぼ円形 |    |
| 397 | 25×26  | 20   | ほぼ円形 |    | 489 | 22×27  | 17   | 楕円形  |    |
| 398 | 20×43  | 20   | 楕円形  |    | 490 | 23×25  | 14   | ほぼ円形 |    |
| 399 | 39×46  | 23   | 楕円形  |    | 491 |        |      |      |    |
| 400 | 34×36  | 15   | ほぼ円形 |    | 492 |        |      |      |    |
| 401 | 33×34  | 10   | 楕円形  |    | 493 |        |      |      |    |
| 402 | 35×46  | 19   | 楕円形  |    | 494 |        |      |      |    |
| 403 | 27×27  | 11   | 円形   |    | 495 |        |      |      |    |
| 404 | 30×39  | 14   | 楕円形  |    | 496 |        |      |      |    |
| 405 | 30×36  | 22   | 楕円形  |    | 497 |        |      |      |    |
| 406 | 27×27  | 20   | 円形   |    | 498 |        |      |      |    |
| 407 | 32×33  | 20   | ほぼ円形 |    | 499 |        |      |      |    |
| 408 | 32×35  | 10   | 楕円形  |    | 500 |        |      |      |    |
| 409 | 22×27  | 18   | 楕円形  |    | 501 |        |      |      |    |
| 410 | 24×29  | 17   | 楕円形  |    | 502 | 20×21  | 16   | ほぼ円形 |    |
| 411 | 21×24  | 16   | 楕円形  |    | 503 | 40×56  | 24   | 楕円形  |    |
| 412 | 26×29  | 12   | 楕円形  |    | 504 | 30×45  | 16   | 楕円形  |    |
| 413 | 39×41  | 24   | ほぼ円形 |    | 505 | 32×43  | 18   | 楕円形  |    |
| 414 | 31×32  | 17   | ほぼ円形 |    | 506 | 30×32  | 13   | ほぼ円形 |    |
| 415 | 39×42  | 26   | ほぼ円形 |    | 507 | 53×60  | 20   | 楕円形  |    |
| 416 | 23×24  | 22   | ほぼ円形 |    | 508 | 46×56  | 20   | 楕円形  |    |
| 417 | 26×27  | 14   | ほぼ円形 |    | 509 | 25×28  | 18   | 楕円形  |    |
| 418 | 25×39  | 21   | 楕円形  |    | 510 | 50×58  | 29   | 楕円形  |    |
| 419 | 29×40  | 20   | 楕円形  |    | 511 | 30×31  | 29   | ほぼ円形 |    |
| 420 | 23×25  | 19   | ほぼ円形 |    | 512 | 40×47  | 4    | 楕円形  |    |
| 421 | 25×26  | 19   | ほぼ円形 |    | 513 | 45×56  | 11   | 楕円形  |    |
| 422 | 27×30  | 19   | ほぼ円形 |    | 514 | 45×55  | 20   | 楕円形  |    |
| 423 | 34×35  | 19   | ほぼ円形 |    | 515 | 40×45  | 26   | 楕円形  |    |
| 424 | 27×29  | 7    | ほぼ円形 |    | 516 | 59×67  | 22   | 楕円形  |    |
| 425 | 17×22  | 10   | 楕円形  |    | 517 | 40×43  |      | ほぼ円形 |    |
| 426 | 24×32  | 16   | 楕円形  |    | 518 | 32×38  |      | 楕円形  |    |
| 427 | 21×27  | 18   | 楕円形  |    | 519 | 32×32  | 22   | 円形   |    |
| 428 | 35×36  | 22   | ほぼ円形 |    | 520 | 50×56  | 28   | 楕円形  |    |
| 429 | 28×42  | 21   | 楕円形  |    | 521 | 45×50  | 22   | 楕円形  |    |
| 430 | 27×28  | 19   | ほぼ円形 |    | 522 | 40×50  | 22   | 楕円形  |    |
| 431 | 29×31  | 20   | ほぼ円形 |    | 523 | 40×43  | 28   | ほぼ円形 |    |
| 432 | 28×30  | 24   | ほぼ円形 |    | 524 | 33×42  | 12   | 楕円形  |    |
| 433 | 16×21  | 10   | 楕円形  |    | 525 | 42×44  | 17   | ほぼ円形 |    |
| 434 | 28×36  | 13   | 楕円形  |    | 526 | 28×37  |      | 楕円形  |    |
| 435 | 35×38  | 22   | 楕円形  |    | 527 | 19×22  |      | 楕円形  |    |
| 436 | 29×37  | 17   | 楕円形  |    | 528 | 35×40  | 26   | 楕円形  |    |
| 437 | 30×32  | 15   | ほぼ円形 |    | 529 | 45×47  | 24   | ほぼ円形 |    |
| 438 | 33×41  | 32   | 楕円形  |    | 530 | 35×55  | 23   | 楕円形  |    |
| 439 | 23×35  | 13   | 楕円形  |    | 531 | 35×50  | 24   | 楕円形  |    |
| 440 | 31×41  | 24   | 楕円形  |    | 532 | 40×43  | 31   | ほぼ円形 |    |
| 441 | 27×41  | 25   | 楕円形  |    | 533 | 40×65  | 15   | 楕円形  |    |
| 442 | 33×41  | 24   | 楕円形  |    | 534 | 45×45  | 18   | 円形   |    |
| 443 | 26×29  | 23   | 楕円形  |    | 535 | 50×57  | 24   | 楕円形  |    |
| 444 | 42×45  | 25   | ほぼ円形 |    | 536 | 32×45  | 25   | 楕円形  |    |
| 445 | 31×41  | 22   | 楕円形  |    | 537 | 35×35  | 21   | 円形   |    |
| 446 | 34×42  | 17   | 楕円形  |    | 538 | 32×36  | 26   | 楕円形  |    |
| 447 | 37×39  | 20   | ほぼ円形 |    | 539 | 35×43  | 13   | 楕円形  |    |
| 448 | 16×27  | 27   | 楕円形  |    | 540 |        |      |      |    |
| 449 | 26×27  | 26   | ほぼ円形 |    | 541 |        |      |      |    |
| 450 | 35×36  | 17   | ほぼ円形 |    | 542 | 65×76  |      | 楕円形  |    |
| 451 | 47×48  | 33   | ほぼ円形 |    | 543 |        |      |      |    |
| 452 | 29×30  | 16   | ほぼ円形 |    | 544 |        |      |      |    |
| 453 | 36×45  | 28   | 楕円形  |    |     |        |      |      |    |
| 454 | 38×39  | 16   | ほぼ円形 |    |     |        |      |      |    |
| 455 | 31×32  | 28   | ほぼ円形 |    |     |        |      |      |    |
| 456 | 23×24  | 44   | ほぼ円形 |    |     |        |      |      |    |
| 457 | 35×38  | 33   | 楕円形  |    |     |        |      |      |    |
| 458 | 23×23  | 21   | 円形   |    |     |        |      |      |    |

第3表 遺物観察表

## &lt;土師器・須恵器&gt;

| 掘<br>査<br>番<br>号 | 登<br>録<br>番<br>号 | 写<br>真<br>図<br>版 | 出土地点・層位                 | 器<br>種   | 色<br>調        | 外面調整        |        |                | 内面調整    |        |        | 計測値: cm      |        |        | 附<br>注<br>(付有物、色調等) | 備<br>考       |                         |  |
|------------------|------------------|------------------|-------------------------|----------|---------------|-------------|--------|----------------|---------|--------|--------|--------------|--------|--------|---------------------|--------------|-------------------------|--|
|                  |                  |                  |                         |          |               | 口<br>縁<br>部 | 体<br>部 | 底<br>部         | 口<br>縁部 | 体<br>部 | 底<br>部 | 黒色<br>過<br>程 | 口<br>径 | 底<br>深 | 器<br>高              |              |                         |  |
|                  |                  |                  |                         |          |               |             |        |                |         |        |        |              |        |        |                     |              |                         |  |
| 1                | 20               | 27               | RA01・2号カマド南半壁上          | 土師器・杯    | 2.5YR2/1赤褐色   | ロクロナデ       | ロクロナデ  | —              | ロクロナデ   | ヘラミガキ  | —      | ○ (12.2)     | —      | [3.7]  | 金雲母多                | 反転尖頭         |                         |  |
| 2                | 3                | 27               | RA01・a-7, 9, 11, 12, 37 | 土師器・杯    | 10YR7/3純い黄褐色  | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | ロクロナデ   | ヘラミガキ  | △      | 13.7         | 5.5    | 5.6    | 金雲母多                |              |                         |  |
| 3                | 21               | 27               | RA01・a-9                | 土師器・杯    | 10YR7/4純い黄褐色  | —           | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | —       | ロクロナデ? | ロクロナデ? | ×            | —      | 6.0    | [2.1]               | 金雲母多         |                         |  |
| 4                | 24               | 27               | RA01・a-49               | 土師器・杯    | 7.5YR7/4純い黄褐色 | —           | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | —       | ヘラミガキ  | ヘラミガキ  | ○            | —      | [5.0]  | 金雲母を含む              |              |                         |  |
| 5                | 11               | 27               | RA01・a-52               | 土師器・杯    | SYR7/3純い黄褐色   | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | ロクロナデ   | ロクロナデ  | ×      | 10.9         | 4.7    | 4.3    | 砂程合む(1mm)           |              |                         |  |
| 6                | 7                | 27               | RA01・a-33               | 土師器・杯    | SYR6/4純い黄褐色   | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | ロクロナデ   | ヘラミガキ  | ヘラナデ?  | ○            | 13.2   | 4.8    | 4.5                 | 金雲母多         | 一部反転尖頭                  |  |
| 7                | 8                | 27               | RA01・a-35               | 土師器・杯    | SYR7/3純い黄褐色   | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | ロクロナデ   | ヘラミガキ  | ヘラミガキ  | ○            | 12.8   | 5.2    | 4.5                 | 金雲母少         | 口縁部内外両に爆状の付着物           |  |
| 8                | 1                | 27               | RA01・山東3a-3・4・6         | 土師器・杯    | 10YR6/6緑      | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | ロクロナデ   | ロクロナデ  | ×      | 12.7         | 5.7    | 4.3    |                     |              |                         |  |
| 9                | 5                | 27               | RA01・山東3a-19            | 土師器・杯    | 10YR2/1墨      | —           | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | —       | ヘラミガキ  | ヘラミガキ  | ○            | —      | 5.0    | 5.1                 | 金雲母微量        | 底面に削印(×)                |  |
| 10               | 2                | 27               | RA01・山東3a-7             | 土師器・杯    | 10YR7/6緑      | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | ロクロナデ   | ロクロナデ  | ×      | 12.7         | 6.4    | 3.5    | 金雲母少                | 反転尖頭         |                         |  |
| 11               | 4                | 27               | RA01・a-13               | 土師器・杯    | SYR6/4純い黄褐色   | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | ロクロナデ   | ヘラミガキ  | ヘラミガキ  | ○            | 13.8   | 5.4    | 4.9                 | 金雲母多         | 外曲に爆裂(近大)字状             |  |
| 12               | 6                | 27               | RA01・a-44               | 土師器・杯    | 7.5YR8/4純い黄褐色 | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | ロクロナデ   | ロクロナデ  | ×      | 15.0         | 4.7    | 4.8    | 砂程合む(1mm)           |              |                         |  |
| 13               | 9                | 27               | RA01・山半ベルト・北内           | 土師器・杯    | ロクロナデ         | ロクロナデ       | H6赤切り痕 | ロクロナデ          | ヘラナデ?   | ヘラナデ?  | —      | 11.9         | 3.6    | 3.8    | 砂粒少                 |              |                         |  |
| 14               | 19               | 27               | RA01・南半部壁上              | 土師器・杯    | 2.5YR2/1墨     | ロクロナデ       | ロクロナデ  | —              | ロクロナデ   | ヘラミガキ  | —      | ○ (14.4)     | —      | [3.9]  |                     | 反転尖頭         |                         |  |
| 15               | 12               | 27               | RA01・北内                 | 土師器・杯    | 10YR7/6緑      | —           | ロクロナデ  | H6赤切り痕?        | —       | 不削     | 不削     | ×            | —      | 5.0    | [4.1]               | 砂粒著しく多       | 反転尖頭。(砂粒)?              |  |
| 16               | 10               | 27               | RA01・a-47               | 土師器・高台付杯 | 7.5YR7/6緑     | ロクロナデ       | ロクロナデ  | 見による内調整        | ロクロナデ   | ロクロナデ  | ヘラミガキ  | ○            | 14.3   | 9.0    | 6.3                 | 金雲母少         | 外曲に爆裂(上下2段)(八)          |  |
| 17               | 25               | 27               | RA01・山東部壁上              | 土師器・高台付杯 | 7.5YR7/6緑     | ロクロナデ       | ロクロナデ  | —              | ロクロナデ   | —      | —      | —            | (7.8)  | [3.0]  |                     |              |                         |  |
| 18               | 14               | 27               | RA01・a-7, 9             | 土師器・甕    | SYR6/6緑       | ロクロナデ       | ロクロナデ  | —              | ロクロナデ   | ロクロナデ  | —      | —            | —      | [10.2] | 砂程微量                |              |                         |  |
| 19               | 13               | 28               | RA01・a-45, 47           | 土師器・甕    | 7.5YR7/3純い黄褐色 | ロクロナデ       | ロクロナデ  | —              | ロクロナデ   | ロクロナデ  | —      | —            | (21.2) | —      | [14.1]              | 砂粒少          | 内曲に爆少付着                 |  |
| 20               | 22               | 28               | RA01・a-11               | 土師器・甕    | 7.5YR6/4純い黄褐色 | —           | ヘラケズリ  | 内調整            | —       | ヘラナデ   | ヘラナデ   | —            | —      | (18.0) | [6.7]               | 砂粒著しく多       |                         |  |
| 21               | 17               | 28               | RA01・a-40               | 土師器・甕    | SYR5/8暗赤褐色    | ヘラナデ        | ヘラケズリ  | —              | ヘラナデ    | ヘラナデ   | —      | —            | —      | [10.1] | 砂粒多                 |              |                         |  |
| 22               | 23               | 28               | RA01・a-38               | 土師器・甕    | 2.5YR5/8      | —           | —      | 木製紐            | —       | —      | —      | —            | (7.4)  | [1.2]  | 砂粒多く合む(2mm)         |              |                         |  |
| 23               | 18               | 28               | RA01・a-45               | 土師器・甕    | SYR7/6緑       | ロクロナデ       | ヘラケズリ  | —              | ロクロナデ   | ヘラケズリ  | —      | —            | —      | [13.2] | 砂粒著しく多              |              |                         |  |
| 24               | 16               | 28               | RA01・南東a-22             | 土師器・甕    | SYR6/6緑       | ロクロナデ       | ヘラケズリ  | —              | ロクロナデ   | ヘラケズリ  | —      | —            | —      | [8.2]  | 砂粒多。金雲母少            | 25と同一個体か?    |                         |  |
| 25               | 15               | 28               | RA01・a-15               | 土師器・甕    | SYR6/6緑       | ロクロナデ       | ヘラケズリ  | —              | ロクロナデ   | ヘラケズリ  | —      | —            | —      | [8.8]  | 砂粒多。金雲母少            | 24と同一個体か? 始? |                         |  |
| 26               | 37               | 28               | RA01・a-7, 北西ソテ付近        | 須恵器・甕    | 10Y5/1灰       | —           | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | —       | ロクロナデ  | ロクロナデ  | ×            | —      | (5.2)  | [1.8]               | 素面           |                         |  |
| 27               | 33               | 28               | RA01・北東部壁上              | 須恵器・甕    | 10Y4/1灰       | ロクロナデ       | —      | —              | ロクロナデ   | —      | —      | ×            | —      | [3.6]  | 灰                   |              |                         |  |
| 28               | 29               | 28               | RA01・北東部壁上              | 須恵器・甕    | 5YR2/1墨       | ロクロナデ       | ロクロナデ  | —              | ロクロナデ   | ロクロナデ  | —      | —            | (13.2) | —      | [7.7]               | 赤褐色          | 反転尖頭。外曲に擦剥あり?           |  |
| 29               | 30               | 28               | RA01・北東部壁上              | 須恵器・甕    | 7.5YR3/1灰褐色   | —           | ロクロナデ  | —              | —       | ロクロナデ  | —      | —            | —      | [7.8]  | 明赤褐色                | 31・32と同一個体か? |                         |  |
| 30               | 32               | 28               | RA01・北東部壁上              | 須恵器・甕    | 2.5YR2/1赤褐色   | —           | ロクロナデ  | —              | —       | ロクロナデ  | —      | —            | —      | [7.6]  | 明赤褐色                | 30・31と同一個体か? |                         |  |
| 31               | 31               | 28               | RA01・北東部壁上              | 須恵器・甕    | 10YR3/2墨      | —           | ロクロナデ  | —              | —       | ロクロナデ  | —      | —            | —      | [6.2]  | 明赤褐色                | 30・32と同一個体か? |                         |  |
| 32               | 35               | 28               | RA01・カマド2段造紅色・a-28      | 須恵器・甕    | 7.5Y2/1灰      | —           | タタキ目   | —              | —       | “て”型切口 | —      | —            | —      | [6.4]  | 灰                   | 当て其頭は透明白     |                         |  |
| 33               | 36               | 28               | RA01・a-28               | 須恵器・甕    | 2.5Y5/1灰褐色    | —           | タタキ目   | —              | —       | “て”型切口 | —      | —            | —      | [13.8] | 凹凸                  | 外曲一部にナナ      |                         |  |
| 34               | 34               | 29               | RA01・a-2                | 須恵器・甕    | 7.5Y2/1灰      | —           | タタキ目   | —              | —       | ユビナデ   | —      | —            | —      | [18.0] | 凹                   |              |                         |  |
| 41               | 38               | 29               | RA02・NO.8               | 土師器・甕    | 7.5YR6/4純い黄褐色 | ヨコナデ        | ヘラケズリ  | ヘラケズリ          | ヨコナデ    | ハケメ    | ヘラケズリ  | —            | (20.2) | 11.9   | 31.4                | 砂程合む(2mm大)   | 39と接合                   |  |
| 42               | 41               | 29               | RA02・NO.7               | 須恵器・甕    | 2.5Y6/3純い黄褐色  | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤系切り、内調整     | ロクロナデ   | ロクロナデ  | ロクロナデ  | ×            | (15.4) | 6.3    | 5.4                 | 弱い黄          | 一部反転尖頭                  |  |
| 43               | 42               | 30               | RA02・NO.5               | 須恵器・甕    | NS5/1灰        | —           | ロクロナデ  | ヘラケズリ          | —       | ロクロナデ  | ロクロナデ  | —            | —      | 11.4   | [17.1]              |              |                         |  |
| 44               | 58               | 30               | RA03・spC-C' 瓢上(体面付近)    | 土師器・甕    | 10YR5/4純い黄褐色  | ロクロナデ       | ロクロナデ  | —              | ロクロナデ   | ヘラミガキ  | —      | ○            | (14.1) | —      | [4.5]               | 金雲母合む        |                         |  |
| 45               | 49               | 30               | RA03・カマド右端pa瓶頸付近        | 土師器・甕    | 7.5YR6/6緑     | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤切り痕・一部内調節あり | ロクロナデ   | ロクロナデ  | ロクロナデ  | ×            | 15.7   | 5.6    | 4.5                 |              |                         |  |
| 46               | 59               | 30               | RA03・カマド極pt上            | 土師器・甕    | 10YR7/4純い黄褐色  | ロクロナデ       | ロクロナデ  | —              | ロクロナデ   | ヘラミガキ  | —      | ○            | (12.0) | —      | [4.6]               | 金雲母合む        | 口縁部破片                   |  |
| 47               | 47               | 30               | RA03・甕上NO.11            | 土師器・甕    | 7.5YR7/3純い黄褐色 | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | ロクロナデ   | ヘラミガキ  | ヘラミガキ  | ○            | (14.4) | 6.4    | 5.1                 | 金雲母少         | 反転尖頭                    |  |
| 48               | 73               | 30               | RA03・甕上?縫合上             | 土師器・甕    | 7.5YR7/3浅黄褐色  | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | ロクロナデ   | ヘラミガキ  | ヘラミガキ  | ○            | (15.2) | (8.0)  | 4.8                 | 金雲母多く合む      | 口縁部~底部にかけて残存            |  |
| 49               | 54               | 30               | RA03・甕上                 | 土師器・甕    | 7.5YR7/4純い黄褐色 | ロクロナデ       | —      | —              | ロクロナデ   | —      | —      | —            | —      | [3.5]  |                     |              |                         |  |
| 50               | 56               | 30               | RA03・甕上上位               | 土師器・甕    | 7.5YR7/6緑     | ロクロナデ       | ロクロナデ  | —              | ロクロナデ   | ロクロナデ  | —      | ×            | (15.0) | —      | [4.8]               | 雪母ごく微混       |                         |  |
| 51               | 53               | 30               | RA03・甕上上位               | 土師器・甕    | 7.5YR7/4純い黄褐色 | ロクロナデ       | —      | —              | ロクロナデ   | —      | —      | —            | —      | [3.1]  |                     |              |                         |  |
| 52               | 43               | 30               | RA03・ブロック①              | 土師器・甕    | 7.5YR6/4純い黄褐色 | ロクロナデ       | ロクロナデ  | 内調整            | ロクロナデ   | ヘラミガキ  | ヘラミガキ  | ○            | (15.0) | (6.0)  | 4.4                 | 金雲母少         |                         |  |
| 53               | 44               | 30               | RA03・甕上上位(北東)           | 土師器・甕    | 7.5YR6/4純い黄褐色 | ロクロナデ       | ロクロナデ  | 内調整            | ロクロナデ   | ヘラミガキ  | ヘラミガキ  | ○            | (15.0) | 6.2    | 4.7                 | 金雲母微量        |                         |  |
| 54               | 46               | 30               | RA03・甕上上位(北東)           | 土師器・甕    | 7.5YR6/4純い黄褐色 | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤ケズリ内調整      | ロクロナデ   | ヘラミガキ  | ヘラミガキ  | ○            | 15.0   | 6.2    | 4.7                 | 金雲母少合む       |                         |  |
| 55               | 45               | 30               | RA03・甕上上位(北東)           | 土師器・甕    | 7.5YR6/6緑     | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | ロクロナデ   | ロクロナデ  | ロクロナデ  | ×            | 14.3   | 6.0    | 4.6                 | 砂程合む(2mm)    |                         |  |
| 56               | 48               | 30               | RA03・甕上NO.3             | 土師器・甕    | 7.5YR7/6緑     | ロクロナデ       | ロクロナデ  | H6赤切り痕         | ロクロナデ   | ロクロナデ  | ロクロナデ  | ×            | (15.0) | 8.6    | 6.8                 | 砂粒合む(2mm)    | 甕合付                     |  |
| 57               | 72               | 30               | RA03・カマド堅固部             | 土師器・甕    | SYR7/4純い黄褐色   | —           | —      | ロクロナデ          | —       | —      | ロクロナデ  | —            | —      | [8.0]  | [1.7]               | 砂程合む         | 高台部破片1/2残存              |  |
| 58               | 61               | 30               | RA03・カマド2段造粗乱部分         | 土師器・甕    | 7.5YR8/4純い黄褐色 | ロクロナデ       | ロクロナデ  | —              | ロクロナデ   | ロクロナデ  | —      | —            | —      | [3.4]  | 砂程合む(2mm)           |              |                         |  |
| 59               | 50               | 31               | RA03・東堅壁上中~下位NO.9       | 土師器・甕    | SYR4/8赤褐色     | ヨコナデ        | ヘラナデ   | 木製紐            | ヨコナデ    | ヘラナデ   | ヘラナデ   | —            | 13.0   | 8.6    | [5.0]               | 砂程合む(3mm)    | 口縁部は短く外反、体部上半~肩部附近が粗大圓柱 |  |

| 掘藏<br>番号 | 登録<br>番号 | 写真<br>調査 | 出土地点・層位                   | 器種      | 色調          | 外面調整  |                |                 | 内部調整          |                |       | 計測値: cm  |        |       | 地上<br>(含有物、色調等) | 備考                |                       |
|----------|----------|----------|---------------------------|---------|-------------|-------|----------------|-----------------|---------------|----------------|-------|----------|--------|-------|-----------------|-------------------|-----------------------|
|          |          |          |                           |         |             | 口縁・頸部 | 体部             | 底部              | 口縁部           | 体部             | 底部    | 黒色<br>処理 | 口径     | 底径    | 器高              |                   |                       |
| 60       | 51       | 31       | RA03・貼り床構造土層              | 上部器・底   | 7.5YR5/3範い緑 | -     | ヘラケズリ          | ヘラケズリ           | -             | ハケメ            | ハケメ   | -        | -      | 9.0   | [4.7]           | 砂粒含む(3mm)         |                       |
| 61       | 55       | 31       | RA03・頂上上位                 | 上部器・底   | 7.5YR6/4範い緑 | クロナデ  | ヘラナデ           | -               | クロナデ          | ヘラナデ           | -     | -        | -      | -     | [4.3]           |                   | クロ成形                  |
| 62       | 57       | 31       | RA03・頂上上位                 | 上部器・底   | 7.5YR7/6緑   | ヨコナデ  | ヘラナデ           | -               | ヨコナデ、<br>ヘラナデ | ヨコナデ、<br>ヘラナデ  | -     | -        | (18.4) | -     | [6.5]           | 砂粒少。              |                       |
| 63       | 60       | 31       | RA03・カマド底pit頂上            | 上部器・底   | 10YR8/4浅黄緑  | ヨコナデ  | ヘラケズリ          | -               | ヨコナデ          | ハケメ            | -     | -        | -      | -     | [7.2]           | 砂粒含む(2mm大)        | 口縁部破片、口縁部は剥く外反        |
| 64       | 64       | 31       | RA03・北西部頂上上位              | 上部器・底   | 7.5YR6/6緑   | クロナデ  | クロナデ           | -               | クロナデ          | クロナデ           | -     | -        | -      | -     | [7.7]           | 金雲母、砂粒含む          | 口縁部破片、クロ成形            |
| 65       | 63       | 31       | RA03・頂上検出部                | 上部器・底   | 7.5YR6/6緑   | クロナデ  | クロナデ           | -               | クロナデ          | クロナデ           | -     | -        | -      | -     | [5.4]           | 砂粒含む(1mm大)        | 口縁部破片、クロ成形            |
| 66       | 65       | 31       | RA03・カマド付近現乱部             | 上部器・底   | SYR6/6緑     | クロナデ  | クロナデ、<br>ヘラナデ  | -               | クロナデ          | クロナデ           | -     | -        | (17.3) | -     | [10.5]          | 砂粒少含む             | 口縁部～底盤上手にかけて1<br>／6現存 |
| 67       | 66       | 31       | RA03・カマド付近現乱部             | 上部器・底   | 7.5YR7/4範い緑 | クロナデ  | クロナデ、<br>ヘラケズリ | クロナデ            | クロナデ          | ヘラナデ           | -     | (18.1)   | (10.1) | 16.2  | 砂粒含む(1mm大)      | 口縁部～底盤にかけて残存      |                       |
| 68       | 52       | 31       | RA03・カマド付近現乱部分            | 土師器・底   | SYR8/4淡緑    | クロナデ  | クロナデ           | クロナデ            | クロナデ          | クロナデ           | -     | 14.7     | 7.5    | 15.0  | ■砂粒少。           | ロクロ成形             |                       |
| 69       | 62       | 31       | RA03・カマド付近現乱部分            | 土師器・底   | 7.5YR8/4範い緑 | ヨコナデ  | ヘラケズリ          | -               | ヨコナデ          | ヘラナデ           | -     | -        | -      | -     | [6.2]           | 砂粒含む(3mm)         | 口縁部破片、口縁部は剥く外反        |
| 70       | 76       | 31       | RA03・底底NO.2               | 須恵器・底   | 10YR5/1灰    | -     | タタキメ           | -               | -             | ユビナデ           | -     | -        | -      | -     | -               | 灰                 | 頭部～肩部にかけての破片          |
| 71       | 79       | 31       | RA03・カマド埋出部               | 須恵器・底   | SP3/1暗紫灰    | -     | タタキメ           | -               | -             | ユビナデ           | -     | -        | -      | -     | -               | 暗紫灰               | 体部破片                  |
| 72       | 78       | 32       | RA03・カマド底pit頂上            | 須恵器・底   | 2.5YR4/1灰黄  | -     | タタキメ           | -               | -             | ユビナデ           | -     | -        | -      | -     | -               | 黄灰                | 体部破片                  |
| 73       | 82       | 32       | RA03・頂上位(TO-a層より上位)       | 須恵器・底   | SY5/1灰      | -     | タタキメ           | -               | -             | 当て目鉢           | -     | -        | -      | -     | -               | 灰                 | 体部破片                  |
| 76       | 85       | 32       | RA04・頂上上位                 | 土師器・环   | 7.5YR7/4範い緑 | クロナデ  | クロナデ           | クロナデ            | クロナデ          | ヘラナデ           | -     | x        | (11.9) | -     | 14.5            | 砂粒含む              | 口縁～底部にかけての短片          |
| 77       | 87       | 32       | RA04・貼珠模様上、覆土中・下位         | 須恵器・底   | N4/0灰       | -     | クロナデ           | -               | -             | クロナデ           | -     | -        | -      | -     | [3.8]           | 灰                 | 肩部短片                  |
| 78       | 86       | 32       | RA04・貼珠模様上、覆土中・下位         | 須恵器・底   | 7.5YR2/1墨   | クロナデ  | -              | -               | クロナデ          | -              | -     | (17.8)   | -      | [4.0] | 墨               | 口縁部短片             |                       |
| 79       | 88       | 32       | RA04・覆土(土被部内)             | 須恵器・底   | SY3/1オリーブ墨  | -     | タタキメ           | -               | -             | ユビナデ           | -     | -        | -      | -     | -               | オリーブ墨             |                       |
| 80       | 102      | 32       | RA05・カマド1左ソテ柄端上           | 土師器・环   | 7.5YR7/6緑   | クロナデ  | クロナデ           | 回転条切り直          | クロナデ          | クロナデ           | クロナデ  | x        | (15.2) | (5.4) | 15.7            | 砂粒を含む             | 短片                    |
| 81       | 97       | 32       | RA05・カマド1左ソテ柄端中           | 土師器・环   | SYR7/4範い緑   | クロナデ  | クロナデ           | 回転条切り直          | クロナデ          | ヘラミガキ          | ○     | (14.0)   | 6.8    | 4.6   | 砂粒含む(2mm)       | 底端附近を中心に爪痕が残る     |                       |
| 82       | 106      | 32       | RA05・カマド1左ソテ柄端下位          | 土師器・环   | 10YR8/4浅黄緑  | クロナデ  | クロナデ           | 回転条切り直          | クロナデ          | ヘラミガキ          | ○     | 14.1     | 6.1    | 5.3   | 砂粒を含む           |                   |                       |
| 83       | 99       | 32       | RA05・カマド2埋出部頂上位           | 土師器・环   | SYR5/8明赤緑   | クロナデ  | クロナデ           | 回転条切り直          | クロナデ          | ヘラミガキ          | ○     | 14.6     | 5.8    | 5.2   | 金雲母を含む          | 1／2現存             |                       |
| 84       | 103      | 32       | RA05・底面、カマド1覆上            | 土師器・环   | SYR6/6緑     | クロナデ  | クロナデ           | 手持ちヘラケ<br>ズリ内調節 | ヘラミガキ         | ヘラミガキ          | -     | △        | (13.6) | (6.2) | 4.1             | 金雲母を多く含む          | 1／2現存、厚底が著しい          |
| 85       | 100      | 32       | RA05・カマド2埋出部覆上            | 土師器・环   | 10YR7/6緑    | クロナデ  | クロナデ           | 回転ヘラケ<br>ズリ内調節  | -             | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | ○        | -      | 6.2   | [4.7]           | 金雲母を含む            |                       |
| 86       | 101      | 32       | RA05・カマド3埋出部覆上            | 土師器・环   | SYR6/6緑     | クロナデ  | クロナデ           | 回転条切り直          | クロナデ          | クロナデ           | x     | (12.0)   | (6.0)  | 5.2   | 砂粒を含む           | 所謂「あかやき」          |                       |
| 87       | 104      | 32       | RA05・P4覆上、端土直上            | 土師器・环   | SYR7/6緑     | クロナデ  | クロナデ           | 回転条切り、<br>肩調節   | クロナデ          | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | △        | (14.0) | 6.0   | 4.6             | 金雲母多。             | 外側に短窓(大)「十」。          |
| 88       | 91       | 32       | RA05・床面                   | 土師器・环   | 7.5YR7/6緑   | クロナデ  | クロナデ           | 回転条切りの<br>肩内調節  | クロナデ          | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | △        | 14.3   | 6.8   | 4.9             | 金雲母を多く含む          | 体部外向中間に爪痕あり           |
| 89       | 163      | 33       | RA05・P2床面                 | 土師器・环   | SYR7/3範い緑   | -     | クロナデ           | 回転条切り直          | -             | クロナデ           | クロナデ  | x        | -      | 5.8   | 11.7            | 砂粒を含む             | 底部破片                  |
| 90       | 108      | 33       | RA05・ブロック③、覆土上位、床面        | 土師器・高台环 | 10YR8/4範い緑  | クロナデ  | クロナデ           | クロナデ            | クロナデ          | クロナデ、<br>ヘラミガキ | クロナデ  | x        | 20.9   | 12.1  | 11.5            | 砂粒含む(3mm)         | 一部RAO3覆土出土破片と接合       |
| 91       | 90       | 33       | RA05・床面直上(焼土直上)           | 土師器・环   | 10YR8/2灰    | クロナデ  | クロナデ           | 回転条切り直          | クロナデ          | クロナデ           | クロナデ  | x        | 14.0   | 6.5   | 5.4             | 砂粒含む              |                       |
| 92       | 105      | 33       | RA05・P16覆土、床面直上           | 土師器・环   | 10YR8/6黄緑   | クロナデ  | クロナデ           | 肩調節             | ヘラミガキ         | ヘラミガキ          | -     | ○        | (14.0) | (6.1) | 4.8             | 金雲母を含む            | 内外齿とも厚底が著しい           |
| 93       | 140      | 33       | RA05・床面直上                 | 土師器・环   | SYR7/6緑     | クロナデ  | クロナデ           | -               | クロナデ          | クロナデ           | -     | x        | -      | -     | [4.4]           | 砂粒を含む             | 底部破片                  |
| 94       | 166      | 33       | RA05・カマド2 暗焼部上位、床面        | 土師器・环   | SYR7/6緑     | -     | クロナデ           | 回転条切り直          | -             | クロナデ           | クロナデ  | x        | -      | 6.2   | [2.0]           | 砂粒を含む             | 底部破片                  |
| 95       | 92       | 33       | RA05・底座構造土                | 土師器・环   | 10YR8/6黄緑   | クロナデ  | クロナデ           | 回転条切り直          | クロナデ          | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | △        | 14.4   | 6.0   | 4.4             | 金雲母を多く含む          | 全体的に厚底が著しい            |
| 96       | 93       | 33       | RA05・ブロック①②、覆土下位          | 土師器・环   | 7.5YR7/6緑   | クロナデ  | クロナデ           | 回転条切り直          | クロナデ          | クロナデ           | クロナデ  | x        | 15.3   | 6.0   | 5.6             | 砂粒を含む             |                       |
| 97       | 89       | 33       | RA05・ブロック①④、覆土中・下位        | 土師器・环   | 7.5YR7/2明海抜 | クロナデ  | クロナデ           | 手持ちヘラケ<br>ズリ内調節 | クロナデ          | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | ○        | 13.9   | 6.5   | 4.4             | 金雲母を含む            |                       |
| 98       | 155      | 33       | RA05・ブロック④、覆土中・下位         | 土師器・高台环 | 10YR3/1墨    | -     | クロナデ           | 菊花状             | -             | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | ○        | -      | (7.6) | [1.8]           | 金雲母を含む            | 底部破片                  |
| 99       | 114      | 33       | RA05・覆土下位                 | 須恵器・环   | SY7/2灰白     | クロナデ  | クロナデ、<br>ヘラナデ  | -               | ヘラナデ          | ヘラナデ           | -     | -        | -      | -     | [6.1]           | 灰白                | 口縁部破片                 |
| 100      | 146      | 33       | RA05・ブロック③、覆土上位(火山灰層より上位) | 土師器・环   | 7.5YR8/4浅黄緑 | -     | クロナデ           | -               | -             | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | ○        | -      | 5.8   | [3.4]           | 金雲母を含む            | 厚底が著しい                |
| 101      | 154      | 33       | RA05・ブロック③、覆土上位(火山灰層より上位) | 土師器・环   | SYR6/6緑     | -     | クロナデ           | 回転条切り直          | -             | クロナデ           | クロナデ  | x        | -      | 5.7   | [2.5]           | 砂粒・金雲母を少す<br>底部破片 |                       |
| 102      | 150      | 33       | RA05・覆土上(火山灰層より上位)        | 土師器・环   | 7.5YR5/4範い緑 | -     | クロナデ、<br>ヘラナデ  | 回転条切り直          | -             | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | ○        | -      | 5.0   | [3.3]           | 金雲母を含む            | 底部破片                  |
| 103      | 95       | 33       | RA05・底銀壁                  | 土師器・环   | 10YR8/6黄緑   | クロナデ  | クロナデ           | -               | クロナデ          | クロナデ           | クロナデ  | x        | 14.1   | 5.8   | 5.0             | 砂粒を含む             | 全体的に厚底が著しい            |
| 104      | 94       | 33       | RA05・ブロック①                | 土師器・环   | 7.5YR8/4浅黄緑 | クロナデ  | クロナデ           | 回転条切り直          | ヘラミガキ         | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | ○        | 14.0   | 6.0   | 4.4             | 1／2現存             |                       |
| 105      | 157      | 33       | RA05・ブロック①<br>RA05・ブロック②  | 土師器・环   | 7.5YR6/4範い緑 | -     | クロナデ           | 手持ちヘラケ<br>ズリ内調節 | -             | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | ○        | -      | 6.8   | [1.7]           | 金雲母を含む<br>金雲母を含む  | 底部破片                  |
| 106      | 167      | 33       | RA05・西銀際上部                | 土師器・高台环 | SY2/2オリーブ墨  | -     | ヘラミガキ          | 菊花状             | -             | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | ○        | -      | 8.9   | [2.3]           |                   |                       |
| 107      | 159      | 33       | RA05・西銀際上部                | 土師器・高台环 | 7.5YR2/2墨   | -     | クロナデ           | クロナデ            | -             | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | ○        | -      | (7.0) | [1.8]           | 金雲母を含む            | 底部破片                  |
| 108      | 123      | 34       | RA05・ブロック①                | 土師器・环   | 7.5YR7/6緑   | クロナデ  | クロナデ           | -               | クロナデ          | クロナデ           | -     | x        | (16.4) | (6.2) | 4.5             | 砂粒を含む             |                       |
| 109      | 121      | 34       | RA05・ブロック①、P4覆土           | 土師器・环   | 7.5YR7/4範い緑 | クロナデ  | クロナデ           | -               | ヘラミガキ         | ヘラミガキ          | -     | ○        | -      | -     | [5.0]           | 金雲母を含む            | 口縁部破片                 |
| 110      | 168      | 34       | RA05・ブロック①                | 土師器・环   | SYR5/6明赤    | -     | クロナデ           | 回転条切り直          | -             | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | ○        | -      | 4.8   | [1.7]           | 砂粒を含む             | 底部破片                  |

| 掘査番号 | 登録番号 | 写真版 | 出土地点・層位               | 器種    | 色調           | 外面調整  |                          |                  | 内面調整          |                |       | 計測値:cm   |        |       | 胎土<br>(含有物、色調等) | 備考               |   |      |
|------|------|-----|-----------------------|-------|--------------|-------|--------------------------|------------------|---------------|----------------|-------|----------|--------|-------|-----------------|------------------|---|------|
|      |      |     |                       |       |              | 口縁・頭部 | 体部                       | 底部               | 口縁部           | 体部             | 底部    | 黒色<br>処理 | 口径     | 底径    | 器高              |                  |   |      |
| 111  | 125  | 34  | RA05・カマドI段上           | 土器・甕  | SYR6/8段      | ロクロナデ | ロクロナデ、<br>ヘラケズリ          | -                | ロクロナデ         | ヘラナデ           | -     | -        | (17.2) | -     | [21.4]          | 砂粒を含む            | ロクロ成形   |      |
| 112  | 137  | 34  | RA05・カマドI pit3        | 土器・甕  | SYR5/6段赤褐    | ヨコナデ  | ヘラケズリ                    | -                | ヨコナデ          | ハケメ            | -     | -        | (18.5) | -     | [22.3]          | 砂粒含む(2mm大)       |   |      |
| 113  | 110  | 34  | RA05・カマドINO.3, pit4段上 | 土器・甕  | 7.5YR7/6段    | ヨコナデ  | ヘラケズリ                    | -                | ヨコナデ          | ハケメ            | -     | -        | 22.7   | -     | [25.2]          | 砂粒含む(2mm大)       | 最大側径の体部上半から肩部にかけて内凹し、口縁部は近く外反する                     |      |
| 114  | 133  | 34  | RA05・カマド2種出露上         | 土器・甕  | SYR5/6段赤褐    | ヨコナデ  | ヘラナデ                     | -                | ヨコナデ          | ヘラナデ           | -     | -        | -      | -     | [12.2]          | 砂粒を含む            |   |      |
| 115  | 107  | 34  | RA05・P10段上, 底面直上      | 土器・甕  | 7.5YR6/4段いわ  | ヨコナデ  | ヘラケズリ、<br>ヘラナデ           | 木質痕              | ヨコナデ          | ヘラナデ           | ヘラケズリ | -        | 11.5   | 7.8   | 7.3             | 砂粒含む(2mm)        | 底部に木質痕、全体的にぼん                                       |      |
| 116  | 11   | 34  | RA05・P2段上, 底面         | 土器・甕  | 2.5YR5/6段赤褐  | -     | ヘラケズリ                    | 木質痕              | -             | ヘラナデ           | ヘラナデ  | -        | -      | 10.8  | [8.5]           | 砂粒含む(2mm大)       |   |      |
| 117  | 148  | 34  | RA05・段上上位、下位、ブロック②    | 土器・甕  | 7.5YR5/6段    | -     | ヘラケズリ                    | 木質痕              | -             | ヘラナデ           | ヘラナデ  | -        | -      | 10.4  | [2.7]           | 砂粒含む(2mm大)       | 反転実測、底部破片   |      |
| 118  | 109  | 35  | RA05・段上位(火山灰層より上位)    | 土器・甕  | 10YR7/4段い黄緑  | -     | ロクロナデ、<br>ヘラケズリ          | ヘラケズリ            | -             | ロクロナデ、<br>ヘラナデ | ロクロナデ | ○        | -      | 8.0   | 13.4            | 砂粒含む(2)          |   |      |
| 119  | 117  | 35  | RA05・段上上位(火山灰層より上位)   | 土器・甕  | SYR5/4段い赤褐   | ヨコナデ  | ヘラケズリ                    | -                | ヨコナデ          | ヘラナデ           | -     | -        | -      | -     | [6.2]           | 砂粒含む(2mm大)       |   |      |
| 120  | 161  | 35  | RA05・ブロック③            | 土器・甕  | 7.5YR6/6段    | -     | ヘラナデ、<br>ヘラケズリ           | 砂粒、木質痕           | -             | ヘラナデ           | ヘラナデ  | -        | -      | -     | [15.2]          | [2.4]            | 砂粒を含む   | 砂粒上部 |
| 121  | 96   | 35  | RA05・カマドI段上位NO.1      | 須恵器・壺 | 7.5YR8/2段白   | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 円軸系切り目           | ロクロナデ         | ロクロナデ          | ロクロナデ | ×        | 14.1   | (6.0) | 5.3             | 金具母を含む           | 焼成不良、底部1/3、口縁部1/2欠損                                 |      |
| 122  | 98   | 35  | RA05・カマド2種出露段上位       | 須恵器・壺 | SYB/1段白      | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 円軸系切り目           | ロクロナデ         | ロクロナデ          | ロクロナデ | -        | (16.2) | 6.4   | 4.9             |                  |   |      |
| 123  | 158  | 35  | RA05・ブロック③            | 須恵器・壺 | 10YR7/4段い黄緑  | -     | ロクロナデ                    | 円軸系切り目           | -             | ロクロナデ          | ロクロナデ | -        | -      | 6.2   | [2.0]           | 金具母を含む           | 焼成不良、底部破片   |      |
| 124  | 177  | 35  | RA05・P3、底面直上          | 須恵器・甕 | 5BG2/1段白     | ロクロナデ | ロクロナデ、<br>ヘラケズリ          | 菊花状              | ロクロナデ         | ロクロナデ          | ヘラナデ  | -        | 11.0   | 9.1   | 22.8            | 月割               | 外凸の剥離が著しい   |      |
| 125  | 392  | 35  | RA05・段上上位             | 須恵器・甕 | 2.5GY2/1馬    | ロクロナデ | -                        | -                | ロクロナデ         | -              | -     | -        | 12.0   | -     | [6.6]           | 馬                | 口縁部破片、「袖点4付近・表土下」と接合                                |      |
| 126  | 393  | 35  | RA05・ブロック③、段上中～下位     | 須恵器・甕 | 7.5Y5/1段     | ロクロナデ | -                        | -                | ロクロナデ         | -              | -     | -        | (14.0) | -     | [5.0]           | 灰                | 口縁部破片   |      |
| 127  | 390  | 35  | 相4付近(表土下)             | 須恵器・甕 | 2.5Y8/3段黄    | -     | ロクロナデ                    | 円軸系切り目           | -             | ロクロナデ          | ロクロナデ | -        | -      | 6.0   | [2.2]           | 淡黄               | RA05かRA11に接続か?                                      |      |
| 128  | 395  | 35  | RA05・ブロック④⑦           | 須恵器・甕 | 10YR1.7/1馬   | ロクロナデ | -                        | -                | ロクロナデ         | -              | -     | -        | (13.2) | -     | [6.5]           | 馬                | 「RB05pp12・段上七位」と接合                                  |      |
| 129  | 171  | 35  | RA05・ブロック①⑩           | 須恵器・甕 | 10YR2/1馬     | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 菊花状              | ロクロナデ         | ロクロナデ          | ロクロナデ | -        | -      | 10.0  | [18.4]          | 馬                |   |      |
| 130  | 169  | 36  | RA05・ブロック①            | 須恵器・甕 | 5Y5/1馬       | ロクロナデ | ロクロナデ、<br>ヘラケズリ、<br>ヘラナデ | ロクロナデ            | ロクロナデ         | ロクロナデ          | ヘラナデ  | -        | 15.8   | 10.9  | 32.7            | 灰                | ブロック④⑩、P4、段上直七位と接合                                  |      |
| 131  | 170  | 36  | RA05・ブロック③            | 須恵器・甕 | 2.5Y5/2段灰黄   | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 円軸系切り、<br>内輪窓    | ロクロナデ         | ロクロナデ          | ロクロナデ | -        | -      | 6.2   | [10.3]          | 灰黄               |   |      |
| 132  | 179  | 36  | RA05・ブロック③            | 須恵器・甕 | 10YR6/1段     | ロクロナデ | タタキメ                     | -                | ロクロナデ         | 当て貝痕           | -     | -        | 26.0   | -     | [38.8]          | 灰                |   |      |
| 133  | 172  | 36  | RA05・ブロック③            | 須恵器・甕 | 10YR8/3段黄    | ロクロナデ | ロクロナデ、<br>ヘラケズリ、<br>ヘラナデ | ロクロナデ            | ロクロナデ         | ロクロナデ          | ロクロナデ | -        | -      | 10.2  | [24.1]          | 淡黄               | ブロック①、段上下位、段上位(火山灰層上)と接合                            |      |
| 134  | 174  | 37  | RA05・ブロック③            | 須恵器・甕 | 2.5Y4/3オーリーブ | ロクロナデ | ロクロナデ、<br>ヘラナデ、<br>タタキメ  | -                | ロクロナデ         | ロクロナデ          | ロクロナデ | -        | 14.2   | 11.2  | 29.1            | オリーブ             | ブロック④⑩と接合、外向体部中程にロクロナデで消しきれなかったタタキメの痕跡あり            |      |
| 135  | 173  | 37  | RA05・ブロック④            | 須恵器・甕 | 7.5Y6/1段     | ロクロナデ | ロクロナデ、<br>ヘラナデ           | 円軸系切り、<br>一部内輪窓  | ロクロナデ         | ロクロナデ          | ロクロナデ | -        | 11.8   | 8.4   | 11.9            | 灰                | ブロック①、段上中～下位、段上位(火山灰層上)と接合                          |      |
| 136  | 175  | 37  | RA05・ブロック⑤            | 須恵器・甕 | 10YR1.7/1馬   | ロクロナデ | ロクロナデ、<br>ヘラケズリ          | ロクロナデ            | ロクロナデ、<br>ハケメ | ロクロナデ          | ハケメ   | -        | 13.4   | 8.1   | 21.3            | 馬                | ブロック④⑩と接合   |      |
| 137  | 176  | 37  | RA05・ブロック④⑦           | 須恵器・甕 | 7.5Y6/1段     | ロクロナデ | ロクロナデ、<br>ヘラケズリ          | ロクロナデ            | ロクロナデ         | ロクロナデ          | -     | -        | 13.0   | 9.4   | 20.5            | 灰                | 段上中～下位と接合、内凸の剥離が著しい                                 |      |
| 138  | 178  | 38  | RA05・ブロック⑦            | 須恵器・甕 | 7.5YR1.7/1馬  | ロクロナデ | ロクロナデ、<br>ヘラケズリ          | -                | ロクロナデ         | ロクロナデ、<br>ヘラナデ | -     | -        | 19.8   | -     | 34.0            | 馬                | ブロック①⑩④、段上中～下位と接合                                   |      |
| 139  | 180  | 38  | RA05・ブロック⑥            | 須恵器・甕 | N4/0馬        | ロクロナデ | タタキメ、<br>ヘラナデ            | -                | ロクロナデ         | 当て貝痕、<br>ヘラナデ  | -     | -        | 46.3   | -     | [38.0]          | 灰                | 床面、ブロック①⑩④⑦⑨⑩、東側現段上位は、段上下位:RA05床面⑥と接合、タタキメ:平行B、当て貝痕 |      |
| 140  | 181  | 39  | RA05・ブロック⑨            | 須恵器・甕 | N6/0馬        | ロクロナデ | タタキメ                     | -                | ロクロナデ         | 当て貝痕           | -     | -        | 51.8   | -     | [76.8]          | 灰                | ブロック④⑩⑦⑩⑨⑩、「袖点4付近共七」と接合、タタキメ:平行B                    |      |
| 149  | 196  | 40  | RA06・貼床構造上            | 土器・甕  | SYR6/4段い     | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 手持ちヘラケ<br>ズリ内輪窓  | ヘラミガキ         | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | ○        | (14.4) | (5.9) | 5.1             | 金具母を含む           | 底部に墨書き有(既片のため内容は不明「十」?)                             |      |
| 150  | 213  | 40  | RA06・貼床構造上            | 土器・甕  | SYR7/4段い     | -     | ロクロナデ                    | 円軸系切り目           | -             | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | △        | -      | (5.2) | [3.2]           | 金具母を含む           | 墨書き有  |      |
| 151  | 204  | 40  | RA06・P16直上            | 土器・甕  | 7.5YR6/6段    | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 円軸系切り目           | ロクロナデ         | ロクロナデ          | ロクロナデ | ×        | (15.7) | (8.0) | [5.0]           | 砂粒含む(2mm)        | 1/4現存、底部破片  |      |
| 152  | 210  | 40  | RA06・段上下位             | 土器・甕  | 2.5YR7/6段    | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 円軸系切りの<br>後一部内輪窓 | -             | ロクロナデ          | ロクロナデ | ×        | -      | 5.2   | [4.0]           | 砂粒含む             | 底部破片  |      |
| 153  | 190  | 38  | RA06・段上位              | 土器・甕  | 7.5YR7/4段い   | ロクロナデ | ロクロナデ                    | -                | ロクロナデ         | ヘラミガキ          | -     | ○        | (16.0) | -     | [4.5]           | 金具母を含む           | 口縁部-底部破片  |      |
| 154  | 212  | 40  | RA06・カマド段上位           | 土器・甕  | SYR5/4段い赤    | -     | ロクロナデ                    | 円軸系切り目           | -             | ロクロナデ          | ロクロナデ | ×        | -      | 4.7   | [3.7]           | 砂粒含む<br>(2~3mm大) | 底部破片  |      |

| 相続番号 | 登録番号 | 写真回数 | 出土地点・層位             | 器種      | 色調            | 外面調査  |                          |              | 内面調査           |                |       | 計測値: cm  |        |       | 胎土<br>(含有物、色調等) | 備考  |  |
|------|------|------|---------------------|---------|---------------|-------|--------------------------|--------------|----------------|----------------|-------|----------|--------|-------|-----------------|---|--|
|      |      |      |                     |         |               | 口縁・類型 | 体部                       | 底部           | 口縁部            | 体部             | 底部    | 黒色<br>処理 | 径深     | 底径    | 器高              |   |  |
| 155  | 182  | 40   | RA06・ブロック!          | 土師器・环   | SYR6/8模       | ロクロナデ | ロクロナデ<br>ヘラナデ            | 円軸系切り目       | ロクロナデ<br>ヘラミガキ | ロクロナデ          | ロクロナデ | ×        | 13.8   | 5.0   | 4.8             | 砂粒を含む   |  |
| 156  | 183  | 40   | RA06・ブロック!          | 土師器・高台坪 | 7.SYR1.7/1灰   | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 菊花状          | -              | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | ○        | (17.0) | -     | [5.0]           | 金雲母を含む  |  |
| 157  | 216  | 40   | RA06・カマドP6-括        | 土師器・要   | 10YR7/6模      | -     | ヘラケズリ                    | ヘラケズリ<br>木質板 | -              | ヘラナデ           | ヘラナデ  | -        | -      | 14.2  | [4.0]           | 砂粒含む(3~4mm<br>大)  | 底部破片、木質板                               |
| 158  | 185  | 40   | RA06・カマド現土          | 土師器・要   | SYR5/3無い赤陶    | -     | ヘラケズリ、<br>ヘラナデ           | -            | -              | ヘラナデ           | ヘラナデ  | -        | -      | 11.4  | 9.9             |   |  |
| 159  | 217  | 40   | RA06・カマド支脚          | 土師器・要   | SYR3/1灰模      | -     | ヘラケズリ、<br>ヘラナデ           | 木質板          | ヨコナデ<br>ヨコナデ   | ヘラナデ           | ヘラナデ  | -        | -      | 8.6   | [3.0]           | 砂粒含む(2mm)   | 底部破片、木質板                               |
| 160  | 199  | 40   | RA06・床函NO.9         | 土師器・場   | SYR7/8模       | ロクロナデ | ロクロナデ                    | -            | ロクロナデ          | ロクロナデ          | -     | ×        | -      | [7.6] | 砂粒含む(2mm)       | 口縁部破片   |  |
| 161  | 194  | 40   | RA06・P1             | 土師器・要   | 10YR7/2無い・黄模  | ロクロナデ | -                        | -            | ロクロナデ          | -              | -     | (20.1)   | -      | [5.9] | 金雲母を多く含む        | 口縁部破片   |  |
| 162  | 188  | 40   | RA06・屋上土位、P6        | 土師器・要   | 7.SYR8/6模黄模   | ヨコナデ  | ヘラケズリ                    | -            | ロクロナデ          | ヘラナデ           | -     | -        | (24.0) | -     | [13.7]          | 砂粒含む(2~3mm<br>大)  | 口縁部~体部破片                               |
| 163  | 184  | 40   | RA06・P5現土           | 土師器・要   | SYR5/4無い赤陶    | ヨコナデ  | ヘラケズリ                    | 木質板          | ロクロナデ          | ヘラナデ           | ハケメ   | -        | (14.3) | 9.0   | 15.7            |   |  |
| 164  | 225  | 41   | RA06・P1             | 須恵器・环   | 2.5Y4/1灰模     | ロクロナデ | ロクロナデ                    | -            | ロクロナデ          | -              | -     | (15.0)   | -      | [3.0] | 黄灰              | 口縁部破片   |  |
| 165  | 239  | 41   | RA06・P1             | 須恵器・环   | 2.5Y7/3模黄     | -     | ロクロナデ                    | 円軸系切り目       | ロクロナデ          | ロクロナデ          | -     | -        | [6.0]  | [2.2] | 浅黄              | 底部破片  |  |
| 166  | 237  | 41   | RA06・現土上位           | 須恵器・环   | 7.5Y8/2灰白     | -     | ロクロナデ                    | 円軸系切り目       | -              | ロクロナデ          | ロクロナデ | -        | -      | 4.9   | [1.2]           | 灰白  | 底部破片(底盤の約1/2現存)                        |
| 167  | 186  | 41   | RA06・現土上位           | 須恵器・环   | 7.5Y8/2灰白     | ロクロナデ | ロクロナデ                    | -            | ロクロナデ          | ロクロナデ          | -     | -        | -      | -     | [3.6]           | 灰白色   | 口縁部破片                                  |
| 168  | 219  | 41   | RA06・P5現土 P6-7、屋上土位 | 須恵器・环   | 2.5Y1/70オーラフ版 | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 円軸系切り        | ロクロナデ          | ロクロナデ          | ロクロナデ | -        | (15.2) | (6.1) | 5.2             | 明オリーブ灰  | 口縁部~底部破片                               |
| 169  | 236  | 41   | RA06・床函N、屋上土位       | 須恵器・要   | 7.5YR2/1黑     | -     | ロクロナデ、<br>ヘラケズリ、<br>ヘラナデ | -            | ロクロナデ          | ロクロナデ、<br>ヘラナデ | -     | -        | (9.7)  | [6.3] | 黒               | 高台村   |  |
| 170  | 220  | 41   | RA06・現土上位、屋上中・下位    | 須恵器・要   | 7.5Y6/1灰      | ロクロナデ | タタキメ                     | -            | ヘラミガキ          | 当て具皿           | -     | -        | 21.2   | -     | [8.7]           | 灰   |  |
| 171  | 232  | 41   | RA06・カマドP1          | 須恵器・要   | 5BG2/1青黒      | -     | タタキメ                     | -            | -              | 当て具皿           | -     | -        | -      | -     | [10.5]          | 青黒  |  |
| 172  | 231  | 41   | RA06・床ぬ             | 須恵器・要   | 5Y6/1灰        | -     | タタキメ                     | -            | -              | 当て具皿           | -     | -        | -      | -     | [10.7]          | 灰   |  |
| 173  | 235  | 41   | RA06・P1             | 須恵器・要   | 5Y4/1灰        | -     | ロクロナデ                    | -            | -              | ロクロナデ          | ロクロナデ | -        | -      | 7.2   | [8.2]           | 灰   | 高台村                                    |
| 174  | 221  | 41   | RA06・P1             | 須恵器・要   | 7.5Y3/1現物     | ロクロナデ | ロクロナデ                    | -            | ロクロナデ          | ロクロナデ          | -     | -        | 16.5   | -     | [5.1]           | 青白  | 口縁部破片                                  |
| 175  | 229  | 41   | RA06・現土下位           | 須恵器・現物  | N3/0暗灰        | ロクロナデ | -                        | -            | -              | -              | -     | -        | -      | -     | [8.7]           | 暗灰  | 底部破片                                   |
| 176  | 222  | 41   | RA06・現土甲板           | 須恵器・比鉢  | 7.SYR6/2灰模    | ロクロナデ | ロクロナデ                    | -            | ロクロナデ          | ロクロナデ          | -     | -        | (11.5) | -     | [5.9]           | 灰灰  | 口縁部破片                                  |
| 180  | 252  | 41   | RA07・カマド煙出部現土       | 土師器・环   | 7.SYR6/6模     | ロクロナデ | ロクロナデ                    | -            | ロクロナデ          | ヘラミガキ          | -     | ○        | (14.2) | -     | [5.0]           | 金雲母を含む  | 口縁部破片                                  |
| 181  | 268  | 41   | RA07・焼土層            | 土師器・高台坪 | 7.SYR7/8模     | -     | ロクロナデ                    | 円軸系切り目       | -              | ロクロナデ          | ロクロナデ | ×        | -      | (8.0) | [2.8]           | 砂粒含む(1mm)   | 高台部のみ1/4現存                             |
| 182  | 258  | 41   | RA07・貼床柄現土(現土表入附)   | 土師器・环   | 7.SYR7/3無い模   | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 手持ちヘラケズリ     | ロクロナデ          | ロクロナデ          | -     | △        | (14.2) | -     | 4.6             | 金雲母を含む  | 内外面とも厚板が着しい                            |
| 183  | 248  | 41   | RA07・貼床柄現土(現土表入附)   | 須恵器・环   | 2.5Y8/2灰白     | ロクロナデ | ロクロナデ                    | -            | ロクロナデ          | ロクロナデ          | -     | -        | -      | -     | [4.0]           | 灰白  |  |
| 184  | 262  | 41   | RA07・壁上             | 土師器・高台坪 | 7.SYR7/3無い模   | -     | -                        | 菊花状          | -              | -              | ロクロナデ | △        | -      | (7.2) | [2.1]           | 金雲母を含む  | 高台部現存、底盤に菊花状の<br>模様がある。全体的に厚板が<br>着しい。 |
| 185  | 265  | 42   | RA07・P1現土           | 土師器・环   | 7.SYR7/4無い模   | -     | ロクロナデ                    | 内調整<br>内調整   | ロクロナデ          | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | ○        | -      | 6.2   | [3.8]           | 金雲母を含む  | 底盤破片、内面厚膜している                          |
| 186  | 240  | 42   | RA07・現土一括           | 土師器・环   | SYR8/3灰模      | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 内調整<br>内調整   | ヘラミガキ          | ヘラミガキ          | ○     | 14.5     | 6.1    | 5.1   | 金雲母を含む          | 口縁部の一辺を除いてはほぼ現<br>存。内黒は3/4がとんでい<br>る。                                     |  |
| 187  | 255  | 42   | RA07・PB現土           | 土師器・环   | 10YR7/4無い黄模   | ロクロナデ | ロクロナデ                    | -            | ヘラミガキ          | ヘラミガキ          | -     | ○        | (17.2) | -     | [5.6]           | 金雲母を含む  | 口縁部破片                                  |
| 188  | 267  | 42   | RA07・PB現土           | 土師器・环   | SYR7/8模       | -     | ロクロナデ                    | 円軸系切り目       | -              | ロクロナデ          | -     | △        | -      | 5.6   | [11.3]          | 金雲母を含む  | 底盤破片。内外面とも厚板が<br>着しく褐色地斑がとんでいる         |
| 189  | 263  | 42   | RA07・現土             | 土師器・要   | 7.SYR8/8模     | -     | ロクロナデ                    | -            | ロクロナデ          | ロクロナデ          | -     | -        | 7.2    | [3.6] | 砂粒含む(2mm大)      | ロクロ成形の茎の底盤  |  |
| 190  | 259  | 42   | RA07・現土上位、屋上土位      | 土師器・环   | SYR7/4無い模     | -     | ロクロナデ                    | -            | ロクロナデ          | ロクロナデ          | ×     | -        | 5.0    | [2.1] | 砂粒含む(2mm)       | 内外面とも厚板が着しい。底<br>付近にカーボンの付着物有り  |  |
| 191  | 254  | 42   | RA07・貼床柄現土(現土NO.1)  | 土師器・要   | SYR7/8模       | ヨコナデ  | ヘラケズリ                    | -            | ヨコナデ           | ハケメ            | -     | -        | (18.0) | -     | [9.5]           | 砂粒含む(2mm大)  | 施釉め直し切端に残る                             |
| 192  | 269  | 42   | RA07・P2現土           | 須恵器・环   | SYB/2灰白       | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 円軸系切り目       | ロクロナデ          | ロクロナデ          | -     | (14.0)   | (5.8)  | [4.8] | 灰白              | 口縁部から底盤にかけて底盤<br>は1/2、口縁部は1/6現存   |  |
| 193  | 272  | 42   | RA07・カマド煙出部現土       | 須恵器・要   | 7.5YR6/1灰灰    | ロクロナデ | ロクロナデ                    | -            | ロクロナデ          | ロクロナデ          | -     | -        | (20.7) | -     | [6.6]           | 周灰  |  |
| 197  | 284  | 42   | RA08・床函南西隔壁         | 須恵器・环   | 2.5YR8/2灰白    | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 円軸系切り目       | ロクロナデ          | ロクロナデ          | -     | 14.4     | 5.1    | 5.6   | 灰白              | 口縁部破片   |  |
| 198  | 282  | 42   | RA08・床面#            | 土師器・环   | 10YR7/4無い黄模   | -     | ロクロナデ                    | -            | -              | ヘラミガキ          | ヘラミガキ | ○        | -      | (5.5) | [1.3]           | 金雲母を含む  | 底盤                                     |
| 199  | 283  | 42   | RA08・床面#pia?        | 土師器・高台坪 | SYR7/3無い模     | -     | ロクロナデ                    | -            | -              | ロクロナデ          | ×     | -        | (8.0)  | [2.9] | 砂粒含む            | 底盤  |  |
| 200  | 276  | 42   | RA08・盛土下#(板出面?)     | 土師器・环   | SYR6/4無い模     | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 円軸系切り目       | ロクロナデ          | ロクロナデ          | ×     | 12.5     | 5.0    | 3.9   | 砂粒含む(1mm)       | 他の上面に比べて船上が良質<br>(點点4付近)と報告、所謂「あか<br>やき」上層、本船跡面上の中では<br>質變現象が小硬化化、堅密が見れり。 |  |
| 201  | 275  | 42   | RA08・北西部現土上位        | 土師器・环   | 10YR7/3無い黄模   | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 円軸系切り目       | ヘラミガキ          | ヘラミガキ          | ○     | 14.8     | 6.0    | 5.2   | 金雲母を含む          |   |  |
| 202  | 274  | 42   | RA08・南西部現土上位        | 土師器・环   | 7.SYR7/4無い模   | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 菊花状          | ヘラミガキ          | ヘラミガキ          | ○     | (13.8)   | -      | [4.9] | 金雲母を含む          | 内外面とも厚膜している<br>高台部欠損、内外面とも厚膜し<br>ており、特に内面が頗る者である                          |  |
| 203  | 277  | 42   | RA08・南東隅現土部分        | 土師器・环   | 7.SYR8/4模     | ロクロナデ | ロクロナデ                    | 円軸系切り目       | ロクロナデ          | ロクロナデ          | ×     | (14.3)   | (5.2)  | 5.1   | 砂粒含む(1mm)       | 内外面とも厚板が着しい。  |  |
| 204  | 278  | 42   | RA11・北西部現土上中・下位     | 土師器・要   | 2.5YR6/6模     | ヨコナデ  | ヘラケズリ                    | -            | ヨコナデ           | ヘラナデ           | -     | -        | -      | -     | [8.9]           | 砂粒含む(2mm大)  | 口縁部が近く劣化する小型<br>の口縁部~体部破片              |

| 指<br>番<br>号 | 登<br>録<br>番<br>号 | 写<br>真<br>版 | 出土地点・層位                | 器<br>種  | 色<br>調       | 外面調整  |                  |             | 内部調節     |            |       | 計測値: cm  |        |       | 島上<br>(含有物、色調等) | 備<br>考  |   |
|-------------|------------------|-------------|------------------------|---------|--------------|-------|------------------|-------------|----------|------------|-------|----------|--------|-------|-----------------|---|---|
|             |                  |             |                        |         |              | 口縁・頭部 | 体 部              | 底 部         | 口縁部      | 体 部        | 底 部   | 黒色<br>処理 | 口径     | 底径    | 高<br>度          |   |   |
| 205         | 286              | 42          | RA08・pp①、鏡七層直上         | 須恵器・环   | 10YR7/2浅い黄橙  | ロクロナデ | ロクロナデ            | 同軸系切り目      | ロクロナデ    | ロクロナデ      | ロクロナデ | -        | (15.2) | 5.8   | 4.6             | 浅い黄橙  | 底部に落書き?   |
| 206         | 285              | 42          | RA08・ブロック①、鏡土層直上       | 須恵器・环   | 10YR7/2浅い黄橙  | ロクロナデ | ロクロナデ            | 同軸系切り目      | ロクロナデ    | ロクロナデ      | ロクロナデ | -        | (14.8) | 5.8   | 4.9             | 浅い黄橙  |   |
| 207         | 295              | 42          | RA08・南東隅床面             | 須恵器・壺   | 10YR3/1褐色    | ロクロナデ | -                | -           | ロクロナデ    | -          | -     | -        | -      | -     | [5.2]           | 褐色  | 口縁部から頭部にかけて残存、瓦礫混在?                                 |
| 208         | 293              | 42          | RA08・北西隅床面             | 須恵器・壺   | 7.5Y5/1灰     | ロクロナデ | -                | -           | ロクロナデ    | -          | -     | -        | -      | -     | [3.9]           | 灰   | 口縁部破片   |
| 209         | 294              | 42          | RA08・貼床模造土             | 須恵器・壺   | 5Y5/1灰       | ロクロナデ | -                | -           | ロクロナデ    | -          | -     | -        | -      | -     | [3.2]           | 灰   | 口縁部破片   |
| 210         | 291              | 42          | RA08・南東尼復土上位           | 須恵器・壺   | 10YR1.7/1灰   | ロクロナデ | -                | -           | ロクロナデ    | -          | -     | -        | -      | -     | [5.2]           | 灰   | 口縁部破片   |
| 211         | 288              | 43          | RA08・ブロック①、pp83、覆土中～下位 | 須恵器・壺   | 5B3/1中性灰     | ロクロナデ | 同軸系切り目           | ロクロナデ       | ロクロナデ    | ロクロナデ      | ロクロナデ | -        | (11.5) | (7.4) | [13.3]          | 朝青灰   | RA05・覆土と接合、岡面上で復元実験                                 |
| 212         | 288              | 43          | RA08・ブロック①             | 須恵器・壺   | 10YR1.7/1灰   | ロクロナデ | ロクロナデ、ヘラケズリ、ヘラナデ | -           | ロクロナデ    | ロクロナデ      | ロクロナデ | -        | (15.7) | (9.6) | 31.3            | 黑   | RA05ブロック②③と接合                                       |
| 213         | 304              | 43          | RA08・ブロック①             | 須恵器・壺   | 7.5Y2/1灰     | ロクロナデ | タタキメ             | -           | ロクロナデ    | 当て具類       | -     | -        | (41.0) | -     | [31.0]          | 黑   | I-IH21vグリッド・表上F 黑色土と混合                              |
| 214         | 303              | 43          | RA08・ブロック①             | 須恵器・壺   | 7.5YR3/1褐色   | -     | タタキメ             | -           | ロクロナデ    | 当て具類       | -     | -        | (45.6) | -     | [11.5]          | 黒褐  | RA08床面: pp107覆土: pp112覆土と接合                         |
| 215         | 301              | 43          | RA08・ブロック①             | 須恵器・壺   | 7.5Y4/1灰     | -     | タタキメ             | -           | ロクロナデ    | 当て具類       | -     | -        | -      | -     | [22.9]          | 灰   |   |
| 216         | 305              | 43          | RA08・ブロック①             | 須恵器・壺   | 7.5YR3/1褐色   | -     | タタキメ             | -           | ロクロナデ    | 当て具類       | -     | -        | -      | -     | [23.0]          | 褐色  |   |
| 217         | 292              | 44          | RA08・ブロック②             | 須恵器・壺   | 7.5Y6/1灰     | ロクロナデ | -                | -           | ロクロナデ    | -          | -     | -        | -      | -     | [6.5]           | 灰   | 口縁部破片、ロクロナデでさえきらなかったタタキメがある。                        |
| 218         | 290              | 44          | RA08・ブロック②             | 須恵器・壺   | 2.5Y6/1黄灰    | ロクロナデ | -                | -           | ロクロナデ、ナデ | -          | -     | -        | -      | -     | [7.9]           | 黄灰  | 口縁部破片   |
| 219         | 302              | 44          | RA08・ブロック①②            | 須恵器・壺   | 5B3/1中性灰     | -     | タタキメ             | -           | ロクロナデ    | 当て具類       | -     | -        | (44.4) | -     | [22.4]          | 明青灰   | RA05ブロック②、カマド: RA06①: RD09覆土: RD16覆土: I-H18f II層と接合 |
| 220         | 299              | 44          | RA08・ブロック②             | 須恵器・壺   | N7/0灰白       | -     | タタキメ             | -           | ロクロナデ    | 当て具類       | -     | -        | -      | -     | [8.6]           | 灰白  |   |
| 221         | 297              | 44          | RA08・ブロック②             | 須恵器・壺   | 7.5Y8/1灰白    | -     | タタキメ             | -           | ロクロナデ    | 当て具類       | -     | -        | -      | -     | [12.9]          | 灰白  |   |
| 222         | 296              | 44          | RA08・ブロック②             | 須恵器・壺   | N3/0暗灰       | -     | タタキメ             | -           | ロクロナデ    | 当て具類       | -     | -        | -      | -     | [9.1]           | 暗灰  |   |
| 224         | 273              | 44          | RE01・内亞際隙床直上           | 上部器・高台环 | 10YR2/1灰     | ヘラミガキ | ヘラミガキ            | 菊花状         | ヘラミガキ    | ヘラミガキ      | ヘラミガキ | ○        | (15.8) | 7.8   | 7.0             | 金雲母を少量含む                                      | 両面黒色處理。内外面とも一部剥落している                                |
| 225         | 320              | 44          | RE02・覆土                | 上部器・壺   | 7.5YR7/4浅い橙  | -     | ロクロナデ            | -           | ヘラミガキ    | -          | ○     | -        | -      | -     | [5.7]           | 金雲母を含む  |   |
| 226         | 324              | 44          | RE03・覆土                | 上部器・环   | 7.5YR6/3浅い橙  | -     | ロクロナデ            | 同軸系切り目      | ヘラミガキ    | ヘラミガキ      | △     | -        | 5.2    | [2.5] |                 | 内側がとんでいる。胎土は比較的良質                             |   |
| 227         | 309              | 44          | RH05・pp6覆土中～下位         | 上部器・高台环 | 7.5YR7/4浅い橙  | -     | ロクロナデ            | 菊花状         | -        | ヘラミガキ      | ヘラミガキ | ○        | -      | -     | [2.2]           | 金雲母を含む  | 底部破片、高台部欠損  |
| 228         | 306              | 44          | RH05・pp7覆土中～下位         | 上部器・壺   | 2.5YR5/6弱赤紅  | ヨコナデ  | ハケメ、ヘラナデ         | -           | ヨコナデ     | ヘラナデ       | -     | -        | (19.5) | -     | [11.0]          | 砂粒含む(2mm)                                     | 口縁部～体部破片。口縁部は近く外反している                               |
| 229         | 307              | 44          | RH05・pp7覆土中～下位         | 上部器・壺   | 7.5YR7/3浅い橙  | ヨコナデ  | ヘラナデ             | -           | ヨコナデ     | -          | -     | -        | (22.0) | -     | [4.1]           | 砂粒含む(2mm)                                     | 口縁部破片。口縁部は近く外反している                                  |
| 230         | 308              | 44          | RH05・pp7覆土中～下位         | 上部器・壺   | SYR6/6橙      | ヨコナデ  | ヘラケズリ            | -           | ヨコナデ     | ハケメ        | -     | -        | -      | -     | [24.3]          | 砂粒含む(2mm)                                     | 口縁部破片。底部欠損。体部約1/2残存                                 |
| 231         | 314              | 45          | pp551(RH06・pp1)覆土      | 須恵器・壺   | 10Y5/1灰      | -     | タタキメ             | -           | ロクロナデ    | 当て具類       | -     | -        | -      | -     | [9.5]           | 灰   |   |
| 233         | 316              | 45          | RD09・南底部板土             | 上部器・壺   | 2.5YR2/3暗暗赤褐 | -     | ヘラケズリ            | -           | ハケメ      | -          | -     | -        | -      | -     | [7.9]           | 砂粒含む(2mm)                                     | 底部～高台部破片。高台部は1/2現存                                  |
| 234         | 318              | 45          | RD10・南底部板土             | 上部器・高台环 | 5Y2/1灰       | -     | ヘラミガキ            | 菊花状、ナデ      | -        | ヘラミガキ      | ○     | -        | (8.0)  | [2.6] | 金雲母を含む          | 底部～高台部破片。高台部は1/2現存                            |   |
| 235         | 319              | 45          | RD11・北下部板土上位           | 上部器・高台环 | 7.5YR6/3浅い橙  | -     | ロクロナデ、ヘラナデ       | 菊花状、ナデ      | -        | ヘラミガキ      | ○     | -        | 6.8    | [1.9] | 金雲母を含む          | 底部～高台部破片                                      |   |
| 236         | 326              | 45          | RD31・覆土                | 上部器・壺   | SYR5/6弱赤紅    | -     | ロクロナデ            | 砂絞          | ハケメ      | ハケメ        | -     | -        | (9.0)  | [2.1] | 金雲母を含む          | 砂底上部  |   |
| 237         | 330              | 45          | RD33・東下部板土             | 上部器・环   | 7.5YR7/6橙    | ロクロナデ | 同軸系切り目           | ヘラミガキ       | ヘラミガキ    | ヘラミガキ      | △     | (17.5)   | (8.0)  | [6.7] | 金雲母を含む          | 内黒處理がとんでいる。                                   |   |
| 238         | 329              | 45          | RD33・(南側表土黒褐色土)?       | 上部器・环   | SYR7/4浅い橙    | ロクロナデ | 同軸系切り目?          | ヘラミガキ       | ヘラミガキ    | ヘラミガキ      | ○     | 15.1     | 6.3    | 5.1   | 灰               | 底面は切り離しの痕跡が消されていているもの隕斑が有しく、どのような再調整が行われたかは不明 |   |
| 239         | 328              | 45          | RD33・(南側表土黒褐色土)?       | 須恵器・壺   | SY6/1灰       | ロクロナデ | ロクロナデ、ヘラナデ       | -           | ロクロナデ    | ロクロナデ、当て具類 | -     | -        | (18.0) | -     | [35.7]          | 金雲母を含む  |   |
| 245         | 331              | 46          | RD37・底面                | 上部器・环   | 2.5GY2/1灰    | ヘラミガキ | ヘラミガキ            | 手持ちヘラケズリ内調整 | ヘラミガキ    | ヘラミガキ      | ヘラミガキ | ○        | (12.0) | 6.0   | 4.0             | 砂粒含む(1mm)                                     | 両面黒色處理  |
| 246         | 334              | 46          | RD37・底面                | 上部器・环   | SYR6/8橙      | ロクロナデ | 同軸系切り目           | ロクロナデ       | ロクロナデ    | ロクロナデ      | ×     | (14.2)   | (6.0)  | 4.9   | 砂粒含む(2mm)       |   |   |
| 247         | 332              | 46          | RD37・底面                | 上部器・壺   | 7.5YR8/4浅黄橙  | ロクロナデ | -                | ロクロナデ       | -        | ロクロナデ      | -     | -        | (15.6) | -     | [15.9]          | 口縁部破片、口縁部は近く外反                                |   |
| 248         | 335              | 46          | RD37・底面                | 上部器・壺   | 7.5YR7/4浅い橙  | ロクロナデ | -                | ロクロナデ       | ロクロナデ    | ロクロナデ      | -     | -        | (17.0) | -     | [5.7]           | 砂粒含む(1mm)                                     |   |
| 249         | 336              | 46          | RD37・底面                | 上部器・壺   | SYR4/8赤      | ヨコナデ  | ハケメ              | -           | ヨコナデ     | ハケメ        | -     | -        | -      | -     | [7.3]           | 砂粒含む(2mm)                                     | 口縁部破片、口縁部は近く外反                                      |
| 250         | 339              | 46          | RZ01・南底部板土             | 須恵器・壺   | 7.5YR2/1灰    | -     | タタキメ             | -           | ロクロナデ    | 当て具類       | -     | -        | -      | -     | [7.4]           | 灰   |   |
| 251         | 340              | 46          | RZ03・覆土(上層ペルト内)        | 上部器・环   | SYR7/4浅い橙    | -     | ロクロナデ            | -           | ヘラミガキ    | -          | △     | -        | (7.8)  | [1.4] | 金雲母を含む          | 底部破片。内外面とも厚頚が有し。                              |   |

| 指標番号 | 登録番号 | 写真<br>図版 | 出土地点・層位               | 器種      | 色調          | 外面調整  |                           |        | 内面調整        |       |       | 計測値: cm |       |       | 胎土<br>(含有物、色調等) | 備考                                   |                               |
|------|------|----------|-----------------------|---------|-------------|-------|---------------------------|--------|-------------|-------|-------|---------|-------|-------|-----------------|--------------------------------------|-------------------------------|
|      |      |          |                       |         |             | 口縁・頸部 | 体部                        | 底部     | 口縁部         | 体部    | 底部    | 黒色処理    | 口径    | 底径    | 器高              |                                      |                               |
| 252  | 342  | 46       | RZ04・南西斜面土?           | 須恵器・甕   | N3/0端灰      | -     | タタキメ                      | -      | -           | ナデ    | -     | -       | -     | -     | 8.2             | 端灰                                   |                               |
| 268  | 400  | 47       | RG12・埋土               | 須恵器・甕   | N2/0端       | -     | タタキメ                      | -      | -           | ナデ    | -     | -       | -     | -     | 11.61           | 端                                    |                               |
| 269  | 345  | 47       | pp17・埋土               | 須恵器・甕   | SY6/2灰オーリーブ | ロクロナデ | ロクロナデ                     | -      | ロクロナデ       | ロクロナデ | -     | -       | -     | -     | [3.4]           |                                      |                               |
| 270  | 344  | 47       | pp17・埋土               | 土師器・甕   | 10YR5/6黄端   | -     | ヘラケズリ、<br>手持ちヘラケ<br>ズリ再調節 | -      | ヘラミガキ       | ヘラミガキ | ○     | -       | [6.0] | [2.4] | 金雲母を少し含む        | 口縁部破片                                |                               |
| 271  | 347  | 47       | RB02                  | 須恵器・甕   | SY5/1灰      | -     | タタキメ                      | -      | 当て基板        | -     | -     | -       | -     | -     | [10.7]          | 灰                                    |                               |
| 272  | 350  | 47       | RB04                  | 須恵器・甕   | 10G3/1暗緑灰   | -     | タタキメ                      | -      | 当て基板        | -     | -     | -       | -     | -     | [4.3]           |                                      |                               |
| 273  | 351  | 47       | RB04                  | 須恵器・甕   | 7.5Y2/1灰    | ロクロナデ | -                         | ロクロナデ  | -           | -     | -     | -       | -     | -     | [4.0]           | 端                                    |                               |
| 274  | 352  | 47       | RB04                  | 須恵器・甕   | 10Y2/1灰     | -     | ロクロナデ、<br>ヘラケズリ           | -      | カキメ、<br>ハケメ | -     | -     | -       | -     | -     | [18.7]          | 端                                    |                               |
| 275  | 356  | 47       | RB02                  | 土師器・甕   | 7.5YR7/6端   | ロクロナデ | ヘラケズリ                     | -      | ロクロナデ       | ロクロナデ | -     | -       | 4.8   | -     | [5.6]           | 砂粒含む(2mm) 端か?                        |                               |
| 276  | 360  | 47       | RB02                  | 土師器・高台环 | 10YR7/4端い黄端 | -     | ロクロナデ                     | 菊花状、ナデ | -           | -     | -     | △?      | -     | -     | 8.6             | [2.9]                                | 金雲母を含む 内外面とも摩耗が著しい            |
| 277  | 382  | 48       | -IH19pグリッド            | 土師器・高台环 | SYN8/4浅端    | -     | ロクロナデ                     | ナデ     | -           | ヘラミガキ | ヘラミガキ | ○       | -     | -     | [2.3]           | 金雲母を少く含む                             | 底部破片、高台部欠損、「前<br>点4付近・表上下」と接合 |
| 278  | 383  | 48       | -IH19pグリッド            | 土師器・甕   | 5YR5/4端い赤端  | -     | ヘラケズリ                     | 本筋直、砂波 | -           | -     | ヘラナデ  | -       | -     | -     | [2.8]           | 砂粒含む(3mm大) 底部、本筋直、砂波                 |                               |
| 279  | 388  | 48       | -IH21vグリッド            | 須恵器・甕   | 2.5Y6/1黄灰   | -     | ロクロナデ                     | -      | ロクロナデ       | -     | -     | -       | -     | -     | [8.1]           | 黄灰                                   |                               |
| 280  | 379  | 48       | 點点4付近・「表土下」           | 土師器・甕   | 7.5YR7/4端い橙 | -     | ロクロナデ                     | 同軸糸切り目 | -           | -     | ロクロナデ | ×       | -     | 5.2   | [1.3]           | 金雲母を含む 摩耗が著しく残存状況は不良。 RA05かRA11に接続か? |                               |
| 281  | 378  | 48       | 点点4付近・「表土下」           | 土師器・高台环 | 10YR1.7/1端  | -     | ヘラミガキ                     | 菊花状    | -           | -     | ヘラミガキ | ○       | -     | -     | [2.3]           | 金雲母を含む RA05かRA11に接続か?                |                               |
| 282  | 377  | 48       | 點点4付近・「表土下」           | 土師器・甕   | 7.5YR5/3端い端 | ロクロナデ | ロクロナデ、<br>ヘラケズリ           | -      | ロクロナデ       | ロクロナデ | -     | -       | -     | -     | [5.9]           | 砂粒含む(2mm)                            |                               |
| 283  | 381  | 48       | 蔚谷区東側・「表土下 茄色上」       | 土師器・高台环 | 7.5YR8/4浅黄端 | -     | ロクロナデ                     | ナデ     | -           | ロクロナデ | ロクロナデ | ×       | -     | -     | [2.3]           | 砂粒含む(2mm小) 高台部の造りが本道路出土遺物の中では異質である。  |                               |
| 284  | 390  | 48       | 表土下端4付近               | 須恵器・甕   | 2.5YR8/3浅黄  | -     | ロクロナデ                     | 同軸糸切り目 | -           | ロクロナデ | ロクロナデ | -       | -     | 6.0   | [2.2]           | 淡黄                                   |                               |
| 285  | 391  | 48       | 點点4付近・「表土下」           | 須恵器・甕   | 10YR5/1灰    | -     | ロクロナデ                     | ロクロナデ  | ロクロナデ       | ナデ    | -     | -       | -     | -     | 8.3             | [2.4]                                |                               |
| 286  | 361  | 48       | 試掘トレンチT-5・「出馬色上(目刷?)」 | 須恵器・甕   | 5Y5/1灰      | -     | ロクロナデ                     | 菊花状    | -           | -     | ロクロナデ | -       | -     | -     | [12.0]          | RA05かRA11に接続か?                       |                               |
| 287  | 373  | 48       | 培点不明・「表土下深褐色上」        | 土師器・甕   | 7.5YR7/4端い橙 | ロクロナデ | ロクロナデ                     | -      | ロクロナデ       | ロクロナデ | -     | -       | -     | -     | [4.9]           | 砂粒含む(2mm小) ロクロ成形上部観察、口縁部破片           |                               |
| 288  | 372  | 48       | 地点不明・耕土               | 須恵器・甕   | 7.5Y4/1灰    | ロクロナデ | -                         | -      | ロクロナデ       | -     | -     | -       | -     | -     | [7.3]           | 端                                    |                               |

<陶磁器>

| 指標番号 | 登録番号 | 写真<br>図版 | 出土地点・層位      | 器種 | 計測値: cm |     |     | 胎土 | 備考 |
|------|------|----------|--------------|----|---------|-----|-----|----|----|
|      |      |          |              |    | 口径      | 底径  | 器高  |    |    |
| 257  | 401  | 46       | RZ04・埋土(底の下) | 紅陶 | 6.4     | 2.9 | 1.3 | 白  |    |

<石器類>

| 指標番号 | 登録番号 | 写真<br>図版 | 出土地点・層位       | 器種  | 計測値: cm |     |     | 重量:g  | 石材(产地)    | 備考        |
|------|------|----------|---------------|-----|---------|-----|-----|-------|-----------|-----------|
|      |      |          |               |     | 長さ      | 幅   | 厚さ  |       |           |           |
| 35   | 1001 | 29       | RA01・No b-3   | 円石  | 12.5    | 6.5 | 5.3 | 392.8 | 砂岩(北上山地)  |           |
| 194  | 1003 | 42       | RA07・床面       | 楕石  | 4.6     | 2.8 | 1.5 | 25.19 | 粗粒岩(奥羽山地) | 著しく軟質で崩壊。 |
| 289  | 1007 | 48       | -IHm18グリッド1b層 | 削器  | 2.4     | 3.0 | 0.7 | 4.78  | 頁岩(北上山地)  |           |
| 290  | 1006 | 48       | 點点4付近表土下      | 磨石? | 2.0     | 1.8 | 0.9 | 4.98  | 頁岩(北上山地)  | 自然石?      |

## &lt;金属器&gt;

| 掘載番号 | 登録番号 | 写真<br>図版 | 出土地点・層位            | 器種    | 計測値: cm |     |     | 重量: g | 備考 |
|------|------|----------|--------------------|-------|---------|-----|-----|-------|----|
|      |      |          |                    |       | 長さ      | 幅   | 厚さ  |       |    |
| 36   | 1104 | 29       | RA01・左カマド付近土下位     | 不明    | 3.4     | 2.6 | 1.0 | 1.0   |    |
| 37   | 1103 | 29       | RA01・右上北東部中位       | 不明    | 7.0     | 1.4 | 0.8 | 0.8   |    |
| 38   | 1102 | 29       | RA01・鉄道沿岸半径土       | 鉄鋸    | 10.2    | 3.6 | 0.9 | 0.9   |    |
| 39   | 1101 | 29       | 東隣壁土(鉄面C-1)        | 鉄鋸    | 14.5    | 3.8 | 6.8 | 6.8   |    |
| 74   | 1105 | 32       | RA03・壁上上位          | 馬頭串   | 5.2     | 5.2 | 1.3 | 1.3   |    |
| 75   | 1106 | 32       | RA03・床底直上          | 不明    | 13.6    | 2.0 | 0.9 | 0.9   |    |
| 141  | 1122 | 38       | RA05・北西壁際焼土層       | 刀子    | 14.4    | 2.0 | 0.7 | 0.7   |    |
| 142  | 1108 | 38       | RA05・右上上位          | 刀子?   | 14.8    | 1.8 | 0.8 | 0.8   |    |
| 143  | 1110 | 38       | RA05・右上中位(焼土上部:M2) | 刀?    | 9.8     | 2.2 | 0.7 | 0.7   |    |
| 144  | 1109 | 38       | RA05・焼土中位(焼土上部:M1) | 刀子    | 18.9    | 2.5 | 0.4 | 0.4   |    |
| 145  | 1111 | 38       | RA05・右上中位(焼土上部:M3) | 針?    | 7.4     | 2.5 | 0.6 | 0.6   |    |
| 146  | 1112 | 38       | RA05・右上中位(焼土上部:M4) | 針?    | 2.7     | 3.8 | 0.9 | 0.9   |    |
| 147  | 1121 | 38       | RA05・右上下位          | 針?    | 4.0     | 0.9 | 0.4 | 0.4   |    |
| 148  | 1107 | 38       | RA05・右上位(Te-aより上)  | 駒紐?   | 4.9     | 2.4 | 0.6 | 0.6   |    |
| 177  | 1113 | 41       | RA06・床面            | 環状鍛錬品 | 2.9     | 3.2 | 0.9 | 0.9   |    |
| 178  | 1114 | 41       | RA06・板土上位          | 不明    | 3.2     | 1.8 | 1.4 | 1.4   |    |
| 195  | 1115 | 42       | RA07・板土層(一部貼床刷合せ)  | 不明    | 4.5     | 3.2 | 0.7 | 0.7   |    |
| 196  | 1116 | 42       | RA07・板土出台          | 針?    | 5.2     | 2.4 | 1.1 | 1.1   |    |
| 223  | 1117 | 44       | RA11・板土上位          | 不明    | 4.1     | 7.7 | 0.9 | 0.9   |    |
| 253  | 1118 | 46       | RZ04・焼土下位          | 環状鍛錬品 | 4.7     | 1.1 | 0.6 | 0.6   |    |
| 254  | 1120 | 46       | RZ04・焼土下位          | 不明    | 3.7     | 1.4 | 0.5 | 0.5   |    |
| 260  | 1119 | 47       | RZ05・板土            | 不明    | 5.7     | 1.3 | 0.6 | 0.6   |    |

| 掘載番号 | 登録番号 | 写真<br>図版 | 出土地点・層位   | 器種   | 時代 | 器種          | 直径cm       | 備考       |
|------|------|----------|-----------|------|----|-------------|------------|----------|
| 240  | 1142 | 45       | RZ06      | 寛永通寶 | 江戸 | 寛永13 (1636) | 2.4        | 古寛永      |
| 241  | 1123 | 45       | RZ06      | 寛永通寶 | 江戸 | 寛永13 (1636) | 2.5        | 古寛永      |
| 242  | 1124 | 45       | RZ06      | 寛永通寶 | 江戸 | 寛永13 (1636) | 2.4        | 古寛永      |
| 243  | 1125 | 45       | RZ06      | 寛永通寶 | 江戸 | 寛永13 (1636) | 2.3        | 古寛永      |
| 244  | 1126 | 47       | RZ06      | 寛永通寶 | 江戸 | 寛永13 (1636) | 2.4        | 古寛永      |
| 261  | 1127 | 47       | RZ05・地上   | -    | -  | -           | 26.2と44.1? |          |
| 262  | 1128 | 47       | RZ05・M-8  | 寛永通寶 | 江戸 | 寛永13 (1636) | 2.5        | 新寛永 (文鏡) |
| 263  | 1129 | 47       | RZ05・M-9  | 寛永通寶 | 江戸 | 寛永13 (1636) | 新寛永        |          |
| 264  | 1130 | 47       | RZ05・M-10 | 寛永通寶 | 江戸 | 寛永13 (1636) | 2.4        | 新寛永 (文鏡) |
| 265  | 1131 | 47       | RZ05・M-11 | 寛永通寶 | 江戸 | 寛永13 (1636) | 2.3        | 古寛永      |
| 266  | 1132 | 47       | RZ05・M-12 | 寛永通寶 | 江戸 | 寛永13 (1636) | 2.4        | 古寛永      |
| 267  | 1133 | 47       | RZ05・M-12 | 寛永通寶 | 江戸 | 寛永13 (1636) | 2.3        | 新寛永      |

| 掘載番号 | 登録番号 | 写真<br>図版 | 出土地点・層位   | 器種 | 計測値: cm |     |     | 備考 |
|------|------|----------|-----------|----|---------|-----|-----|----|
|      |      |          |           |    | 残存長     | 外 径 | 内 径 |    |
| 40   | 1134 | 29       | RA01・板土   | 刺刀 | 4.3     | -   | 1.3 |    |
| 179  | 1136 | 41       | RA06・PS板土 | 刺刀 | 3.8     | 4.0 | 1.9 |    |
| 232  | 1137 | 45       | RD08・板土   | 刺刀 | 4.7     | 5.5 | 1.6 |    |

| 掘載番号 | 登録番号 | 写真<br>図版 | 出土地点・層位   | 器種 | 計測値: cm |     |     | 備考              |
|------|------|----------|-----------|----|---------|-----|-----|-----------------|
|      |      |          |           |    | 柄長      | 緑 高 | 柄長  |                 |
| 258  | 1139 | 47       | RZ04・板土下位 | 柄鏡 | 11.2    | 0.3 | 8.1 | 2.1<br>「藤原光良」款。 |

## &lt;その他&gt;

| 掘載番号 | 登録番号 | 写真<br>図版 | 出土地点・層位      | 器種 | 計測値: cm |       |     | 備考               |
|------|------|----------|--------------|----|---------|-------|-----|------------------|
|      |      |          |              |    | 長さ      | 幅     | 厚さ  |                  |
| 255  | 1140 | 46       | RZ04・板土(縁の下) | 本刀 | 4.0     | [1.8] | 0.4 | 由賀13年、指紋/cm7.22年 |
| 256  | 1140 | 46       | RZ04・板土(縁の下) | 不明 | [3.6]   | [1.0] | 1.1 |                  |

## &lt;模化材&gt;

| 掘載番号 | 登録番号 | 出土地点・層位             | 器種      | 時代  | 備考 |
|------|------|---------------------|---------|-----|----|
| 1    |      | RA05・カマド付近、焼土層      | 柱材      | クリ  |    |
| 2    |      | RA05・東南付近、焼土層       | 柱材      | クリ  |    |
| 3    |      | RA05・東南床面、床面直上焼土層   | 柱材      | クリ  |    |
| 4    |      | RA05・南東部、焼土層        | 柱材?     | クリ  |    |
| 5    |      | RA05・南端付近、焼土層       | 柱材      | クリ  |    |
| 6    |      | RA05・南端付近、焼土層       | 柱材(E)   | クリ  |    |
| 7    |      | RA05・南端付近、焼土層       | 柱材      | クリ  |    |
| 8    |      | RA05・南端付近、焼土層       | 柱材      | クリ  |    |
| 9    |      | RA05・南端付近、焼土層       | 柱材      | クリ  |    |
| 10   |      | RA05・南西壁際、焼土層       | 柱材      | クリ  |    |
| 11   |      | RA05・南西壁際、焼土層       | 柱材      | クリ  |    |
| 12   |      | RA05・南側床面、床面直上焼土層   | 柱材?     | クリ  |    |
| 13   |      | RA05・中央部南側床面、焼土層    | 板材      | クリ  |    |
| 14   |      | RA05・中央部南側床面、焼土層    | 板材?     | クリ  |    |
| 15   |      | RA05・北西壁際、焼土層       | 柱材(E)   | クリ  |    |
| 16   |      | RA05・北西壁際、焼土層       | 柱材(E)   | クリ  |    |
| 17   |      | RA05・北西壁際、焼土層       | 板材      | クリ  |    |
| 18   |      | RA05・北西壁際、焼土層       | 屋根材?    | カヤ  |    |
| 19   |      | RA05・北西壁際、焼土層       | 屋根材?    | カヤ  |    |
| 20   |      | RA05・中央部北西側床面、焼土層   | 柱材      | クリ  |    |
| 21   |      | RA05・中央部北西側床面、焼土層   | 柱材      | クリ  |    |
| 22   |      | RA05・中央部北西側床面、焼土層   | 柱材      | クリ  |    |
| 23   |      | RA05・北西壁際、焼土層       | 柱材      | クリ  |    |
| 24   |      | RA05・北東壁際、焼土層       | 板材      | クリ  |    |
| 25   |      | RA05・北東壁際、焼土層       | 板材      | クリ  |    |
| 26   |      | RA05・北東壁際、焼土層       | 柱材      | クリ  |    |
| 27   |      | RA05・中央部北側床面、焼土層    | 柱材      | クリ  |    |
| 28   |      | RA05・中央部東側床面、焼土層    | 柱材      | クリ  |    |
| 29   |      | RA05・中央部東側床面、焼土層    | 柱材?     | クリ  |    |
| 30   | 39   | RA05・北西壁際、焼土中位(焼土層) | 柱材? 固物? | カヤ? |    |
| 31   | 39   | 1の上台                | 柱材? 固物? | カヤ? |    |

## V まとめ

### 1. 遺構

ここでは竪穴住居跡・掘立柱建物跡・円形周溝に関してその特徴点に触れてまとめとする。

竪穴住居跡は8棟（RA01～08）検出された。RA02を除く7棟が調査区東半部分に密集している。平面形は方形基調5棟（RA02・03・05～07）、長方形基調1棟（RA01）に、規模は大形：RA05・06、中形：01・03・07、小形：RA02の3類型に分類可能である。主軸方向（カマドの向き）は①東：RA01〔造り替え2時期〕・02、②北東：RA05〔新〕、③北西：RA03・06、④南東：RA07・RA05〔古〕である。埋土は概ねII層系の黒褐色土を主体とする自然堆積で、RA03・05では十和田a降下火山灰と思われる下位白色バミス小ブロックが埋土上位に少量混入している。柱穴配列は全般に不明確である。カマドは6棟で検出され、うち2棟（RA01・05）では複数のカマドが検出された。煙道の構造は地下式・半地下式ともに見られる。なお、RA05・07・08の3棟は焼失の痕跡が認められる。各住居の焼土・炭化物の残存状況から見ると、概ね北東側において強く燃焼した様相が窺われる。これら3棟は隣接する住居跡であり、かつ3棟ともに同様な焼失状況を示していることから考えると、一度の火災による延焼で同時に焼け落ちたものではないかと推測される。形態および伴出遺物から考えると、平安時代9世紀後半代に属するものと考えられる。

掘立柱建物跡は4棟（RB02～05）検出された。うち、3棟（RB02～04）は隣接し並列するように配置されている。4棟ともに柱9本を「田」字状に配した2間×2間の純柱建物で、規模もほぼ同じである。柱穴からの出土遺物が少なく時期判断の材料が乏しいが、①従来の検出事例で古代と考えられているものに形態的に類似すること、②検出された竪穴住居跡との重複がないこと、等から推察して住居跡と同時期に存在していたものと思われる。かかる建物は穀倉的な用途が想定されており、本建物も9世紀後半期の集落に伴う貯蔵施設であった可能性が高いと考えられる。本遺跡の周辺地区では小幅遺跡、本宮熊堂B遺跡、細谷地遺跡等で同様の建物跡が確認されているが、本遺跡の如く複数棟が並列して配置される類例は今のところなく、本遺跡検出の掘立柱建物群は当地区的該期集落を考える上で有益な資料と思われる。

円形周溝は2条（RZ01・02）検出された。本遺跡の周辺地区では、台太郎遺跡、小幅遺跡、飯岡沢田遺跡（※註1）、湯沢B遺跡等で検出事例がある。とりわけ東北縦貫自動車道関連で調査された湯沢B遺跡では、円形・方形を含めた周溝状遺構が密集して検出されている。これらの周溝状遺構は主体部が削平により消失した墳墓だったと考えられている。今次調査で検出した2基については伴出遺物が寡少であり明確な時期判断が困難であるが、かかる類例に照らして概ね平安時代のものと考えられる。

### 2. 遺物

今次調査で出土した遺物の主体はロクロ使用成形された土師器・須恵器であるが、一般的な該期集落の様相に比して須恵器の出土量が多い。土師器は、壺・高台付壺・甕・鉢（鍋）が出土している。これらは、器形の特徴から、概ね9世紀後半代に属すると思われる資料である。詳細は遺物観察表に譲り、ここでは「墨書・線刻」および「砂底」の資料について述べる。墨書・線刻がなされた壺・高台付壺は竪穴住居跡から5点出土している。RA01：壺（11）の体部外面に墨書「大」。高台付壺（16）の体部外面に上下2段の線刻「八」？。RA05：壺（87）の体部外面に墨書「本」。RA06：壺（149）の底部外面に墨書「本」？。RA08：壺（205）の底部外面に墨書「本」？。今次調査の資料では、可能性のあるものも含めると「本」が

3点を数える。ここでは便宜的に「本」としているが、実際には「大」の下に「十」を書き加えた形（※註2）であり、RA01出土壺の「大」も本来は同字を意図したもの一つなり、墨書4点がいずれも同じ文字「本」を意識したものだった可能性が高い。また、底部外面に粗砂を付着させた所謂「砂底」の甕が3点出土している。いずれも底面が僅かに上げ底となり、その外縁部に粗砂をドーナツ状に付着させたものである。RA05:120(竈ナテ)、RD31:236(ハケメ)、遺構外・-1H19P区:278(木葉痕)、の底面外縁部が砂底となっている。3点のうち比較的残存状態が良い120は、正面観でも砂が確認できるほどに底部外縁末端が捲れ上がり、粗雑な印象を受ける。これは、ある程度まで生乾きとなった状態で無理やりに砂を付着させた結果、底部が潰れたものではないかと推測される。今次調査出土の「砂底」資料は9世紀後半代の斯波郡と津軽・出羽との影響関係を示唆する事例となろう。須恵器は、所謂「袋物」である壺・瓶・甕が出土している。遺構内出土、とりわけ住居跡出土のものが多い。特に顯著に出土量が多いのはRA05・08の2棟である。RA05では北隅付近、RA08では北西隅付近に偏した埋土下位～床面直上から、多数の須恵器壺・瓶・甕の破片が一括出土している。ともに床面より上位の埋土から出土していることから、廃絶後の埋没過程において一括廃棄されたものと考えられる。但し、RA05の例では、廃棄されている資料には表面が焼せて欠失しているものも見られ、住居焼失後に焼け跡からサルベージした須恵器破片を再び廃棄した可能性もある。かかる多量の須恵器の供給元が問題となるところではあるが、今回は自然科学的分析を実施していないため産地不詳である（※註3）。出土した須恵器の縦年的な位置付けについては、その器形の様相から概ね9世紀代の枠内に収まるものと考えられる。

### 3. 遺跡

調査の結果、本遺跡の今次調査区付近は縄文時代の狩場、平安時代の集落、近世の墓域であることが判明した。調査面積は約1,500m<sup>2</sup>と狭小ではあるが、比較的多種の遺構が検出されている。

古代については、氾濫原の微高地南側縁辺部分に立地する9世紀代の集落の一部を調査した形であり、堅穴住居跡、堀立柱建物、土坑、円形周溝、溝跡、池状遺構を検出した。これらが即ちムラの構成ユニット【住宅、倉庫、穴倉?、墓、生活用水の溜池】をなしていると推測される。遺構配置状況からは、調査地域南東側を中心とする住居域、西側に建物群・土坑域・墓域という構成が見て取れ、集落の中心部はさらに東に延びているものと推測される。南側の低地（旧河道）を挟んで対向する微高地上の細谷地遺跡、現道を挟んで東側に隣接する向中野館跡は、いずれも本遺跡よりも新しい10世紀代を主体とする集落である。本遺跡では該期の遺構は確認されていない。また、本遺跡北側には、試掘調査で多数の周溝状遺構の存在が想定される飯岡沢田遺跡が存在する。これらの遺跡と本遺跡との関連性については、今後の検討課題である。

(註1) 飯岡沢田遺跡は本遺跡の北側に隣接する遺跡であるが、平成13年度調査で末期古墳・円形周溝・方形周溝棟が多数検出され、古墳～平安時代の墓域であることが判明してきている。本遺跡検出の円形周溝もそれらに繋がるものとすれば、本遺跡と飯岡沢田遺跡とが本来は一連の遺跡である可能性が高いと考えられる。

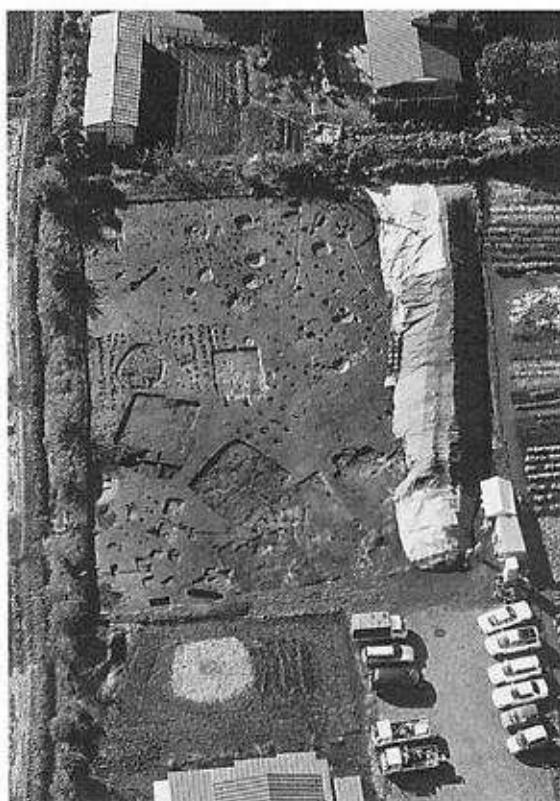
(註2) 本来は「奉」の略字ではないかと思われる。

(註3) 出土した須恵器片には胎土が赤味がかったものが多く見られ（遺物観察表を参照されたい）、当初は五所川原窯の可能性もあるものと考えたが、器形の特徴から見て五所川原窯産のものは含まれていなかった。遺跡の所在する盛岡市および近隣の紫波町には須恵器窯の存在が想定される遺跡が複数あり、本遺跡出土の須恵器はそうした近隣の窯で生産された可能性があるものと考えられる。

# 写 真 図 版



遺構遠景（西から）



遺跡近景（東から）



基本層序（北西部）

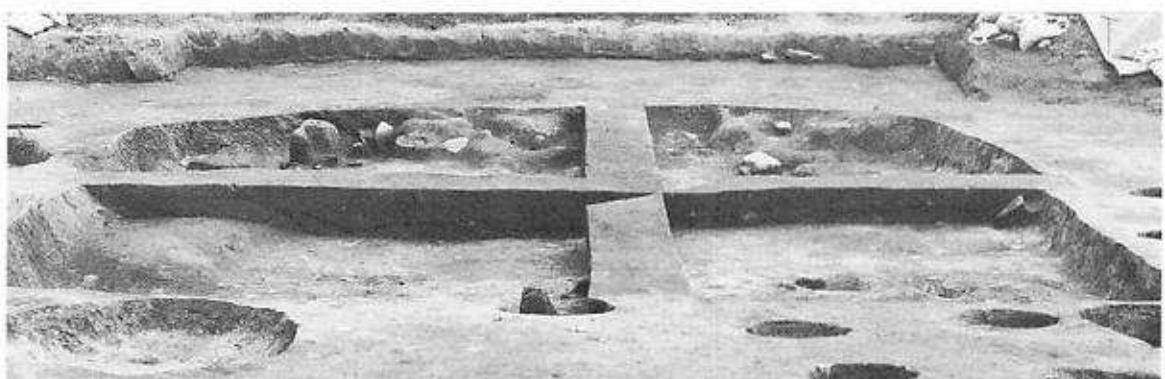


基本層序（南東部）

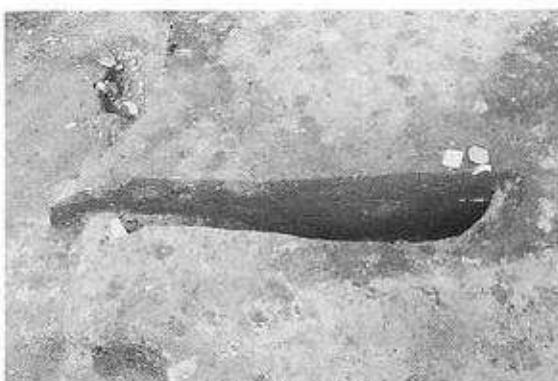
### 写真図版 1 遺跡遠景・近景、基本層序



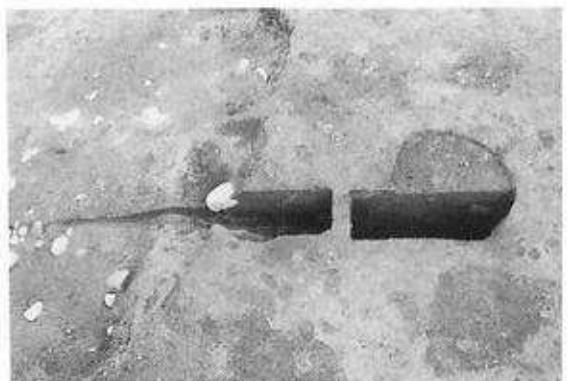
RA01 完掘(西より)



RA01 断面(北-南)

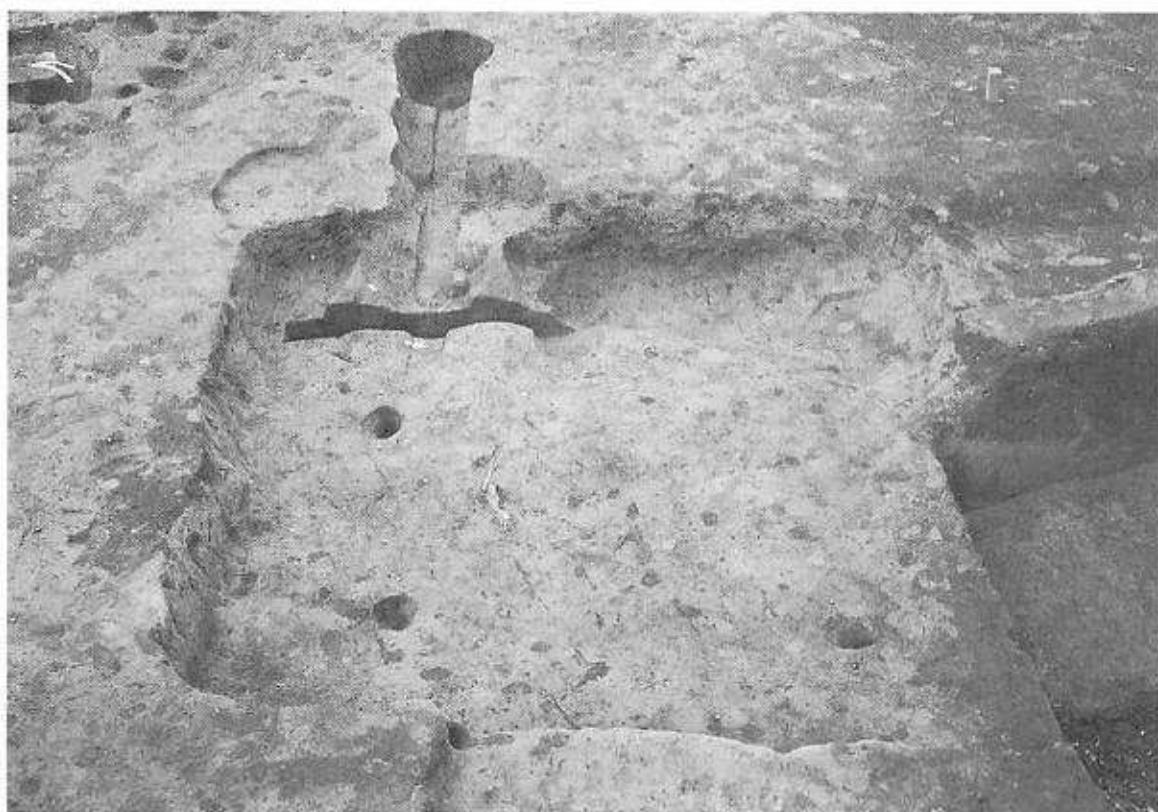


1号カマド 断面

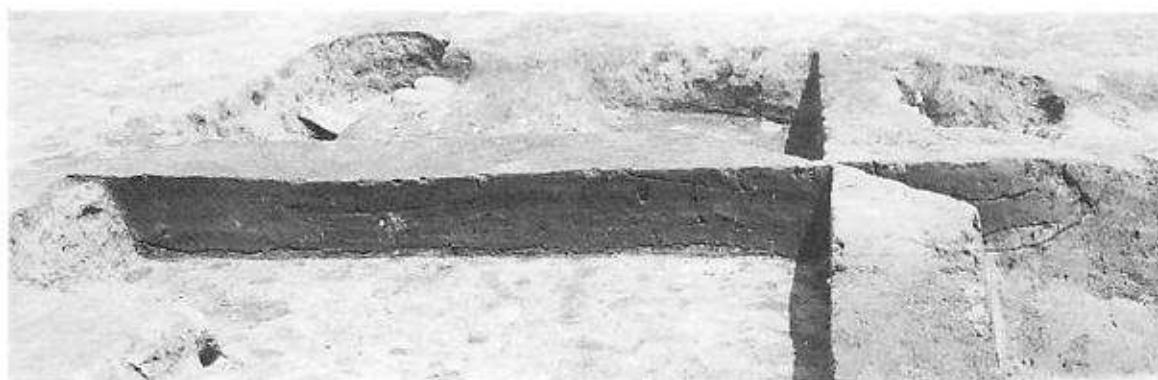


2号カマド 断面

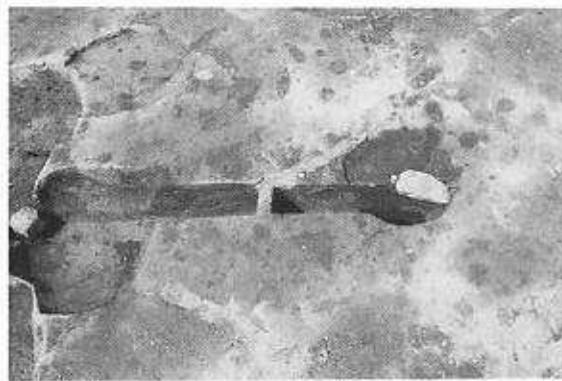
写真図版 2 RAOI



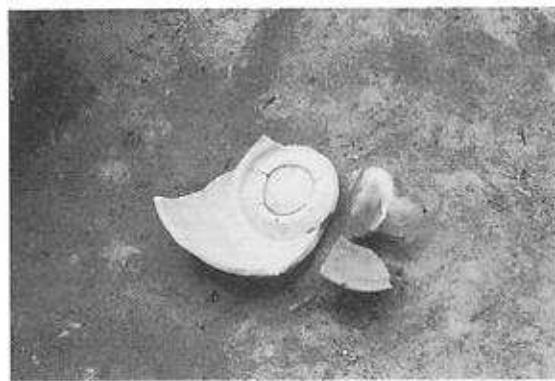
RA02 完掘（西より）



RA02 完掘（北-南）



カマド断面



遺物出土状況

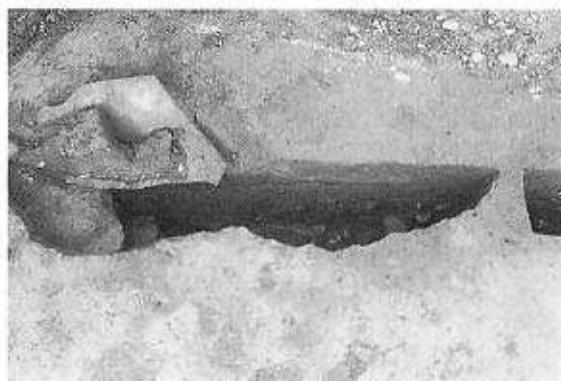
写真図版 3 R A O 2



RA03 完掘（南東より）



RA03 断面（北東—南西）



煙道部 断面

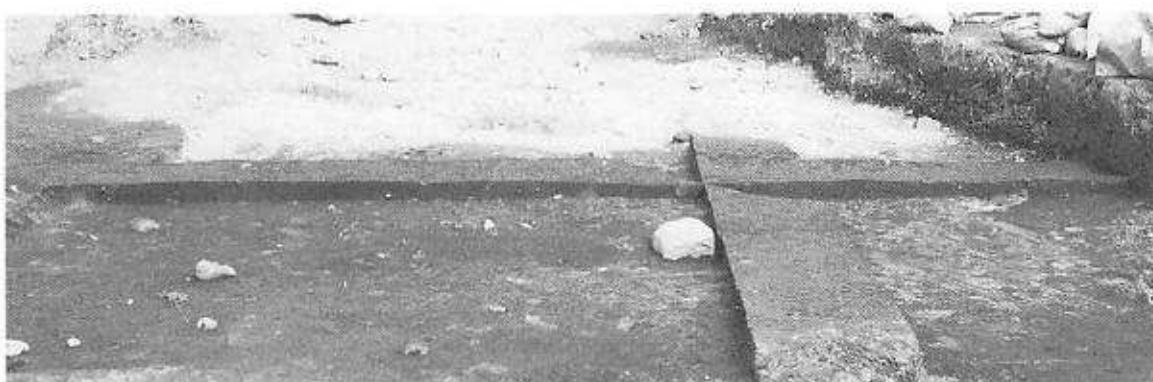


遺物出土状況

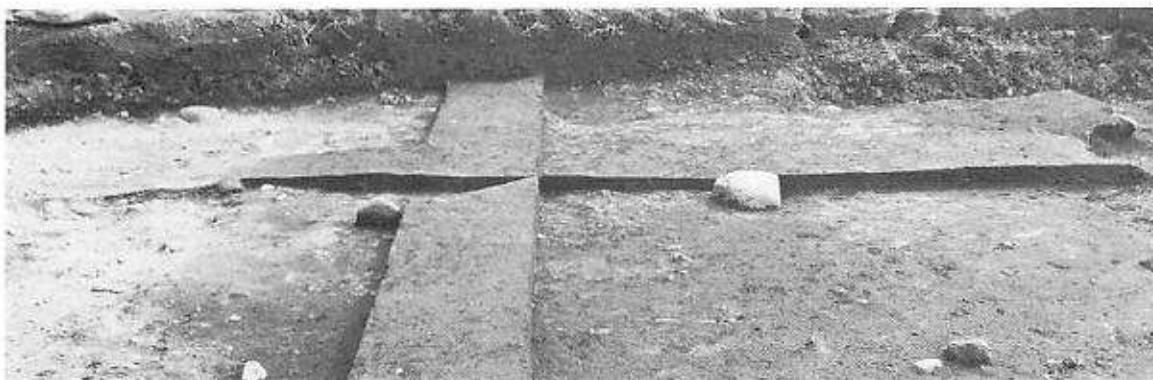
#### 写真図版 4 R A O 3



RA04 完掘（東より）



RA04 断面（西一東）



RA04 断面（北一南）

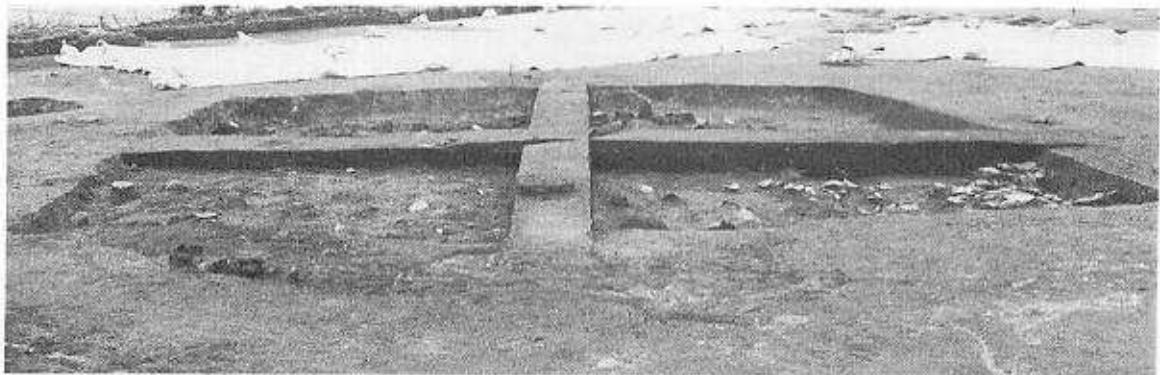
写真図版 5 R A O 4



RA05 完掘（南西より）



RA05 断面（北東—南西）

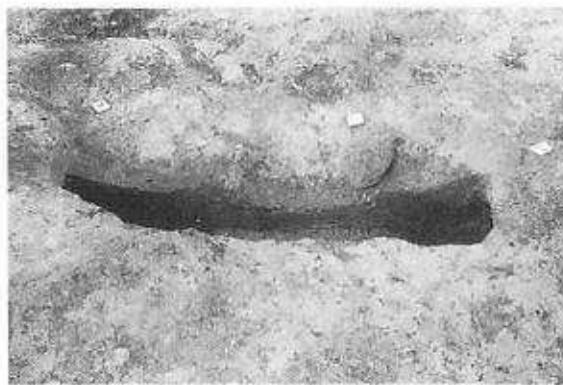


RA05 断面（南東—北西）

## 写真図版 6 RA05 (1)



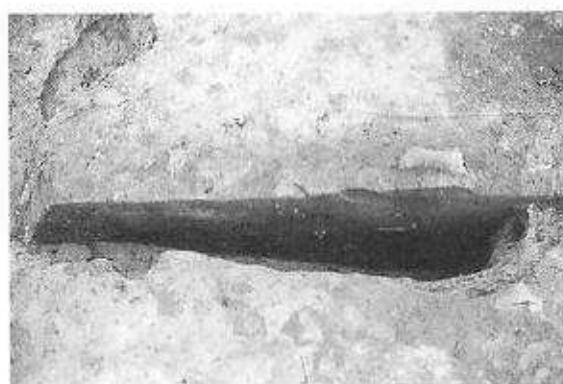
1号カマド燃焼部断面



1号カマド煙道部断面



2号カマド煙道部断面



3号カマド煙道部断面



遺物出土状況（1号カマド）



炭化材検出状況（南西）

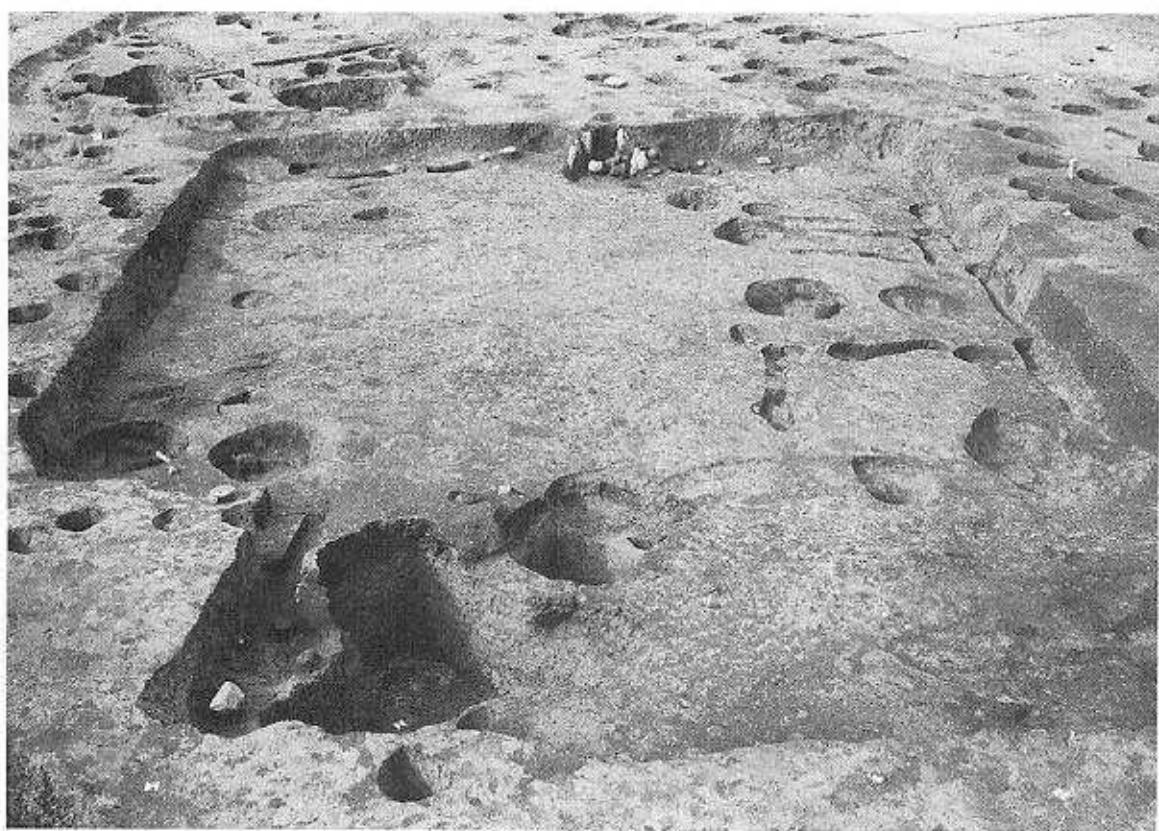


遺物出土状況

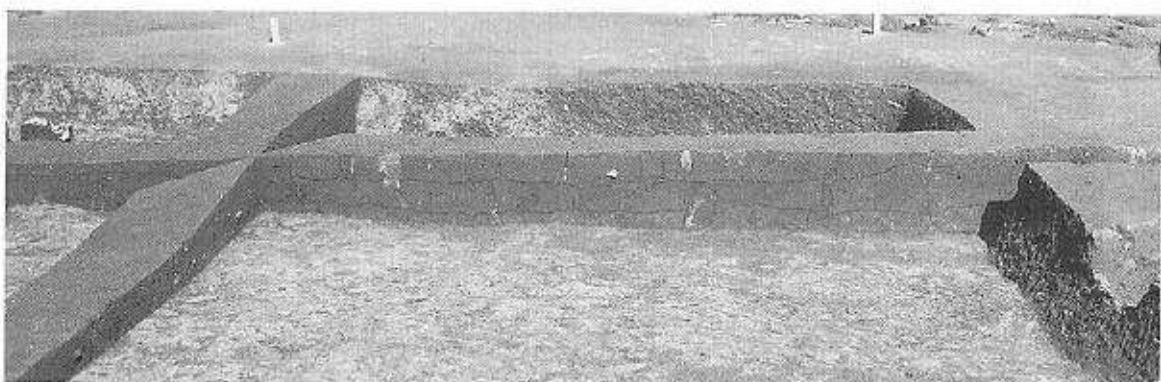


炭化材検出状況（南コーナー）

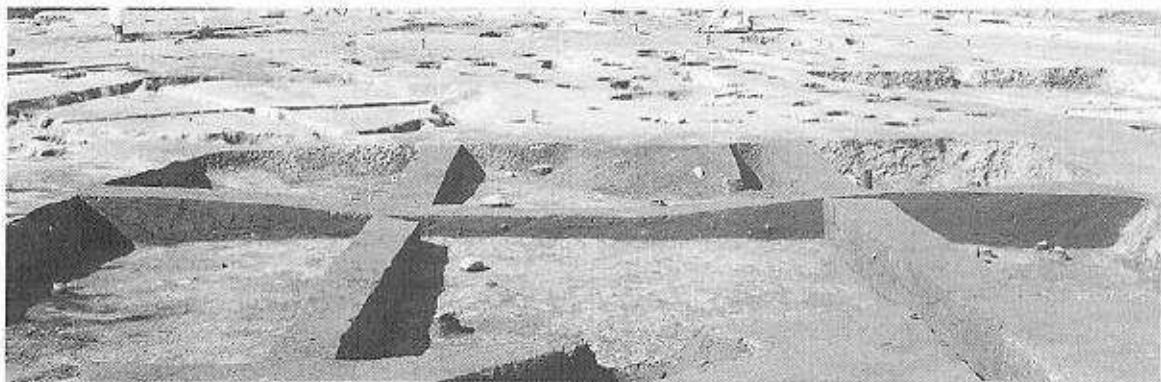
## 写真図版 7 RA05 (2)



RA06 完掘（東より）



RA06 断面（西一東）



RA06 断面（南一北）

写真図版 8 RA06



RA06 検出状況



RA06 カマド 平面



RA07 カマド燃焼断面



RA07 カマド煙道部断面



RA06・07 平面 (西から)

## 写真図版 9 R A O 6 ・ 0 7



RA08 平面(北東より)



RA08 断面(西-東)



遺物出土状況

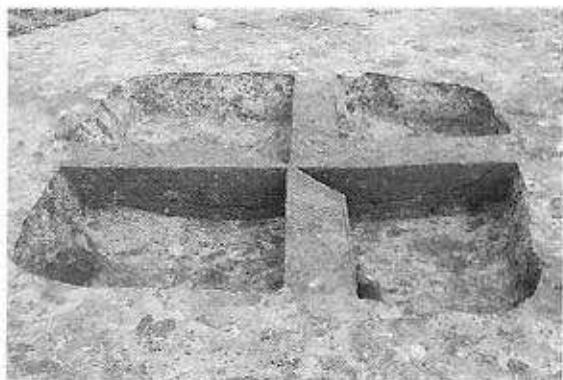


遺物出土状況

写真図版 10 RA08



RE01 平面 (東より)



RE01 断面 (西-東)



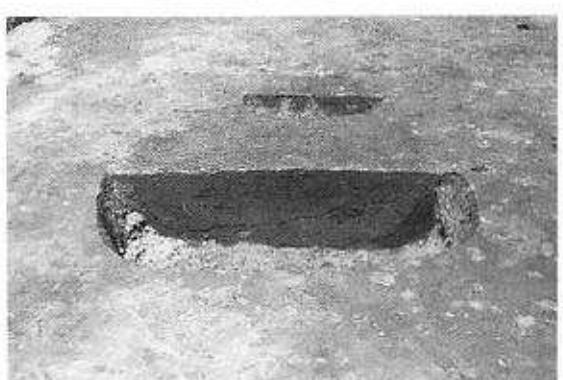
RE02 平面 (南東より)



RE02 断面 (北西-南東)



RE03 平面 (東より)



RE03 断面 (西-東)

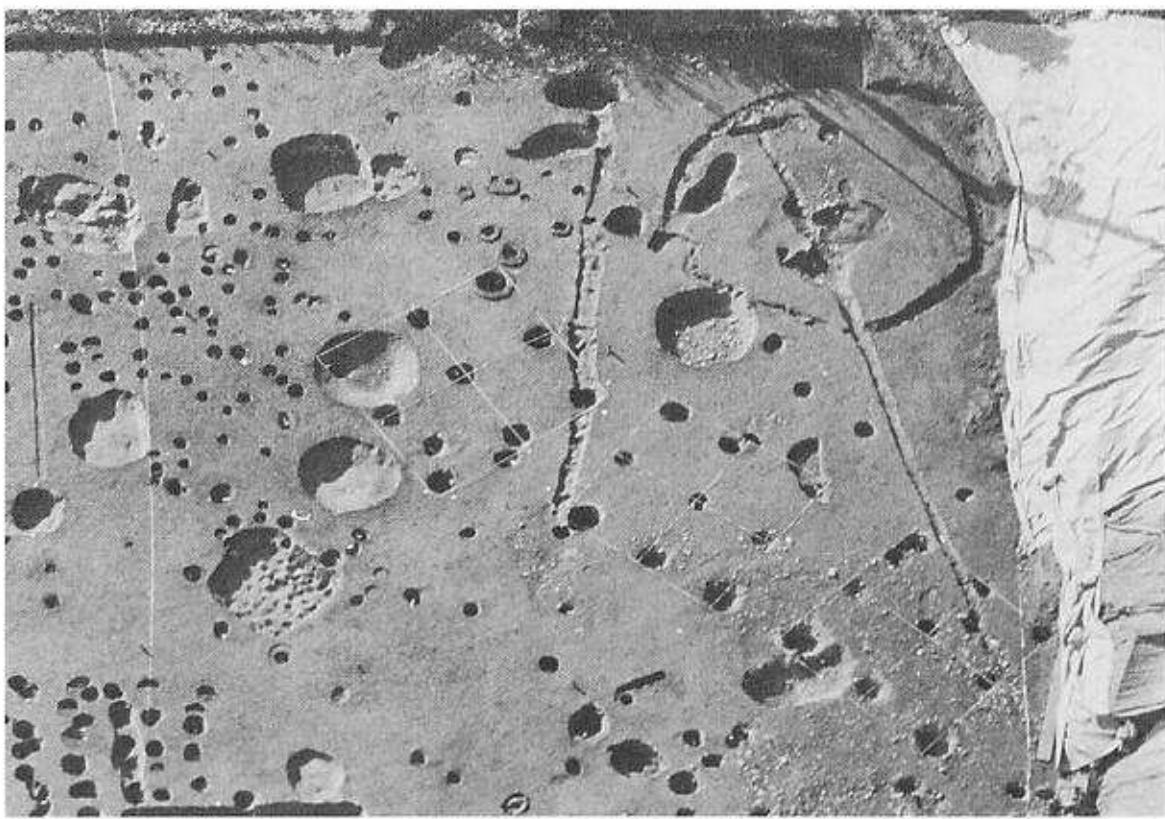


RE04 平面 (北より)



RE04 断面 (西-東)

写真図版 11 RE01~04



RB02・03・04 配置状況(東から)



RB02・P9 完掘



RB03・P1 完掘

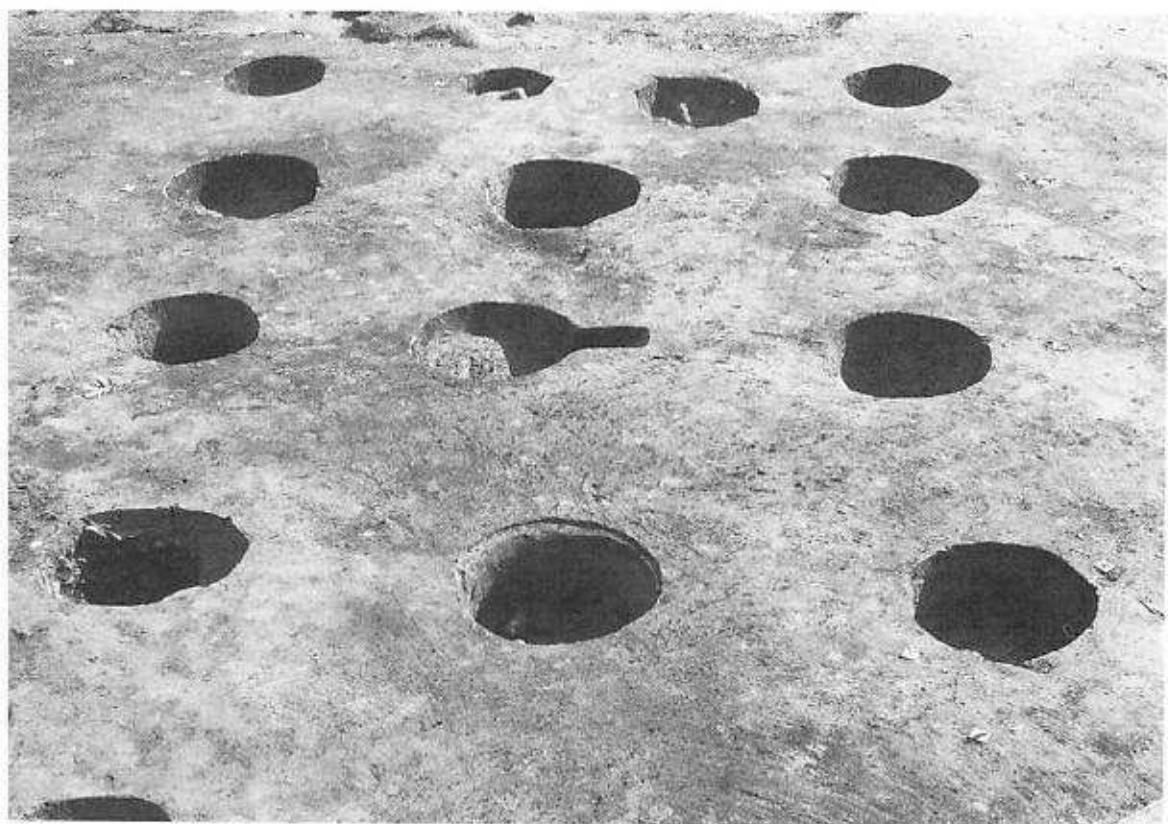


RB04・P2 完掘



建物群 近景(北東から)

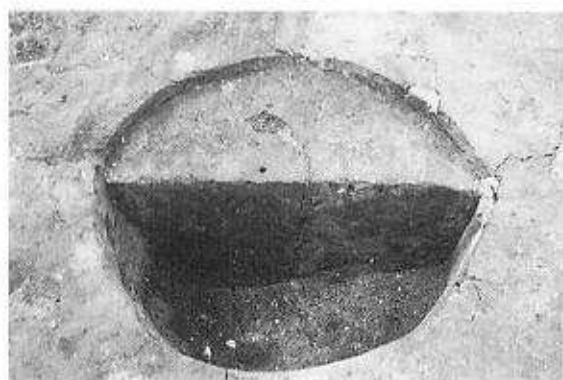
## 写真図版 12 R B02~04



RB05 平面（北西より）



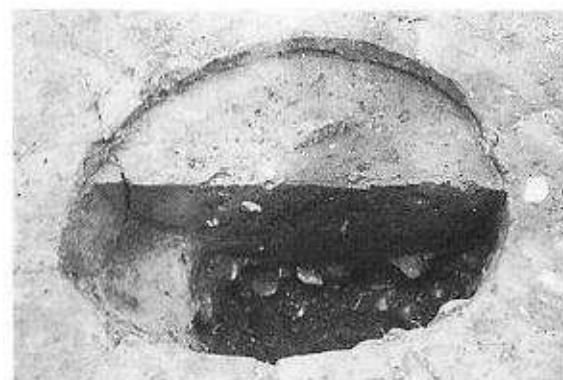
RB05 P6 平面



RB05 P6 断面

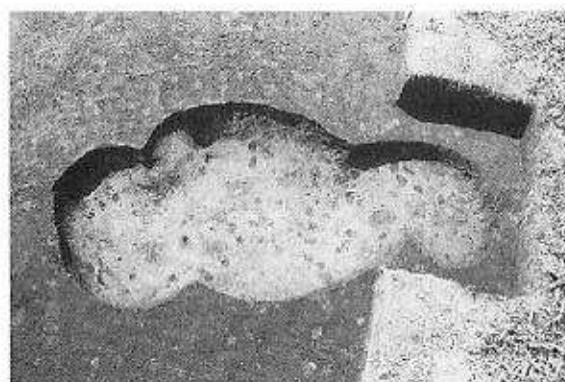


RB05 P9 平面



RB05 P9 断面

写真図版 13 R B 05



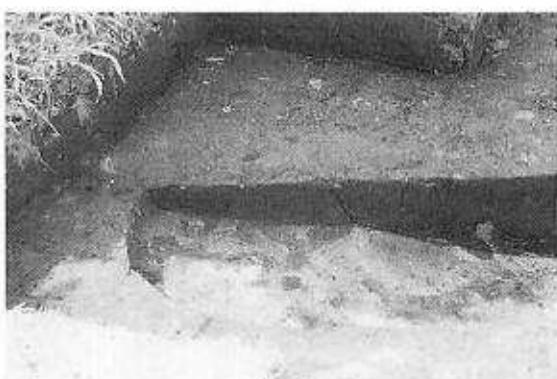
RD05・06・07 完掘



RD05・06・07 断面



RD05 完掘



RD05 断面



RD06 完掘



RD06 断面



RD07 完掘

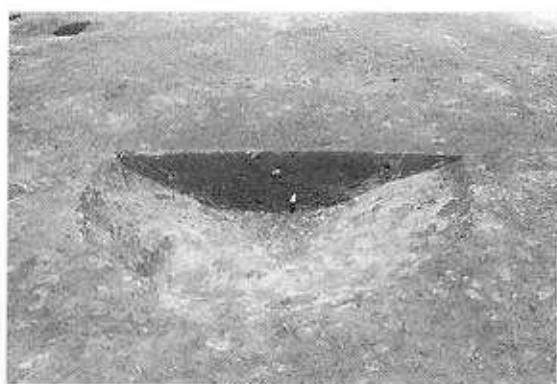


RD07 断面

写真図版 14 R D05~07



RD08 完掘



RD08 断面



RD09 完掘



RD09 断面



RD10 完掘



RD10 断面



RD11 完掘



RD11 断面

写真図版 15 R D 08~11



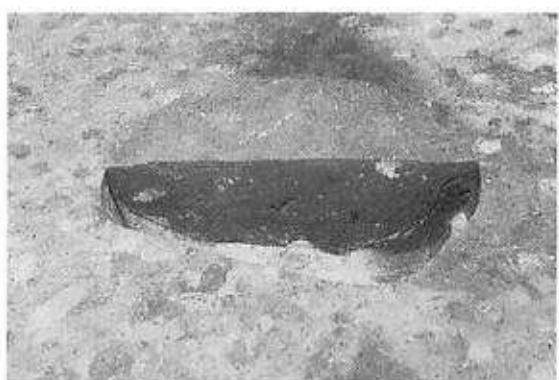
RD12 完掘



RD12 断面



RD14 完掘



RD14 断面



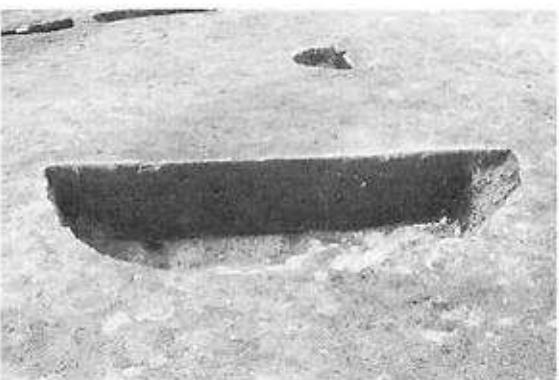
RD17 完掘



RD17 断面



RD18 完掘



RD18 断面

写真図版 16 RD12・14・17・18



RD20 完掘



RD20 断面



RD22 完掘



RD22 断面



RD23 完掘



RD23 断面



RD24 完掘

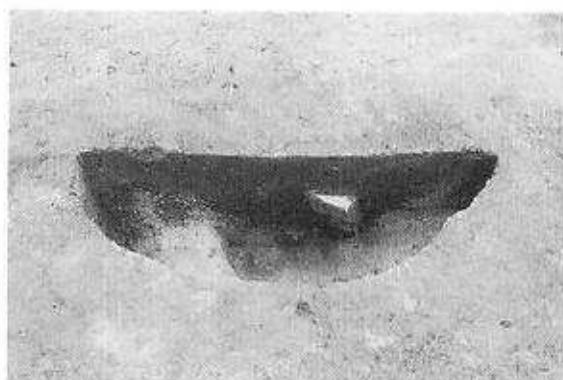


RD24 断面

写真図版 17 RD20・22~24



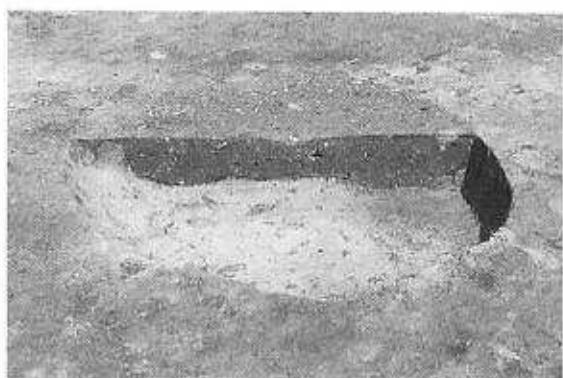
RD25 完掘



RD25 断面



RD26 完掘



RD26 断面



RD27 完掘



RD27 断面



RD29 完掘



RD29 断面

写真図版 18 R D25~27・29



RD30 完掘



RD30 断面



RD31 完掘



RD31 断面



RD32 完掘



作業風景



RD33 完掘



RD33 断面

写真図版 19 R D 30~33



RZ06 完掘



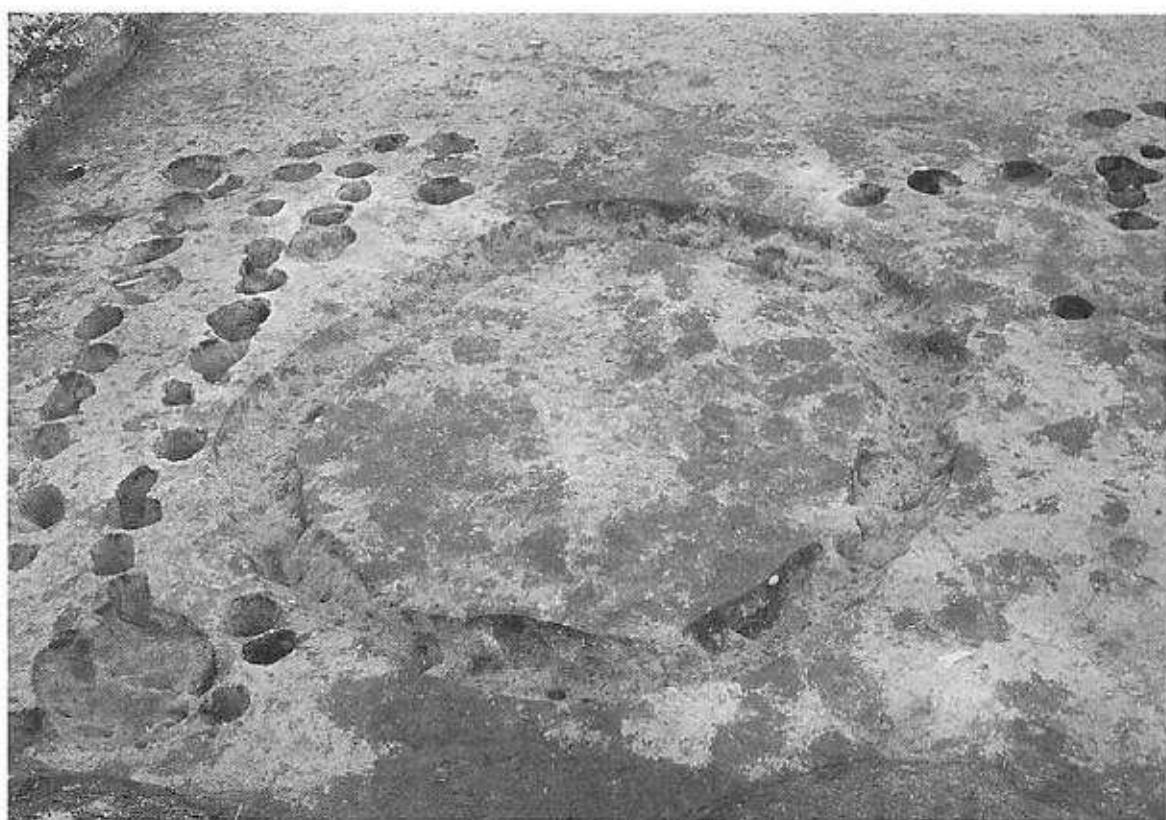
RZ06 断面



RD37 完掘



RD37 断面

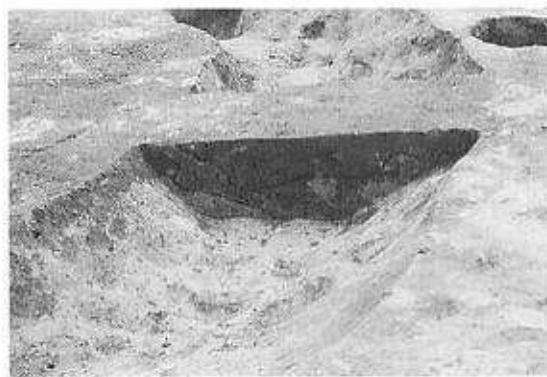


RZ01 完掘 (東から)

写真図版 20 R Z06、R D37、R Z01



RZ01 検出状況 (東から)



RZ01 断面 (E-F)



RZ02 完掘 (東から)



RZ02 断面 (A-B)

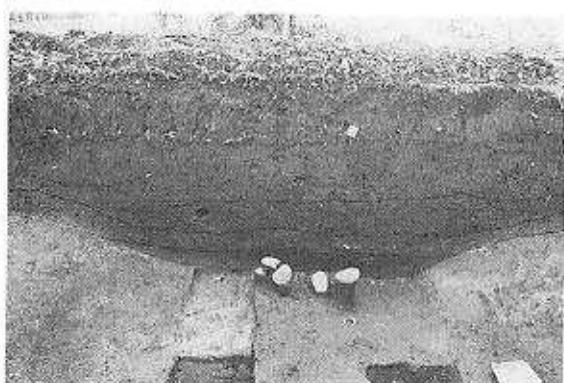


RZ02 完掘 (C-D)

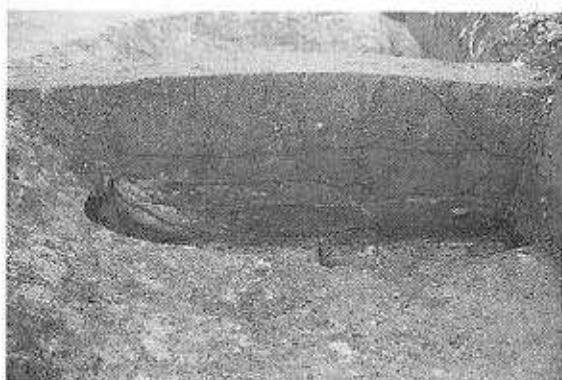
写真図版 21 RZ01・02



RZ03 池状造構平面 (北より)



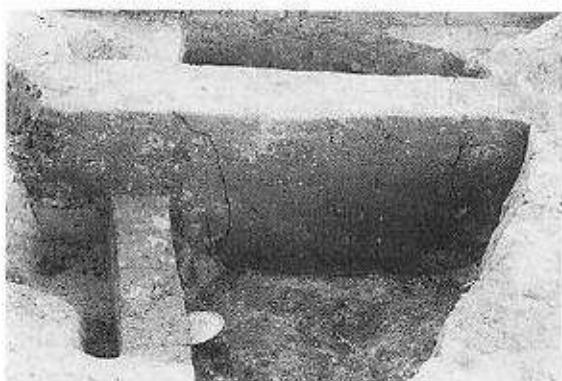
RZ03 断面 (東一西)



RZ03 断面 (北一南)



RZ04 平面 (北より)



RZ04 断面 (東一西)



RZ04 断面 (北一南)



RZ04 遺物出土状況 (西より)



RZ04 遺物出土状況 (南東より)

写真図版 22 R Z 03・04



RZ05 平面 (南より)



RZ05 断面 (南一北)



RZ05 遺物出土状況



RG09 断面



RG9・10 (北東より)



RG10 断面



RG11 断面

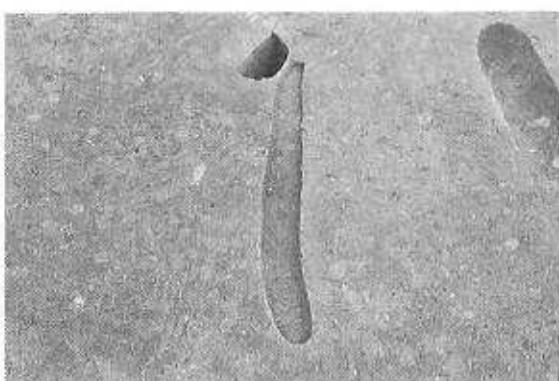
写真図版 23 R Z05・RG09~11



RG11 平面（東より）



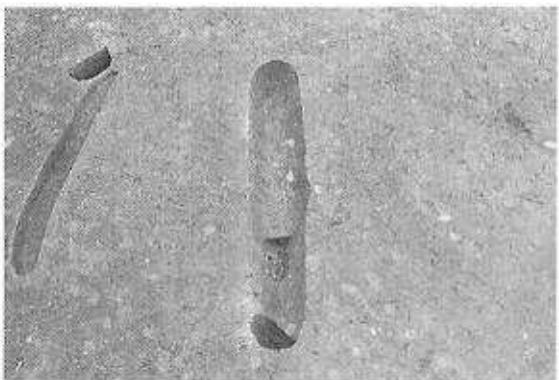
RG12・13 平面（西より）



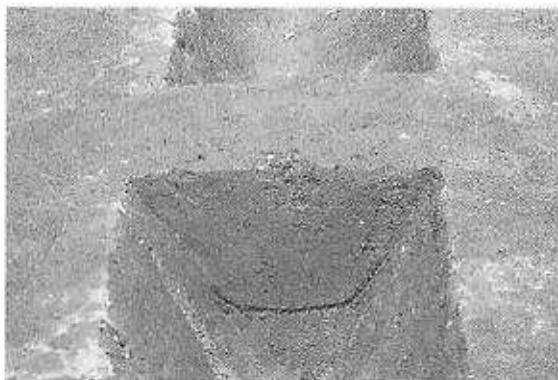
RG14 平面（南西より）



RG14 断面（A-B）



RG15 平面（南西より）

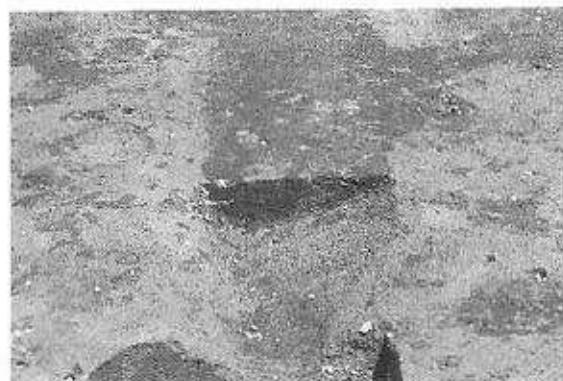


RG15 断面（C-D）

写真図版 24 RG11~15



RG16・17 完掘（南西より）



RG16 断面



RG17 断面



柱穴状遺構北東側

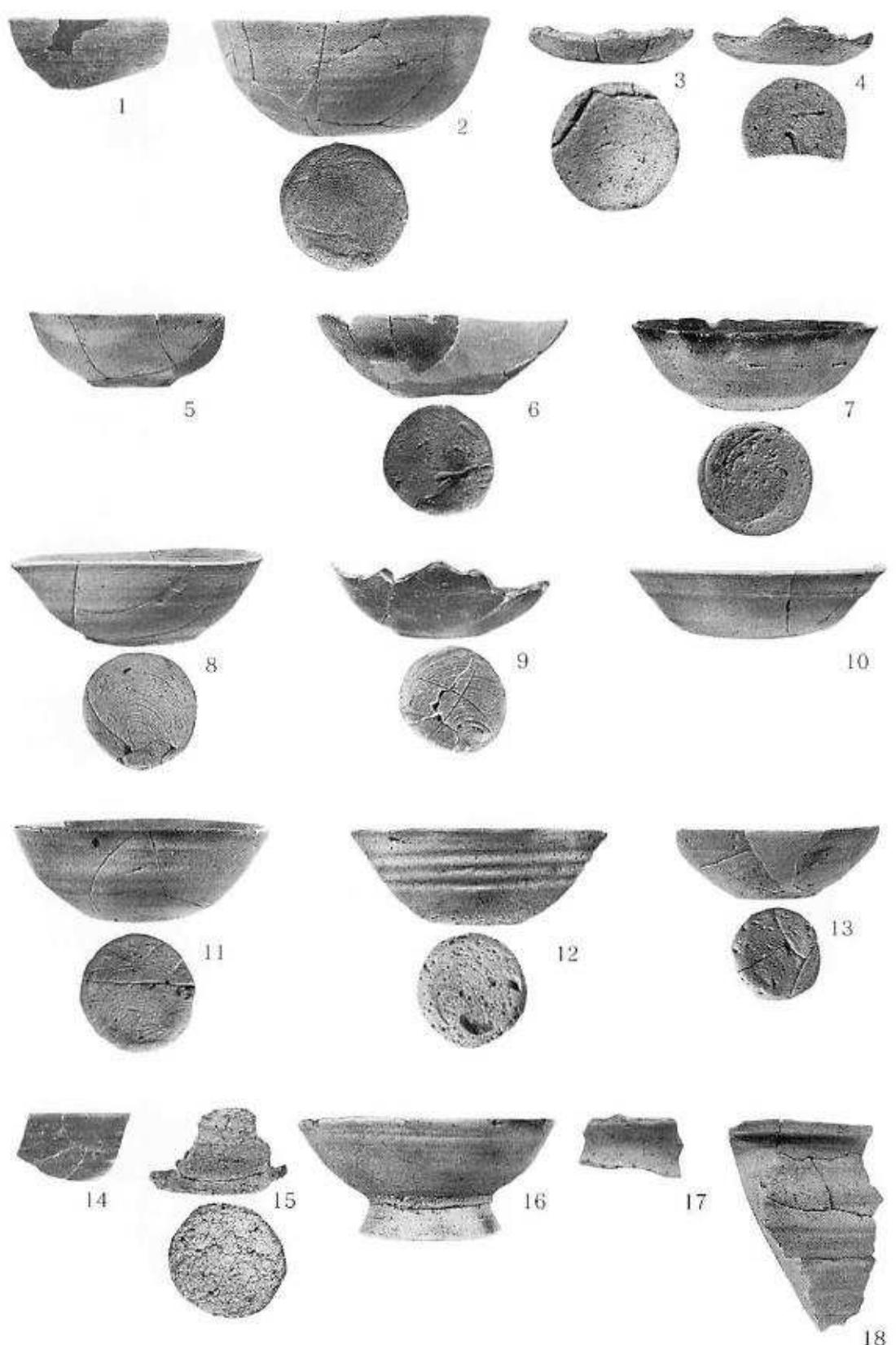
写真図版 25 RG16・17、柱穴状土坑

写真図版 26 出土遺物（1）

— 138 —

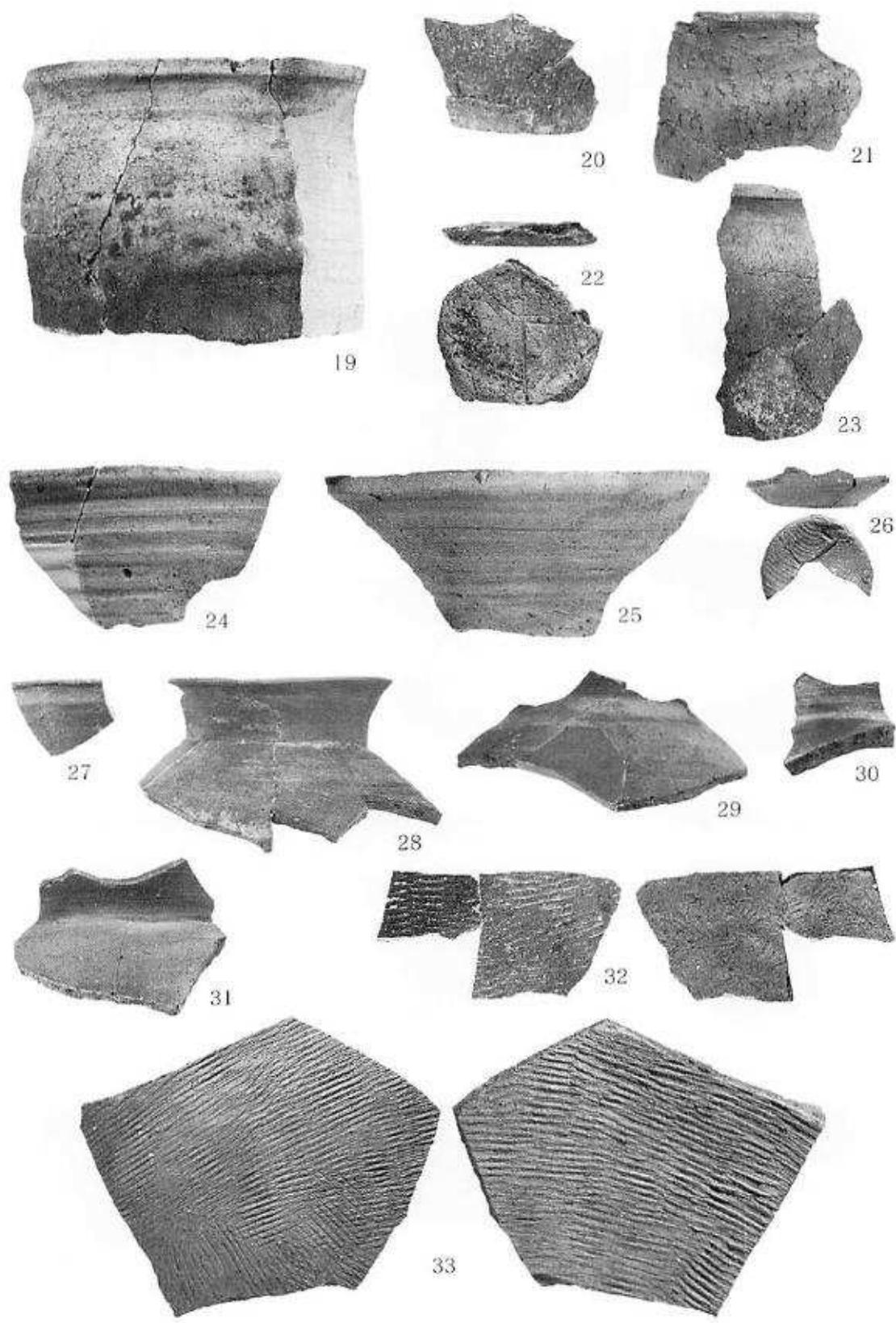


RA05一括出土須恵器



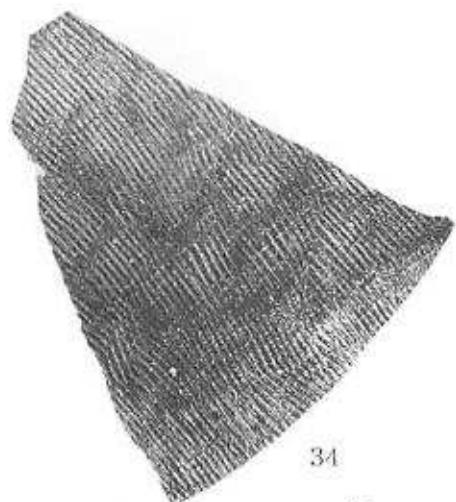
RA01

写真図版 27 出土遺物 (2)



RA01

## 写真図版 28 出土遺物（3）



34



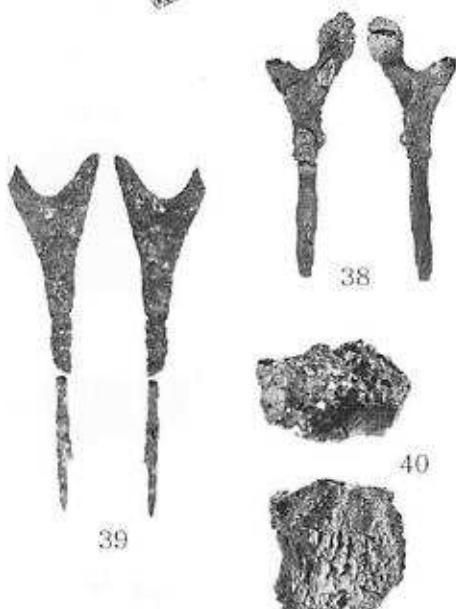
35



36



37



38

39

40

RA01



41

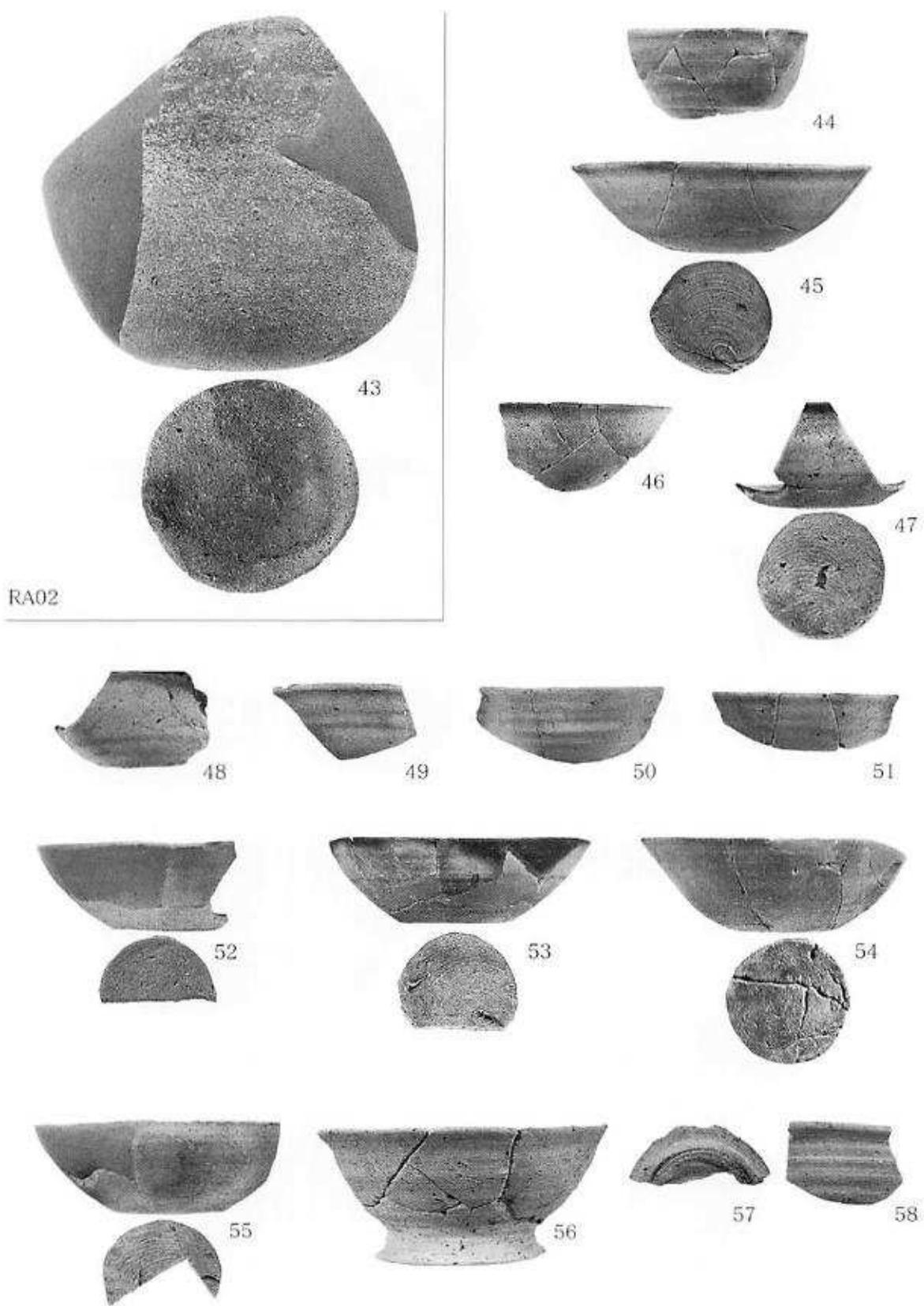


42

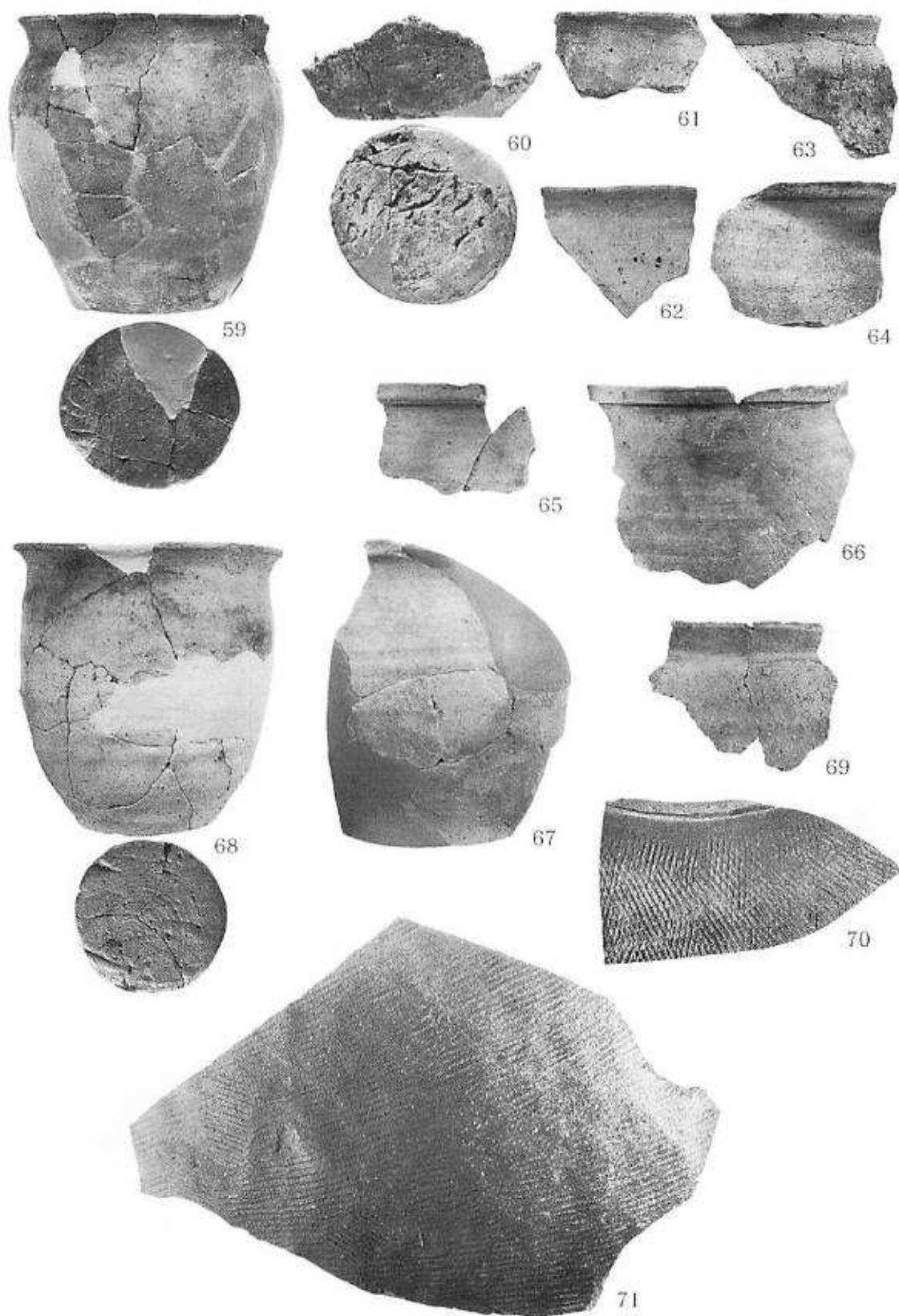


RA02

写真図版 29 出土遺物 (4)

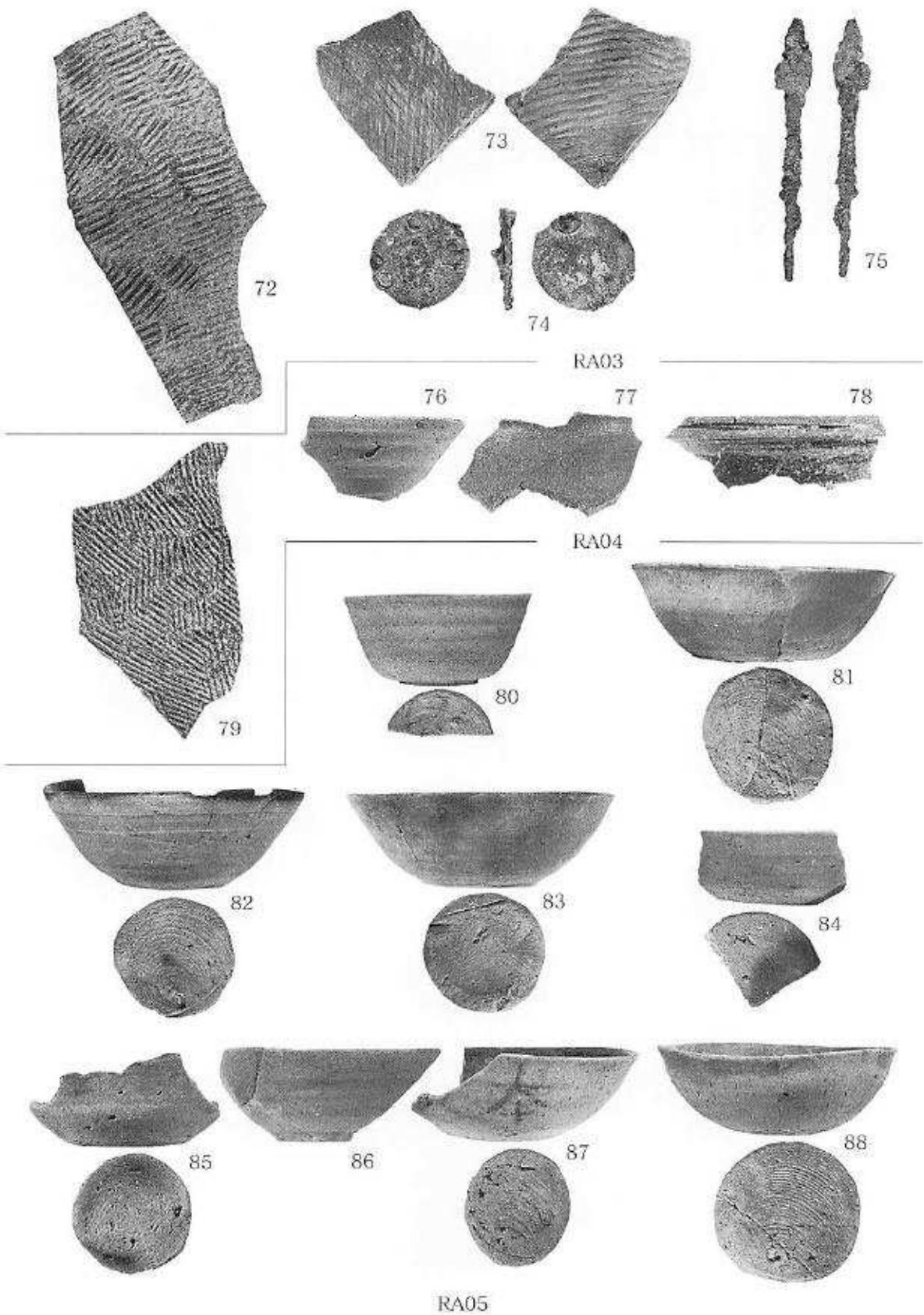


RA03  
写真図版 30 出土遺物 (5)

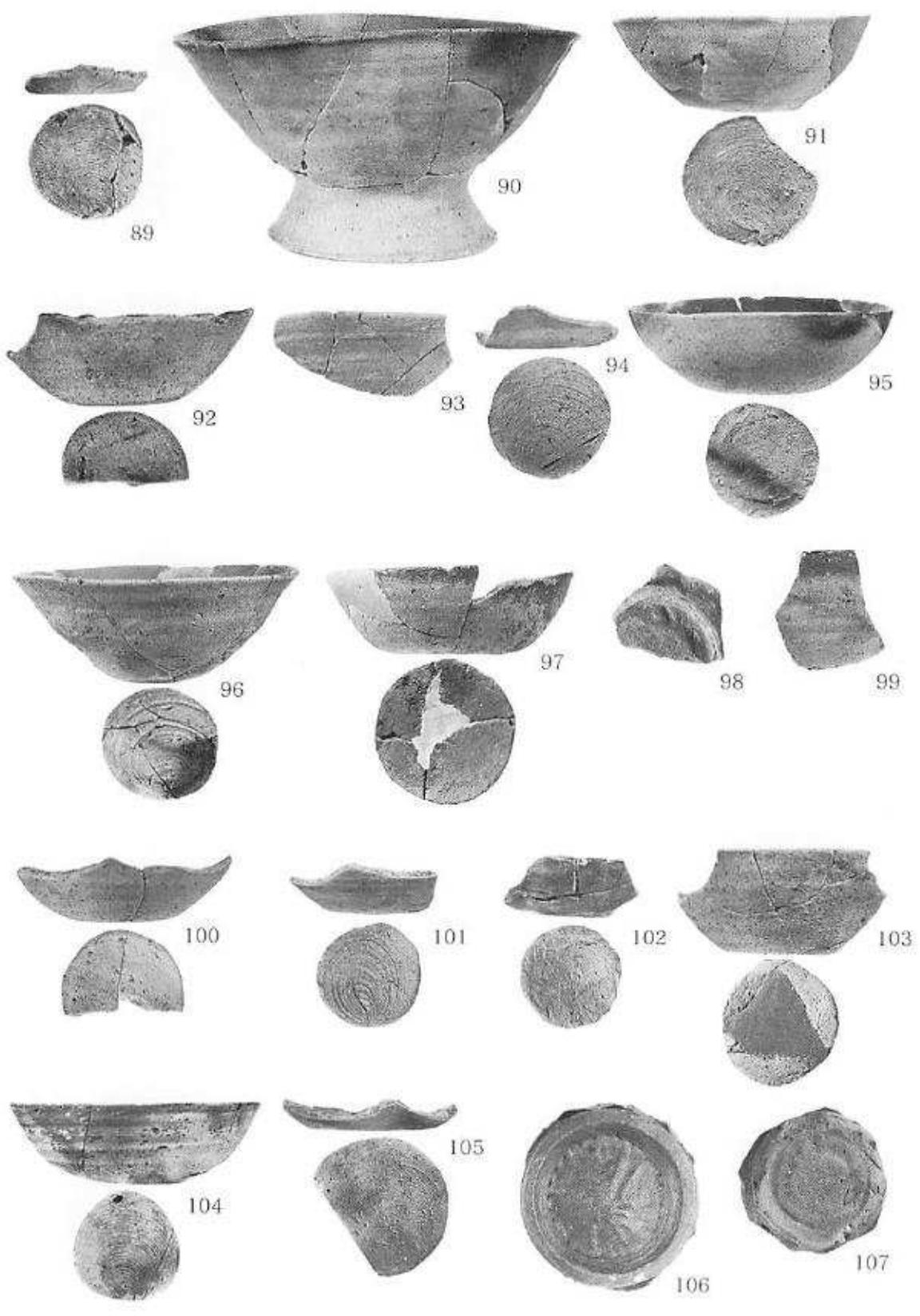


RA03

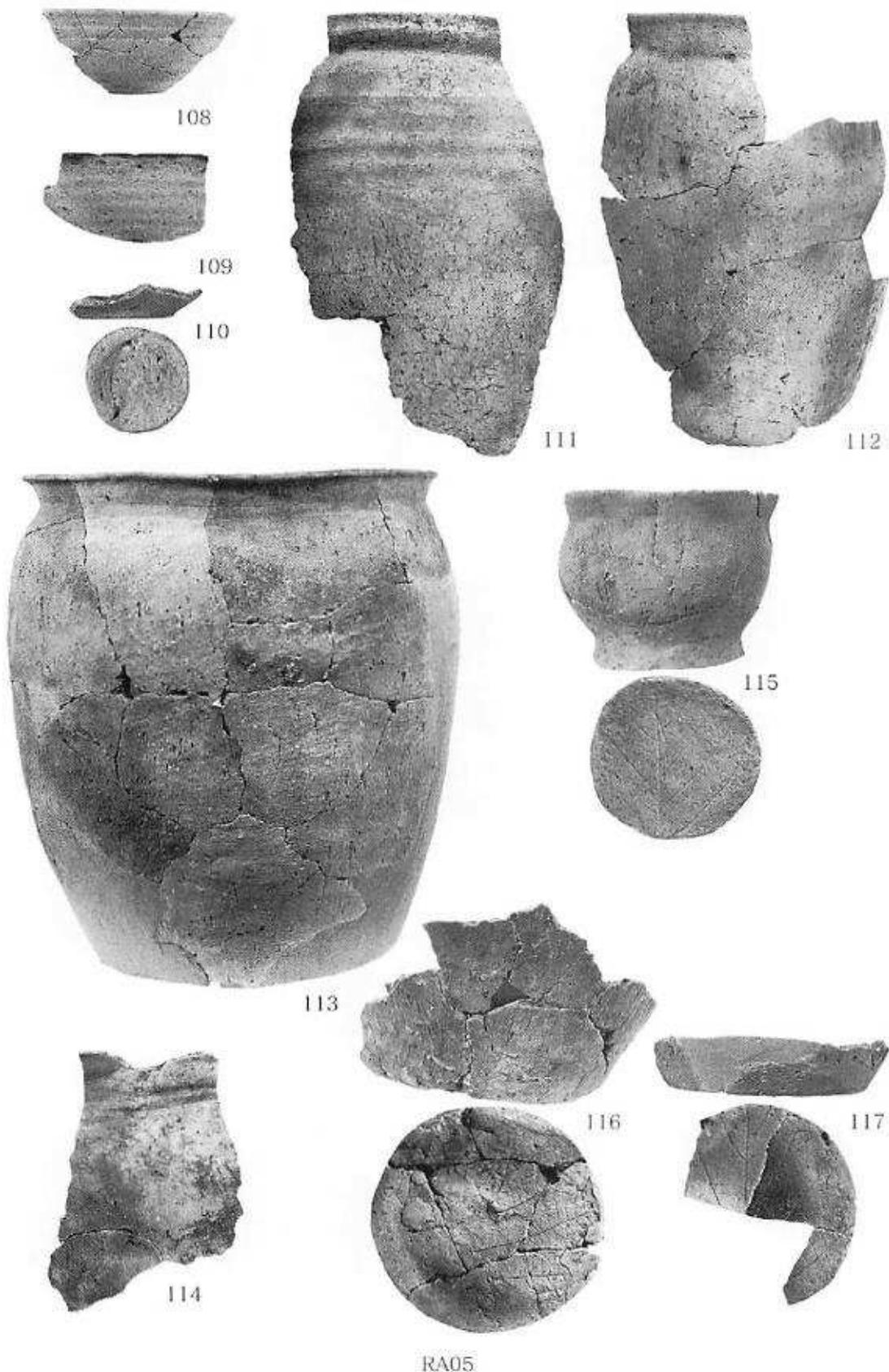
写真図版 31 出土遺物 (6)



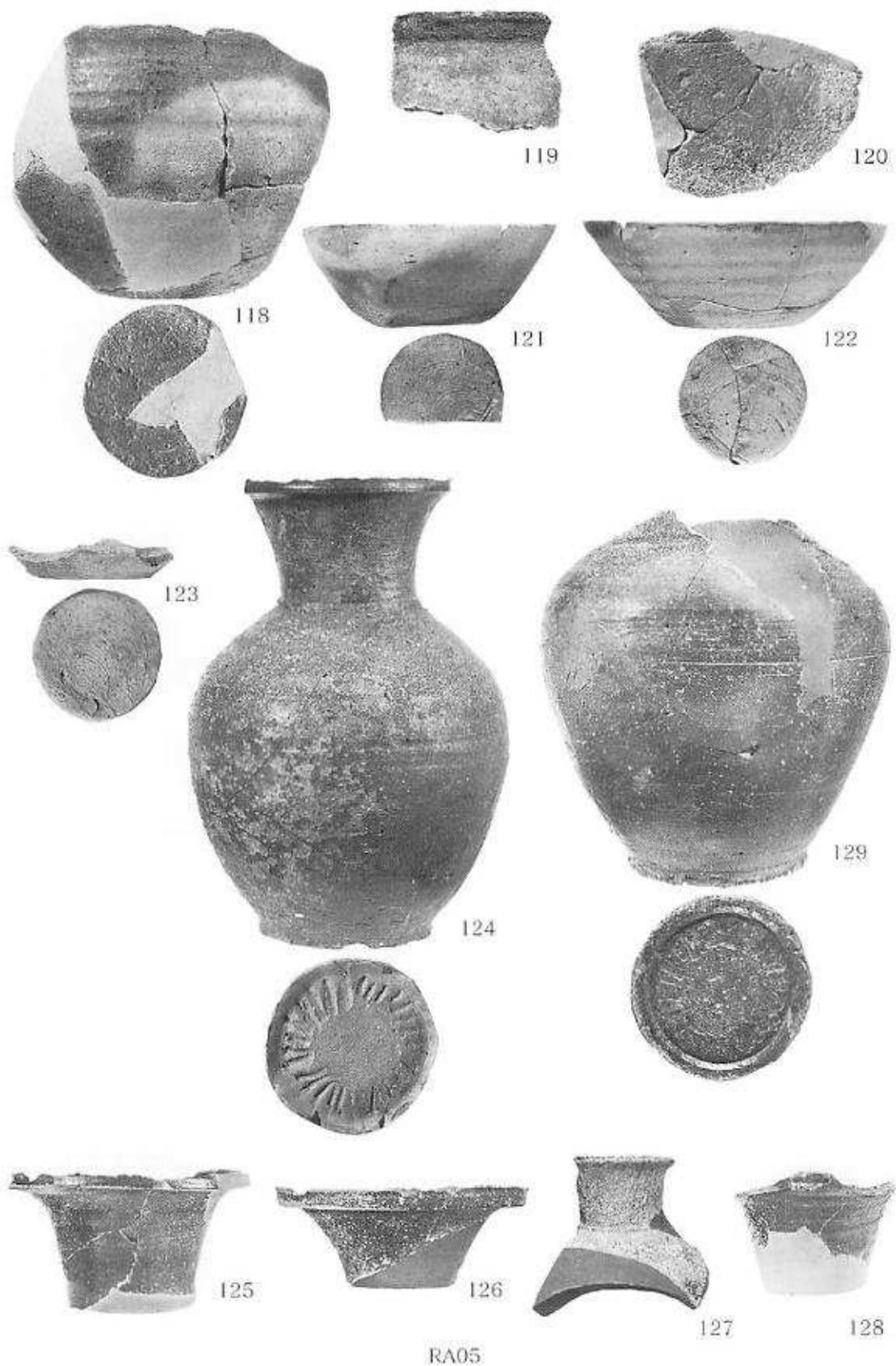
写真図版 32 出土遺物 (7)



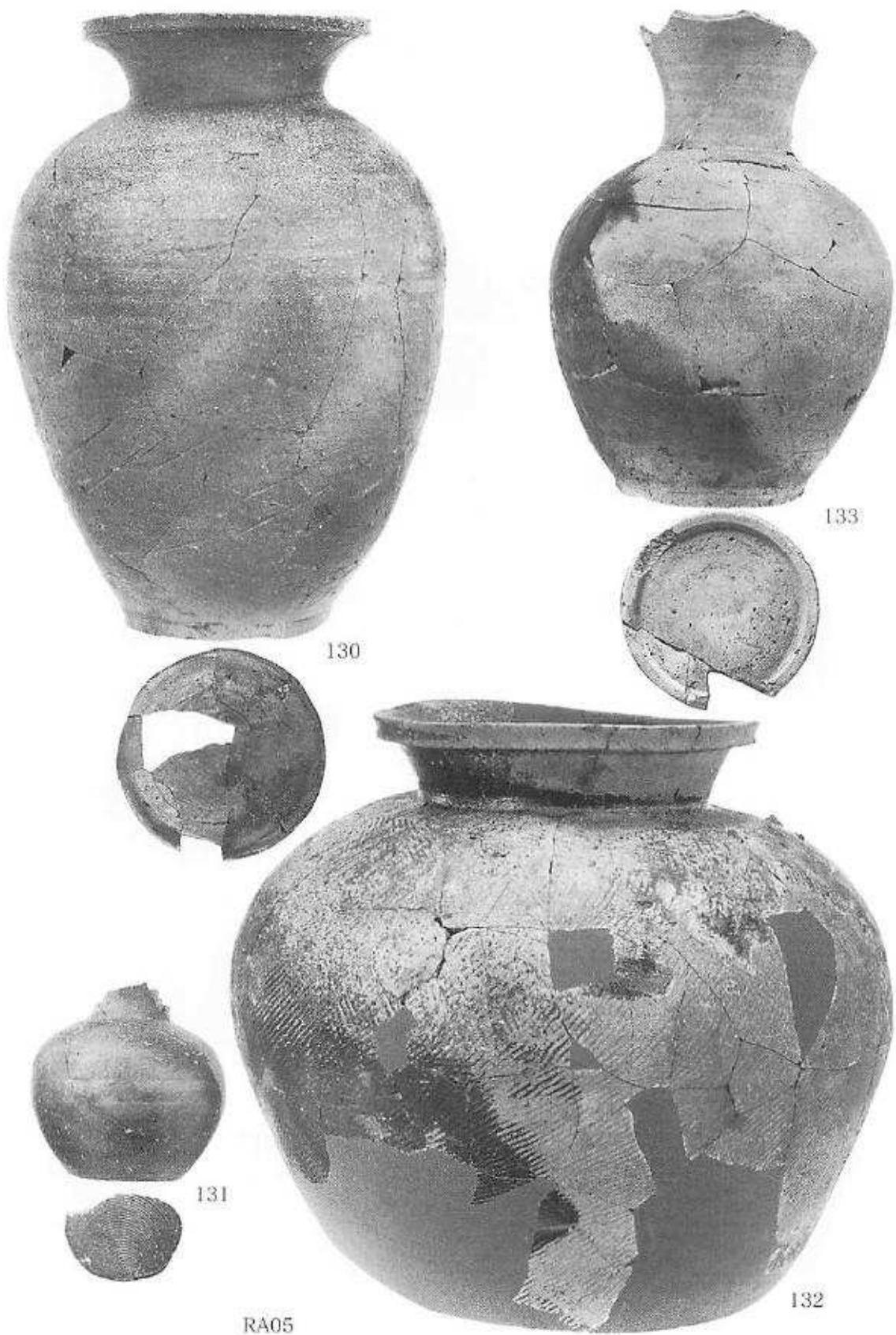
写真図版 33 出土遺物 (8)



写真図版 34 出土遺物 (9)



写真図版 35 出土遺物 (10)



写真図版 36 出土遺物 (11)



134



135



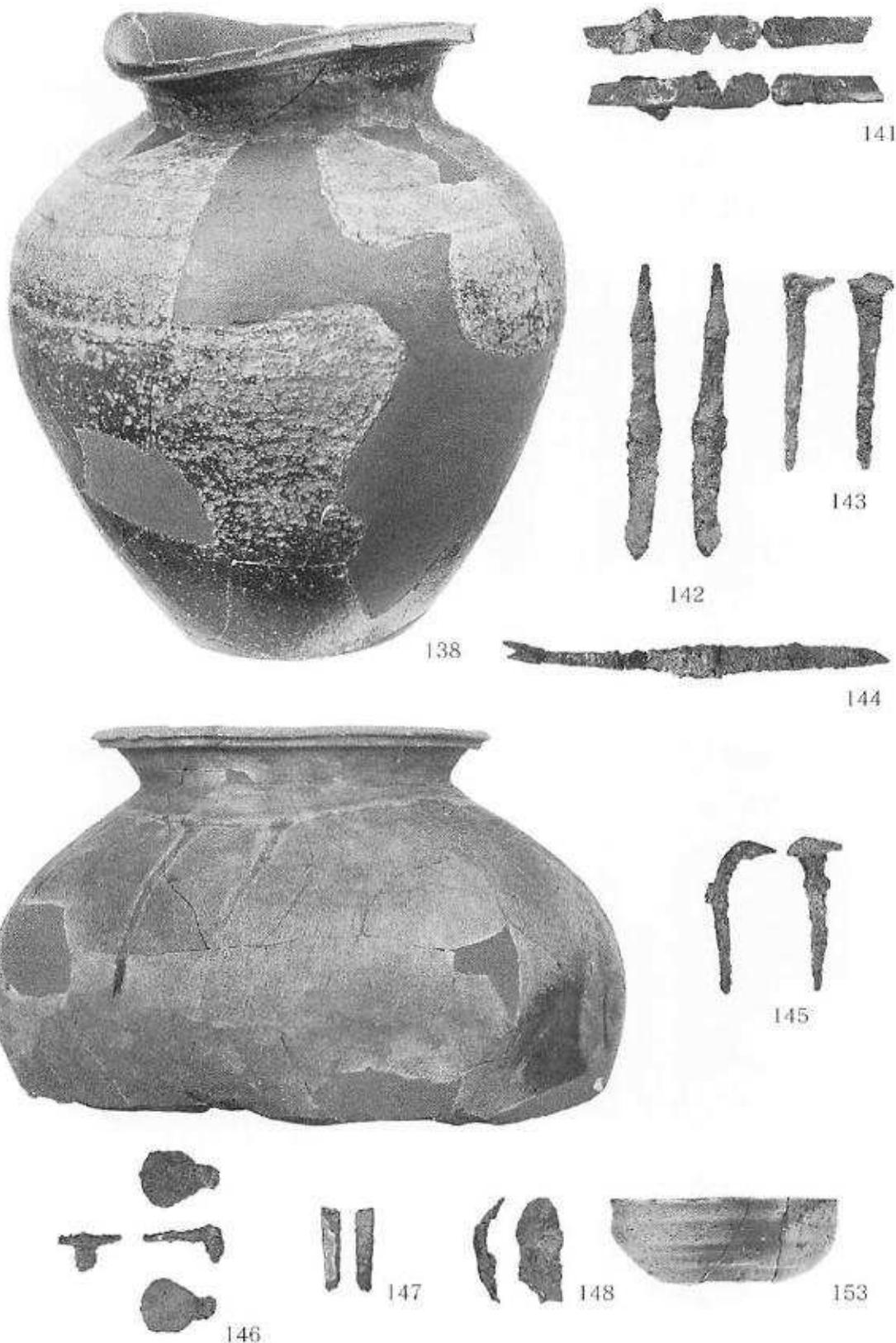
136



137

RA05

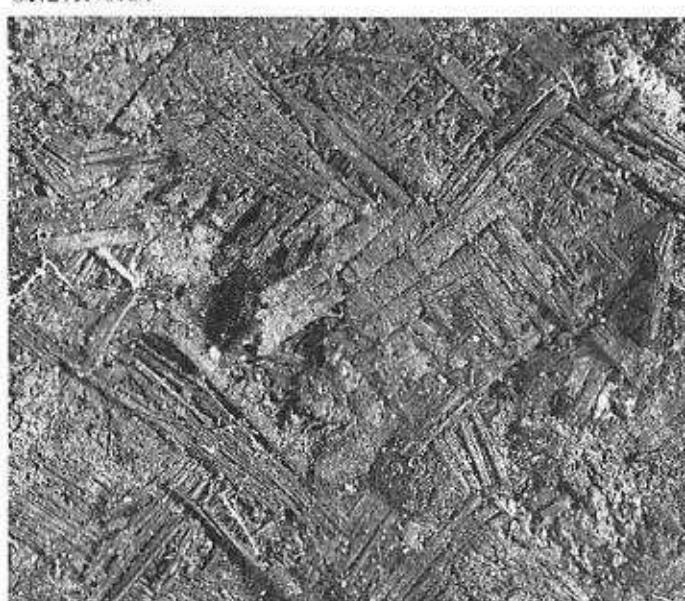
写真図版 37 出土遺物 (12)



RA05  
写真図版 38 出土遺物 (13)

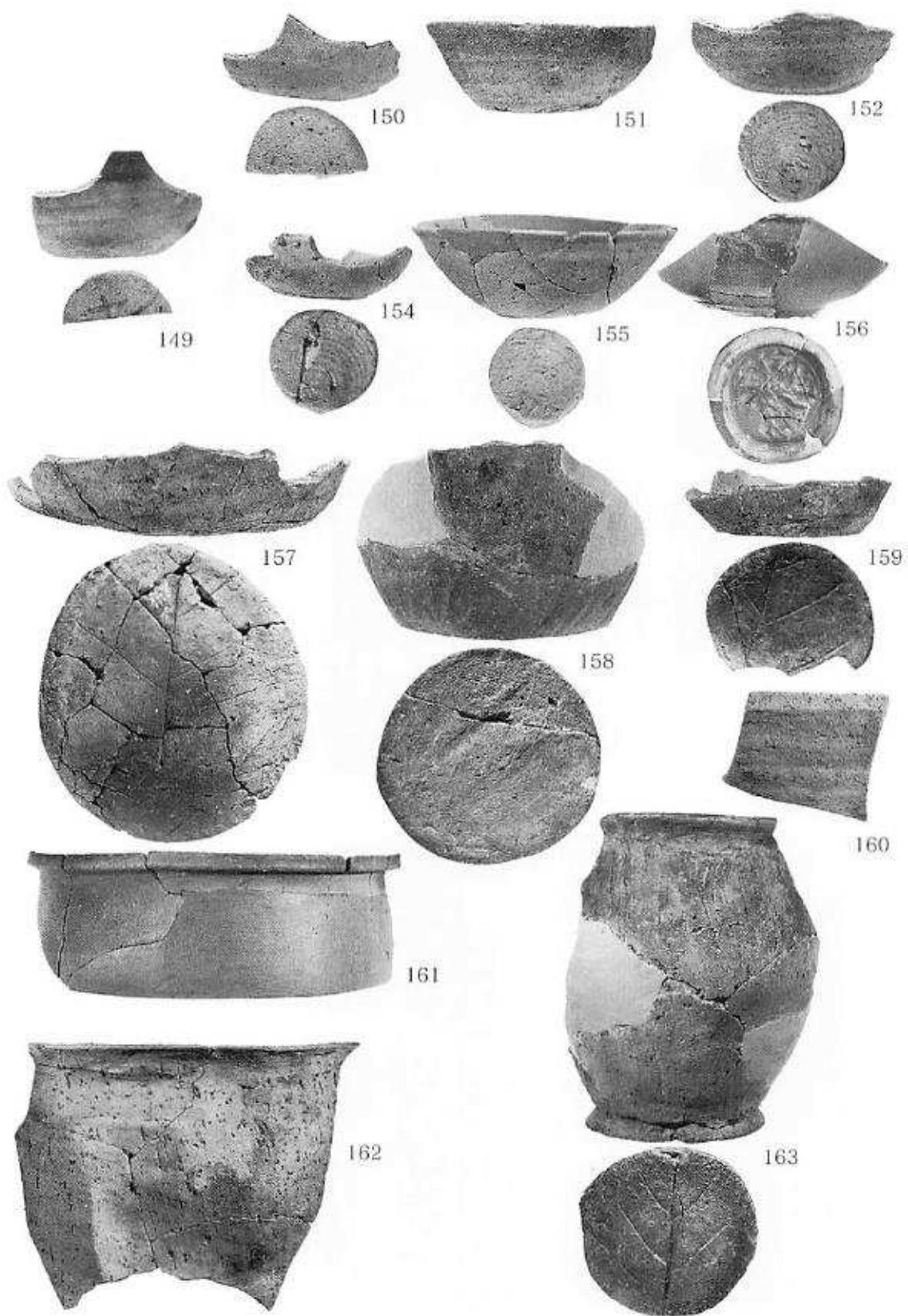


炭化材No.31

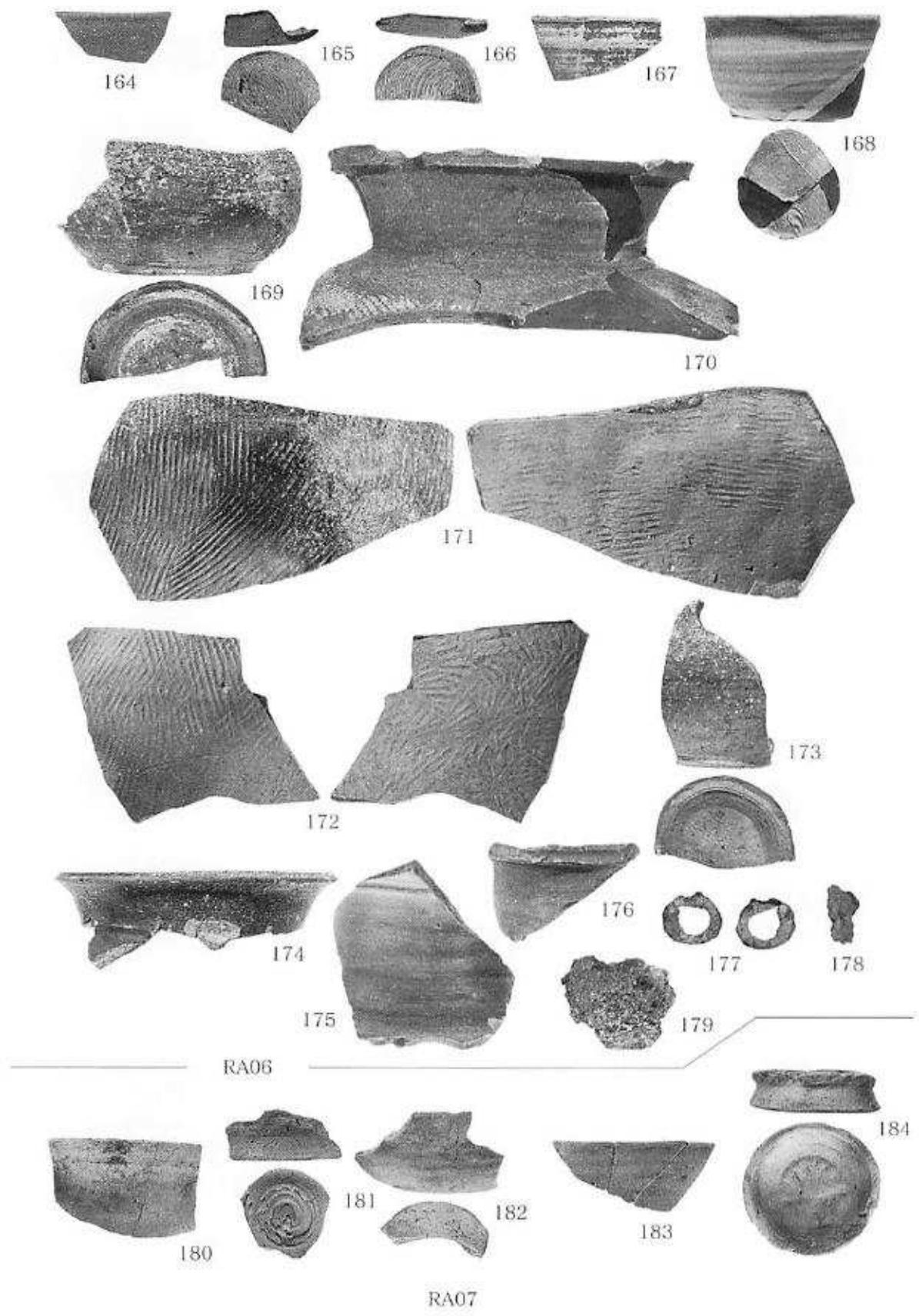


炭化材No.30

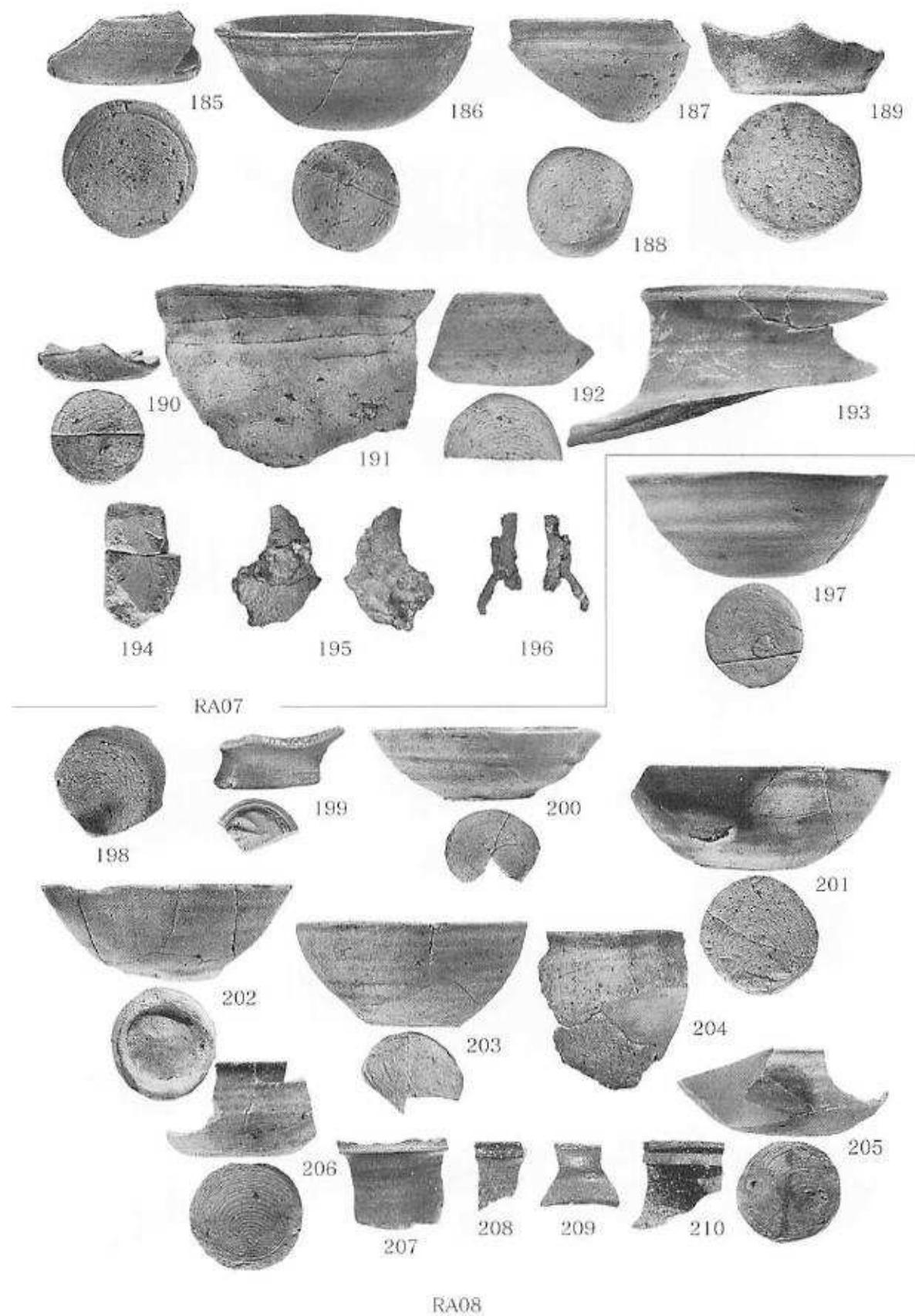
写真図版 39 出土遺物 (14)



RA06住居跡  
写真図版 40 出土遺物 (15)



写真図版 41 出土遺物 (16)



写真図版 42 出土遺物 (17)



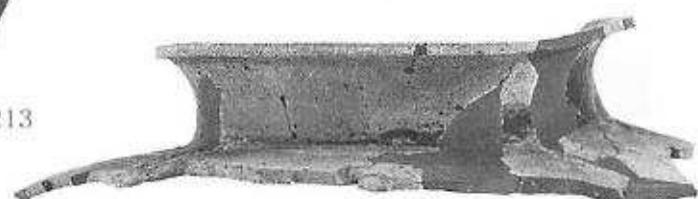
211



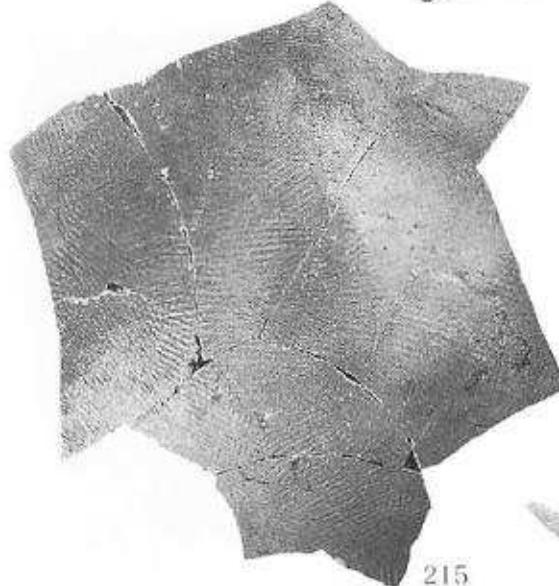
212



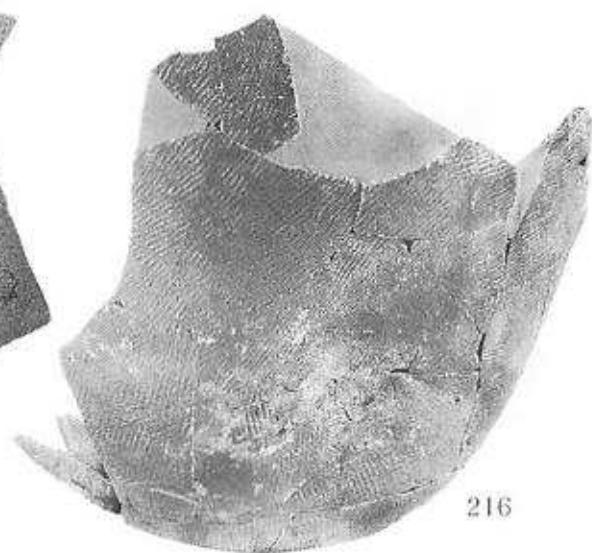
213



214



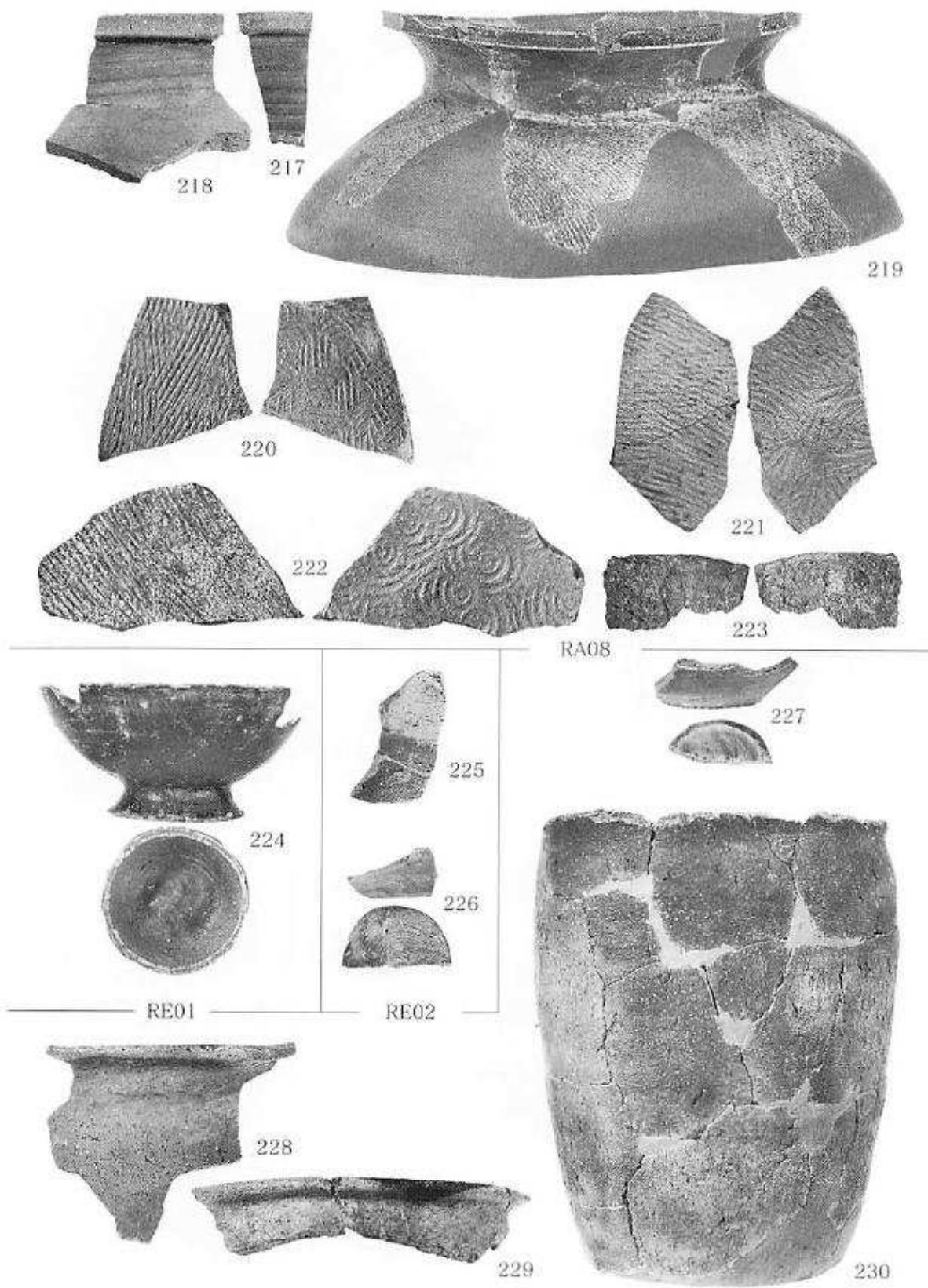
215



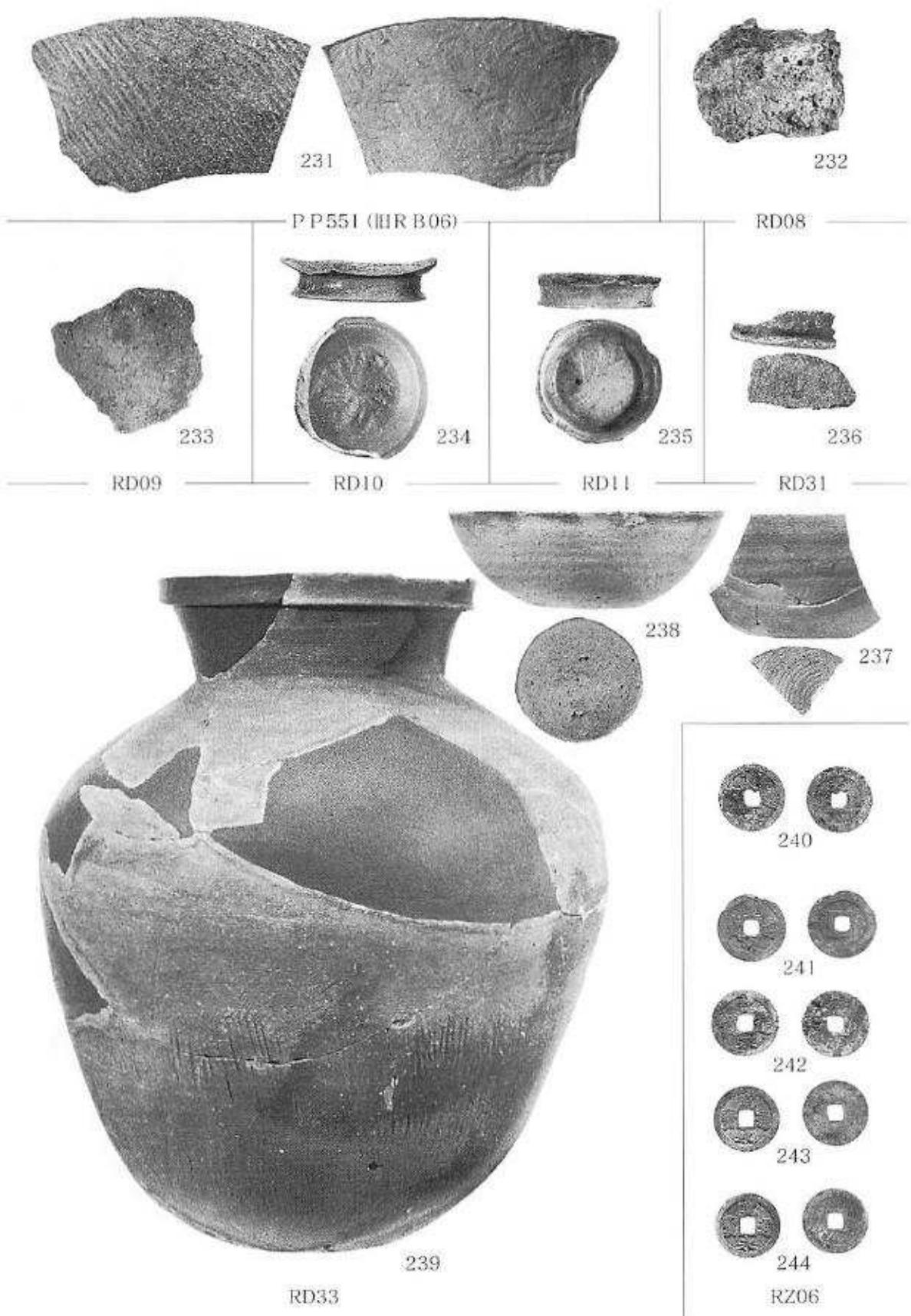
216

RA08

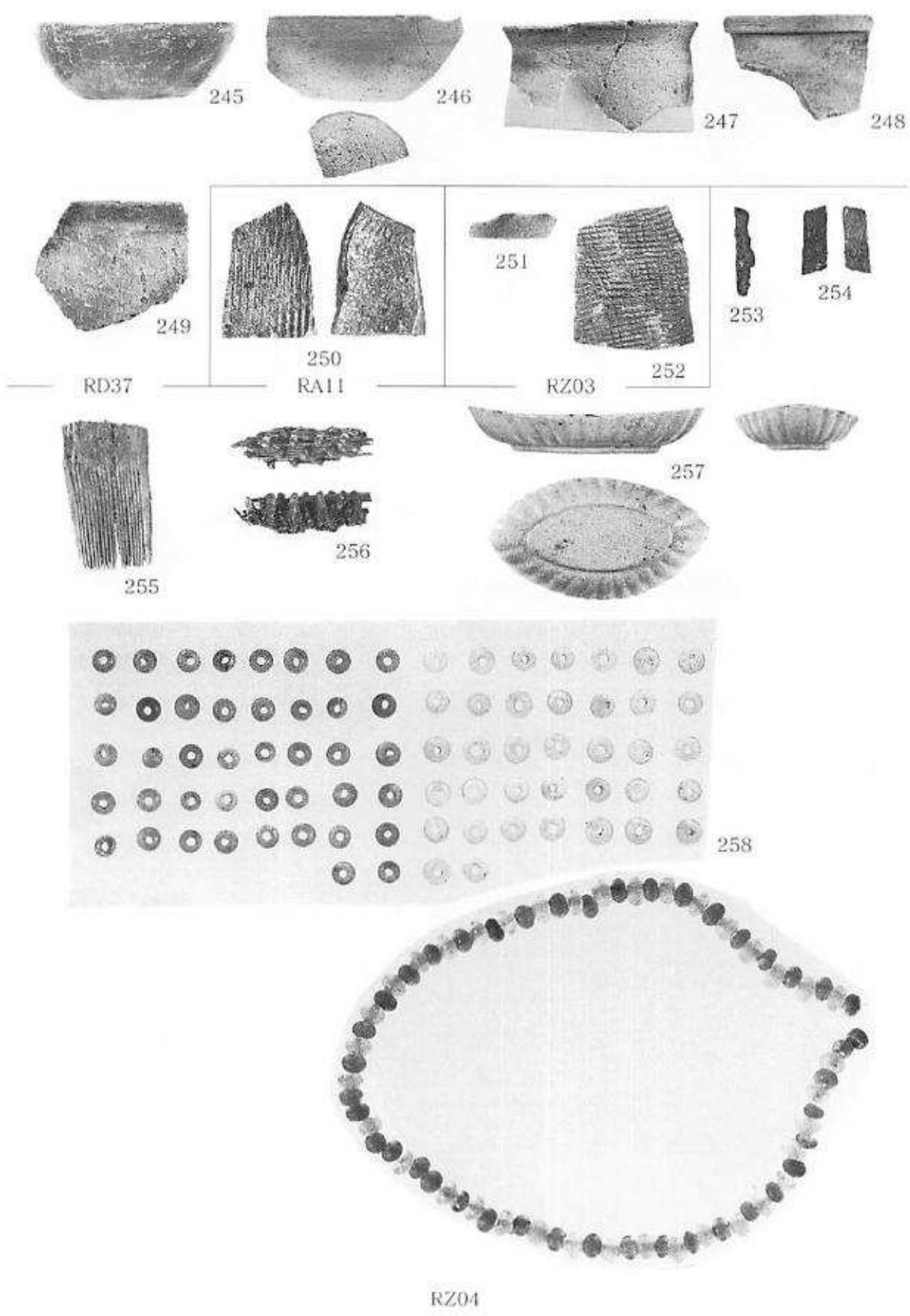
写真図版 43 出土遺物 (18)



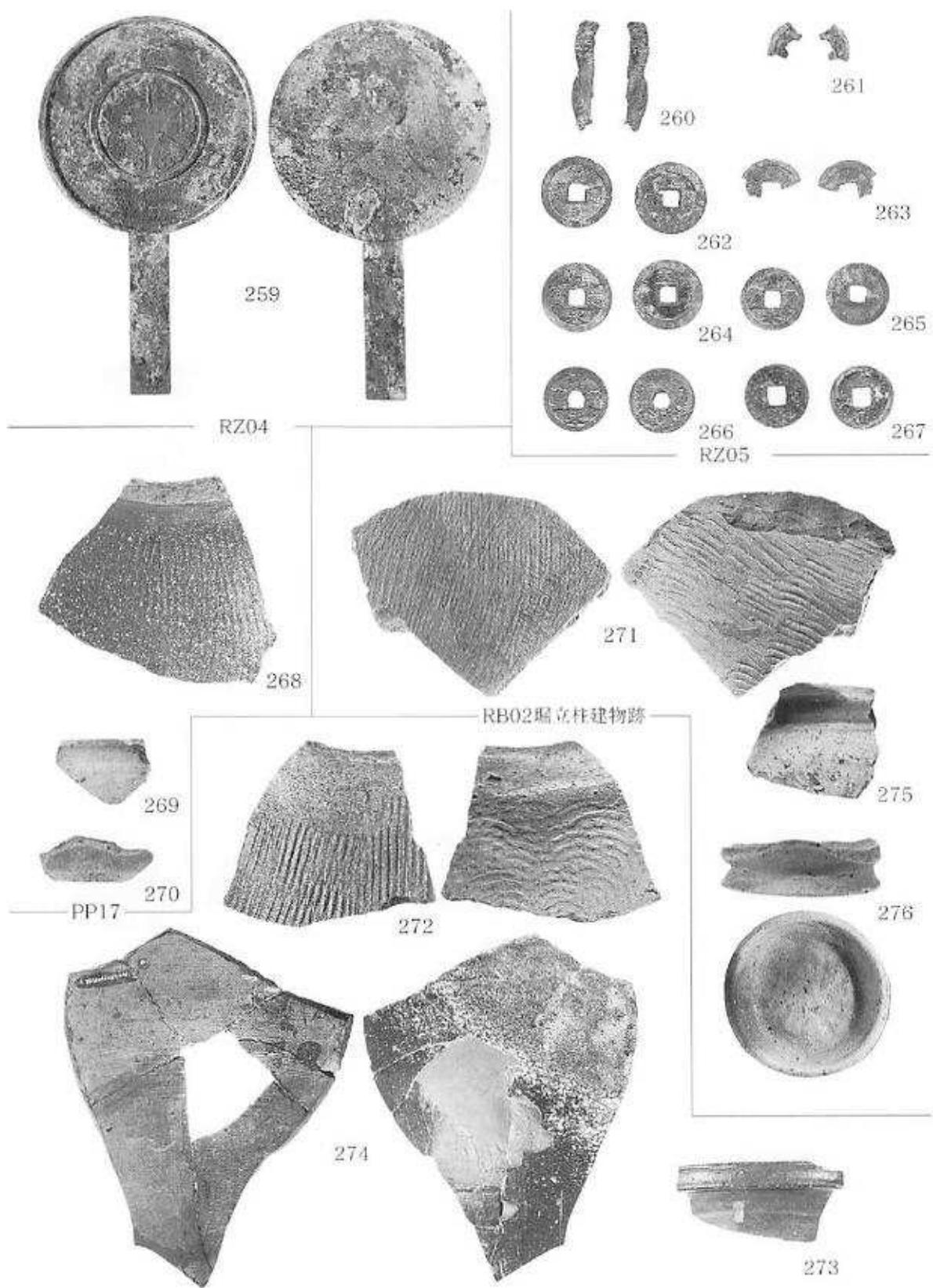
写真図版 44 出土遺物 (19)



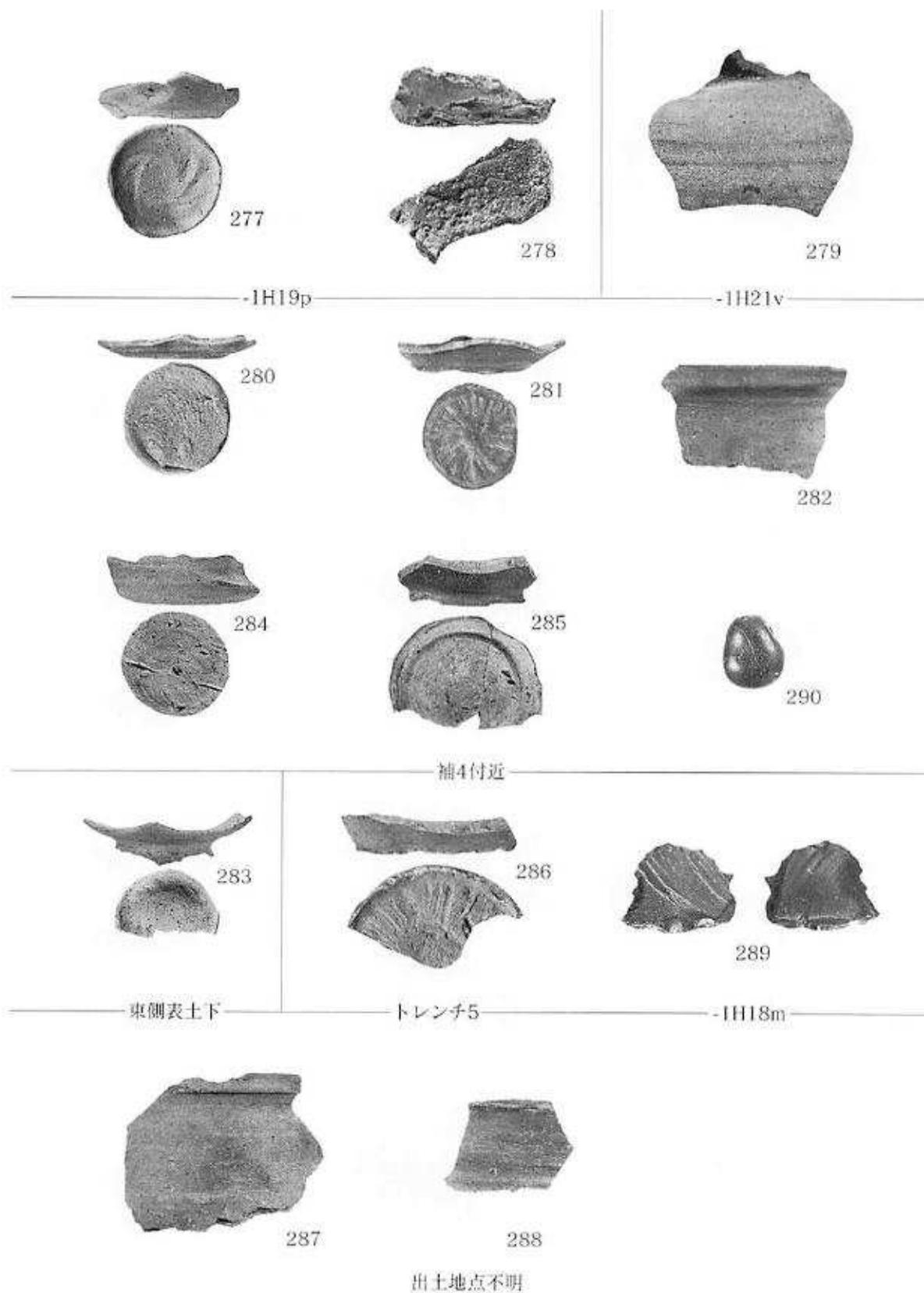
写真図版 45 出土遺物 (20)



写真図版 46 出土遺物 (21)



写真図版 47 出土遺物 (22)



写真図版 48 出土遺物 (23)

## 報告書抄録

| ふりがな                                       | いいおかさいかわいせきだい3じはつくつちょうさほうこくしょ                 |            |   |                                  |                           |  |                                    |
|--|---|------------|---|----------------------------------|---------------------------|--|------------------------------------|
| 書名   | 飯岡才川遺跡第3次発掘調査報告書                              |            |   |                                  |                           |  |                                    |
| 副書名  | 盛岡南新都市開発整備事業関連発掘調査                            |            |   |                                  |                           |  |                                    |
| 巻次   |   |            |   |                                  |                           |  |                                    |
| シリーズ名                                      | 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財報告書                            |            |   |                                  |                           |  |                                    |
| シリーズ番号                                     | 第393集   |            |   |                                  |                           |  |                                    |
| 編著者名                                       | 中田 迪・千葉正彦・高橋與右衛門・鈴木 聰・島原弘征                    |            |   |                                  |                           |  |                                    |
| 編集機関                                       | (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター                        |            |   |                                  |                           |  |                                    |
| 所在地  | 〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185 TEL(019)638-9001    |            |   |                                  |                           |  |                                    |
| 発行年月日                                      | 西暦 2002年3月31日                                 |            |   |                                  |                           |  |                                    |
| ふりがな<br>所収遺跡名                              | ふりがな<br>所 在                                   | コード<br>市町村 | 北緯  | 東経                               | 調査期間                      | 調査面積<br>m <sup>2</sup>   | 調査原因                               |
| いいおかさいかわいせき<br>飯岡才川遺跡<br>だいさんじょうさ<br>第3次調査 | もりおかしいおおかしん<br>盛岡市飯岡新<br>でんかわいせき<br>出2地割110-1 | 03501      | LE16-2291<br>39度<br>40分<br>30秒                        | 141度<br>08分<br>27秒               | 20010717<br>~<br>20011129 | 1,582  | 盛岡南新都市<br>計画整備事業<br>(土地区画整理<br>事業) |
| 所収遺跡名                                      | 種別  | 主な時代       | 主な遺構  |                                  | 主な遺物                      | 特記事項   |                                    |
| 飯岡才川遺跡<br>第3次調査                            | 集落跡   | 平安時代       | 竪穴住居跡   | 8                                | 平安時代                      | 平安時代9世紀前~後期<br>の集落遺跡であるが、この地域では志波城成立期<br>の一般集落の状況が不明<br>な中での該期の集落例と<br>して貴重。 |                                    |
|  |   |            | 竪穴状遺構<br>掘立柱建物跡<br>上坑<br>陥し穴状遺構<br>池状遺構<br>溝跡<br>円形周溝 | 4<br>4<br>23<br>2<br>1<br>8<br>2 | 土師器<br>須恵器<br>鉄製品         | また、須恵器の袋物を<br>大量に出土し、掘立柱建<br>物跡から4棟検出等、これま<br>での該期の集落例と趣に<br>異なる。            |                                    |
|  | 墓域  | 近世         | 土壙墓   | 3                                | 近世<br>貨幣<br>柄鏡<br>その他     | 近世の土壙墓が検出さ<br>れ、かつては一部に墓域<br>が存在した可能性がある。                                    |                                    |

平成13年度(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員名簿

所長

伊藤民也

副所長

高橋正儀

[管理課]

管理課長  
管理課長補佐  
〃  
主査

吾光美  
正善直  
並山山立  
岸花

嘱託  
〃  
〃  
〃

雄重子  
照光邦  
高佐加湯  
木藤沢

[調査第一課]

調査第一課長  
調査第一課長補佐  
〃  
文化財専門員  
文化財調査員  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
期限付調査員

勝文介  
清義秀  
佐々木  
佐々木  
高小山  
中飯赤  
小佐々  
佐々木  
佐々木  
高内田  
森石田  
原木原野  
松瀬居子  
篠原  
笠小金  
小金小岩  
鳥金羽千  
長星佐菊  
村本木北高  
丸島中小江  
菊井川吉坂  
木村

[調査第二課]

調査第二課長  
調査第二課長補佐  
文化財専門員  
文化財調査員  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃  
期限付調査員  
〃  
〃  
〃  
〃  
〃

門紀子  
右衛門  
與川子  
高金阿  
飯阿濱  
安高佐  
星高佐  
菅半星  
杉菅半  
潤中西  
杉潤中  
西八阿  
(

徹熏和子  
里美智  
津紀子  
麻智  
寛

---

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第393集

## 飯岡才川遺跡第3次発掘調査報告書

盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査

印刷 平成14年3月20日

発行 平成14年3月25日

発 行 (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185

電話 (019)638-9001

印 刷 杜陵高速印刷株式会社

〒020-0811 盛岡市川町23-2

TEL (019)651-2110

© (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2002

---



